

言語対応:



tiger

Tigermeeting

管理者ユーザーマニュアル

バージョン 3.4.4

内容

内容	2
翻訳免責事項	11
ネットワーク要件概要	12
はじめに	13
主な特徴	13
TigerMeeting 製品	15
タイガーミーティング予約画面	15
タイガーミーティング概要画面	16
Tigermeeting 管理アプリ	16
管理者アプリの目的は何ですか?	17
どうやって始めればいいのでしょうか?どこから始めればいいのでしょうか?	18
Tigermeeting Admin インストール	21
Windows に Tigermeeting 管理者をインストールする	21
指導ビデオ:	24
Linux での Tigermeeting 管理者のインストール	25
RPM パッケージ	25
DEB パッケージ	25
ApplImage ファイル	25
BSD バリエントに Tigermeeting 管理者をインストールする方法	26
Tigermeeting 管理アプリケーションの MacOS インストール	27
指導ビデオ:	28
ユーザーログイン	29
ユーザー登録	30
メニュー構成	31
ネットワーク	32
予約機器のプロパティ:部屋の接続前	35

予約機器の特性:部屋の取り付け後.....	36
基本特性.....	36
物件の予約.....	38
高度な性質.....	41
概要画面のプロパティ.....	43
一般的性質.....	43
部屋の特徴.....	45
概要画面ページ.....	46
Tigermeeting 管理アプリから Android APK をダウンロードしてください.....	47
舞台設定.....	49
ライセンスタブ.....	49
カレンダータブ.....	51
部屋タブ.....	54
管理者ユーザータブ.....	57
アナリティクスタブ.....	59
分析.....	61
管理者ログ.....	65
ウィザード.....	66
概要.....	66
ライセンス.....	67
カレンダー.....	68
部屋.....	69
実用的なユースケース.....	70
管理者アプリケーションをインストールしてください.....	70
装置を起動してください.....	70
管理者アプリケーションを起動します.....	70
管理者アプリケーションでウィザードを実行する.....	70
Microsoft365 カレンダーの設定.....	71

Microsoft365 管理パネル -> ルームリソースを作成	72
Windows PowerShell を使った RoomList 設定	74
Microsoft 365 ヘルパースクリプトを用いた RoomList の設定	75
Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行	77
手動構成.....	77
Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください.....	77
指導ビデオ:.....	78
Exchange カレンダーの設定	79
Exchange 管理パネル.....	79
Exchange Management Shell を通じた設定.....	81
Microsoft ヘルパースクリプトによる設定	81
Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行	82
手動構成.....	82
Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください.....	82
重要な注意事項	84
Microsoft365 helper script	88
はじめに	88
ダウンロードとインストール	88
異なるオペレーティングシステムでの PowerShell インストール.....	88
MacOS PowerShell インストール	89
Ubuntu PowerShell インストール	89
OpenSuSE のインストール	89
フェドラの設置.....	89
Windows PowerShell	89
部屋の資源を準備しろ.....	89
スクリプトの実行(例).....	90
重要な使用注意事項	92
一般的なユースケース.....	92

重要な注意事項	96
PowerShell の問題のトラブルシューティング	96
Google Workspace の設定	98
部屋の構成	98
管理者アプリでカレンダーを添付する方法	100
部屋資源のインポート/再インポート	101
カレンダーの切り離し	101
重要な注意事項	102
指導ビデオ	102
Google カレンダーの設定	103
認証	103
既存の部屋を再インポート	104
新しい部屋を作成する	106
iCalendar カレンダーの設定	108
統合 – ICS を通じたスケジュールの公開	111
概要	111
対応プラットフォームと構成	111
URL が暴露した ICS と Webcal リンクの混乱	115
トラブルシューティングとベストプラクティス	116
ラークとフェイスの設定 飛書	117
ルームリソースの作成	117
管理者ユーザーをルームリソースに購読してください	120
管理者ユーザー権限およびルーム管理者権限	122
タイガーミーティング ラーク/フェイスアプリ	123
管理者アプリでカレンダーを添付する方法	124
一般的な暦機能	128
複数の入口を持つ部屋	128
部屋の「表示名」	129

編集可能で説明的な「部屋情報」	129
環境選択	129
専用画面のサポート	130
LED バックライトの色	130
LED 輝度	131
LED ライトの位置	131
LEAD ON インターバル	132
画面オン間隔	133
周囲の温度と湿度	133
天候情報	134
ルームサービスの構成	136
メール送信	137
QR コードウェブフック	138
NFC	139
TigerMeeting による NFC 認証の実装	139
NFC の使用	139
NFC 検証サービス	140
Active Directory/LDAP 統合の手順	140
CSV ファイル統合の手順	142
API REST 統合の手順	142
GPIO 制御	144
GPIO とは何ですか?	144
GPIO のユースケース	144
GPIO ピン/ポート	144
ドアロックおよびアクセスコントロールシステム	145
テーマ構成	146
テーマ背景画像の構成	146
各デバイスごとのテーマ設定	147

テーマの肖像と風景の方向性	148
ファイルストアの機能	150
デバイス変更 - 交換	151
ネットワークからデバイスを削除してください	153
デバイスを別のネットワークセグメントに移動させる	154
異なるネットワークセグメントとの連携	155
やってはいけないこと	155
やって	155
ソフトウェアおよびファームウェアのアップグレード	155
ソフトウェアアップグレード	155
ファームウェアのアップグレード	157
タイガーミーティングの建築コンセプト	159
Tigermeeting 製品アーキテクチャ	159
ネットワークセグメンテーション	159
放送通信	160
ネットワークセグメントでのタイガーミーティング	162
高水準シーケンス図	162
タイガーミーティングクラウド	163
TigerMeeting ネットワークの利用状況	164
タイガーミーティング運営	164
VPN 接続による管理	166
バーチャルブランドとバーチャルネットワークの概念	167
トラブルシューティング	168
管理者ログをダウンロード	168
デバイスログをダウンロード	168
デバイス UID(ユニット識別)	169
デバイス情報を見る	170
タイガーミーティングルームのパラメータ	170

メンテナンスモード	171
出口申請	173
ポスト指揮部	174
ハードウェア指標	175
デバイス発見の問題	176
ネットワーク再起動	178
免許証の欠落	179
同じデバイスが異なる識別で複数回	180
インテグレーターやディストリビューターの方へ:画面をある組織から別の組織へ 移行するにはどうすればよいですか?	182
会社のロゴ、背景画像、ブランディング	182
Microsoft / Google / Lark の認証トークンが期限切れ	184
デバイスの時間は正しいのでしょうか?	185
ビデオプレーヤーが起動しません	186
横向きモードのポートレートテーマ	187
デュアルスクリーンデバイス	187
ハードウェア固有の設定	188
ProDVX トークン	188
ロックチップシリアルデバイス	189
ShiMeta シリアルデバイス	189
言語サポート	189
アプリケーションクリアデータ	190
デバイスの工場出荷時リセット	191
閉鎖されたオンプレミス環境でのタイガーサービス	191
タイガーソフトウェアのアップグレード	192
言語更新	193
テーマ変更	193
気象サービス	193

NFC/スキャナー認証サービス	193
分析	194
重要な声明	195
混合カレンダー環境におけるタイガーミーティング	196
カレンダー相互運用(Google + Microsoft Mix に最適です)	196
リアルタイムカレンダー同期ツールの利用	196
資源の共有と委任	196
iCal フィード	197
Tigermeeting 管理アプリのアンインストール	197
Windows オペレーティングシステム	197
macOS オペレーティングシステム	197
Linux オペレーティングシステム	198
ヒントやコツ、ショートカット	199
簡単なスクリーンショット	199
クイックデバイスモデルとブランド	199
デバイスのフルファームウェアバージョン	199
利用可能なファームウェアおよびソフトウェアアップグレードバージョン	199
デバイスをモデルやアプリケーションバージョンで並べ替えてください	199
FAQ	200
Tigermeeting ハードウェア互換性マトリックス	203
GDPR 声明	208
予約および概要画面	208
管理アプリ	208
分析	208
ウェブクッキー	208
DEMO ライセンスをお願いしましょう	210
連絡先情報	211
ソーシャルメディア	211

翻訳免責事項

当ドキュメントはもともと英語で書かれており、Tigermeeting 製品、その機能、使用方法について包括かつ正確な情報を提供しています。

グローバルなオーディエンスに対応するため、先進的で自動化された AI ツールや商業翻訳サービスを活用して他言語のバージョンを作成しています。

正確さを保つために最善を尽くしても、翻訳やテキストのフォーマットに誤りが時折発生することがあります。

これらの誤差には以下が含まれますが、これに限定されません:

- **誤訳:** 特定の専門用語やフレーズは他の言語に完全に翻訳できない可能性があり、誤解の原因となることがあります。
- **フォーマットの問題:** 翻訳文書のレイアウト、スタイル、構成が元の文書と完全に一致していない場合があります、読みやすさに懸念が生じます。
- **文化的なニュアンス:** 原文における微妙な文化的言及や慣用表現は、翻訳版では十分に捉えられていない場合があります。

ご不便をおかけし申し上げ、翻訳の質向上に努める中でご理解いただければ幸いです。

皆様のフィードバックは私たちにとって非常に貴重です。

もしこの文書を公開されていない言語でご希望の場合はお知らせください。

また、問題や不正確な点に遭遇した場合は、ご確認いただくか、Tigermeeting カスタマーサービスにご報告いただくか、どうぞ遠慮なくご連絡ください。support@tigermeeting.app

ご理解とご協力に感謝いたします。

ネットワーク要件概要

重要:詳細は章「タイガーミーティングの建築コンセプト」をご覧ください

Tigermeeting アプリケーションは分散データベースアーキテクチャと独自のハイウォーターマーク同期技術に基づいており、オンプレミスの中央データベースや外部クラウドデータベースを使わずに動作しますが、特定のネットワーク要件を設定するために、デバイス間のフローレスな通信を必要とします。

TIGER ミーティングネットワーク要件:

- **ブロードキャストリクエスト**はネットワークセグメント間および間で有効化する必要があります(リモート管理を使用する場合は VPN 経由でも望ましいです)
- **UDP ポート:6024、6025、6030、6031** はネットワークセグメントで有効化する必要があります。
- **管理者>デバイス、デバイス>デバイス、デバイス>管理者間の通信**では、ネットワーク上で **TCP ポート 6026** が有効化されている必要があります。
- Google Workspace、Microsoft365、Exchange Online、Lark/Feisu、または iCal ファイルの外部 URL などの外部オンラインを使用する場合、それらのリソースへの通信はファイアウォールを通じて許可される必要があります。
- Tigermeeting Cloud へのオープン通信は、**TCP ポート 443** 経由のもの **tigermeeting.app** 以下の機能にのみ必要です。
 - 管理者アプリ:管理者ログイン
 - 管理者アプリ:パスワードリセットを忘れました
 - 管理アプリ:分析、テーマ、ファイルサービスの構成を閲覧できます
 - デバイスズ気象サービス
 - デバイスの NFC 検証サービス(Tiger クラウド上でホストされている場合)
 - デバイスのイベントログ(分析機能が有効の場合)
 - 管理者とデバイスの両方:テーマ設定とバックグラウンドアップデート
 - 管理者とデバイスの両方:新しいソフトウェアアップグレードチェック
 - 管理者とデバイスの両方:新しいファームウェアアップグレードチェック

詳細は GDPR 声明をご覧ください。

ネットワーク要件が満たされない場合、Tigermeeting アプリケーションが正常に機能しなくなる可能性があります。多くの場合、以下のような問題が生じます。

- 管理者ログイン中の「ネットワーク通信エラー」
- 管理者アプリの自動発見時にネットワーク上でデバイスが検出されません。
- デバイスは選択したテーマに切り替えることができません。

はじめに

Tigermeeting は、会議室管理、デジタルサイネージ、アクセス制御における最先端のオンプレミスソリューションであり、完全分散型、サーバーレス、極めて高いスケーラビリティを追求して構築されています。

エンタープライズレベルの信頼性を重視して設計されており、隠れたコストやクラウド依存のない永続的なライセンスモデルを提供します。

どうすればこれを実現できるのでしょうか? 答えは簡単です。私たちはお客様の声に耳を傾けます。

技術は我々が所有している。業界はよく知っています。私たちは自分たちの仕事に情熱を持っています。

私たちはお客様のニーズを考慮しています。それに応じて製品とサービスのロードマップを調整しています。

一貫したブルーオーシャン戦略と市場への注力は、顧客と競合他社の両方から尊敬を集めました。

私たちの製品は、学校、大学、オフィス、組織に対して、シンプルで機能的、効率的かつ信頼性の高い会議室管理ソリューションを提供しており、世界中で高く評価されていることを確信しています。

主な特徴

製品の機能は完璧に緻密に作られており、革新的で手頃な価格の会議室管理製品を提供するという真摯な目標に基づいています。独自で独創的なデザインで、巨大な市場需要と高価で高級な競合とのギャップを埋めています。

- 中央管理 — すべてのデバイスに時間を無駄にする必要がありません。すべての設定、設定、アップデートは管理者アプリを通じてデバイスに集中的に送信できます。
- シンプルさ - フロントエンド設計ではユーザー体験を最優先に考えました。ナビゲーションがしやすいほど、より多く使われます。
- 柔軟性 - 異なる環境や混合環境で同じソリューションを使用すること。オフィスでは会議室を予約し、学校では教室の時間割が表示され、必要ならテーブルや机、キャビネットを予約しましょう。環境や目的に最も合った異なる機器を自由に使いましょう。成長に合わせてスケールを上げましょう。
- セキュリティ - このソリューションは、外部データストアを必要としない独自のハイパーターマーク分散型データベース技術で動作します。すべてのデータは組織の LAN 内に収まります。
- 自動化 - 私たちの独自の主要機能の一つです。ユーザーはいつでも利用可能な部屋を見つけることができます。オンラインカレンダーや画面上で会議を予約しましょう。
- ローカライゼーション - 画面でご自身の言語を使用可能です。40 以上の言語をサポートしており、新しい言語もソフトウェアのアップグレードなしで簡単に追加可能です。
- 互換性 - 今日の相互接続された世界では、顧客のインフラを尊重する必要があります。そのため、オンプレミスの Exchange Server、Exchange Online、Microsoft 365、

Google Workspace、Google Calendar、Lark Suite、Feisu、iCalendar など、世界中の最もネットワーク化されたルーム予約エコシステムに容易に適合する主要なカレンダーアプリケーションをすべてサポートしています。

- **アナリティクス** - 会社の会議文化、人々の習慣、ハードウェアの使用状況や健康状態を垣間見ることができます。
- **カスタマイズ** - 画面の見た目や感触を変えること。自分だけのものにしてください。ロゴや背景をすべてのテーマで変え、スクリーンをオフィス環境に合わせるようにしましょう。
- **独自の特徴** - 市場にあるすべての会議室予約システムはその役割を果たしていますが、違いは革新的で独自の特徴にあり、Tigermeeting が競争の先端を発揮しています。
- **無料アップデート** - 製品が進化し、新機能が追加され、バグが修正される中で、すべての顧客は環境を最新製品リリースにアップグレードする資格があり、永続的なライセンスモデルが適用されます。つまり、生涯にわたる手間なくアップデートや製品サポートが続くことを意味します。
- **総所有コスト** - Tigermeeting の永続ライセンスモデルと価格戦略により、Tigermeeting スイートは市場で最もコスト効率の良い会議室ソリューションの一つとなり、最低の TCO を実現しました。



TigerMeeting 製品

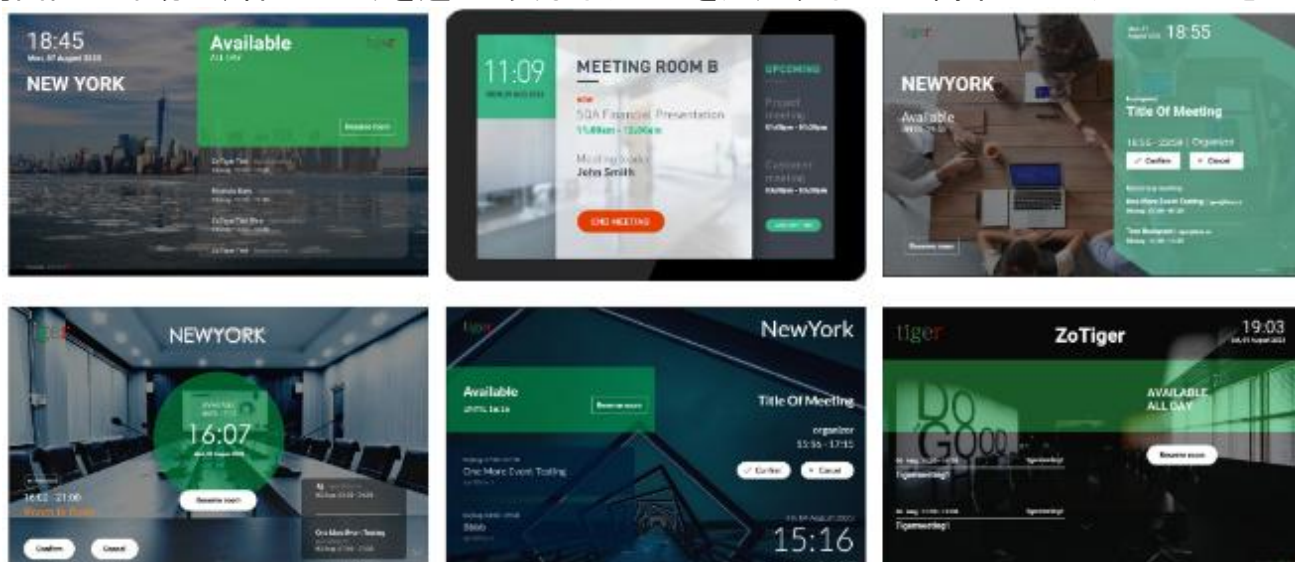
タイガーミーティング予約画面

この製品は、6 インチから 15 インチの画面サイズの Android デバイスで動作するよう設計されており、会議室、教室、会議ホールなどの前の壁に設置され、部屋名、進行中の会議状況、会議情報、今後の会議スケジュール、企業動画の再生、そして付随する企業のオンラインカレンダーと同期した直接の画面上会議予約機能を提供します。

同じ機器は、3～6 インチの画面サイズのマイクロデバイスに、オフィスデスクや学校のキャビネットに取り付けられ、リソースの利用状況を示し、画面上の予約機能を提供します。緊急時の火災報知器のように機能します。



予約画面の外観は、管理アプリを通じて異なるテーマを適用することで簡単にカスタマイズできます



タイガーミーティング概要画面

この製品は、会社全体の会議室の状況をリアルタイムかつ包括的に把握するよう設計されており、主に公共スペースに設置された巨大な Android オペレーティングシステム搭載のスクリーンで使用されます。

会議室の名前、スケジュール、状況を直感的なタイムラインで表示し、テレビ EPG に似ています。また、画面から温度、湿度、部屋の大きさ、部屋の相対的な位置(左、右、2 階など)も表示されます。

概要画面も独自の火災報知機能の一部です。



Tigermeeting 管理アプリ

Admin アプリはマルチプラットフォームのウェブベースの管理アプリケーションで、TigerMeeting のインフラ全体を簡単で直感的かつ効率的かつ安全な方法で設定、更新、管理します。このツールはトラブルシューティング、ネットワークバックアップ・リストアメンテナンス、ログ取得、外部 BI ツールにエクスポート可能な有用な分析データの提示にも使われます。

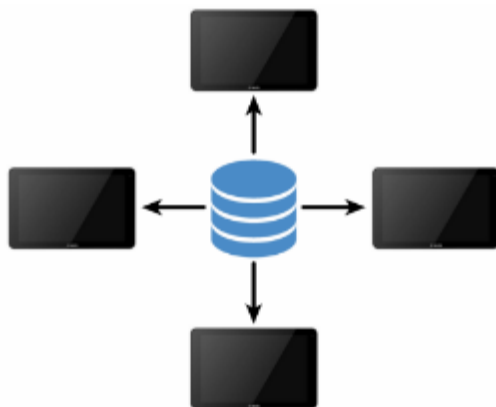
管理者アプリは、Windows、MacOS、Linux のオペレーティングシステム向けのインストーラーが提供されている、node.js プラットフォームに依存しないアプリケーションです。

この文書では、この製品について詳しく説明しています。

管理者アプリの目的は何ですか？

最高の稼働時間とセキュリティを確保するために、Tigermeeting アプリケーションの運用は分散データベースアーキテクチャと独自のハイウォーターマーク同期技術に基づいています。

つまり、すべてのデバイスが最新の情報を把握し、中央集権型のデータストアや外部クラウド環境、あるいは最終的なローカルダウンに依存せず、ユーザーに正しい情報を伝えることが可能となります。



...管理者アプリである中央管理コンソールでさえ、管理者のローカルコンピュータにデータを保存しません。代わりに、起動すると管理者アプリは分散データベースの有機的な一部となり、ローカルネットワークセグメントの予約画面と概要画面間で常に共有されます。

Admin アプリの機能は明確にするために、基本的には以下の通りです：

- ネットワーク上のデバイスを発見します
- デバイスの構成を取得します
- デバイスの設定を変更し、管理します
- 新しい構成をデバイスに押し戻します

デバイスは次の管理者設定セッションまで完全に独立して動作し続けます（そのセッションは将来的に行われるかもしれません）。

したがって、サーバー上で常に稼働している Admin アプリは不要であり、Admin アプリはステートレスです。情報を保存せず、外部クラウドサーバーも必要ありません。

Tigermeeting では、この技術が独立したモジュール型アプリケーションエコシステムにとって最良で自立的なソリューションであると信じています。

どうやって始めればいいのか?どこから始めればいいのか?

その旅は、デモライセンスの作成を依頼するか、ホームページから取得するか、メールで <https://tigermeeting.app/en/contact> に送信できる購入ライセンスの申請から始まります info@tigermeeting.app

進行するためには、タイガーミーティングには以下の情報が必要です。

- 会社名 — ライセンスを保有する主体
- 管理者ユーザー名 — メールコミュニケーションのパーソナライズ専用です。
- 管理者ユーザーのメールアドレス — 管理者アプリでの認証に使用されます

希望されたライセンスを持つ会社が作成されると、管理者ユーザーには Tigermeeting アプリケーションの使い方、やるべきこと、使い方に関する指示がメールで届きます。
このメールがまだ届いていない場合は、迷惑メールやプロモーションフォルダを必ずご確認ください。

指示が書かれた郵便物は、次のような例になります。



これは、あなたの会議体験を新たなレベルに引き上げる、御社のミーティング強化プロセスのご始まりです。

Tigermeeting ソリューションは、市場で最も先進的な会議室管理製品の一つです。

まずは、以下の簡単な手順に従ってください。

1. <https://tigermeeting.app/en/downloads> から**管理者アプリ**をダウンロードする
2. 管理者アプリケーションのインストールと起動(システムから求められた場合はファイアウォール経由でのネットワークアクセスを許可)
3. 以下の認証情報を使って Tigermeeting 管理者アプリにログインしてください。ご注意ください。ご注意ください。管理者アカウントはすでに作成されています。直接ログインできます。登録は不要です。あなたの会社固有のコードは、追加の管理者ユーザーの登録時に使用されますが、新規登録はライセンスプールを共有するため、この情報は機密にしてください。
4. Admin App 5 から Tigermeeting Android APK をダウンロード

してください。APK を Android デバイスにインストールしてください(USB、Bluetooth 転送などで)。または、Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store、ONE ストア、Xiaomi GetApps、その他の Android バージョン 5.0 以降のデバイス向けに利用可能であれば、デバイス上で利用可能です。
6. Android デバイスではモバイルネットワークを切り、Wi-Fi かイーサネットをオンにしてください。
7. Tigermeeting APK と Admin App の両方が同じネットワークセグメント上にある場合、デバイスは自動的に検出されます。
8. ライセンスをデバイス間で配布しましょう。
9. Tigermeeting 管理アプリを使ってカレンダー、テーマ、言語、デバイスの動作を設定できます

スムーズに始めるには、<https://tigermeeting.app/en/downloads> に公開されているマニュアルを読んでください

名前:{{first_name}}
苗字:{{last_name}}
メール:{{email}}
パスワード:{{password}}

ライセンスを共有したい場合や、他の管理者ユーザーに登録させたい場合は、
会社コード:{{code}}



スウェーデンの企業で、高級な会議管理やカレンダー製品を手頃な価格に提供しています。ご質問があれば、ぜひご連絡ください。

TigerMeeting のサポートは、会議室を一気に整えるのに役立ちます：
support@tigermeeting.app

それだけだ。

管理者は指示に従うだけです。

それ以上に複雑な話ではありません。

TigerMeeting は意図的に非常にシンプルで理解しやすく、ユーザーの視点から直感的に作られています。複雑で先進的な技術を使いやすい表面の裏に隠すことが、広く受け入れられるデザインと世界中で成功するビジネス戦略の鍵であることが証明されています。

確かに課題はありますが、このマニュアルの目的は、管理者ユーザーがほとんどの障害を簡単に技術的すぎず、人間らしい語り口で乗り越える案内をすることです。

Tigermeeting のカスタマーサポートも常に対応しており、会議室や教室を一新するお手伝いをいたします。

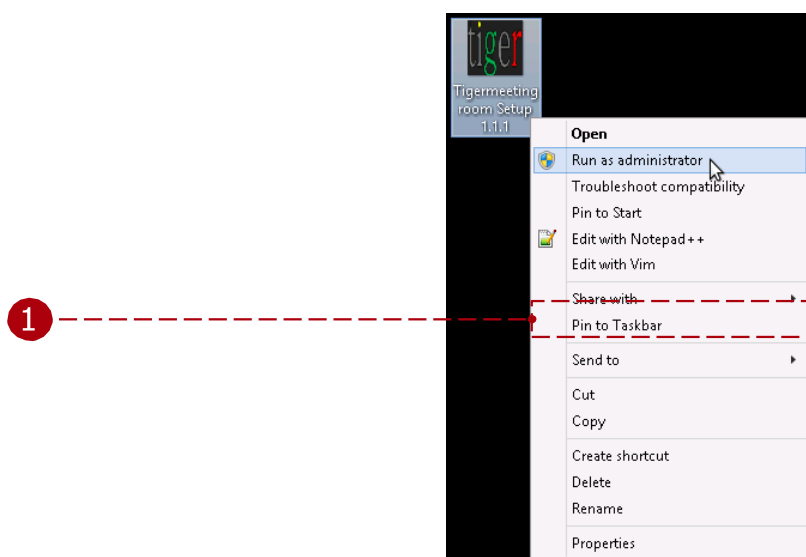
Tigermeeting Admin インストール

Tigermeeting 管理アプリケーションは、マルチプラットフォームのウェブベースの管理アプリケーションであり、Tigermeeting のインフラ全体を簡単に直感的かつ効率的かつ安全な方法で設定、更新、管理します。Windows、MacOS、Linux プラットフォーム向けのインストーラーが利用可能です。

Windows に Tigermeeting 管理者をインストールする

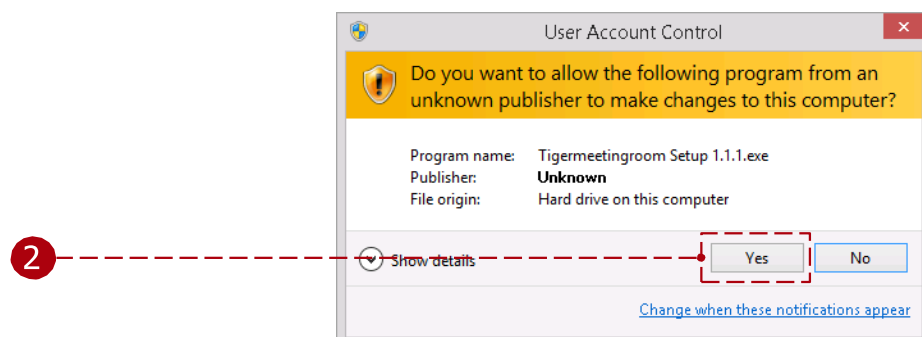
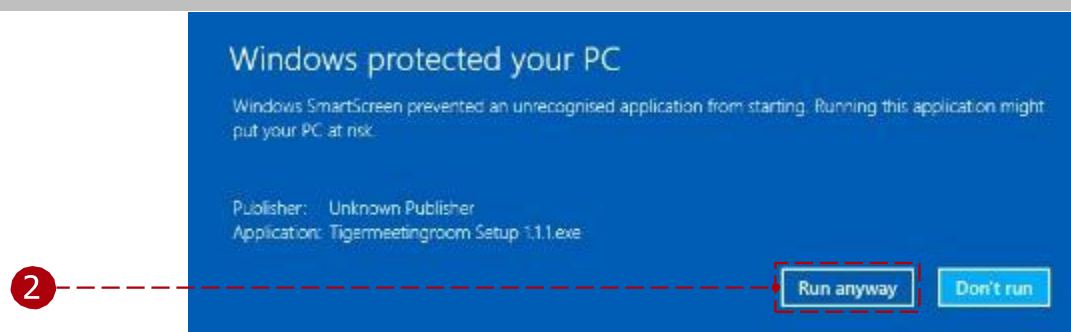
設置手順に従ってください:

- タイガーミーティングのウェブサイトへ
: <https://tigermeeting.app/en/downloads>
- Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードしてください。
- ① インストーラーを管理者として実行してください。

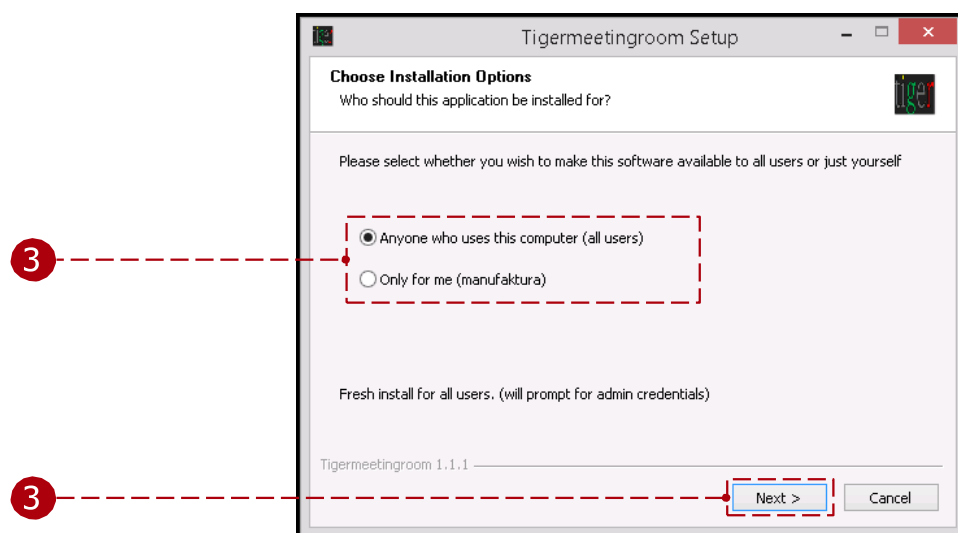


- ② Tigermeeting Admin は署名済みアプリケーションですが、もし拒否された場合は、認識されていないアプリケーションのインストールを許可してください。

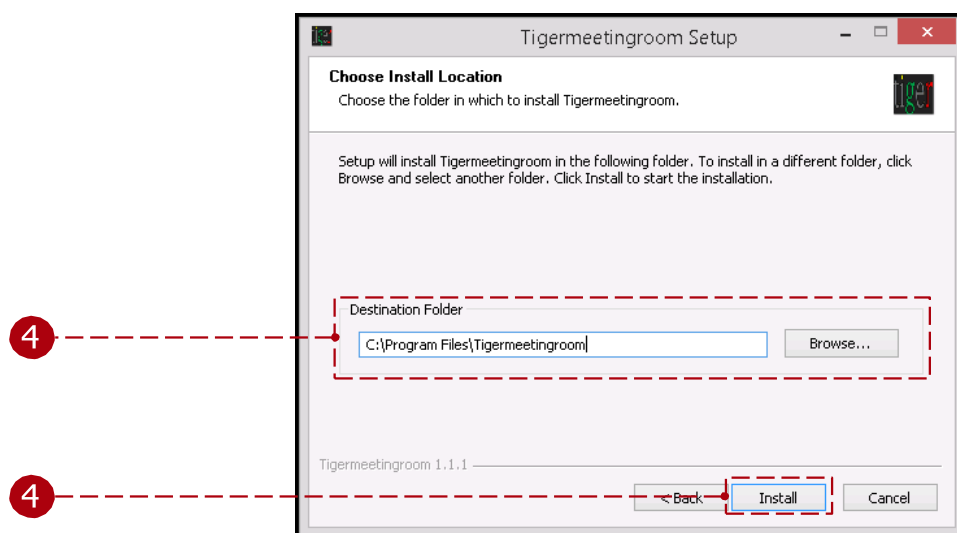




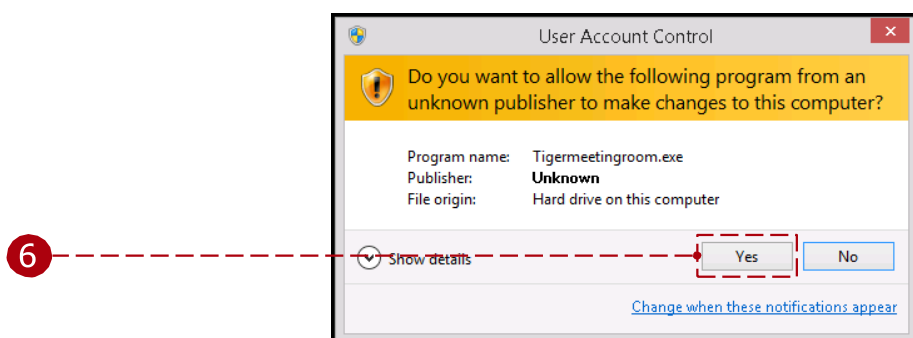
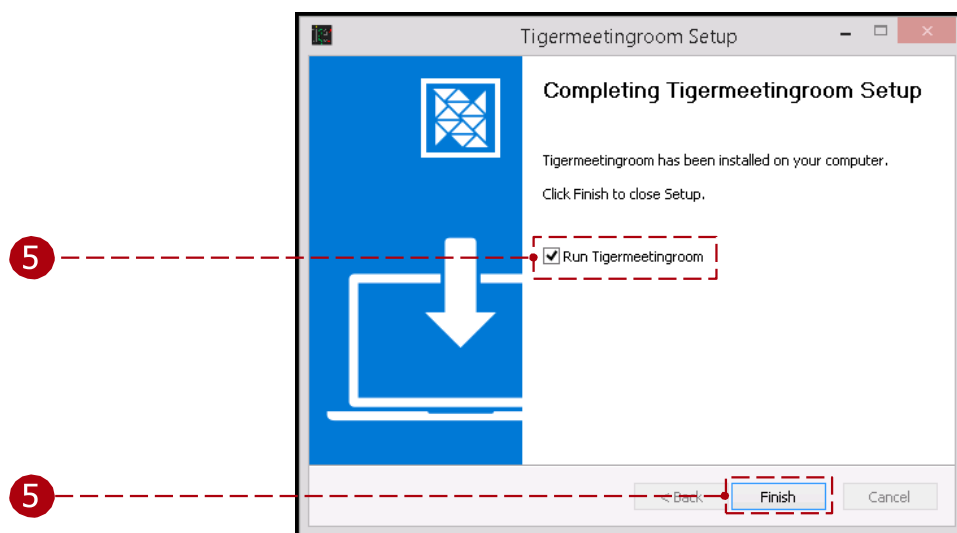
3 選択したユーザーでインストールを続け、「次へ」ボタンを押してください。



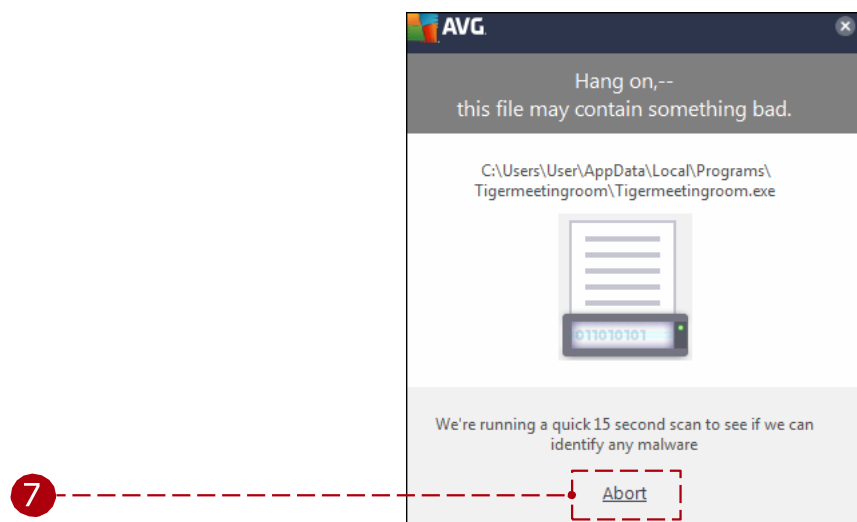
- 4 希望する設置場所を選択し、「インストール」ボタンを押します。



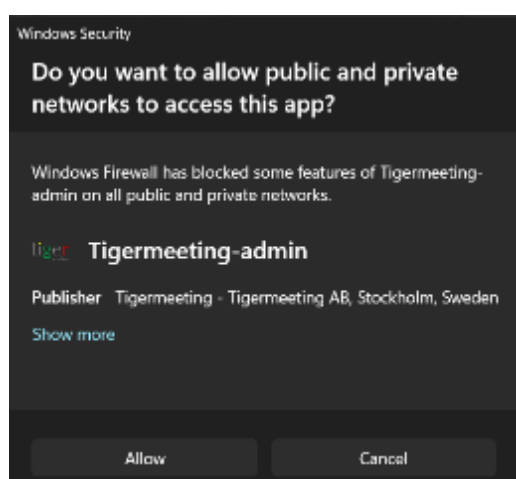
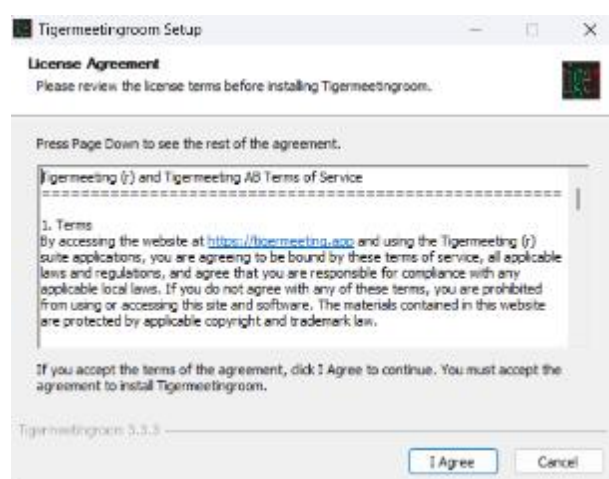
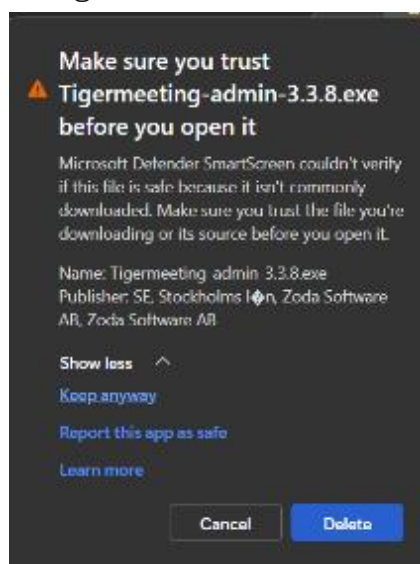
- 5 設置後に「ラン・タイガーミーティングルーム」を確認すると、Tigermeeting 管理者アプリケーションが開かれました。インストールウィザードを終えてください。出版社 6 を許可する Tigermeeting 管理アプリケーションでコンピューター上で 6 の変更を行ええと)



- 7 ウィルススキャンが終わるまで待つか、スキャンを中止してください。



注意:TigerMeeting は認証済みの証明書を持つ署名済みアプリケーションです。どうぞ、Tigermeeting AB の証明書を受け付けてください



ライセンス契約を読んで同意し、ネットワークへのアクセスを許可してください。

指導ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=sB8ea-VrYz8>

Linux での Tigermeeting 管理者のインストール

Tigermeeting Admin Application インストーラーは、Linux オペレーティングシステム向けに 3 つのフォーマットで提供されています。

- RPM - Redhat Package Manager – RedHat、Fedora、SuSE など用です。
- DEB – Debian ソフトウェアパッケージ – Debian、Ubuntu、Kali など向け
- AppImage - Linux 向けのポータブルソフトウェアパッケージで、アプリケーションと異なる Linux ディストリビューションで動作するために必要なすべての要素が含まれています。

RPM パッケージ

端末を開き、.rpm ファイルの場所へ移動します。

スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo rpm -ivh filename.rpm
```

デスクトップまたはコマンドラインからアプリケーションを起動してください：

```
$/usr/bin/tigermeetingroom
```

DEB パッケージ

端末を開き、.deb ファイルの場所へ移動します。

スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo DPKG -i package_file.deb
```

デスクトップまたはコマンドラインからアプリケーションを起動してください：

```
$/usr/bin/tigermeetingroom
```

AppImage ファイル

ターミナルを開き、AppImage ファイルの場所をナビゲートします。

appImage ファイルを `chmod +x ファイル名` コマンドで実行可能にしてください。

`./filename` コマンドで **AppImage 実行ファイル**を実行します。

注意:Tigermeeting 管理アプリはグラフィカルなアプリケーションです。

インストールはターミナルやコマンドラインから行うことができますが、実行には機能する X の Windows 環境が必要です。

BSD バリエーションに Tigermeeting 管理者をインストールする方法

Tigermeeting 管理アプリのような Node.js Electron アプリケーション向けの BSD 実行ファイルを構築することは公式にはサポートされていません。Electron Builder は主に Windows、macOS、Linux をサポートしており、FreeBSD やその他の BSD バリエーションは対象プラットフォームとしては記載されていません。

しかし、Linux 互換層を使って一部の BSD 環境で Tigermeeting 管理アプリを動かす回避策もあります。

FreeBSD には Linux 互換層があり、通常の Linux バイナリを実行できます。

NetBSD と Dragonfly BSD は Linux バイナリのサポートに非常に似たアプローチを採用しています。

Tigermeeting 管理アプリケーションの MacOS インストール

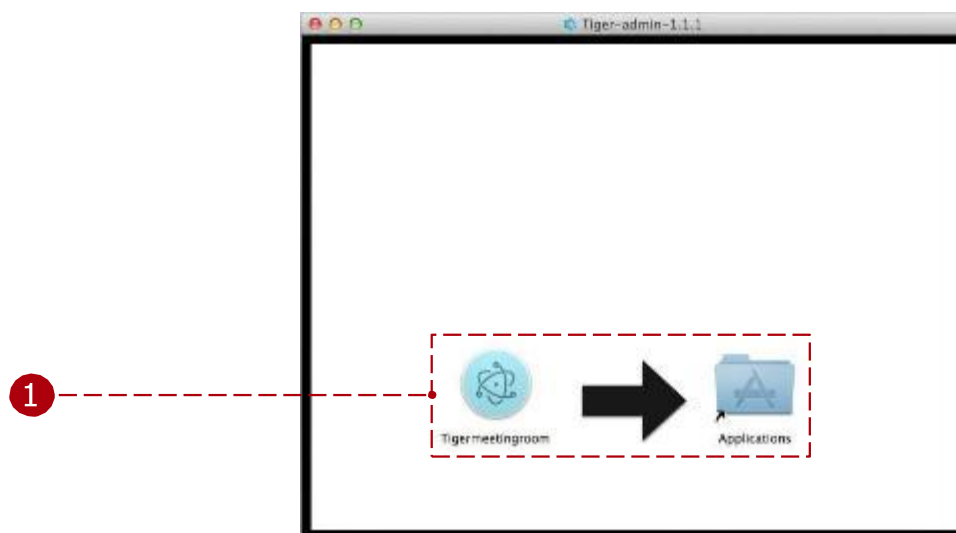
設置手順に従ってください:

タイガーミーティングのウェブサイトアクセスしてください

<https://tigermeeting.app/en/downloads>

Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードしてください。

- 1 インストーラーを実行し、検証後に「Tigermeetingroom」を「Applications」にドラッグ&ドロップします。



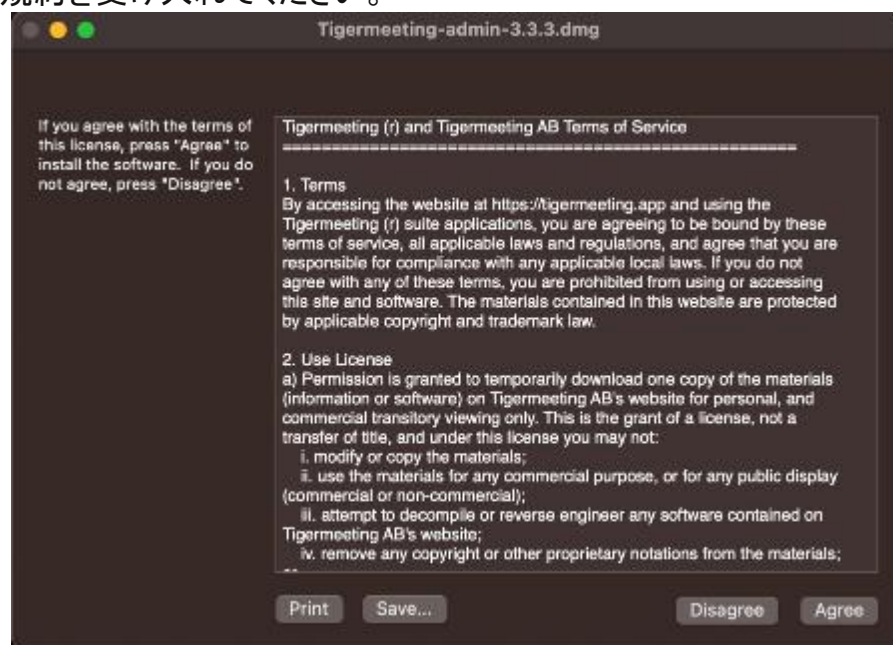
- 2 Tigermeeting 管理アプリケーションを実行してください。必要に応じてセキュリティ設定の変更も可能です(アプリケーションは Tigermeeting AB – 認証済み Apple 開発者)



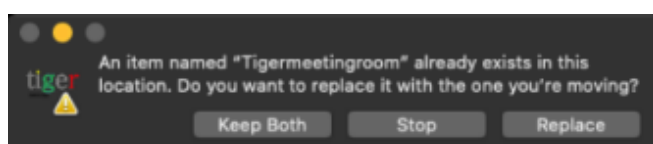
注意: インストーラーのスプラッシュイメージはリリース間で変更される場合があります。Tiger アイコンを Applications フォルダにドラッグして Admin アプリをインストールしてください。すでにアプリケーションが存在する場合(アップグレードの場合)は上書きすることが推奨されます。



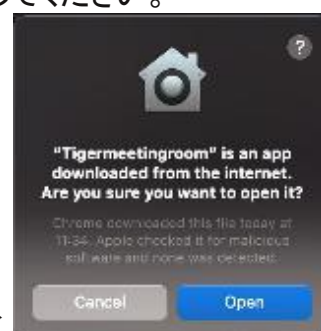
設置前に利用規約を受け入れてください。



もし古いバージョンがあれば、アプリケーションを交換してください。



アプリを開く

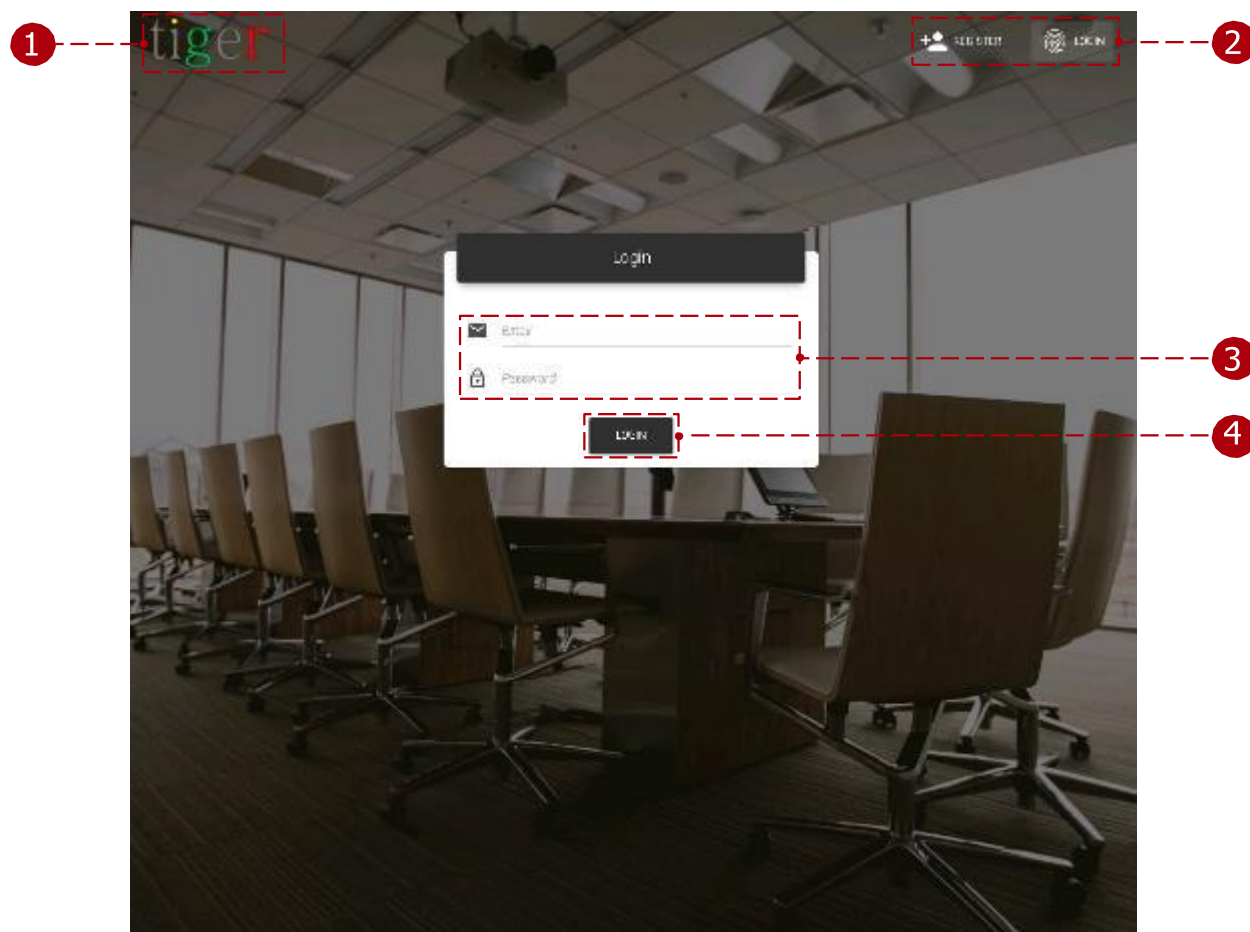


指導ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=MvmDbgB7dnk>

ユーザーログイン

Tigermeeting 管理アプリケーションは登録ユーザーのみが利用できます。ユーザーは正しいメールアドレスとパスワードでログインできます。



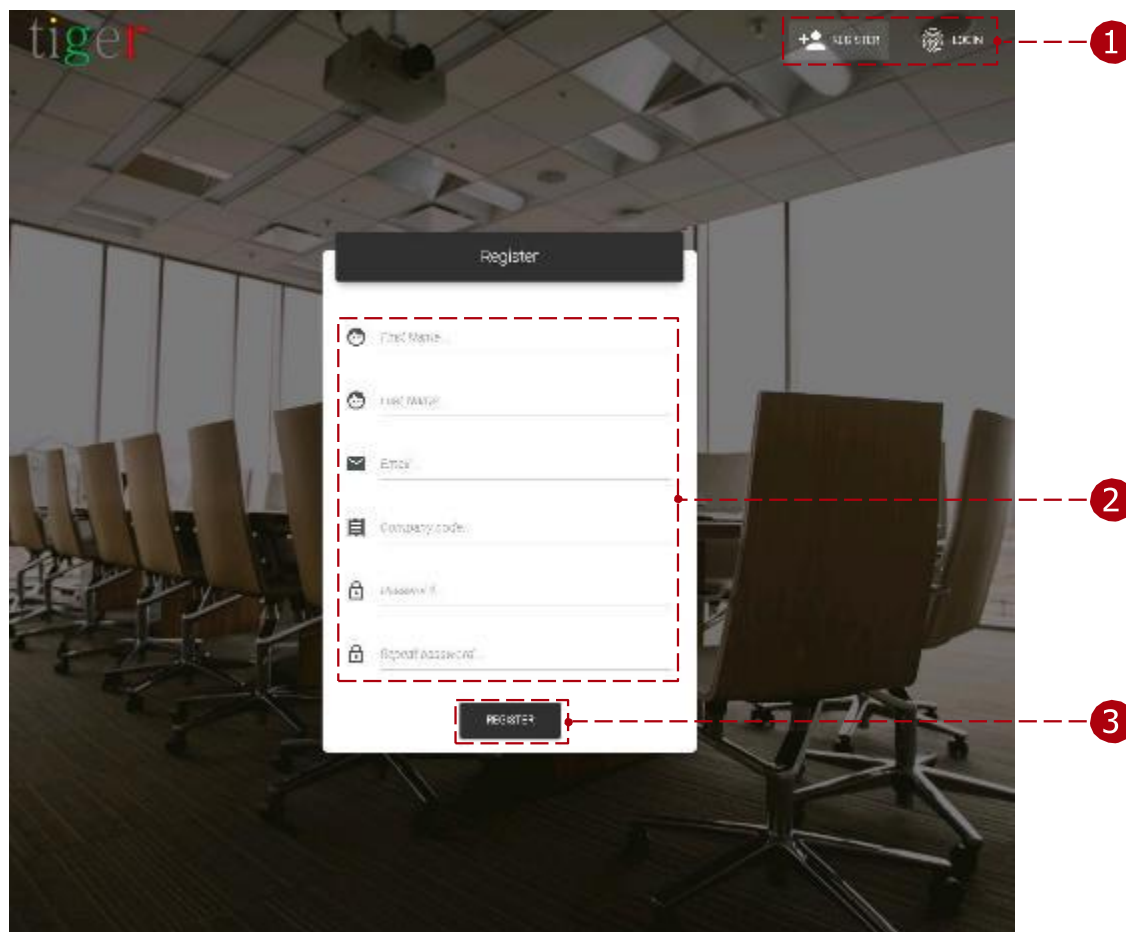
ログインフォームには主に 3 つの要素があります:

- ① ログ: いつ カチッ オン ログ、ブラウザ は 開業 および
<https://tigermeeting.app/> へリダイレクト
- ② ログインと登録: ユーザーログインと登録機能を切り替えます。メールアドレスとパス
- ③ ワード: Tigermeeting 管理アプリケーションは登録ユーザーのみが使用可能です。
- ④ システムにログイン: 有効なユーザー名とパスワードで手続きを進めることができます。

注意: 最初の管理者アカウントは Tigermeeting のカスタマーサービスによって作成され、認証情報は管理者にメールで送信されます。
登録は不要です。直接ログインしてください。

ユーザー登録

Tigermeeting の管理者登録は共有された「会社コード」で行えます。これにより、管理者ユーザー作成機能が既存の別の管理者ユーザーに置き換えられます。

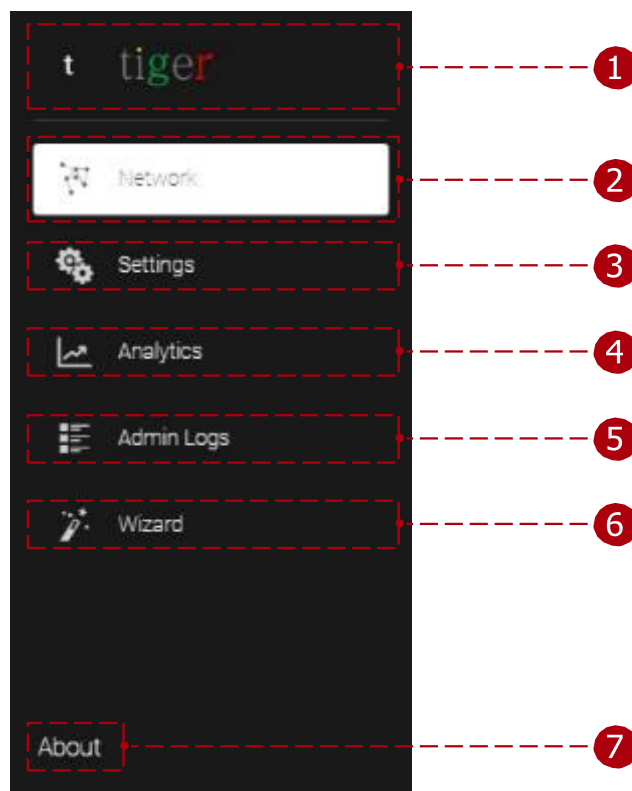


登録フォームには主に 3 つの要素があります:

- ① ログインと登録: ユーザーログインと登録機能を切り替えます。
- ② ユーザーパラメータ: すべての項目は必須で、登録を完了するために記入する必要があります。
 - 企業コード: 企業コードはデバイス間で配布可能なライセンスの数を決定します。会社のコードはメールで送信されます。
 - パスワード: ユーザーのパスワードは最低 8 文字を含めなければなりません。
- ③ レジスタ: すべてのフィールドに有効なデータが入力されると、レジストレーションが完了します。

注意: 追加の管理者ユーザーの登録時にあなたの固有の会社コードが使用されますが、新規登録はライセンスプールを共有するため、この情報は機密にしてください。

メニュー構成

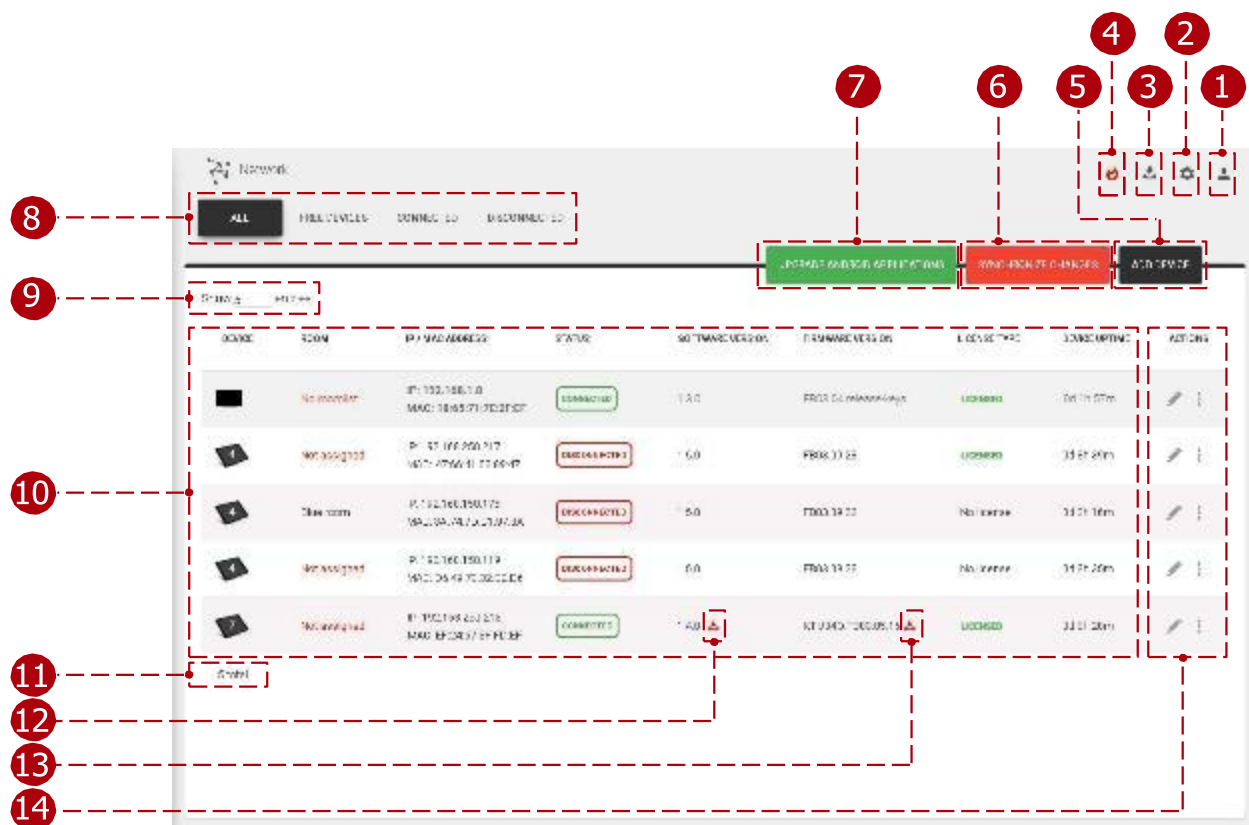


管理アプリケーションの主な機能は 3 つの主要なカテゴリに分類されています。

- ① **ロゴ**: ロゴをクリックするとブラウザが開かれ、<https://tigermeeting.app/> にリダイレクトされます
- ② **ネットワーク**: デバイスの状態を監視でき、パラメータも変更可能です。
- ③ **設定**: ライセンス、カレンダー添付、デタッチメント、ルーム管理、管理者ユーザー設定を変更可能です。
- ④ **アナリティクス**: デバイスの予約、デバイスの概要、管理者、企業の管理などにデバイス分析を読み込むことができます。
- ⑤ **管理者ログ**: ログイン、ログアウト、デバイス同期などのユーザーイベントが記録・表示されます。
 - ☐ **テーマ**: テーマ設定はすべてのデバイスでテーマおよび背景操作を可能にします
 - ☐ **ファイルストア**: 組織のファイルストア管理
- ⑥ **ウィザード**: ユーザーはステップバイステップのウィザードで導かれ、デバイスの設定をサポートします。(主に管理者アプリケーションを初めて使うときに使われます)
- ⑦ **概要**: Tigermeeting 管理アプリケーションに関する情報、プライバシーポリシー、利用規約、クッキーポリシー、オープンソースライセンス。

ネットワーク

ネットワークパネルでは、デバイスの状態を監視し、ルームやライセンスの添付、切断、その他の重要なパラメータを編集できます。ネットワークは常にデバイスをスキャンしています。



ネットワークの特徴:

- 1 ユーザー設定:
 - 現在ユーザー: ユーザーのメールアドレスに現在ログインしています。
 - ユーザー設定: 現在ログインしているユーザーのデータを開いて編集できます。(リダイレクト: 設定、管理者ユーザー、ユーザー編集)
 - ログアウト: セッションを終了し、Tigermeeting 管理者アプリケーションからログアウトします。ユーザーは 5 分間の非アクティブになると自動的にログアウトされます。
- 2 システム設定:
 - バージョン番号: Tigermeeting 管理者アプリケーションの現行バージョン。
 - デバイスロゴの設定: ロゴは Tigermeeting 管理アプリケーションにアップロードでき、同期後はアップロードされたロゴのサイズがリサイズされ、接続されたデバイスでは 300x130px フォーマットが使用されます。
 - 管理者ログをダウンロード: Tigermeeting 管理者アプリケーションのログをエクスポートしてください。エラートラッキングに使用。

ネットワークをリセットする: 管理者アプリケーションと接続されたすべてのデバイスをデフォルト設定にリセットします。カレンダー、部屋、部屋リストは、デバイス設定をデフォルトに戻した分離されたものになっています。(デバイスの予約、デバイス概要、管理アプリケーション)バックアップネットワーク: 予約のバックアップ、デバイスの概要(接続された部屋、デバイス設定など)、Tigermeeting 管理者アプリケーションの設定(オンラインカレンダー、部屋など)。ネットワーク設定をバックアップする方法は 2 つあります:

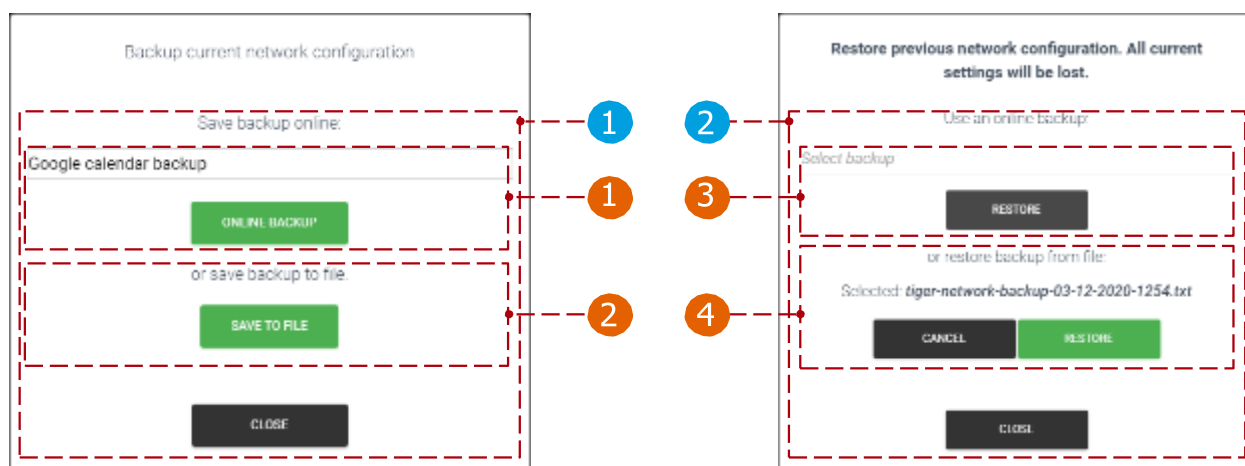
1

1 バックアップをオンライン

2

で保存してください。バックアップをファイルに保存してください。

- ② ネットワークを復元: 予約や概要デバイス(接続された部屋、デバイス設定など)、Tigermeeting 管理アプリケーション(オンラインカレンダー、部屋など)のバックアップ済み設定を復元します。
- ③ オンラインバックアップから復元してください。
- ④ 保存したバックアップファイルから復元してください。



- ③ Android アプリをダウンロード: Tigermeeting の Android アプリの APK ファイル (4+または 5+の Android 予約またはオーバービューデバイス)をダウンロードし、設定スクリプトを希望の目的地に交換してください。また、新しい管理者のアップデートもこちらからダウンロードできます。
- ④ 火災報知器: 火災報知器を作動させるには、「アクティベート」ボタンを 3 秒間押し続けます。起動(同期)後、すべての機器(予約画面と概要画面)が点滅し、火災報知器の音が流れます。



- ⑤ デバイス追加: Tigermeeting 管理アプリケーションで検出されていない IP アドレスのデバイスを追加します。デバイスが別のサブネットワークにいる場合に使用されます。
- ⑥ 変更の同期: デバイスのプロパティ(部屋、ライセンスの接続・解除、パラメータの変更(容量、部屋情報、開室時間など)が変更された場合、すべてのデバイスに同期しなければ効果が出ません。すべてのデバイスが切断されている場合、同期は許可されません。
- ⑦ デバイスを更新: 接続されたすべてのデバイスのソフトウェアバージョンを更新してください。
- ⑧ デバイスフィルター:
 - 全員: すべてのデバイスはフィルターなしでリストアップされています。
 - 無料デバイス: 部屋のないデバイスがリストアップされています。
 - 接続済み: ステータスが「接続済み」のデバイスが一覧表示されます。
 - 切断: 状態が「切断中」のデバイスが一覧表示されます。
- ⑨ デバイス数: 1 ページあたりに表示されるデバイス数。
- ⑩ 発見されたデバイス: ネットワーク上で検出されたすべてのデバイスが表示されます。

ネットワークは 30 秒ごとにスキャンされます。

- 数字(4)は Android オペレーティングシステムのバージョンを示します。

11 デバイス数: デバイスフィルターでフィルタリングされたデバイス数の総数。(全員、無料、接続済み、切断済み)

12 ソフトウェア更新: 選択したデバイスのソフトウェアバージョンを更新してください。

13 選択したデバイスのファームウェアを更新する: デバイスのファームウェアを更新する。ファームウェアの更新時にデバイスの電源を切らないでください。

14 行動:

- デバイスプロパティ: 選択したデバイスのプロパティを編集します。
- デバイスを再起動: 選択したデバイスを再起動します。
- ダウンロードログ: デバイスをエクスポートして .json にログインしてください。json ファイル。デバイスが接続されているときだけ表示されます。エラートラッキングに使用。
- スクリーンショットを見る: デバイスからスクリーンショットが撮られています。
- デバイス削除: 管理者アプリケーションから切断されたデバイスを削除します。デバイスが切断されたときだけ表示されます。
- メンテナンスモード: デバイスをメンテナンスモードに設定します。
- コマンドを投稿: ベンダー固有の API メッセージをデバイスに送信します。

Tigermeeting はデバイスに依存せず、特に広く知られているブランドの Android デバイスをサポートすることを目指しているため、ネットワークリストに異なる画面アイコンが表示され、異なるデバイスブランドをグループ化し簡単に識別するのに役立ちます。

デバイスアイコンの例:

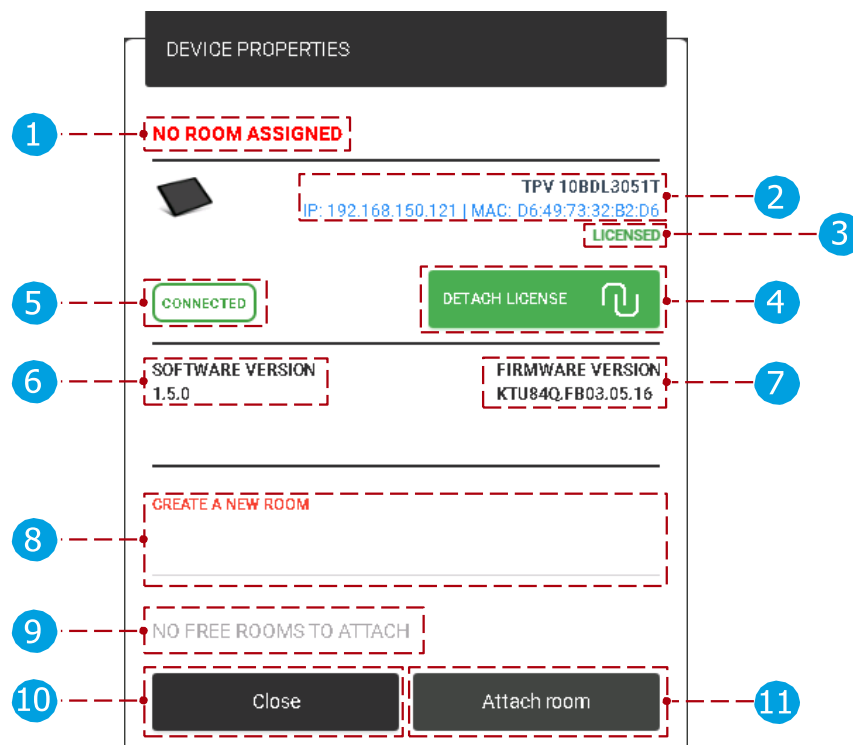


アイコンの上にマウスポインターを合わせると、デバイスのモデルが表示されます。



注: TigerMeeting 管理者はデバイスの設定時にネットワークビューで管理時間をほとんど費やすため、Tigermeeting はこの機能の改善とカスタマイズに非常に熱心です。お客様のご提案を心より歓迎します。

予約機器のプロパティ:部屋の接続前



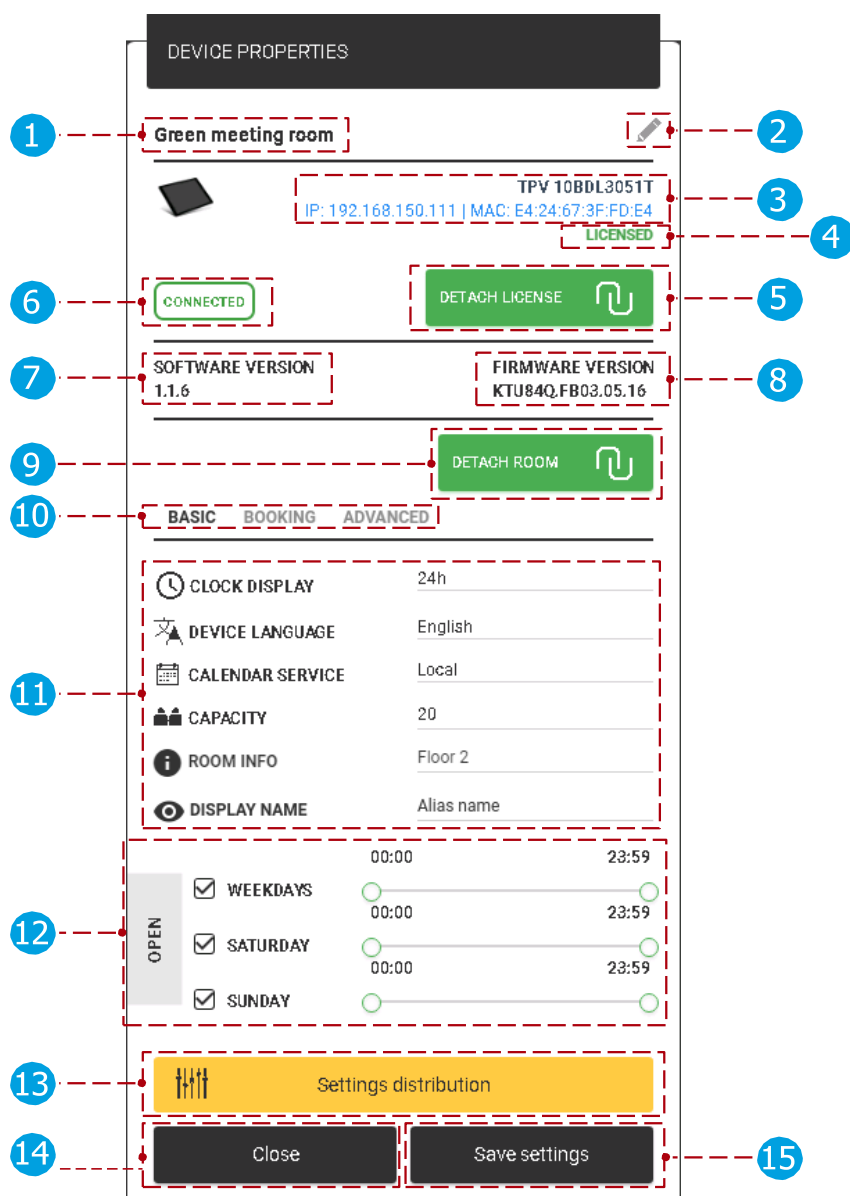
デバイス特性:

- ① デバイスの部屋:現在接続されている部屋の名前。
- ② 予約デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます
- ③ 。ライセンス状態:選択したデバイスに付与されたライセンスの種類。(ライセンスなしまたはライセンス付き(ブッキングスクリーンライセンスのみが付属可能))
- ④ 免許を切り離す:現在の免許を切り離してください。分離後、選択したデバイスは「免許なし」に戻されます。分離免許証は再度添付可能です。
- ⑤ デバイスステータス:選択したデバイスのステータス。(接続または切断)
- ⑥ ソフトウェアバージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- ⑦ ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。新しい部屋を作成:デバイスにライセンスがない場合、選択したデバイス
- ⑧ に部屋を接続することはできません。新しい部屋の名前がアタッチメント()の後に追加されると、その部屋が作成され、選択したデバイスに取り付けられます。
- ⑨ アタッチャブルルームリスト:以前に作成された部屋があれば、リストから選択して選択したデバイスに取り付けることができます。
- ⑩ クローズ:アクションをキャンセルし、すべてのパラメータが前の状態にリセット
- ⑪ されます。部屋を接続:部屋を選択したデバイスに接続します。

予約機器の特性:部屋の取り付け後

デバイスのプロパティは、基本プロパティ、ブッキングプロパティ、アドバンスプロパティに分けられます。

基本特性



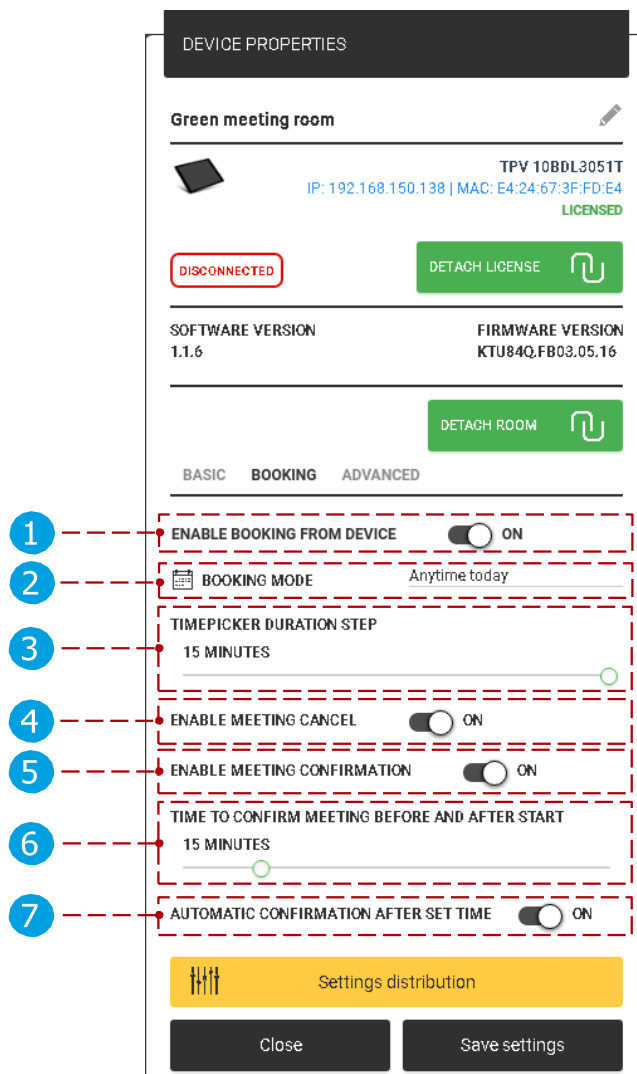
基本特性:

- 1 デバイスの部屋:現在接続されている部屋の名前。
「設定」メニュー、「部屋」タブ、「部屋のプロパティ編集」、「表示名」に部屋のエイリアスが追加されていない場合、元の部屋名が表示されます。別名が追加されると、元の名前の代わりに表示されます。
- 2 添付の部屋名を編集:添付された部屋の名前は編集可能です。設定を保存すると名前が変更されます。部屋名は Local、iCalendar、Google カレンダーが接続されている場合にのみ編集可能です。インポートした部屋の名前は、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace、Lark/Feishu)ではオンラインカレンダーの管理パネルでのみ編集できません。
- 3 デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。
- 4

ライセンス状態:選択したデバイスに現在付与されているライセンスの種類。(ライセンスなしまたはライセンス付き(ブッキングスクリーンライセンスのみが付属可能))

- 5 免許を切り離す:現在の免許を切り離してください。分離後、選択したデバイスは「免許なし」に戻されます。デタッチドライセンスは再度添付可能です
- 6 デバイスステータス:選択したデバイスのステータス。(接続または切断)ソフトウェアバージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- 7 ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- 8 部屋を切り離す:現在接続されている部屋を選択したデバイスから切り離す。部屋が分離されると、同期後はデフォルトの「会議室」が使用されます。
- 9 基本、予約、高度なプロパティ:選択すると、基本、予約、高度なパラメータが表示されます。
- 10 基本パラメータ:
 - クロック表示:デバイスのクロック表示を変更する。(24 時間または 12 時間形式)。
 - デバイス言語:デバイス上のテキストは選択した言語で表示されます。デフォルトの言語は英語です。
 - カレンダーサービス:ローカルでも、付随するオンラインカレンダーでも構いません。オンラインカレンダーが接続されている場合、デバイスはオンラインルームのみを利用できます。オンラインカレンダーが接続されていない場合は、地元の部屋のみを利用できます。
 - 収容人数:付属部屋の収容人数。
 - 部屋情報:部屋情報は端末の「利用可能な部屋」欄に表示されます。詳細は「設定、部屋タブ」にあります。
 - 表示名:Alias が使用され、部屋名として表示されます。追加されない場合は、部屋の元の名前が使われます。
- 12 オープンタイム:
 - 日:デバイスは選ばれた日の予約を行います。
 - 時間:デバイスは設定された時間の間に予約を取ります。
- 13 設定の分布:
 - すべてのデバイスに設定:チェックしたパラメータはすべてのデバイスに保存されます。
- 14 クローズ:アクションをキャンセルし、すべてのパラメータが前の状態にリセットされます。
- 15 セーブ設定:デバイスのパラメータを保存し、ダイアログを閉じます。

物件の予約

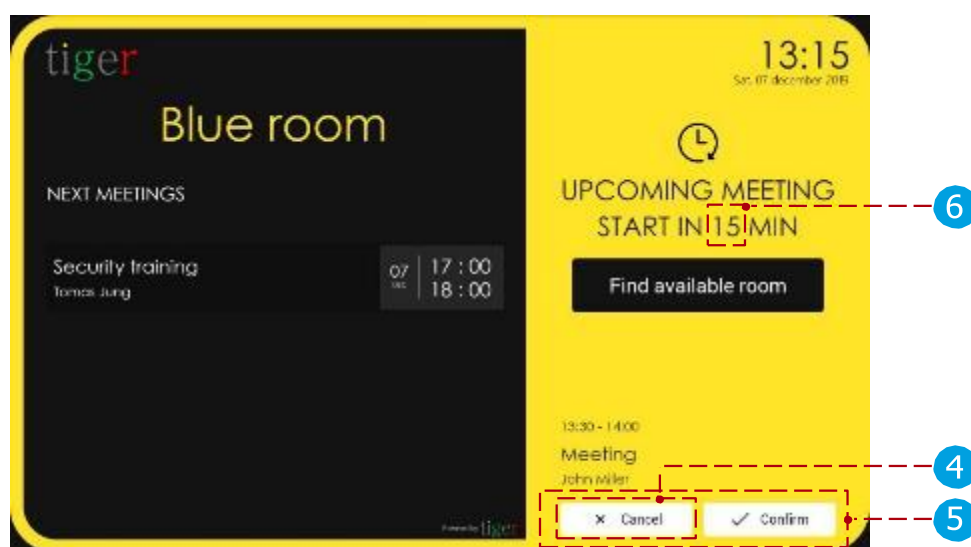


物件の予約:

- ① デバイスから予約を有効にする:パブリックスペースモード。オンにすれば、デバイスから会議を予約できます。それ以外のデバイスでは予約ができません。(オンラインカレンダーが添付されている場合のみ)
- ② 予約モード:3つの予約モードが利用可能です。
- ③ 時間選択時間ステップ:会議予約のデフォルト時間。タイムピッカーは設定値に合わせてキャリブレーションされます。(5分、10分、15分、20分の時間が選べます)
- ④ 会議キャンセルを有効にする:有効化すると、会議が近づいているときに「キャンセル」ボタンが表示され、無効にすると「キャンセル」ボタンは表示されません。
- ⑤ 会議確認を有効にする:会議開始前に、次の会議の確認が表示されます。会合が承認されれば承認されます。キャンセルされると、次の会議は削除されます。電源を切ると確認ボタンが表示されず、設定された時間後に会議が確認されます。
(会議開始前後の確認時間())
- ⑥ 会議開始前後の確認時間:表示されるコントロール確認は、会議開始時間の前後に表示されます。
- ⑦ 自動確認時間:確認会議の時間が終了した時(定義)
点ごとに ⑥ 今後の会合が確定した、または現在の会合が確定した

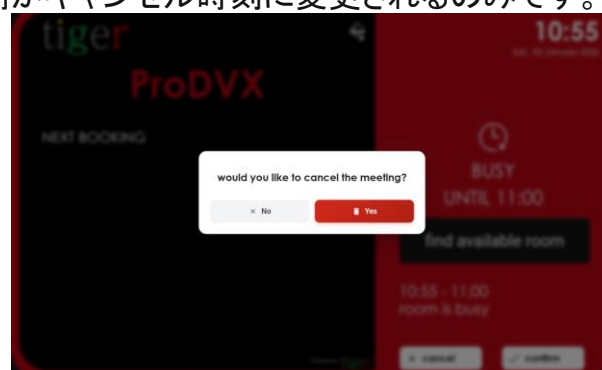
自動的に。「会議確認を有効にする」がオフになっている場合、このオプションは表示されていません。

Android デバイスで:



- 5 オンラインカレンダーが添付されている場合、デバイス上の会議を確認する:会議が確定されていて開始されていない場合:
会議はキャンセル可能で、その会議は付属部屋のカレンダーから削除されます。
会議が確定し、会議が始まった場合:
会議はキャンセル可能で、会議は付属のカレンダールームからは削除されません。会議終了時間がキャンセル時刻に変更されるのみです。

特定のデバイスでキャンセル確認を設定できる場合があります。



2 デバイスの予約モード:

① この瞬間から:会議は現在の時間から予約可能で、今日のみ可能です。

12.10.2019

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

② 今日いつでも:会議は当日のいつでも予約可能です。

12.10.2019

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

③ いつでも:面談はいつでも、いつでも予約可能です。

< 12.10.2019 >

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

④ 予約タイプはタイムピッカーの下部に表示されます。キャンセル:キャンセルしてメイン画面に戻る。

⑤
⑥ 今すぐ予約:選んだ部屋に会議を確認。



高度な性質



高度な特性:

- ① デバイスのタイムゾーン: 選択したデバイスの時間は選択したタイムゾーンに設定され、デバイス上で予約された会議も同様に設定されます。
- ② 会議タイトル表示: オンにすると会議タイトルが表示されます(タイトルがなければ「Room busy」というテキストに置き換えられます)、オフにすると会議タイトルが「Room busy(話し中)」というテキストに置き換えられます。
- ③ 今後の会議を表示する: 会議までの時間を「近日」として表示します。(例えば、20分に設定されていて、会議が 14:00 に始まる場合、13:40 に「次回」と表示されます)
- ④ ビデオプレーヤーを有効にする: 有効にすると、追加のビデオ設定を設定できます。(会議が今後のビデオ再生として表示されると一時停止)
 - ⑤ ビデオプレーヤーのタイムアウト: 設定されたタイムアウト後にデバイス上でビデオが再生されます。動画 URL: 動画へのリンク。
 - ⑥ ビデオ要件: ファイル形式: MP4、最大サイズ: 200MB、解像度: 720p
 - ⑦ テスト動画: ボタンを押すと、管理アプリケーションのポップアップウィンドウで動画が表示されます。これはテスト目的です。

サンプルビデオ:

<https://tigermeeting.app/uploads/videos/Tiger-Full-HD-Animation.mp4>

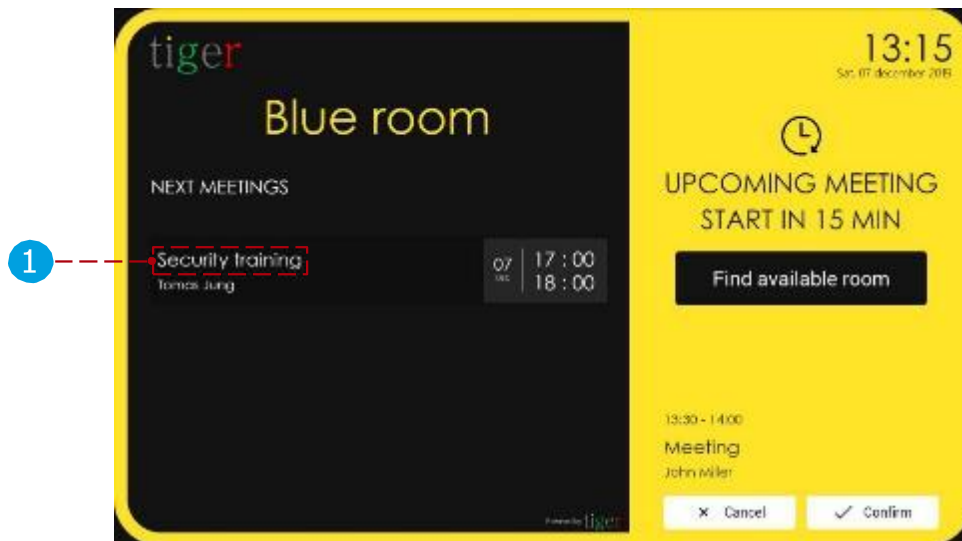
注: Tigermeeting は Android バージョン 5 から最新までをサポートしていますが、Android デバイ

スのローカルファイルへのアクセス権はバージョン間で大幅に変更されています。タイムアウト期間終了後に動画が始まらない場合は、メディアファイルやストレージアクセスがアプリケーションに許可されているか確認してください。詳細については Android のセットアップマニュアルをお読みください。

注意:ビデオのフォームファクターと解像度は画面の機能や向きに合わせて調整する必要があります。画面が縦方向のテーマであれば、縦向きの動画よりも縦向きの動画より合いやすく、逆もまた然りです。

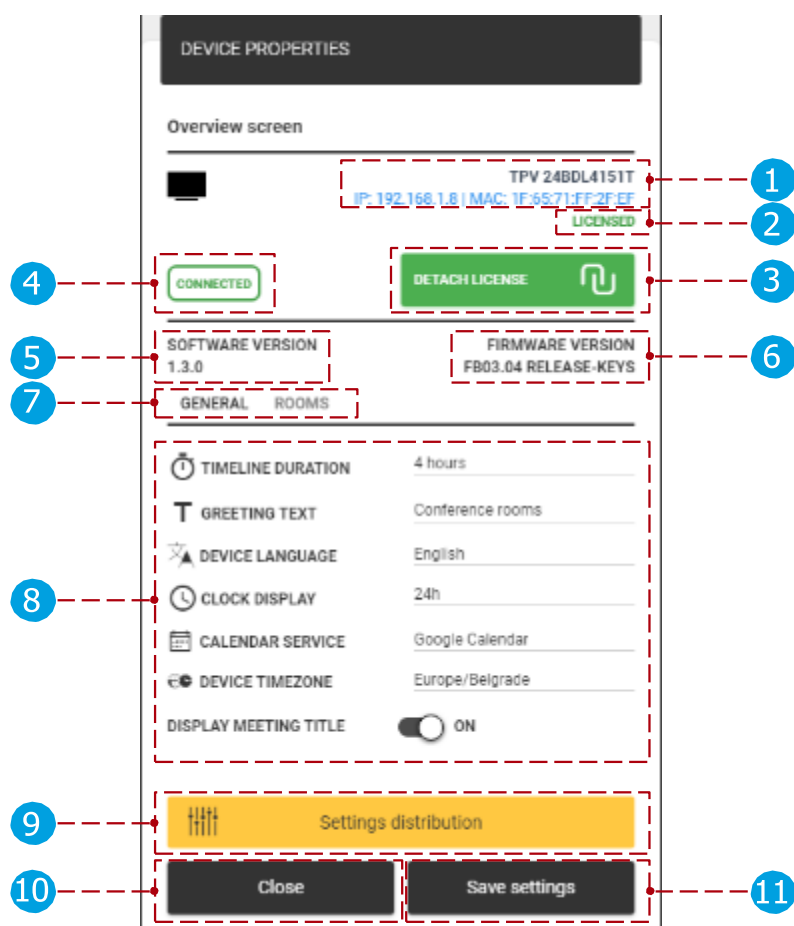
Android デバイスでは、次の会議の詳細はリクエスト通り「高度なプロパティ」に表示されます。

注意:非公開に設定された会議では、会議名は表示されません:



概要画面のプロパティ

一般的性質



一般的な性質:

- ① 概要画面 デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。
- ② ライセンス状態:選択したデバイスに現在付与されているライセンスの種類。(ライセンスなしまたはライセンスあり(概要画面ライセンスのみが付属可能))
- ③ 免許を切り離す:現在の免許を切り離してください。分離後、選択したデバイスは「免許なし」に戻されます。分離免許証は再度添付可能です。
- ④ デバイスステータス:選択したデバイスのステータス。(接続または切断)ソフトウェアバージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- ⑤ ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- ⑦ 一般設定と部屋設定:選択すると、一般または部屋のパラメータが表示されます。
- ⑧ 一般的なパラメータ:
 - ① タイムラインの長さ:タイムラインは 4 時間または 8 時間のセクションで表示できます。(例えば、4 時間に設定されている場合、タイムラインは 09:00 から 13:00 まで表示されます)
 - ② 挨拶テキスト:タイムラインの上部にある挨拶テキスト。
 - デバイス言語:デバイス上のテキストは選択した言語で表示されます。デフォルトの言語は英語です。
 - クロック表示:デバイスのクロック表示を変更する。(24 時間または 12 時間形式)。

- カレンダーサービス:ローカルでも、付随するオンラインカレンダーでも構いません
- カレンダーが添付されている場合、「部屋」設定は()となります。表示
- オンラインカレンダーが接続されていない場合は、地元の部屋のみが利用できます。
- デバイスタイムゾーン:概要画面 デバイスの時間は選択したタイムゾーンに設定され、会議予約も同様に設定されます。
- 会議タイトル表示:オンにすると会議タイトルが表示されます(タイトルがなければ「Room busy」というテキストに置き換えられます)、オフにすると会議タイトルが「Room busy(話し中)」というテキストに置き換えられます。

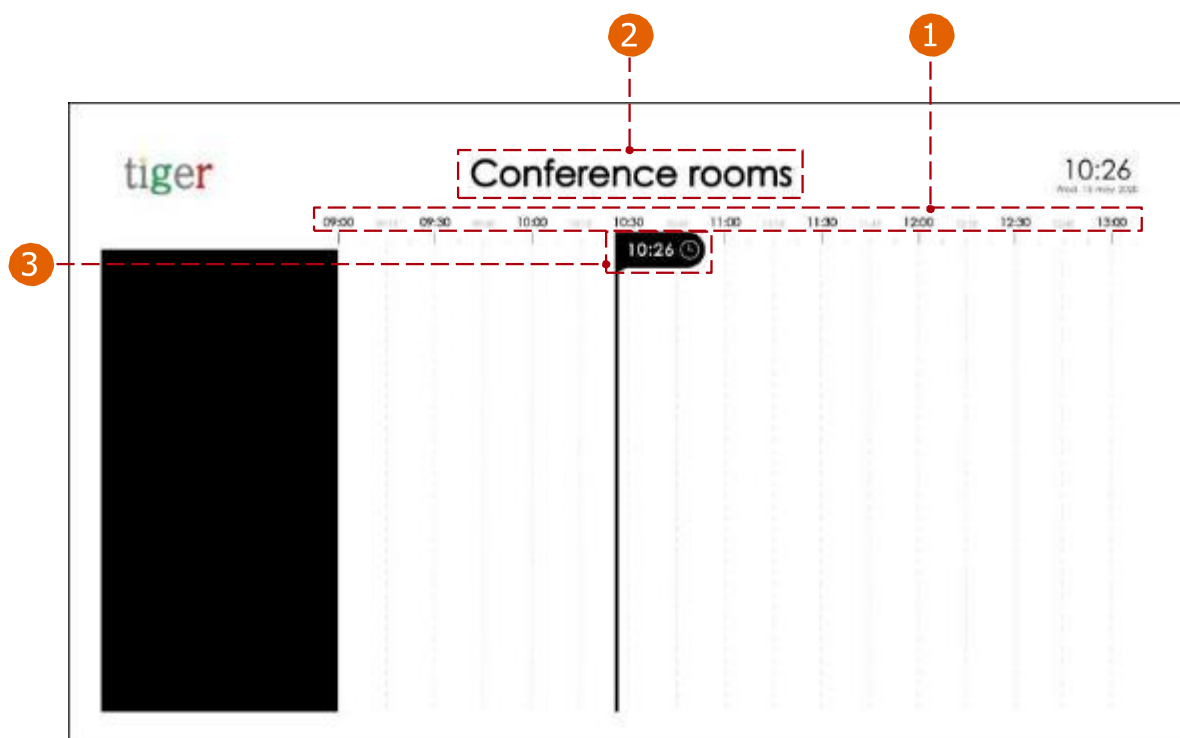
9 設定の分布:

すべてのデバイスに設定:チェックしたパラメータはすべてのデバイスに保存されます。

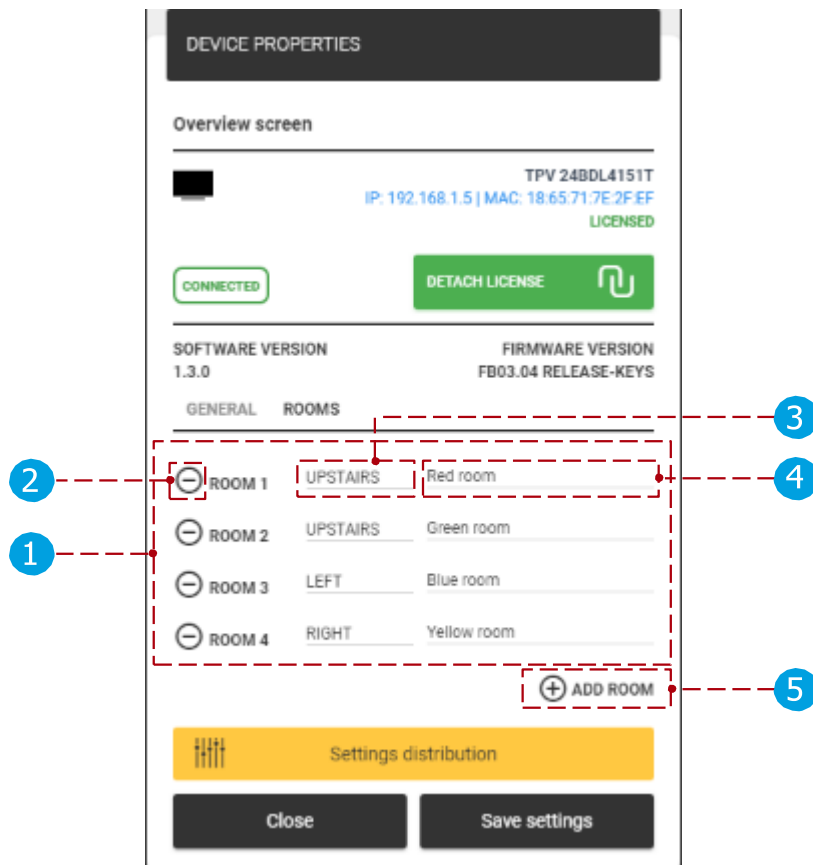
10 クローズ:アクションをキャンセルし、すべてのパラメータが前の状態にリセット

11 されます。セーブ設定:デバイスのパラメータを保存し、ダイアログを閉じます。

概要画面では:



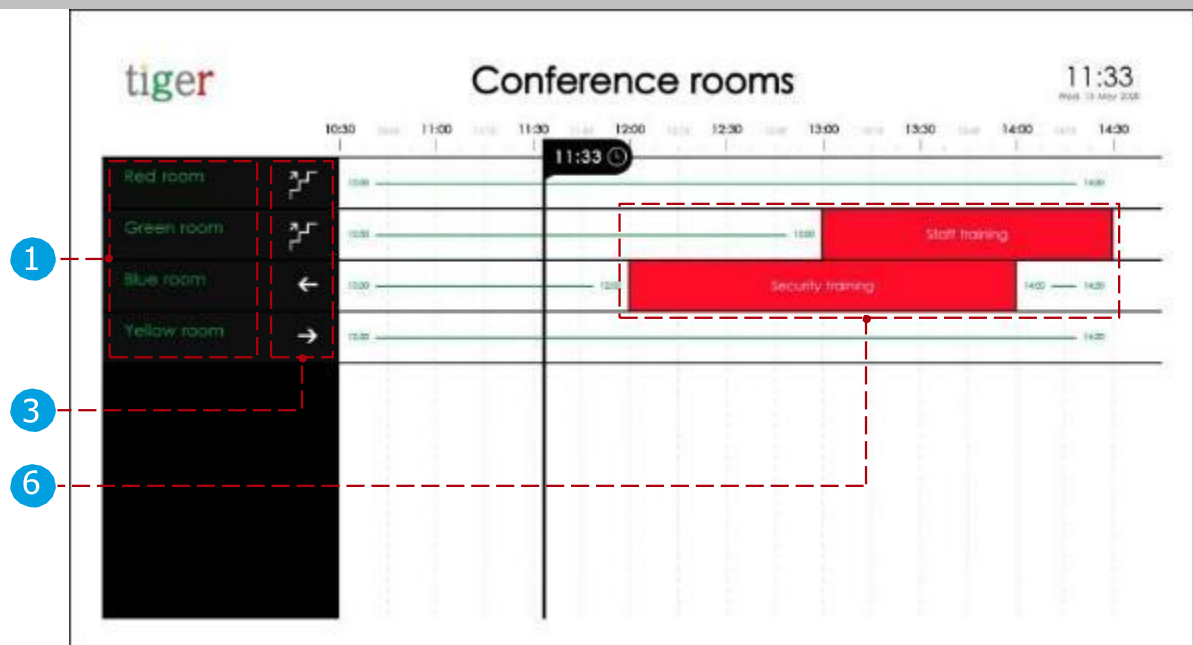
部屋の特徴



部屋の特徴:

- ① 部屋リスト:概要画面デバイスに取り付けられた部屋が一覧です。部屋を削除する:選択した部屋は部屋リストから削除されます。
- ② 位置情報:デバイスの位置情報アイコン(📍、📍 ← →)(上階、下階、左、右)があります。
- ③ 部屋:以前に作成された部屋(ローカルまたは付随するオンラインカレンダー)は部屋リストに添付できます。
- ④ 部屋を追加する:リストに新しい部屋を追加します。
一つの概要画面でリストに追加できる部屋の数には限りがあります。1 ページあたり 10 部屋という制限は、情報を提供しつつも詰め込まれないように設定されています。
部屋リストはオーバービューデバイス専用であるため、方向は常にオフィス内のオーバービュー画面の物理的な位置と相対的に設定されます。

概要画面では:



- ⑥ 会議リストが表示されます。「会議タイトル表示」をオンにすると会議タイトルが表示され、オフにすると「ルームビジー」が会議タイトルとして表示されます。

概要画面ページ

概要画面(クラシックビュー)は、1 ページあたり 10 部屋を表示することができます。10 部屋以上追加された場合、画面は自動的にページを割り当て、最初の 10 部屋を最初のページに、残りを他のページに表示します。リストで選ばれた順序は保持されます。

ページング間隔は 10 秒から 1 分まで選択でき、デフォルトは 15 秒です。

ENABLE OVERVIEW MAP ☐ OFF

OVERVIEW PAGINATION INTERVAL

15 SECONDS

ENABLE VIDEO PLAYER ☐ OFF

注意: ページ化間隔の選択は理にかなっており、概要マップモードが無効になっている間だけ有効です。

Tigermeeting 管理アプリから Android APK をダウンロードしてください

Tigermeeting Android APK は、予約画面と概要画面の両方で Android 4.1 以降のほとんどのタブレット、スマートフォン、テレビデバイスに対応しています。

APK は管理者アプリからダウンロード可能です:

- Android 4.1 デバイス(4.x)をサポートする APK(4.x)
- Android 5.0 から最新の Android バージョン(5+)までのデバイスをサポートする APK

Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store のリリースは、管理者アプリの Android 5+バージョン APK と同一です。

デバイスにインストールするには、アイコンをクリックして対応する QR コードをスキャンしてください。



Tigermeeting は中国およびインドのデバイスメーカー向けの主要なアプリマーケットやスマートフォン・タブレットのアプリストアで認知・認証を受けています。

そのため、OPPO 開発者の間で受け入れられている Tigermeeting アプリは、OPPO ストアのユーザー向けに多くの極東諸国で利用可能で、ダウンロードやアップグレード機能を提供しています。



同様に、TigerMeeting が VIVO 開発者コミュニティのメンバーであり、香港、台湾、中国省、オーストラリア、バングラデシュ、インド、ネパール、スリランカ、ミャンマー、インドネシア、カンボジア、ラオス人民民主共和国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムなどで、世界中の VIVO

端末およびタブレットで特別許可を得て承認されています。ウクライナ、パキスタン、サウジアラビア、ロシア連邦、アラブ首長国連邦、そしてその他 175 か国で。

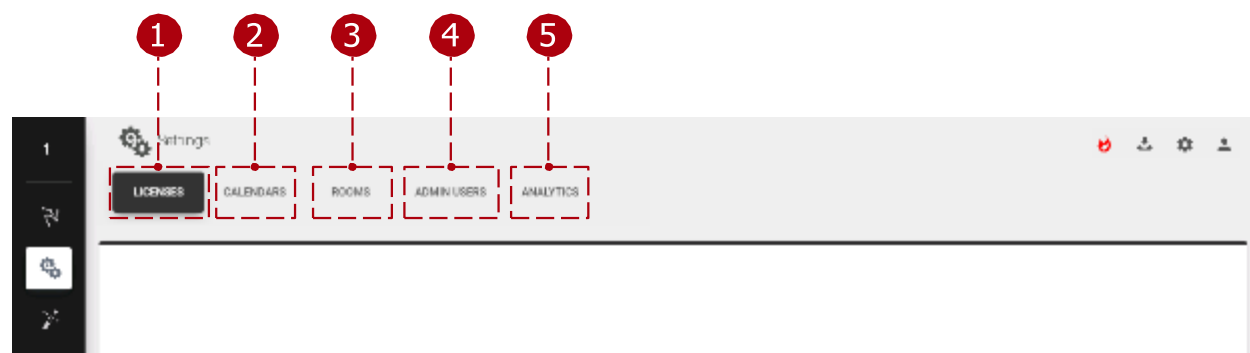


Tigermeeting は Xiaomi の公式 GetApps 市場で入手可能な Xiaomi デバイスでも認識・承認されており、Transsion Palmstore でも Dlightek Developer として利用されています。

Android の APK インストールは Android セットアップマニュアルで詳しく説明されています。
注意: 緑色のデフォルトテーマが表示された時点でデバイスは完全に動作します。

舞台設定

舞台設定は 5 つのセクションに分かれています。

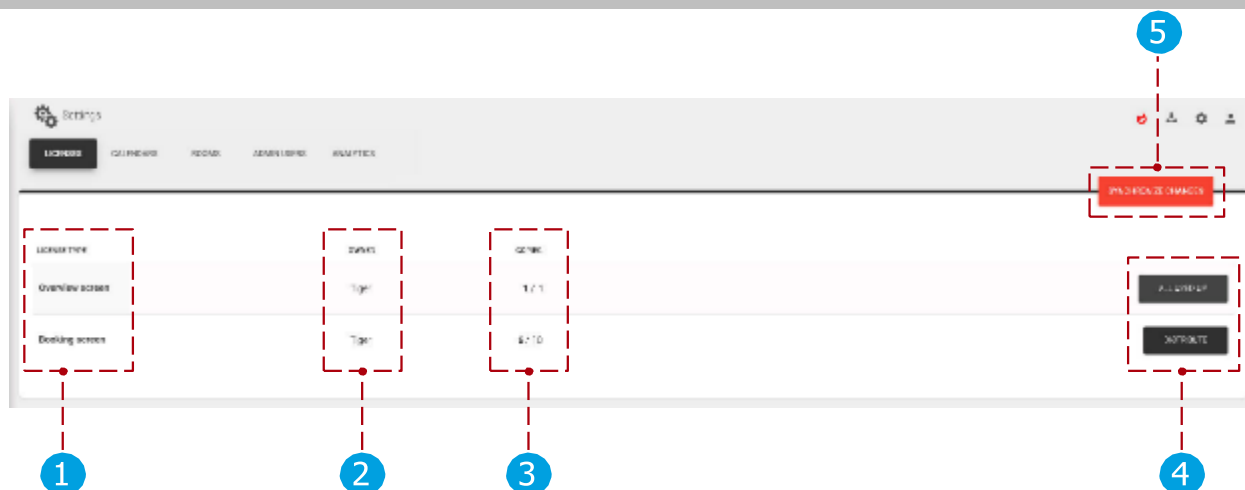


- ① ライセンスタブ: デバイスにライセンスを割り当てることができます。
- ② カレンダータブ: オンラインカレンダーは添付または切り離すことができます。部屋タブ: 部屋は作成、削除、編集が可能です。
- ③ 管理者ユーザータブ: 登録ユーザーが表示されます。
- ④ 分析: 収集されたデータは、会議室の利用状況に関する貴重な情報を提供するために使用されます。明確な要請があれば、すべての累積イベントログを要求または永久削除することができ、これは GDPR、CCPA、LGPD、POPI の規則に準拠しています。

ライセンスタブ

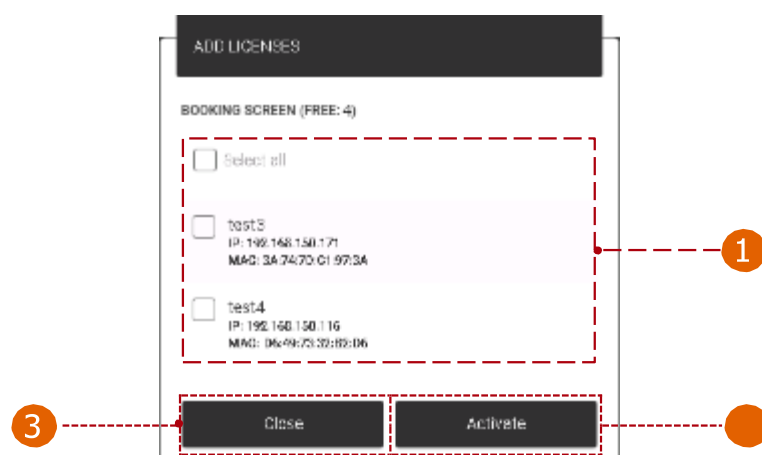
ライセンスはこのセクションで管理可能です。会社コードには定められた数のライセンスが含まれています。これらのライセンスはデバイス間で配布可能です。1 つのデバイスは 1 つのライセンスしか持ってません。ライセンスは一連の機能を定義します:

- **ライセンスなし:** ライセンスなしのデバイスはローカルカレンダーのみを使用でき、他の部屋での会議予約はできません。これはデモモードです。
- **予約画面ライセンス:** ライセンスは予約デバイスにのみ付与可能です。このデバイスはどのオンラインカレンダーでも使用可能で、設定すれば他の部屋での会議も予約可能です。
- **概要画面ライセンス:** ライセンスは概要デバイスにのみ付与可能です。このデバイスはどのオンラインカレンダーでも利用できます。



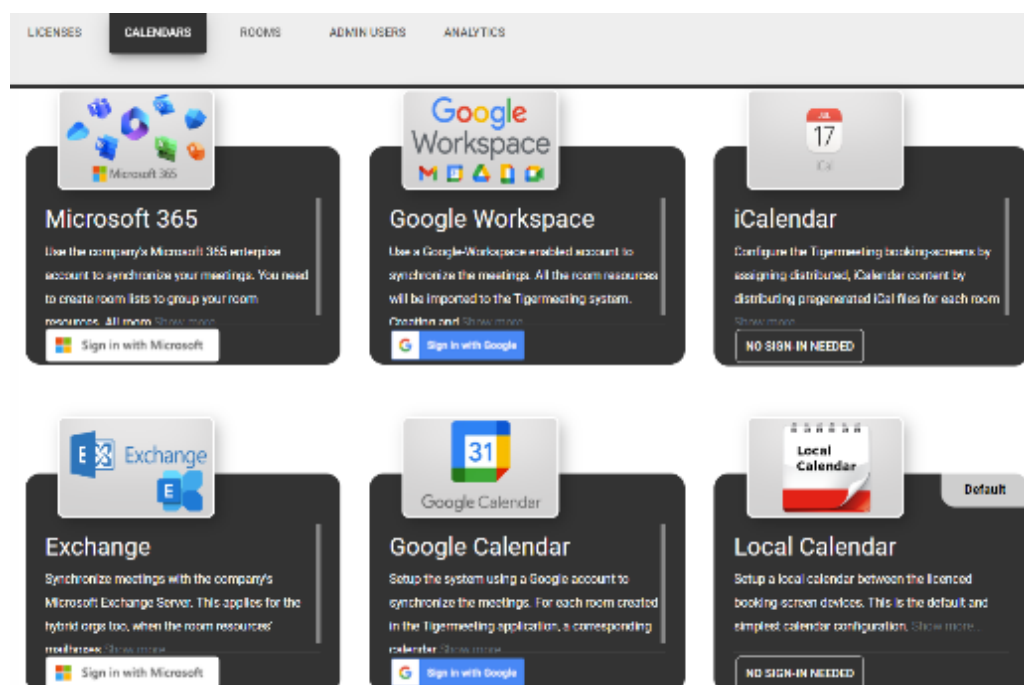
ライセンスタブ:

- 1 ライセンスタイプ: デバイス間で配布可能なライセンスの種類。(予約画面ライセンスは予約デバイスにのみ付与可能であり、オーバービュースクリーンライセンスはオーバービュースクリーニングデバイスにのみ付与可能です。
- 2 オーナー: ライセンスのオーナー。
- 3 コピー数: 現在使用されているライセンス数と総ライセンス数。
最初の数字: 現在使用中のライセンス数。2 番目の数字: ライセンスの総数。
- 4 ライセンス配布: 選択したデバイスにライセンスを配布します。
すべて使い切られる: すべてのライセンスが配布された時点で。
- 5 変更の同期: ライセンス配布時にはデバイスと同期しなければなりません。すべてのデバイスが切断されている場合、同期は許可されません。



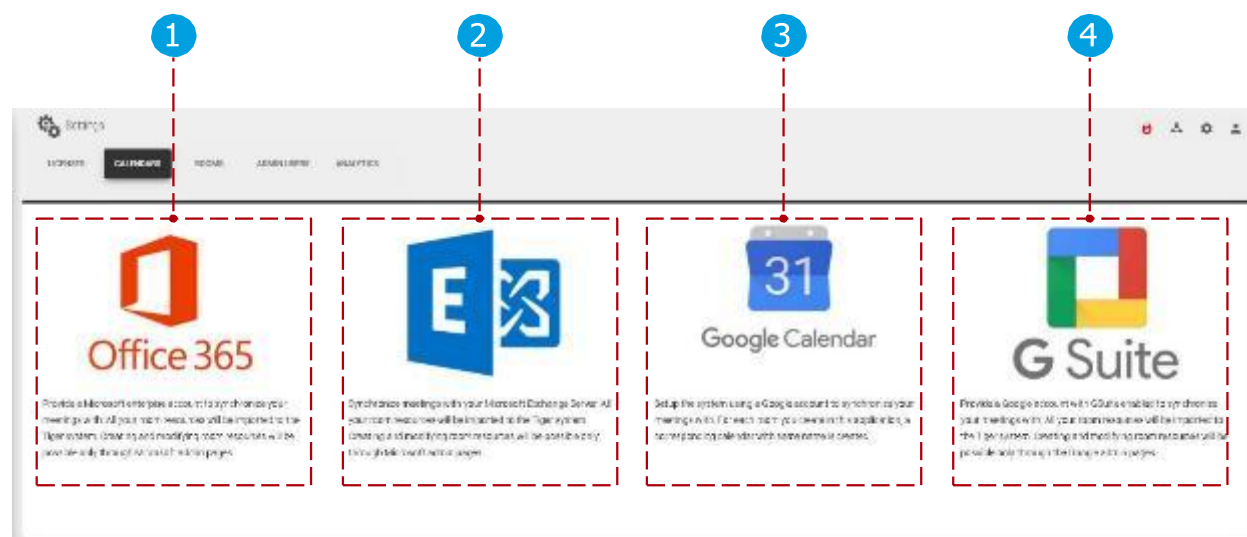
- 4 ライセンス配布:
 - 1 デバイス選択: ライセンス配布のために選択されたデバイス。アクティブ
 - 2 ート: 選択したデバイスのライセンスを有効化します。
 - 3 クローズ: 配布をキャンセルしてクローズします。

カレンダータブ



同時に 1 つのカレンダーしか添付できません:

- 1 **Microsoft365 カレンダー**:会議を同期するための Microsoft エンタープライズアカウントを提供します。ルームリソースは TigerMeeting システムにインポートされませんが、ルームリソースはオンラインで管理されます。
- 2 **Exchange カレンダー**:Microsoft Exchange Server と会議を同期させる。ルームリソースは TigerMeeting システムにインポートされます。
- 3 **Google カレンダー**:Google アカウントを使ってシステムを設定し、会議を同期させます。このアプリケーションで作成された各部屋ごとに、同じ名前の対応するカレンダーが作成されます。
- 4 **Google Workspace カレンダー**:会議を同期できる Google 管理者アカウントを提供します。ルームリソースは TigerMeeting システムにインポートされます。Google 管理ページを通じて部屋のリソースを作成・修正できます。



オンラインカレンダー以外では、Tigermeeting は iCalendar とローカルカレンダーをサポートしています。

iCalendar:ウェブサーバー(HTTP または HTTPS プロトコル)を通じて、RFC 5545 仕様

に準拠した形式で事前に生成された iCal ファイルを公開し、そのサイズは 10Mb を超えません。
これらのファイルは利用可能な限り、部屋のリソースとして扱われます。URL が変わらなければファイルの差し替えは許可されています。

Lark/Feishu:会議を同期できる Lark または Feihu の管理者アカウントを提供します。ルームリソースは TigerMeeting システムにインポートされます。Lark や Feishu の管理ページから部屋リソースを作成・修正できます。

ローカルカレンダー:他のカレンダーが設定されていない場合のデフォルトの構成です。予約デバイスは画面上で予約することでのみ会議を同期します。これは主にデモ目的で使用されます。

制作中は他のカレンダーをご利用ください。(個人アカウント付きの Google カレンダーが一番簡単です)

The screenshot displays a web interface for integrating various calendars. It is organized into four main sections, each with a logo at the top: Office 365 (orange square), Exchange (blue 'E' logo), Google Calendar (blue calendar icon with '31'), and G Suite (multi-colored 'G' logo). Each section contains a form with the following fields: 'Username' (with a placeholder 'Enter username'), 'Password' (with a placeholder 'Enter password'), 'Authorization code' (with a placeholder 'Enter code here'), 'Host' (with a placeholder 'Enter host url'), and 'Server version' (with a placeholder 'Exchange 2016'). Below these fields are two buttons: a grey 'キャンセル' (Cancel) button and a green '提出' (Submit) button. Red dashed lines and numbers 5 and 6 are used as callouts. Number 5 points to the 'Username' and 'Password' fields of the Office 365 section. Number 6 points to the 'Host' and 'Server version' fields of the Exchange section.

カレンダーを添付用にした場合:

5 ユーザーパラメータ:

- Microsoft365 パラメータ:ユーザー名とパスワードを追加する必要があります。ルームリストを選択した後(ルームリストの詳細については「Microsoft365 カレンダーの設定」セクションをご覧ください)、添付処理を完了できます。
- Exchange パラメータ:ユーザー名、パスワード、Exchange サーバーの URL およびサーバーバージョンを追加し、ルームリストを選択した後(詳細は「Exchange カレンダーの設定」セクションをご覧ください)、添付処理を完了できます。
- Google および Google Workspace のパラメータ:カレンダーアカウントを登録した後、添付処理を完了できます。
- Lark および Feihu パラメータ:ユーザー名とパスワードは管理者のユーザー認証に使用されます
- iCalendar は認証を必要としません。
- ローカルカレンダーは認証を必要としません。

6 コントロールを確認する:

- キャンセル:愛着のプロセスをキャンセルする。
- 提出:添付手続きを完了してください。

カレンダー添付後:

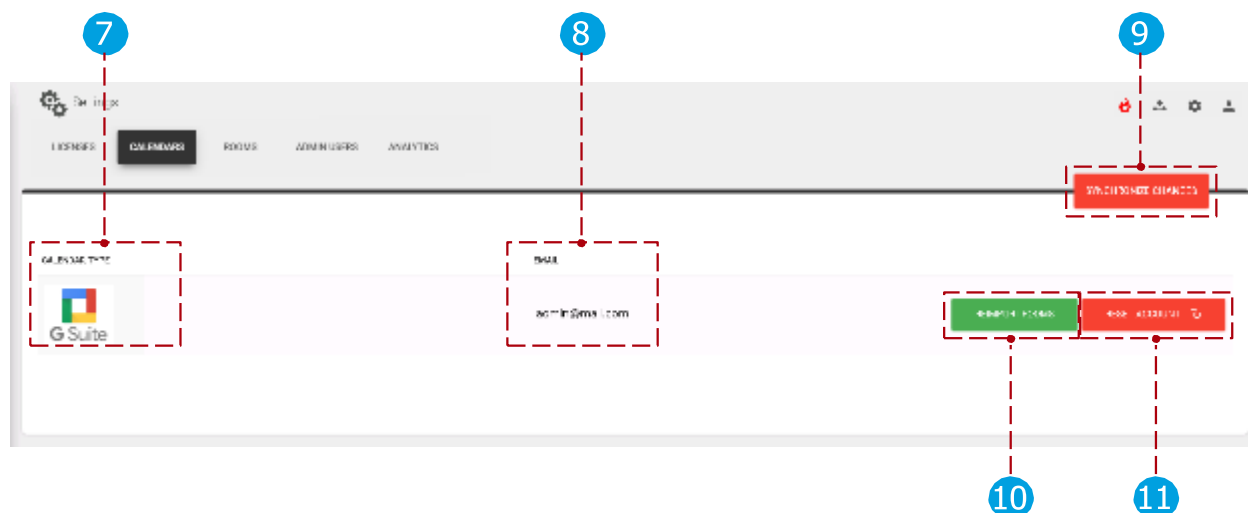
7 カレンダータイプ:添付されたカレンダーの種類。

8 メール:添付されたカレンダーユーザーのメールアドレス。

9

変更の同期:アタッチメントの後、変更はデバイスと同期しなければなりません。すべてのデバイスが切断されている場合、同期は許可されません。

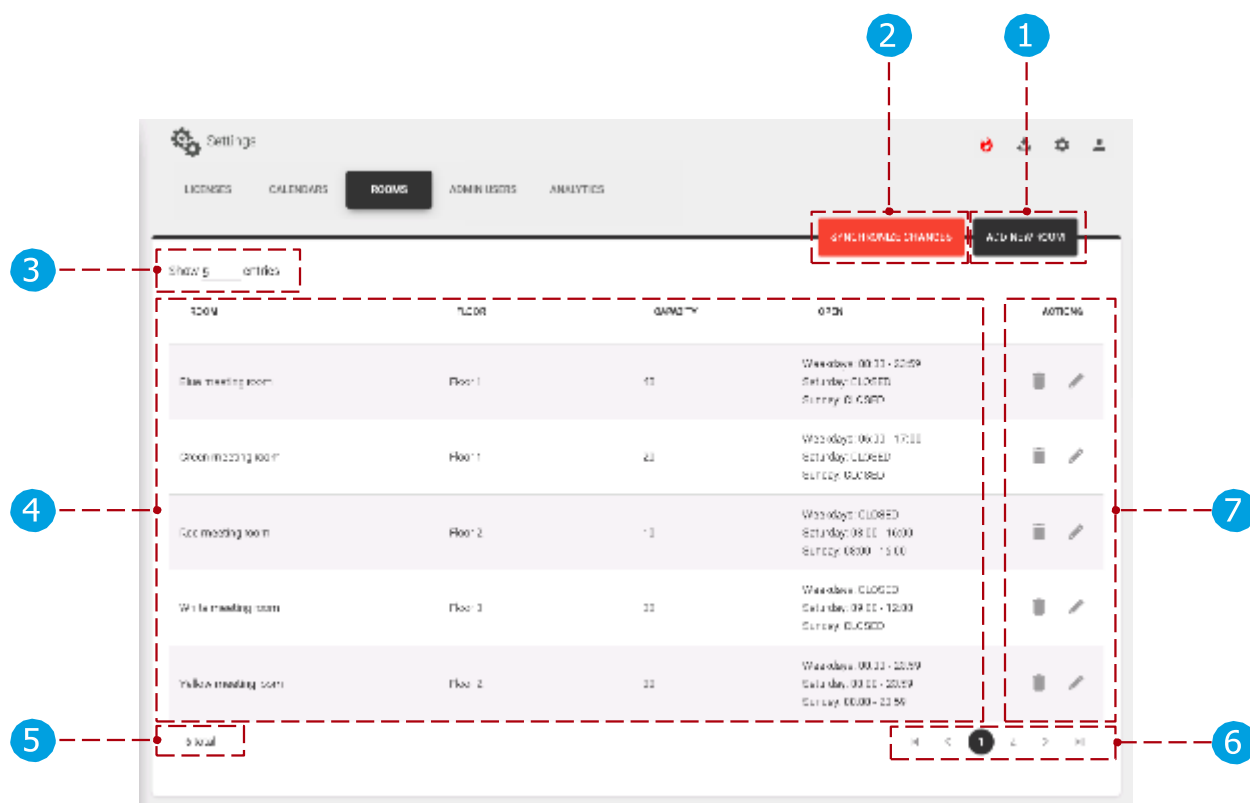
- 10 ルームの再インポート:ルームとそのパラメータを Tigermeeting 管理アプリケーションに再インポートできます。部屋の作成、削除、またはカレンダーの管理インターフェースを通じてそのパラメータ(フロア、容量)を変更する際に使用されます。Microsoft365、Exchange、Lark、Feihu、Google Workspace のカレンダーが接続されている場合に利用可能です。
- 11 アカウントリセット:選択したオンラインカレンダーを切り離しました。分離後、変更は自動的に同期されます。



Google Workspace カレンダーを Tigermeeting 管理アプリケーションに取り付ける方法の説明動画へのリンク:<https://www.youtube.com/watch?v=j1cN9OaIDwU>

部屋タブ

部屋の作成・削除やプロパティの編集が可能です。一度に 1 つの部屋だけをデバイスに接続できます。



部屋タブ:

- ① 新しい部屋を追加する:新しい部屋を作成します。Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーや Google カレンダーが紐付いていなくても、新しい部屋を作成できます。
- ② 変更の同期:部屋が作成されたりプロパティが変更された後は、変更をデバイスと同期させる必要があります。すべてのデバイスが切断されている場合、同期は許可されません。
- ③ 部屋数:1 ページあたりに表示される部屋数。
- ④ 部屋一覧:作成または同期されたオンラインカレンダーの部屋一覧。
- ⑤ デバイス数:デバイスフィルターでフィルタリングされたデバイス数の総数。(全員、無料、接続済み、切断済み)
- ⑥ ページング:部屋が多ければ、他のページに表示されます。行動:
- ⑦
 - ルーム削除:管理者アプリケーションから選択した部屋を削除します。Microsoft365、Exchange、Google Workspace のカレンダーが接続されている間はルームを削除できません。ローカルルームと Google ルームのみが削除可能です。
 - 編集室:編集室のプロパティ。

オンラインカレンダーが接続されていない場合の部屋作成:

- オンラインカレンダーが接続されていなければ(ローカルカレンダーが使用)、部屋の作成、削除、編集は制限なく行えます。

Google カレンダーが接続されている場合の部屋作成:

- 部屋が作成されると、その部屋がすでに Google カレンダーに存在しているか確認されます。もし存在すれば、カレンダーの部屋と同期しています。もしそうでなければ自動的に作成され、添付された Google カレンダーにも作成されます。部屋が削除された場合、管理者からのみ削除するか、カレンダーからも管理者からも削除できます。

Microsoft365、Exchange、Google Workspace のカレンダーが接続されている場合のルーム管理:

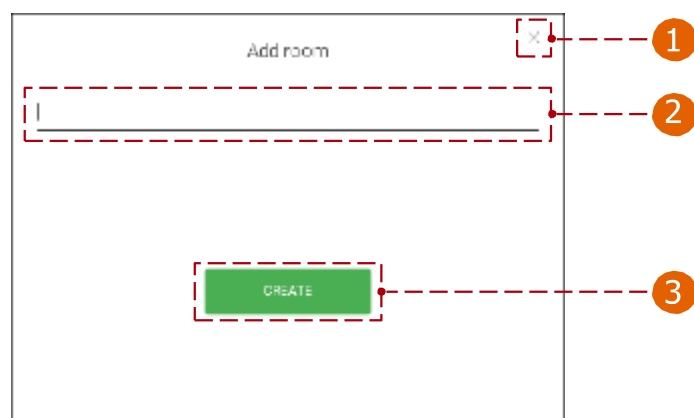
- 以前に定義された部屋があり、Microsoft365、Exchange、または Google Workspace のカレンダーが接続されている場合、以前に定義された部屋は削除され、オンラインカレンダーの部屋は管理アプリケーション内で同期・作成されます。

編集室のプロパティ:

- 部屋名:部屋名はローカルカレンダーまたは Google カレンダーが接続されている場合にのみ編集可能です。インポートした部屋の名前は、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace)ではオンラインカレンダーの管理パネルからのみ編集できません。
- 容量:パラメータは Microsoft365、Exchange、または Google Workspace から取得されます。部屋情報:パラメーターはすべてのカレンダーで編集可能です。
- 表示名:パラメータはローカル、Microsoft365、Exchange、Google カレンダーが接続されている場合に編集可能です。

1 新しい部屋の追加:

- 1 閉じる:「部屋を追加」のポップアップウィンドウ
- 2 を閉じます。部屋の名前:新しい部屋の名前。
- 3 作成:新しい部屋を作成します。同じ名前の部屋は禁止されています。



7 編集室のプロパティ:

- 1 部屋名:選ばれた部屋名。
- 2 編集名:部屋名は編集可能です。部屋名はローカルカレンダーまたは Google カレンダーが接続されている場合にのみ編集可能です。インポートした部屋の名前は、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace)でオンラインカレンダーの管理パネルでのみ編集できません。
- 3 収容人数:選択した部屋の収容人数。
- 4 情報:部屋名の下に部屋情報が表示されます。
- 5 表示名:Alias が使用され、部屋名として表示されます。追加されない場合は、部屋の元の名前が使われます。
- 6 時間:設定された時間の間に機器が利用可能です。(例えば、06:00 から 17:00 の間)
- 7 日数:チェック済みの日があり、端末から予約が可能です。(例えば、平日は予約可能で、土曜日と日曜日は部屋が閉まっており、予約はできません)
- 8 閉鎖:部屋の物件をキャンセル・閉鎖する。
- 9 セーブ設定:部屋のプロパティを保存します。保存後は他のデバイスと同期しなければなりません。

The screenshot shows a 'ROOM PROPERTIES' dialog box with the following elements and callouts:

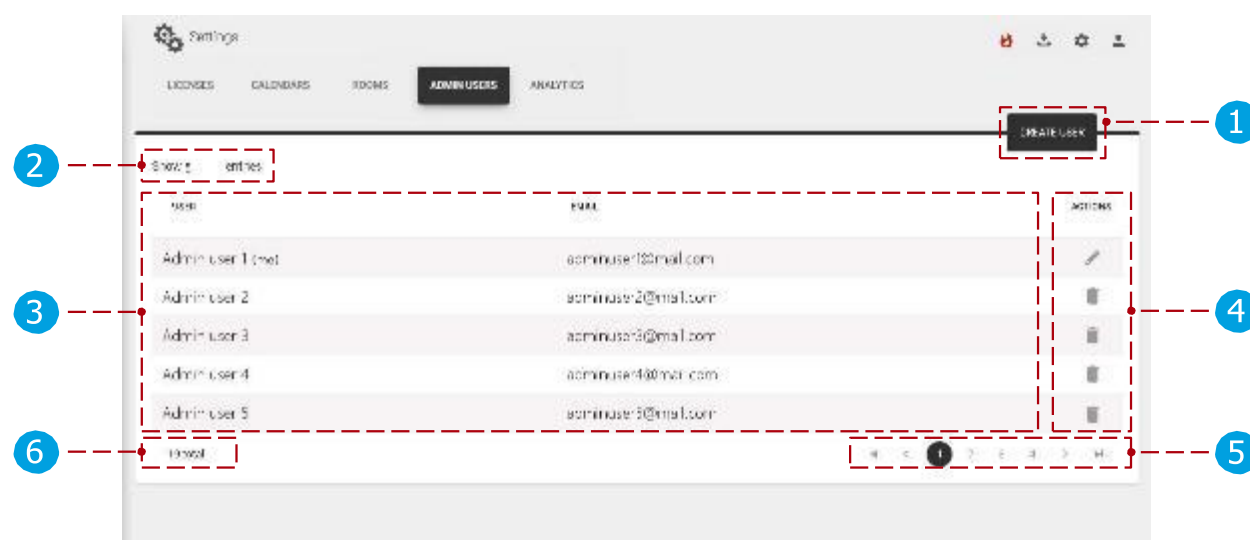
- 1** Points to the room name field, which contains 'Green meeting room'.
- 2** Points to the edit icon (pencil) next to the room name.
- 3** Points to the 'CAPACITY' field, which shows '20'.
- 4** Points to the 'INFO' field, which shows 'Floor 1'.
- 5** Points to the 'DISPLAY NAME' field, which shows 'Not set'.
- 6** Points to the time selection interface, which includes a 'WEEKDAYS' checkbox (checked) and a time range slider set from 06:00 to 17:00.
- 7** Points to the 'SCHEDULE' section, which includes checkboxes for 'SATURDAY' and 'SUNDAY' (both unchecked).
- 8** Points to the 'Close' button at the bottom left.
- 9** Points to the 'Save settings' button at the bottom right.

Android 端末では:



管理者ユーザータブ

Tigermeeting 管理アプリケーションの全ユーザー名はここに記載されています。



管理者ユーザータブ:

- ① ユーザー作成:新しい管理者ユーザーを作成します。
- ② 管理者数:ページごとに表示される管理者数。
- ③ 管理者一覧:管理者パラメータが表示されます。(アクティブな管理者は「(私)」としてマークされています)
- ④ アクション:
 - 追記:現在の管理者ユーザーのパラメータを編集しました。
 - 削除:Tigermeeting 管理者アプリケーションから選択した管理者ユーザーを削除します。
- ⑤ ページング:管理者が他にいる場合は、他のページに表示されます。管理
- ⑥ 者の総数:アプリケーション内の管理者の総数。

- ① 新しい管理者ユーザーを作成する:新しいユーザーが作成されると、指定されたメールアドレスにユーザーパスワード付きの登録メールが送信されます。アクティベーションメールが迷惑メールフォルダに入っていないか必ず確認してください。

- ① ファーストネーム:管理者ユーザーのファーストネーム。
- ② 姓:管理者ユーザーの姓。
- ③ メールアドレス:管理者ユーザーのメールアドレスです。
- ④ キャンセル:アクションをキャンセルします。
- ⑤ 作成:ユーザーを作成し、アクティベーションメールを送信します。

The screenshot shows a 'Create user' dialog box with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are three input fields: 'First Name...' with a person icon, 'Last Name...' with a person icon, and 'Email...' with an envelope icon. Below these fields are two buttons: a grey 'CANCEL' button and a green 'CREATE' button. Numbered callouts (1-5) point to specific elements: 1 points to the 'First Name...' field, 2 points to the 'Last Name...' field, 3 points to the 'Email...' field, 4 points to the 'CANCEL' button, and 5 points to the 'CREATE' button.

- ④ 現在の管理者ユーザーを編集:

- ① ファーストネーム:管理者ユーザーのファーストネーム。
- ② 姓:管理者ユーザーの姓。
- ③ メールアドレス:管理者ユーザーのメールアドレスです。
- ④ パスワード変更:
 - 古いパスワード:古いパスワードがなければ新しいパスワードを作成することはできません。
 - 新しいパスワード:新しいパスワードは最低限の文字数でなければなりません。
 - 新しいパスワードを確認する:新しいパスワードとパスワードの確認はまったく同じでなければなりません。
- ⑤ 閉じる:ユーザープロパティのセクションを閉じます。
- ⑥ 変更を保存:現在の管理者ユーザーのパラメータを保存します。

USER PROPERTIES

Admin User

FIRST NAME Admin

LAST NAME User

EMAIL admin@mail.com

PASSWORD CHANGE

OLD PASSWORD

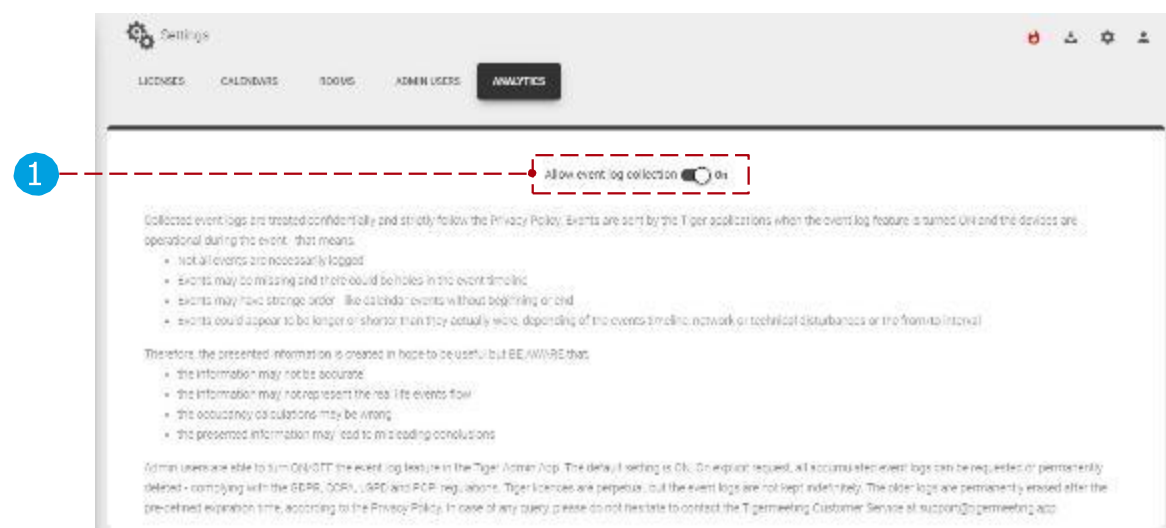
NEW PASSWORD

CONFIRM NEW PASSWORD

Close Save changes

アナリティクスタブ

収集されたデータは、会議室の利用状況、企業文化、イベント分析に関する有用かつ価値ある情報を提示するために活用されます。



分析タブ:

- 1 管理者ユーザーは Tigermeeting 管理アプリのイベントログ機能をオン/オフできます。デフォルト設定は ON です。

収集されたイベントログは機密扱いされ、プライバシーポリシーを厳守します。イベントログ機能がオンになり、デバイスがイベント中に稼働している間に、Tigermeeting アプリケーションからイベントが送信されます。つまり、以下のことを意味します:

- すべてのイベントが必ずしも記録されているわけではありません。
- イベントが欠落している可能性や、イベントのタイムラインに穴がある可能性があります。
- イベントは奇妙な順序を持つこともあります。例えば、始まりも終わりもないカレンダーイベントのように
- イベントは、イベントのタイムライン、ネットワーク、技術的な混乱、または来る間隔によって、実際よりも長く見えたり短くなったりすることがあります。

したがって、提示された情報は役に立つことを願って作成されますが、以下を注意してください:

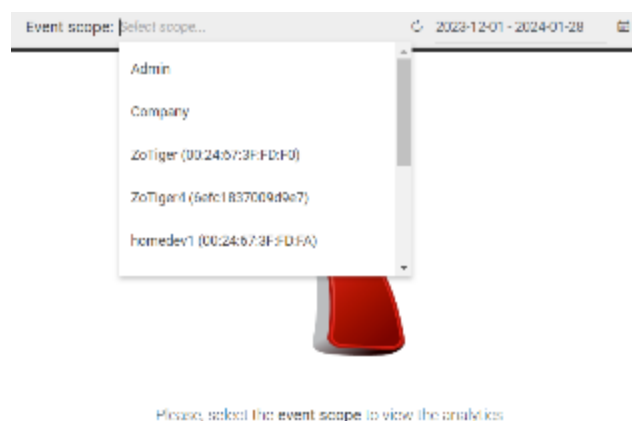
- 情報が正確でない場合もあります。
- 情報が実際の出来事の流れを反映していない場合や、占有率の計算が誤っている可能性があります。
- 提示された情報は誤解を招く結論を導く可能性があります。

管理者ユーザーは Tigermeeting 管理アプリのイベントログ機能をオン/オフできます。デフォルト設定は ON です。明示的な要請があれば、すべての累積イベントログを要求または永久削除することができ、GDPR、CCPA、PIPEDA、CDR、LGPD、POPI の規則に準拠しています。

TigerMeeting のライセンスは永久的ですが、イベントログは無期限に保存されるわけではありません。古いログは、プライバシーポリシーによれば、あらかじめ定められた有効期限を過ぎると永久に消去されます。ご質問があれば、どうぞ Tigermeeting カスタマーサービスまでお気軽にお問い合わせください:support@tigermeeting.app

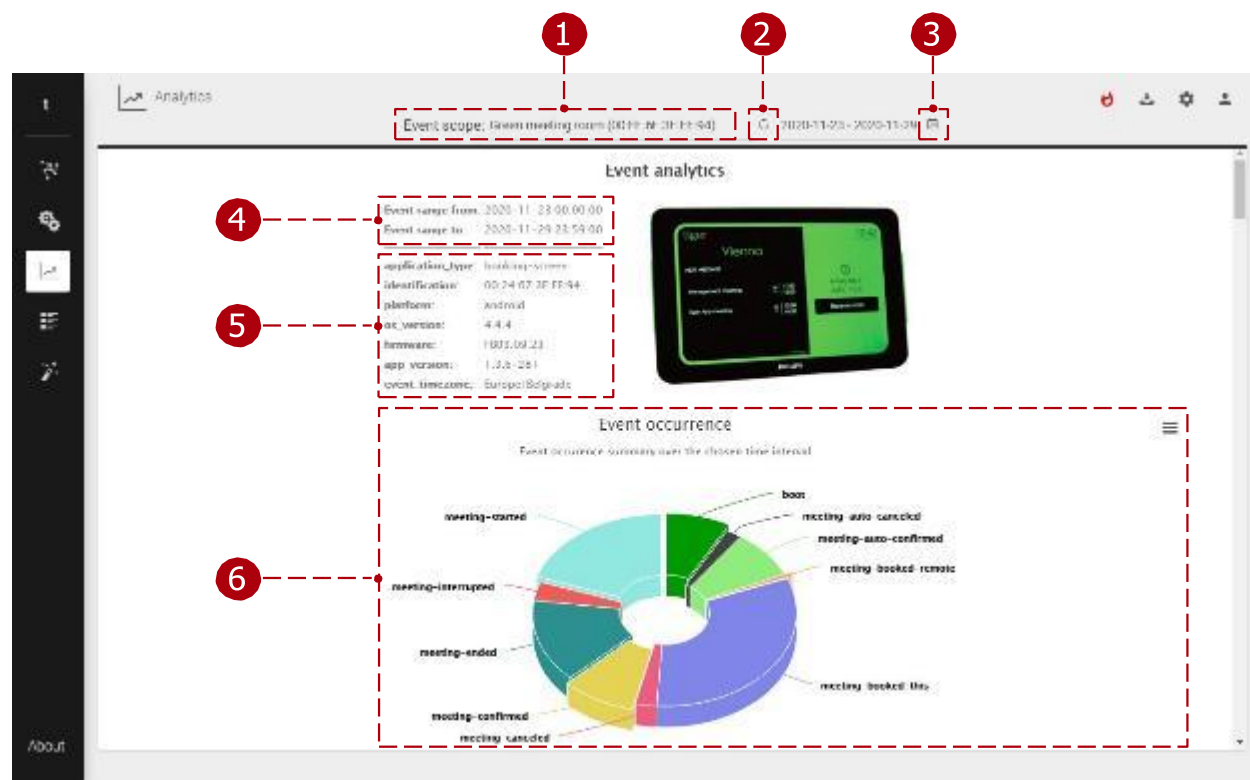
分析

指定された日付範囲内で、予約、概要デバイス、管理者、企業の分析を生成できます。



設定:

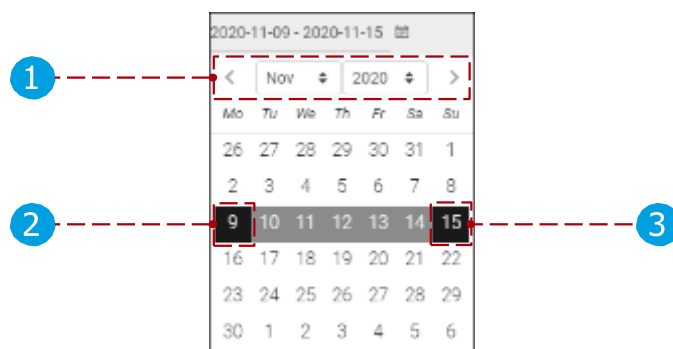
- ① デバイスリスト: 選択したデバイスに対して分析が生成されます。デバイス、管理アプリケーション、会社を予約・概要で管理します。
企業の分析には、会社が保有するすべての予約画面デバイスからのデータが含まれます。
- ② 解析データを選択したデバイスに再読み込みします。
- ③ 日付選択: 設定された日付間で分析が生成されます。
- ④ イベント分析の日付範囲。
- ⑤ デバイス情報。(種類、識別、プラットフォームなど)
- ⑥ 分析データはチャートで示されています。



3 日付選び:

- ① 年と月を選ぶ人たち。
- ② まず、開始日を選択しなければなりません。
- ③ 次に、停止日を選択しなければなりません。

月間の日付範囲を設定するには、年と月の選択器を使います。



6 チャート:

① チャートオプション:

チャートデータは印刷(チャート印刷)またはダウンロード(PNG、JPEG、PDF、SVG、または CSV、XLS などのデータをダウンロード)できます。データは表表示(データ表表示)で表示できます。

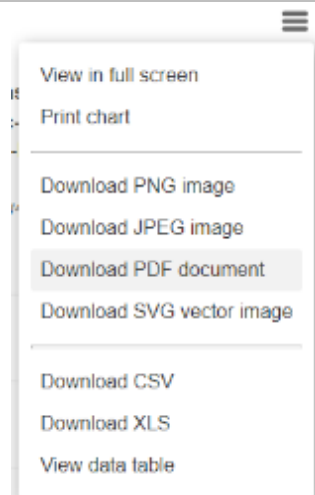
- ② イベント(予約デバイス、ブート、会議予約済み、会議確認済み、会議開始、終了など)はイベントタイムラインに表示されます。チャートはクリックしてドラッグすることでズーム可能です。タイムラインチャートと表のデータには最大 300 件のイベントが含まれています。他のチャートにはこの制限はありません。

- ③ イベントの上でカーソルを合わせると、イベントの詳細が表示されます。
 - ④ イベントタイムラインチャートフィルター。
- イベントタイムラインフィルター。(チャートズームはここで変更可能です)

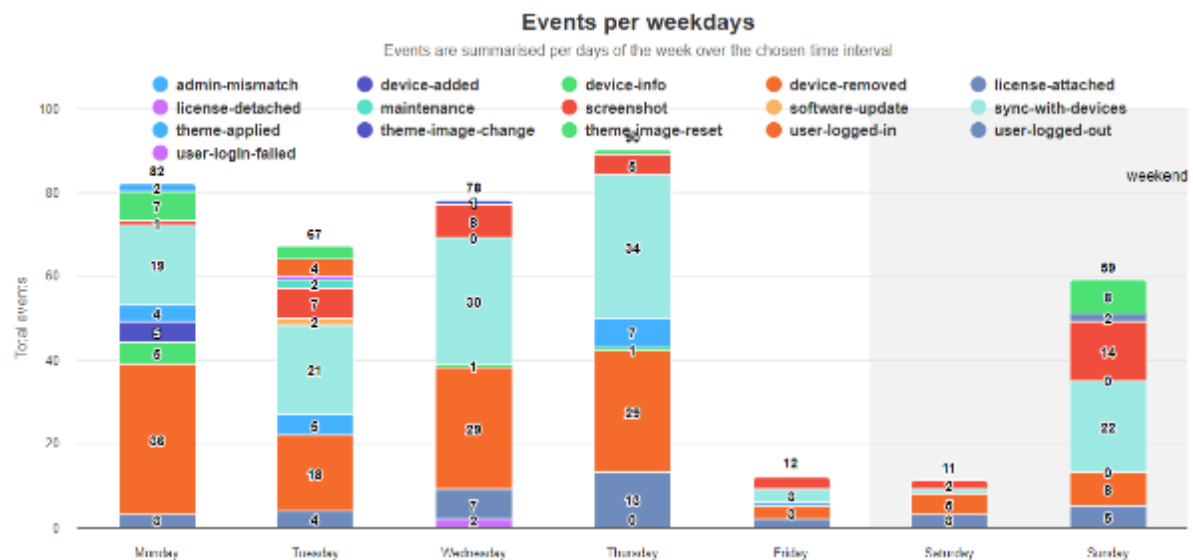
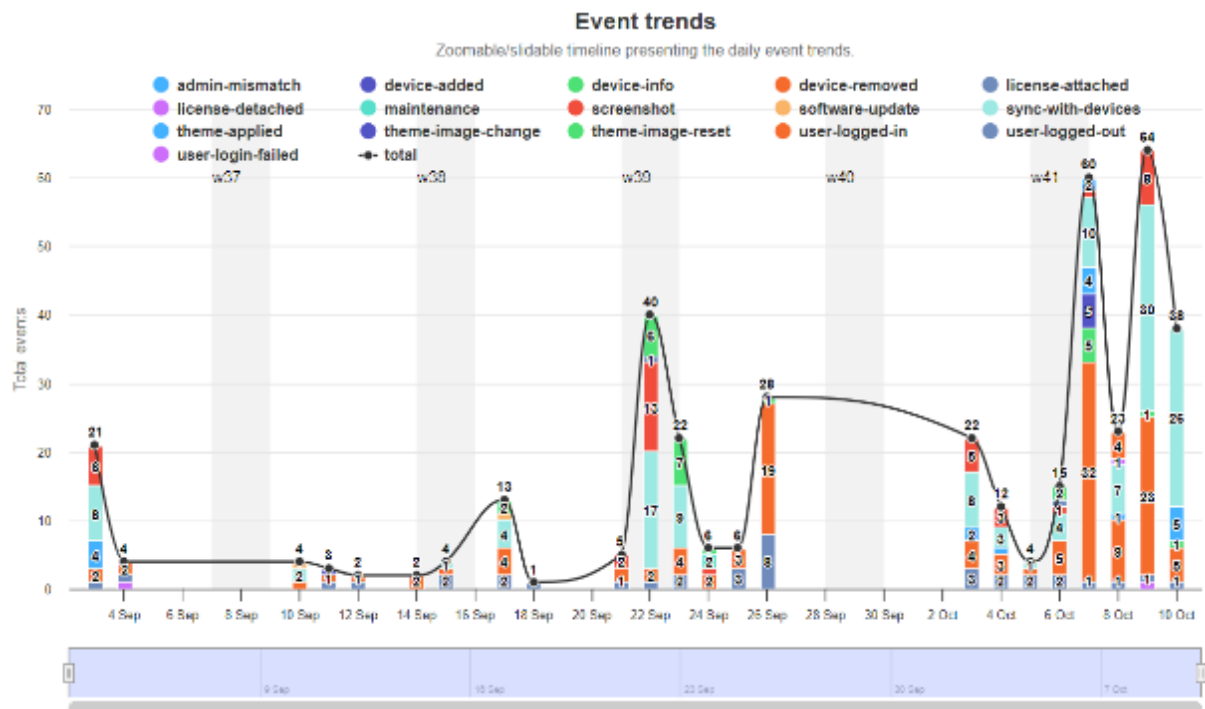


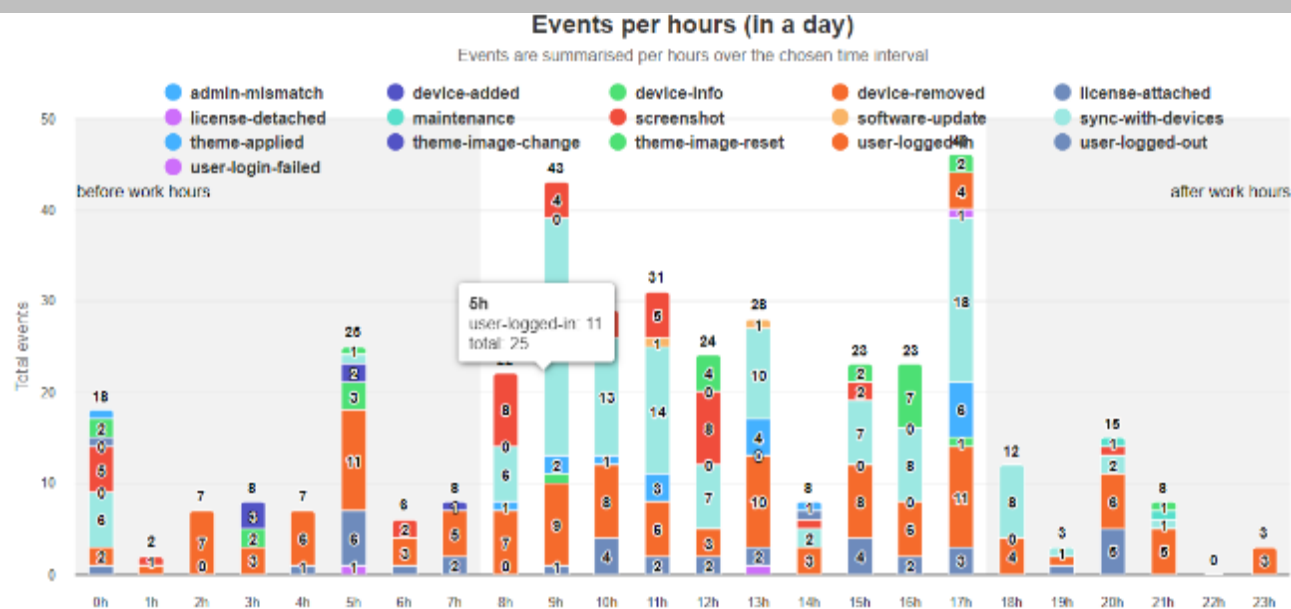
チャートやデータの可視化は、後のリリースで変更可能です。

データはチャートに表示したり、アナリティクスエクスポート機能を使って BI ツールにエクスポートしたりできます。

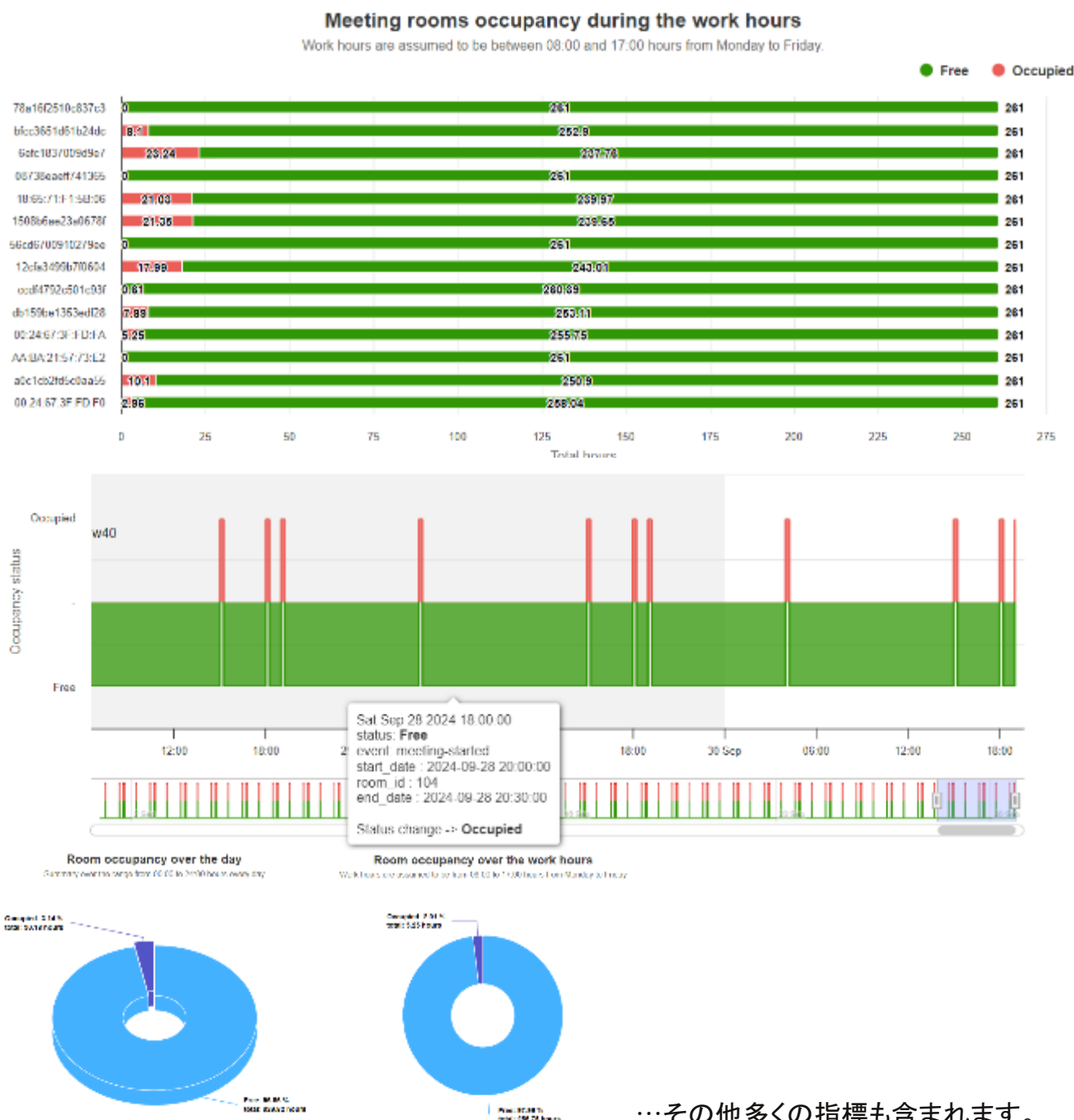


イベント関連グラフ





会議関連グラフ

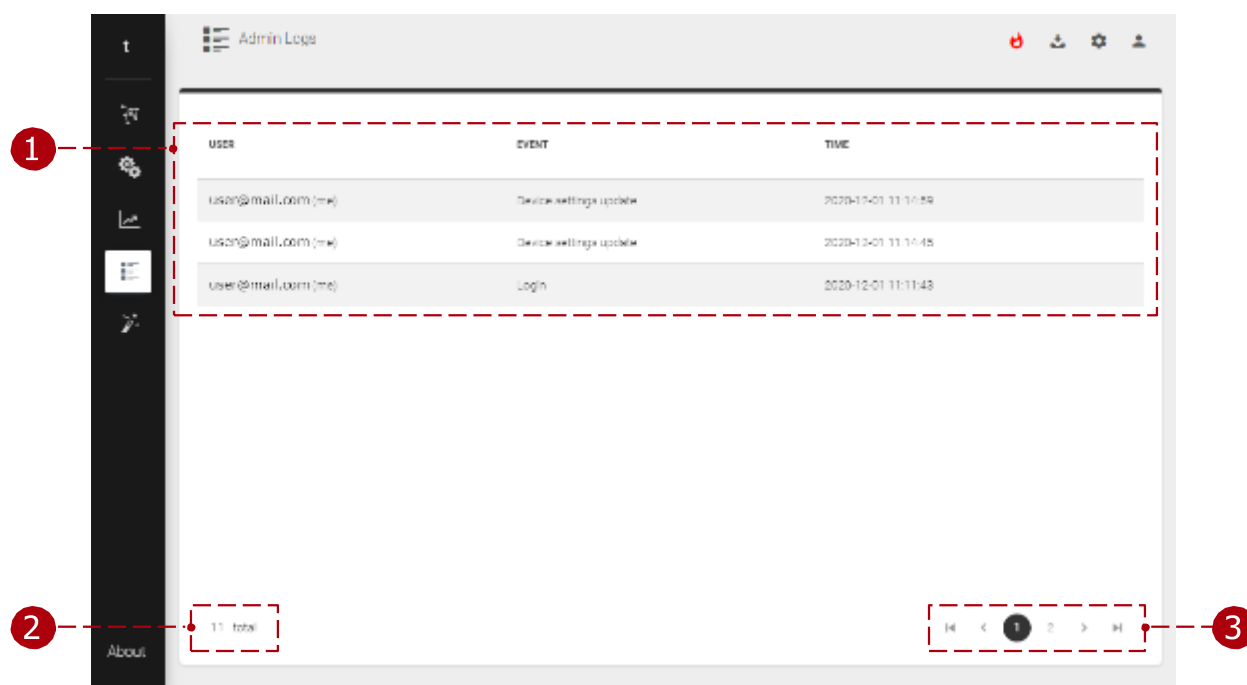


管理者ログ

Tigermeeting 管理アプリケーションで実行されたすべてのイベントがイベントリストに表示されます。管理者のログイン、ログアウト、デバイス設定の更新、ソフトウェアアップデート、ライセンスの添付、切断、デバイス再起動などのイベントが一覧表示されます。

管理者ログ:

- ① 出来事、原因、日付と時間のリスト。イベントの総数。
- ② ページング:出来事をページングして。
- ③



重要なイベントは赤色で示され、注目を集めます。

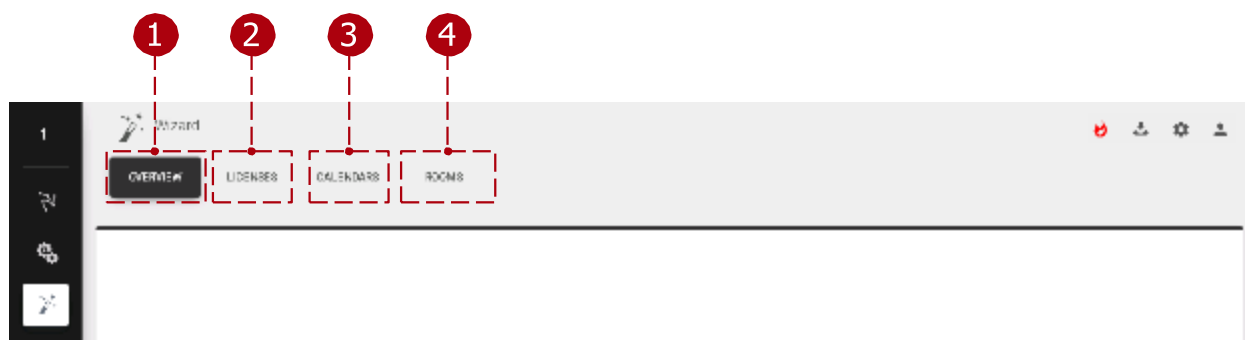
zoli@tigermeeting.app (me)	License attached (797259278f446f60)	2024-03-29 18:37:49	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Screenshot (797259278f446f60)	2024-03-29 18:18:08	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Device settings sync	2024-03-29 18:17:57	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Theme applied (manufaktura)	2024-03-29 18:17:55	83.251.235.241	Windows (3.3.5)

管理者ログは直近 1000 件のレコードのみを読み込みますが、プライバシーポリシーに従って利用可能なすべてのログの閲覧や削除をリクエストできます。

注意:管理者ログはオフにできません。

ウィザード

一般的に、Tigermeeting 管理アプリケーションを初めて起動した際に使われます。ユーザーはステップバイステップのウィザードによって案内されます。

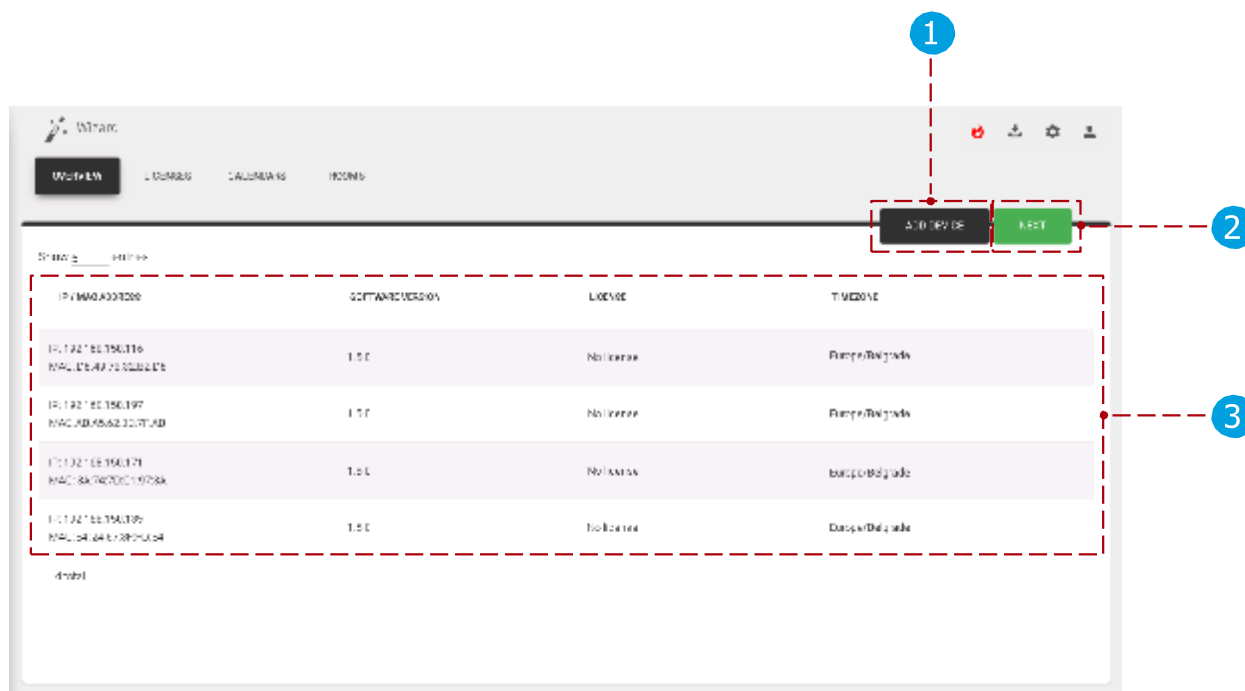


ウィザード:

- ① 概要タブ: デバイスの基本概要。
- ② ライセンスタブ: デバイス間で配布可能な利用可能なライセンス。カレンダータブ: 管理者アプリケーションを添付するためのオンライン
- ③
- ④ カレンダー。部屋タブ: デバイスに接続できる利用可能な部屋。

概要

利用可能な機器の基本概要。

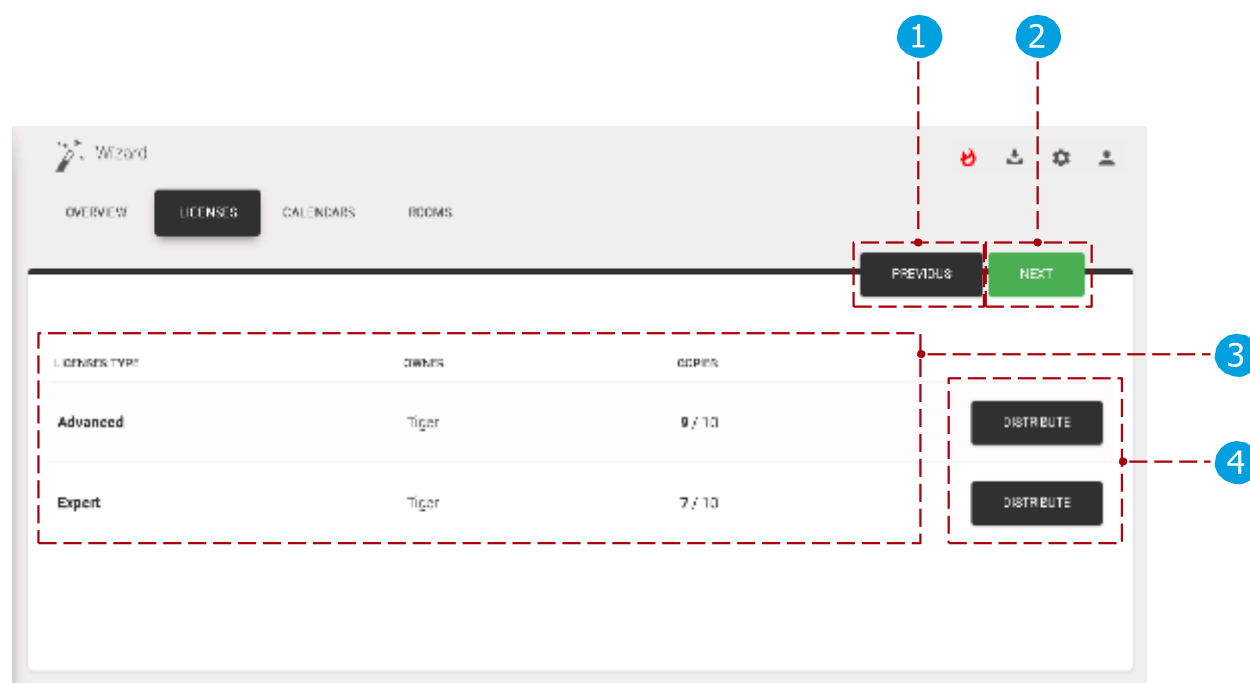


概要:

- ① デバイス追加:Tigermeeting 管理アプリケーションで検出されていない IP アドレスのデバイスを追加します。デバイスが別のサブネットワークにいる場合に使用されます。
- ② 次:ユーザーを次の設定「ライセンス」へと導きます。
- ③ デバイス一覧:接続可能なデバイスが表示されます。

ライセンス

ライセンスはデバイス間で配布可能です。詳細については、「設定」の「ライセンス」タブをご覧ください。

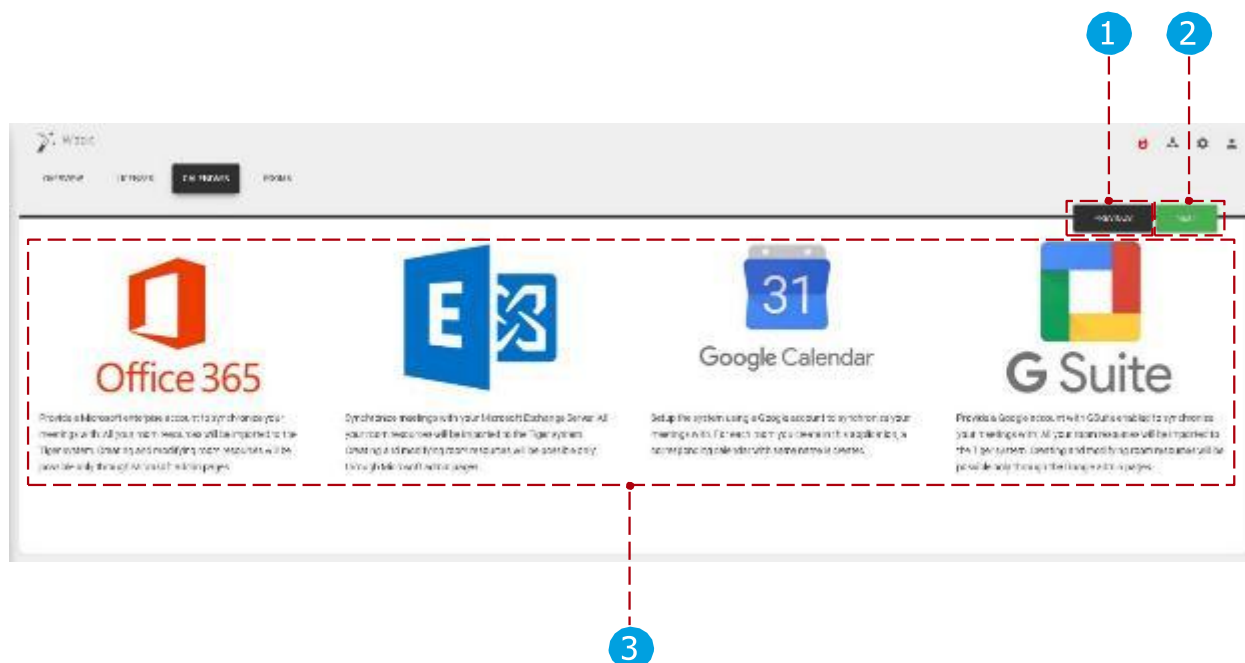


ライセンス:

- ① 前回:前の設定「概要」へ。次は次の設定「カレンダー」へ進みます。
- ② ライセンス一覧:利用可能なライセンス一覧。
- ③ ライセンス配布:利用可能なデバイスにライセンスを配布します。

カレンダー

カレンダーは管理者アプリケーションに添付できます。詳細については、「設定」「カレンダー」タブをご覧ください。



オンラインカレンダー:

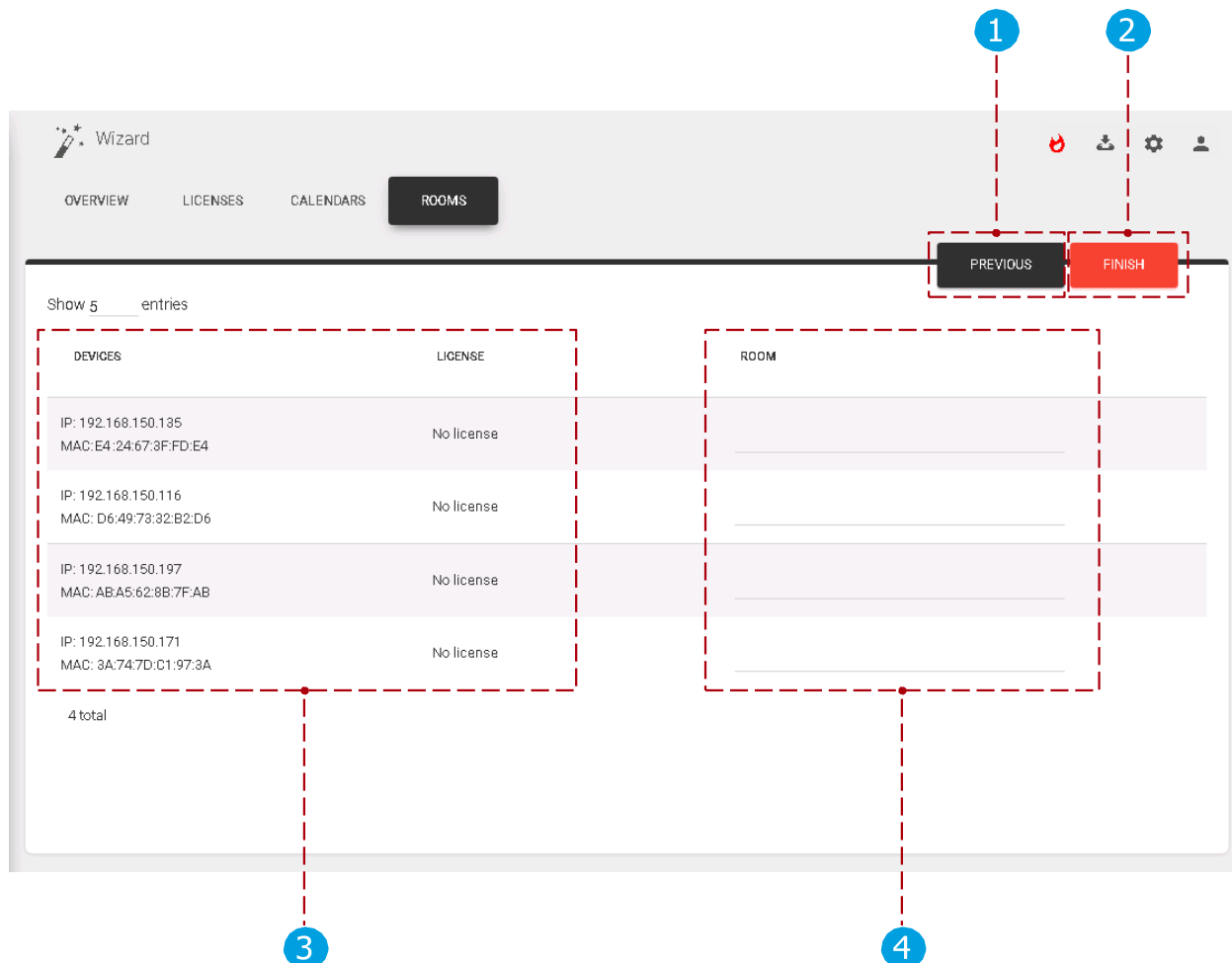
- 1 前回:前の設定「ライセンス」へ。次は次の設定「
- 2 部屋」へ進みます。
- 3 カレンダー一覧:取り付け可能なカレンダー一覧。(Microsoft365、Exchange、Google、Google Workspace、Lark、または Feishu など)

追加のカレンダー:

- iCalendar - iCal ファイル形式のファイルは各部屋ごとに URL で公開されており、認証は不要です。
- ローカルカレンダー - 予約画面同士で予約を交換するデフォルトのカレンダーです。デモ用を目的としています。

部屋

部屋はデバイスに接続可能です。詳細は「設定」「部屋」タブをご覧ください。



部屋:

- ① 前回:前の設定「カレンダー」へ。
- ② 完了:ウィザードを完了(ライセンスの付与、カレンダーの付与、デバイスへの部屋の作成・接続)を完了し、デバイスと設定を同期させます。
- ③ デバイス一覧:デバイス一覧。部屋:
- ④
 - カレンダーや Google カレンダーは接続されていません。部屋名を追加でき、ウィザードが完了すると部屋が作成されます。(Google カレンダーでも)
 - Microsoft365、Exchange、Google Workspace のカレンダーが添付されています:インポートした部屋はドロップダウンから選択可能です。

実用的なユースケース

管理者アプリケーションをインストールしてください

- 「<https://tigermeeting.app/en/downloads>」にアクセスし、希望するオペレーティングシステム用の最新の Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードしてください。
- Tigermeeting の管理インストーラーを実行してください。
- 「このコンピュータを使用するすべてのユーザー」を選択します。「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 宛先フォルダを選択してください。
 - デフォルトでは「C:/Program Files/Tigermeetingroom」です。
- 「インストール」ボタンをクリックしてください。
- インストールが完了したら、「
- Tigermeetingroom のチェックボックスを実行し、「Finish」ボタンをクリックしてください

装置を起動してください

- Android デバイスの電源を入れてください。
- Tigermeeting の Android アプリをインストールしてください。
- アプリの中から Tiger の Android アプリを検索してみてください。
- Tiger アプリケーションを実行してください。
- 「他のアプリを描画する」権限をオンにしてください。

管理者アプリケーションを起動します

- 管理アプリケーションを実行してください。
- 「register」タブを選択して新規ユーザー登録を行ってください。
- 必要なユーザー情報を記入してください。
- 会社のコードが利用可能なライセンスの数と種類を決定します。
- 登録を終えて。
- Tigermeeting 管理アプリケーションにログインしてください。
- 初めての設定する場合は「はい」ボタンを押してください。

管理者アプリケーションでウィザードを実行する

- すべての Android アプリとファームウェアが最新であることを確認しましょう。管理者アプリケーションがすべてのデバイスを検出するのを待ちます。
- すべてのデバイスが検出されたら、ライセンスの「次へ」ボタンを押してください。デバイスにライセンスを配布します。
- カレンダーの「次へ」ボタンを押してください。
- 目的のカレンダーを管理者アプリケーションに添付します。部屋の「次」ボタンを押してください。
- 選択したデバイスに部屋を接続します。
- ウィザードを「Finish」ボタンを押してクリアしてください。
- 同期後はすべてのデバイスが設定されるべきです。

Microsoft365 カレンダーの設定

このセクションは、Office、Office 365、Microsoft 365、Exchange Online など、すべての Microsoft Graph API ベースのカレンダーシステムに適用されます。

Tigermeeting 管理アプリケーションで Microsoft365 カレンダーを使用するには、Tigermeeting に事前設定が必要です。

ルームリソースは Microsoft365 の管理パネルやルームグループ(ルームリスト)および権限を Windows の PowerShell で作成する必要があります。

要件: - 少なくとも Office 365 E1 ライセンスを持つ管理者ユーザー
- 定義されたルームリソース(リソースはライセンスを必要としません)

画面とカレンダーの通信時に権限の問題を避けるために、ルームリストの作成や Microsoft 365 カレンダーの Tigermeeting Admin アプリケーションへの添付には、必ず同じ管理者ユーザーを使用してください。

Microsoft 認定の Tigermeeting Azure アプリは、以下の管理者権限を必要とします:

API / Permissions name	Type	Description	Admin consent req...	Status
▼ Microsoft Graph (8)				
Calendars.ReadWrite	Delegated	Have full access to user calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Calendars.ReadWrite.Share	Delegated	Read and write user and shared calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
offline_access	Delegated	Maintain access to data you have given it access to	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
openid	Delegated	Sign users in	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Delegated	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Application	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
profile	Delegated	View users' basic profile	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
User.Read	Delegated	Sign in and read user profile	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
▼ Office 365 Exchange Online (3)				
Calendars.ReadWrite.All	Delegated	Read and write user and shared calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Delegated	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
User.Read	Delegated	Read user profiles	No	✔ Granted for tigermeetin... ***

これらの権限は Microsoft の安全な管理者ユーザー認証プロセスで受け入れられます。

Tigermeeting との Microsoft 365 統合を成功させるには、以下のステップに従ってください:

Microsoft365 管理パネル -> ルームリソースを作成

- <https://www.office.com> または <https://microsoftonline.com> にアクセスしてください。

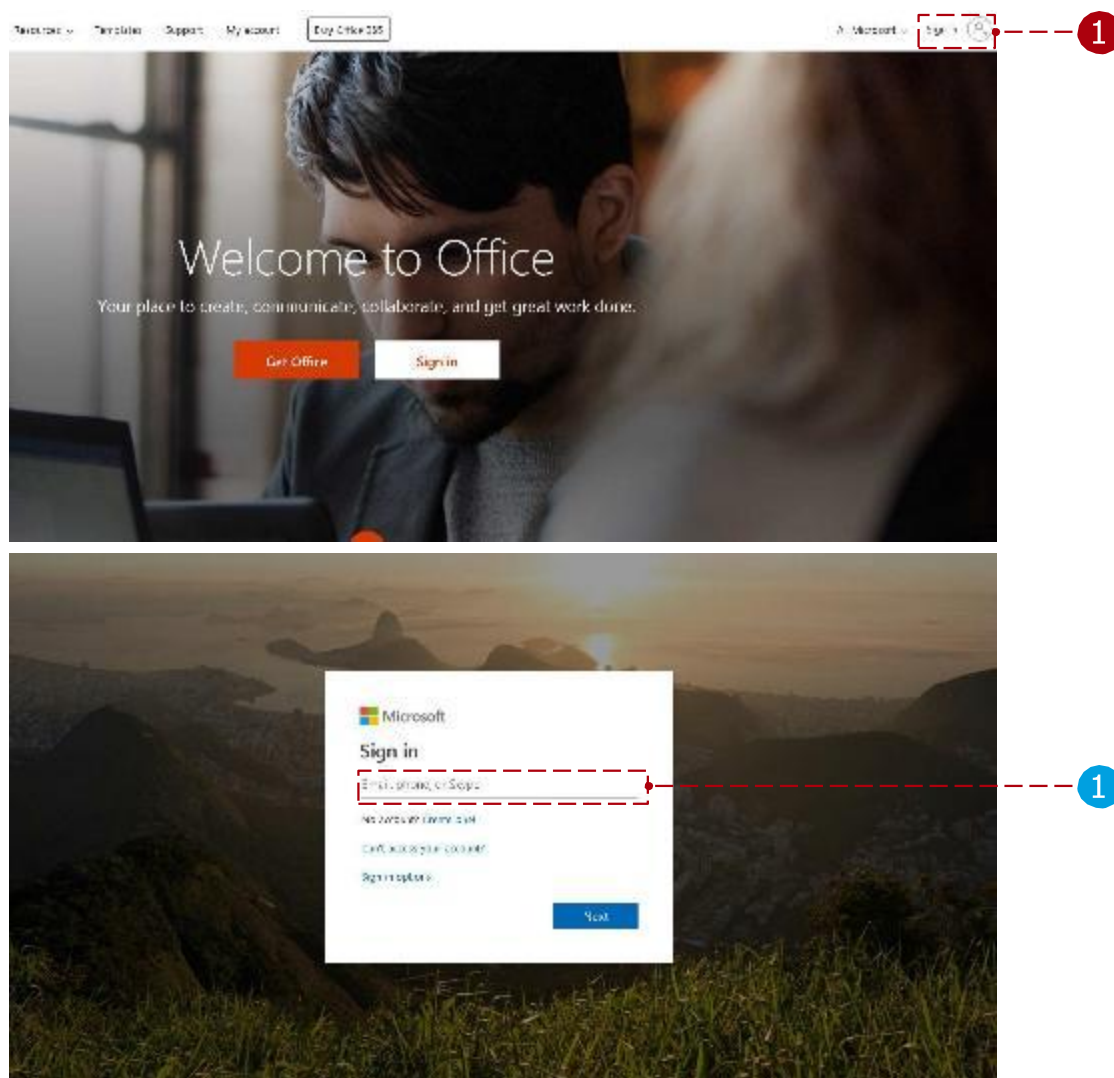
1

「サインイン」ボタンを押してください。

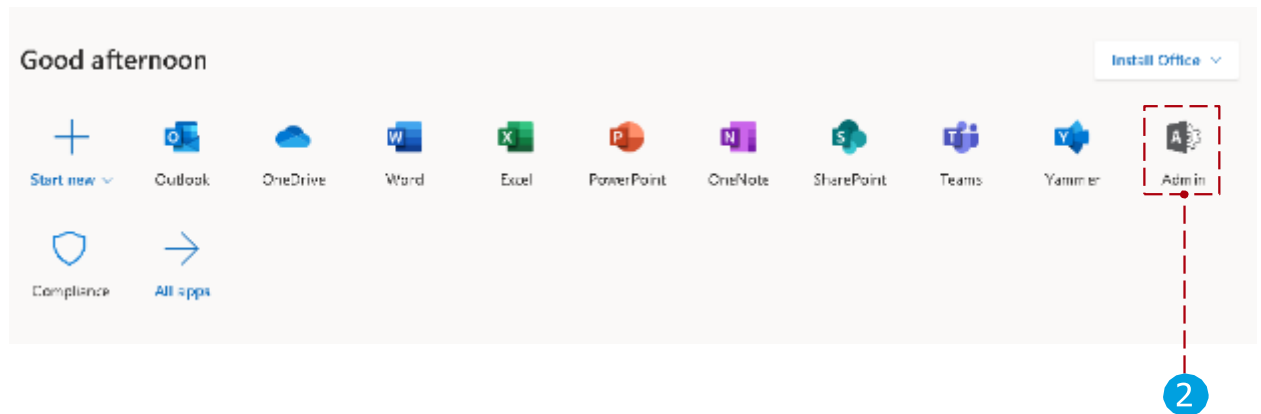
1

ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名: admin@company.onmicrosoft.com パスワード:*****



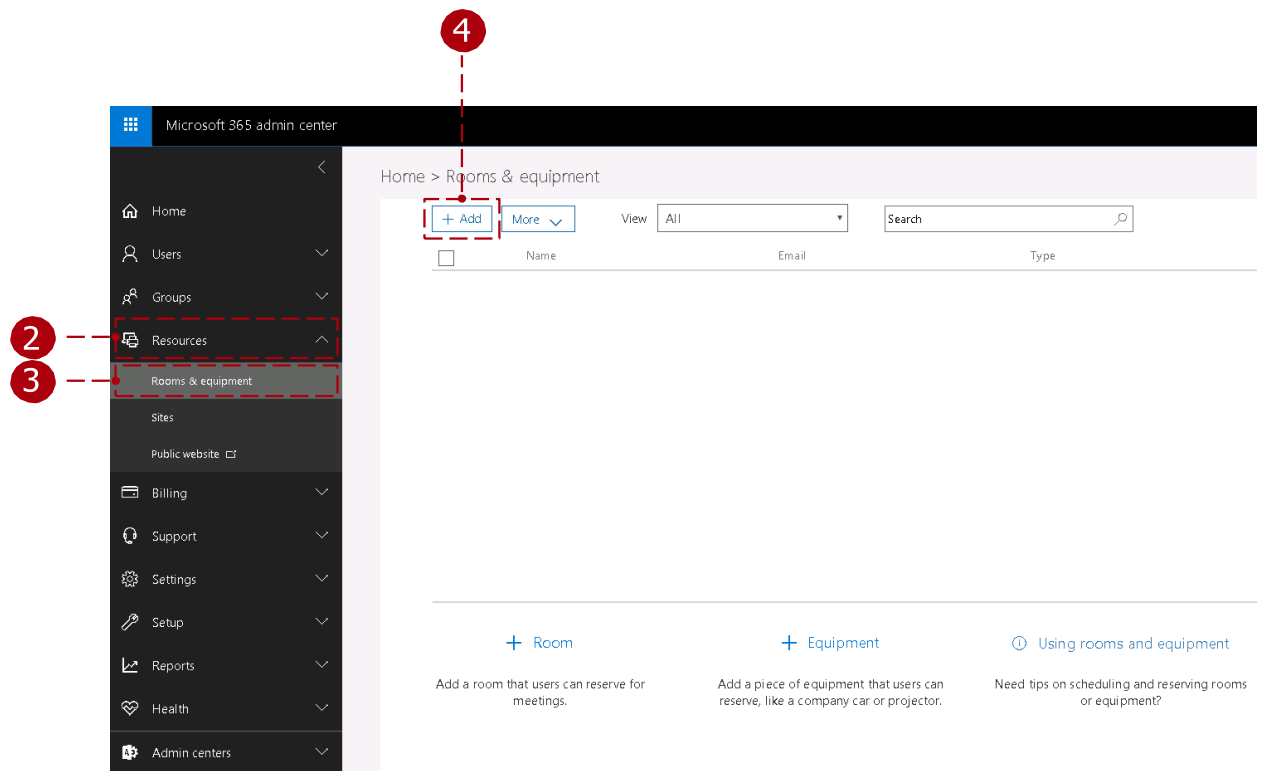
2 管理センターを選択してください。



すべてのルームリソースはここに一覧されており、後でルームグループに追加できます。定義されていない部屋はここで追加または編集できます。

管理センターを選択した後:

- 2 「リソース」メニューを選択してください。
- 3 「部屋と装備」サブメニューを選択してください。
- 4 「+ 追加」ボタンで新しいルームリソースを作成できます。



5 部屋のパラメータを追加:

- タイプは「Room」でなければなりません。
- 部屋名を追加(例:「greenroom」)、メール(例:「greenroom」)。
- 収容人数(会議室の座席数)場所
- 電話番号

部屋名とメールアドレスの条件は必須です。

5

部屋が増えた場合は繰り返します 4 および 。

Windows PowerShell を使った RoomList 設定

Microsoft Microsoft365 カレンダーームリストの設定方法は 2 つあります。

Microsoft365 ヘルパーズスクリプトを使っています(詳細は専用章をご覧ください):

このスクリプトは管理用 Windows Power Shell で実行する必要があります:

Tigermeeting 管理アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。

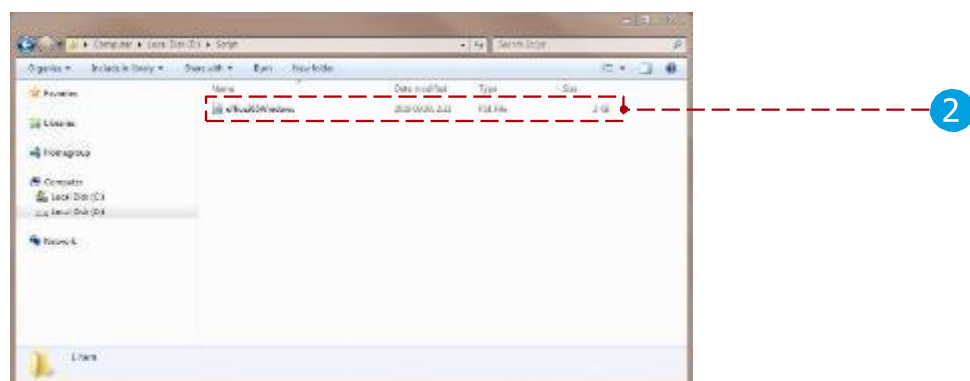
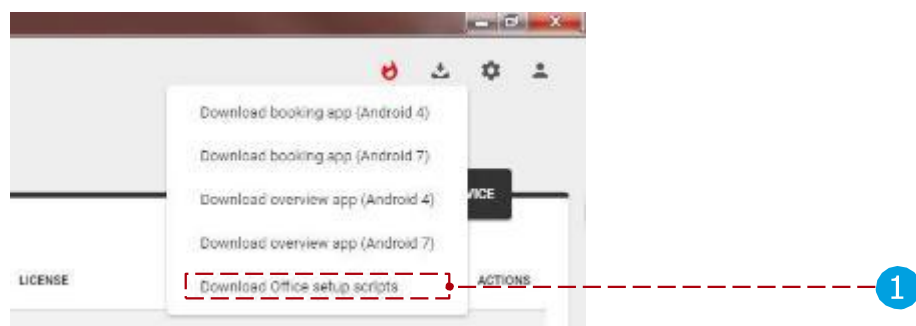
または手動で:

Microsoft365 カレンダーの設定は、「手動設定」の手順に従ってください。

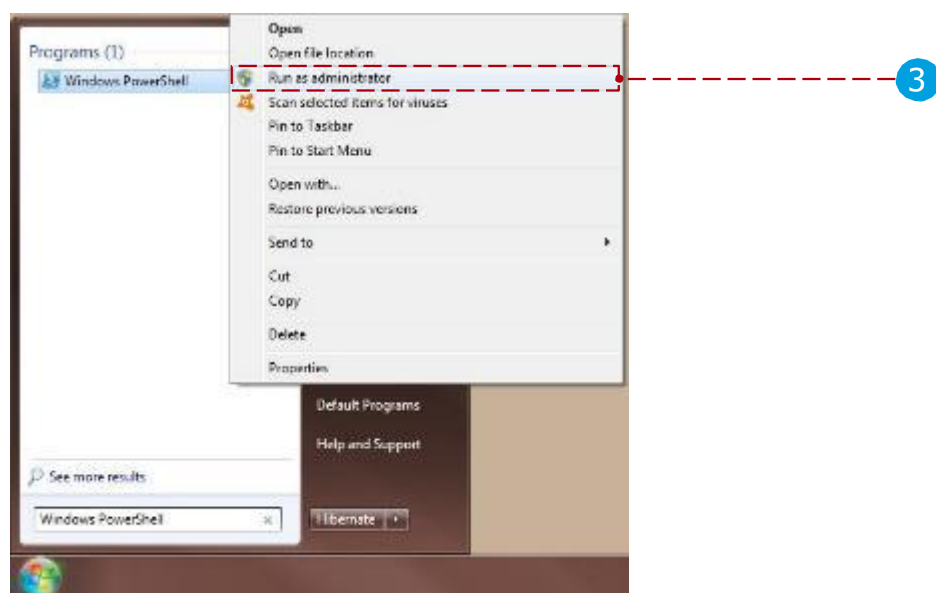
Microsoft 365 ヘルパースクリプトを用いた RoomList の設定

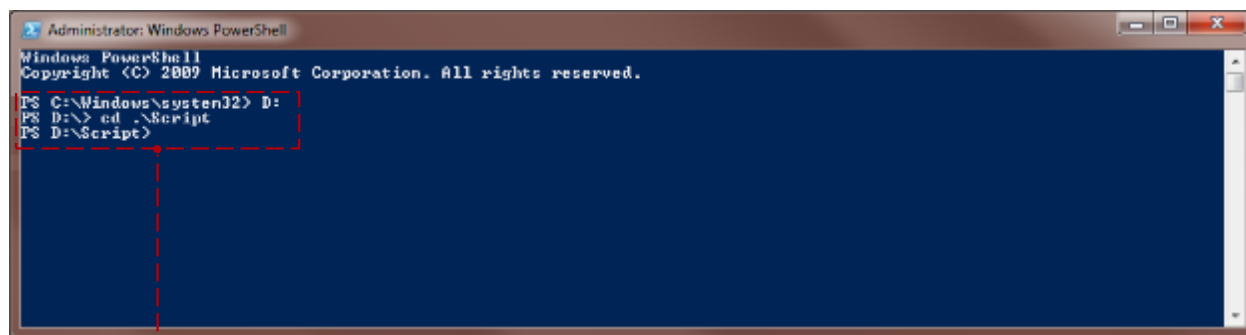
以下の手順に従ってください:

- 1 管理者アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。ダウンロードされたファイルでは、このスクリプトは Microsoft365、Exchange Online、および Linux、MacOS、Windows オペレーティングシステムで使用されるオンプレミスの Exchange Server 構成で動作します。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。(この例では Windows オペレーティングシステム用の Microsoft365 スクリプトを使用します)



- 3 Windows の PowerShell を管理者モードで実行してください。
- 4 Windows PowerShell 内で抽出したスクリプトファイルに移動します。





```

Administrator: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Windows\system32> D:
PS D:\> cd .\Script
PS D:\Script>

```

4

以下のコマンドを使ってください:

一. 実行ポリシーを実行スクリプトに変更する:

Set-ExecutionPolicy Unrestricted -Scope CurrentUser

ポリシータイプの変更を求められたら、「Y」と入力してエンターキーを押してください。

二. プロセスの「バイパス」ポリシーを設定する:

Set-ExecutionPolicy -Scope Process -ExecutionPolicy Bypass

ポリシータイプの変更を求められたら、「Y」と入力してエンターキーを押してください。

三. 実行ポリシーリストを表示する: Get-ExecutionPolicy -List



```

Administrator: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Windows\system32> cd D:
PS D:\> cd .\Script
PS D:\Script> Set-ExecutionPolicy Unrestricted -Scope CurrentUser

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic. Do you want to change the execution
policy?
[Y] Yes [N] No [S] Suspend [?] Help (default is "Y"): Y
PS D:\Script> Set-ExecutionPolicy -Scope Process -ExecutionPolicy Bypass

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic. Do you want to change the execution
policy?
[Y] Yes [N] No [S] Suspend [?] Help (default is "Y"): Y
PS D:\Script> Get-ExecutionPolicy -List

Scope                                     ExecutionPolicy
-----
MachinePolicy                           Undefined
UserPolicy                             Undefined
Process                                Bypass
CurrentUser                            Unrestricted
LocalMachine                           RemoteSigned

PS D:\Script>

```

Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行

注意: これは部屋リストの設定の推奨方法です。Microsoft 365 のヘルパースクリプトに特化した章が丸ごとあります。数章下にあります。より新しい説明に従ってください。

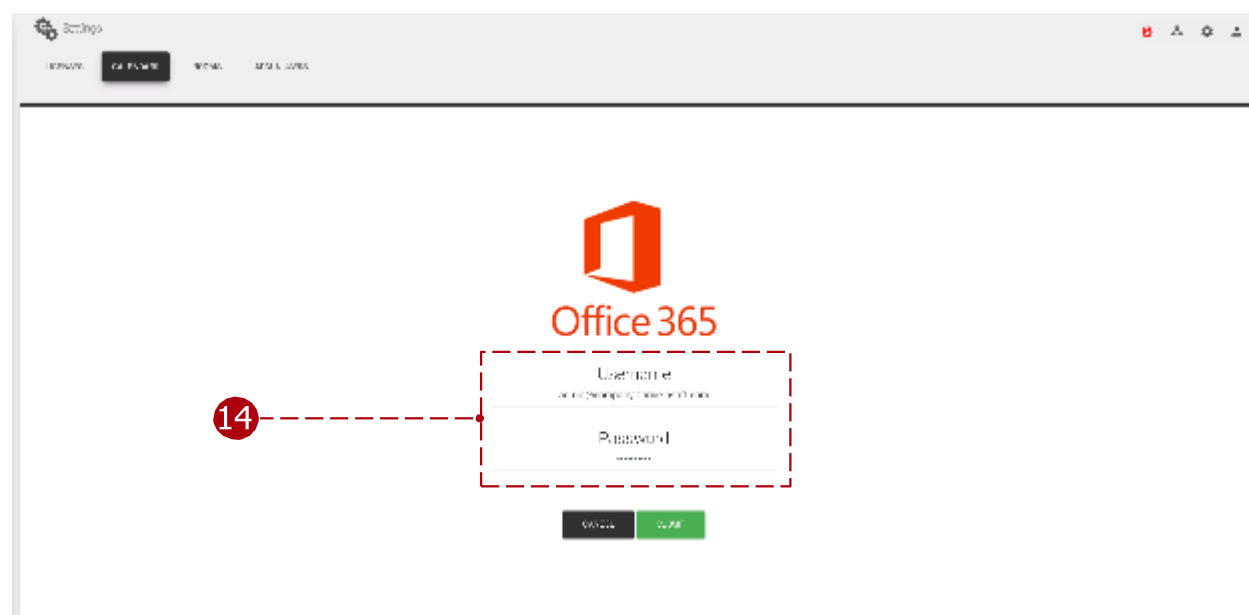
手動構成

混乱を避けるために手動設定の章は削除されました。RoomList の設定には Microsoft365 のヘルパースクリプトを使用してください。詳細な手順は下記の専用章をご覧ください。

Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください

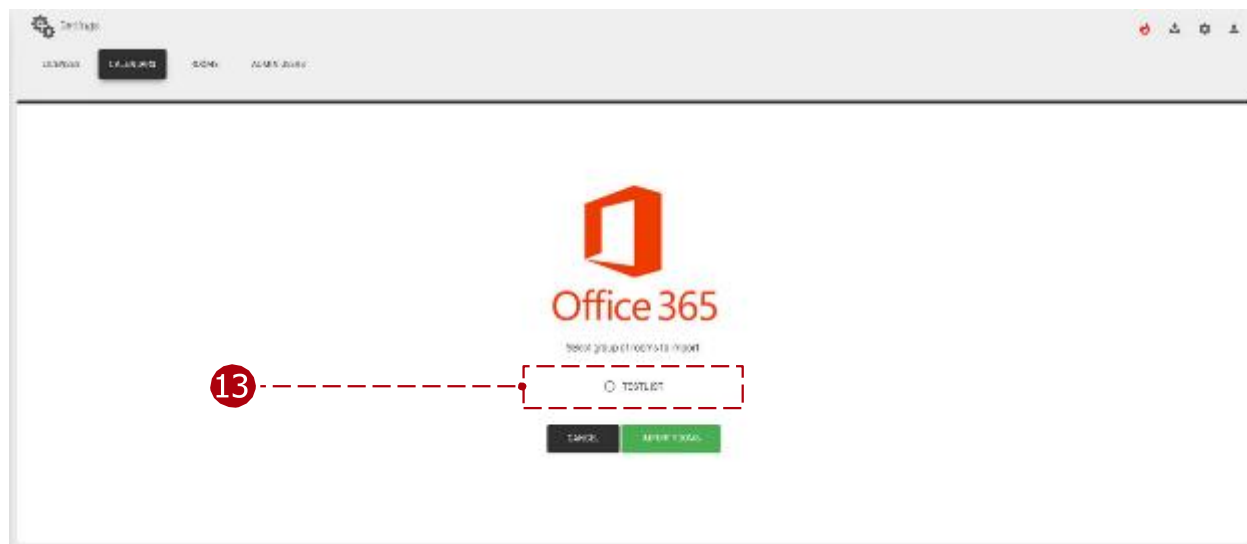
14 以下のユーザーパラメータで Microsoft365 カレンダーを添付してください:

ユーザー名
:admin@company.onmicrosoft.com パス
ワード:*****
MFA はサポートされています



ローカルネットワークセグメントに関連する、以前に設定された RoomList のいずれかを選択します。より複雑な環境では、複数のルームリストが利用可能かもしれませんが、TigerMeeting ネットワークで接続・使用できるのは 1 つだけです。

ご注意ください:RoomList が PowerShell(Microsoft 365 ヘルパースクリプトなど)で設定されている場合、Azure Apps で変更が利用可能になるまでに数時間、場合によっては 1 日かかることがあります。



指導ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=tzfgVGXUHV0>

Exchange カレンダーの設定

TigerMeeting はオンプレミスの Exchange Server カレンダー統合を完全にサポートしています。

注意:Exchange Online は Microsoft の Graph API を使用する別のカレンダー製品です。設定手順については Microsoft 365 カレンダー関連の章をご参照ください。

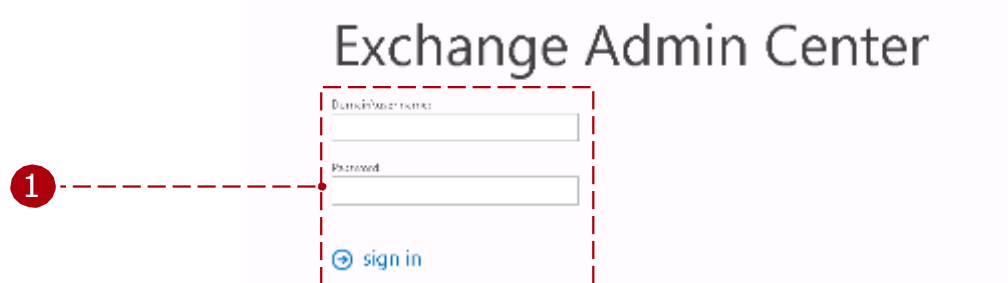
Tigermeeting 管理アプリケーションで Exchange カレンダー(Microsoft Exchange Server、オンプレミス)を使用するには、事前の設定が必要です。

ルームは Exchange 管理パネルから作成し、ルームグループや権限は Exchange 管理シェルで行う必要があります。これを達成するには、以下の手順に従ってください:

Exchange 管理パネル

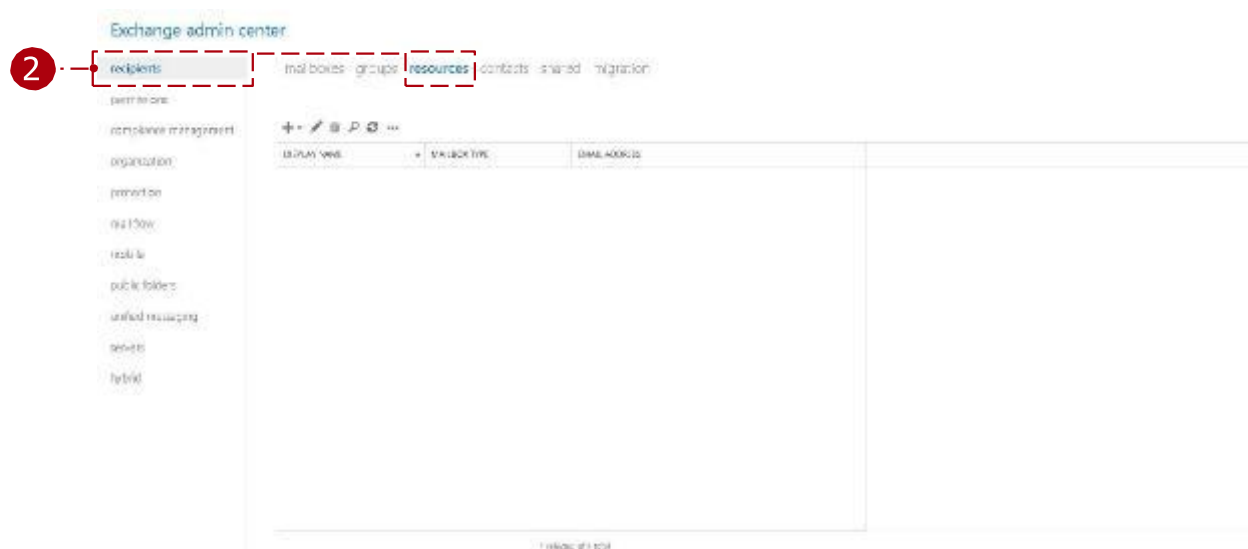
<https://exchange/ecp> に行け。

- 1 ユーザー名とパスワードを入力してください。
 - ユーザー名:admin
 - パスワード:*****

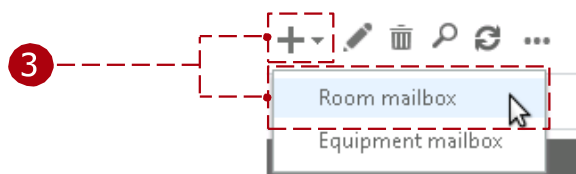


ログイン後:

- 2 受信者を選択し、リソースタブにしてください。(すべての部屋リソースはここに一覧表示されており、これらのリソースは後でルームグループに追加できます。部屋が定義されていなければ、ここで追加または編集できます。)



③ 「新設(プラス)」アイコンを押し、ドロップダウンリストから「ルームメールボックス」を選択してください。



④ 部屋のパラメータを追加:

- 部屋名を追加してください(例:「redroom」など)
- エイリアス(メールニックネームとも呼ばれる)(例:「レッドルーム」)
- 所在地
- 電話
- ☐ 収容人数(会議室の座席数)

部屋名と別名の条件は必須です。

new room mailbox

A room mailbox is a resource mailbox that's assigned to a physical location. Users can easily reserve rooms by including room mailboxes in meeting requests. Just select the room mailbox from the list and edit properties, such as booking requests or mailbox delegation. [Learn more](#)

*Room name:

*Alias:

Organizational unit:

Location:

Phone:

Capacity:

[More options...](#)

This name will appear in the address book. To make it easier for users to find rooms, use a consistent naming convention.

部屋が増えた場合は繰り返します

③ および ④

Exchange Management Shell を通じた設定

Microsoft Exchange カレンダーの設定方法は 2 つあります:

Microsoft Helper スクリプトを通じて:

このスクリプトは Windows Exchange 管理シェルで実行する必要があります
:Tigermeeting 管理アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。以下の指示をお読みください

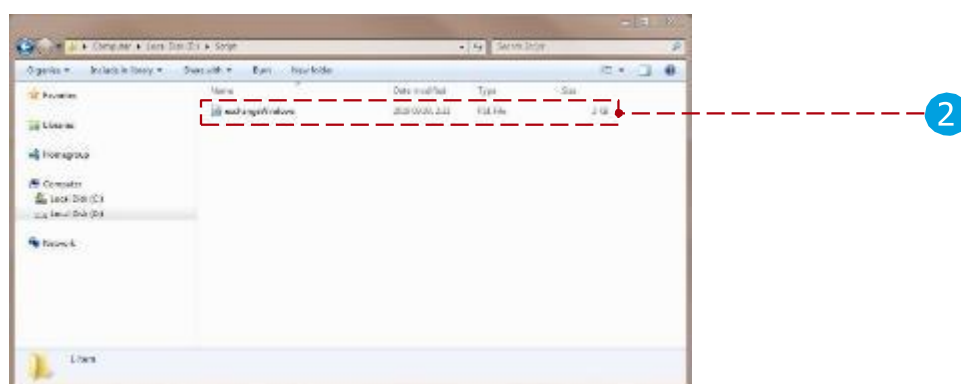
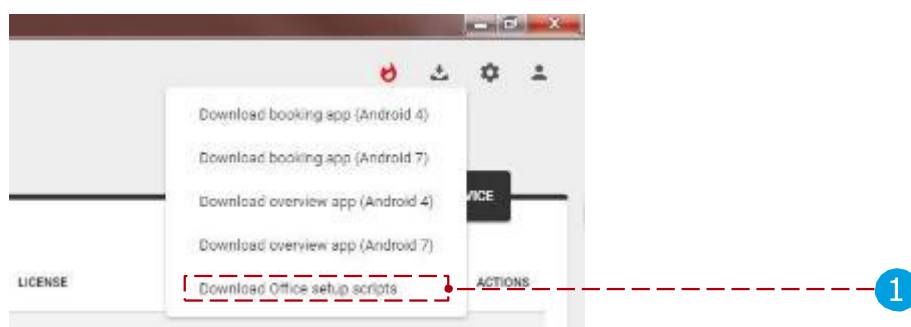
または手動で:

Microsoft Exchange カレンダーの設定は、「手動設定」の手順に従ってください。

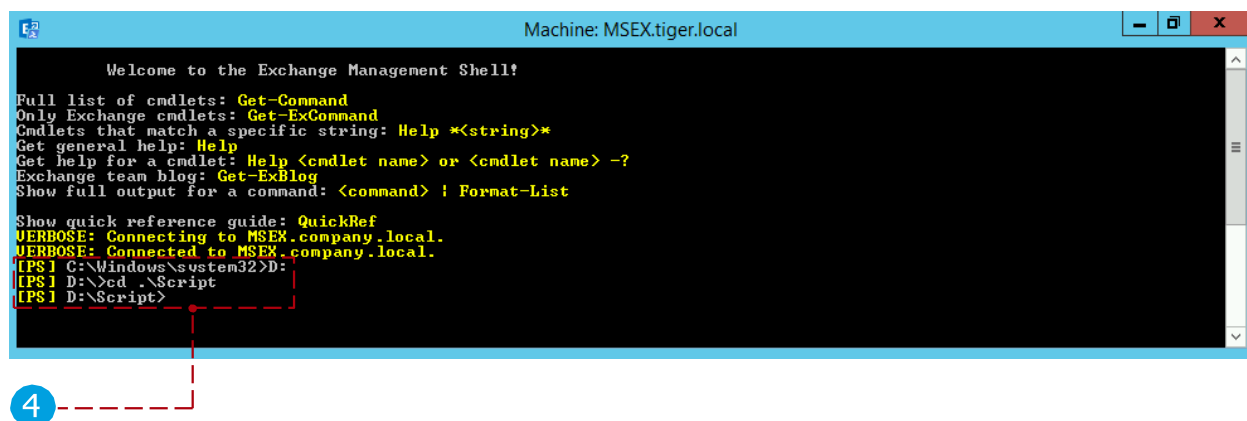
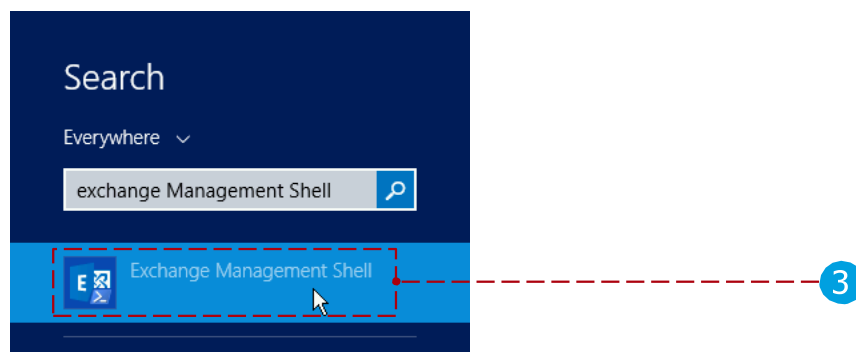
Microsoft ヘルパースクリプトによる設定

Microsoft365 ヘルパースクリプトをダウンロードするには、以下の手順に従ってください:

- 1 管理者アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。ダウンロードされたファイル内のスクリプトは、Microsoft365 および Exchange の設定、Linux、Mac、Windows の OS 用です。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。(この例では Windows オペレーティングシステム用に Exchange スクリプトを使用します)



- 3 Exchange 管理シェルを実行してください。
- 4 Exchange 管理シェル内で抽出したスクリプトファイルに移動します。



Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行

注意: これは部屋リストの設定の推奨方法です。Microsoft 365 のヘルパースクリプトに特化した章が丸ごとあります。数章下にあります。どうぞ、そこにいる指示に従ってください。

手動構成

混乱を避けるために手動設定の章は削除されました。RoomList の設定には Microsoft365 のヘルパースクリプトを使用してください。詳細な手順は下記の専用章をご覧ください。

Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください

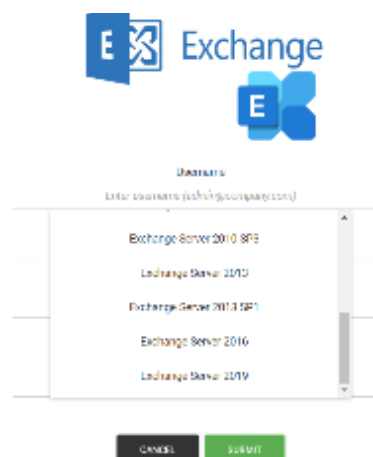
部屋が適切に配置されたら。部屋リストが作成され、それぞれの部屋リストに割り当てられます。管理者アプリケーションを使って Exchange カレンダーを Tigermeeting 環境に紐付けてください。

12 以下のユーザーパラメータで取引カレンダーを添付してください:

- ユーザー名: admin@mail.local (メールアドレスを正式に使用) パスワード:*****
- ホスト:https://exchange.url.local(サーバーが「http」または「https」プロトコルを使用している場合は、サーバーが期待するものを使ってください)
- サーバーバージョン:例:「Exchange 2016」

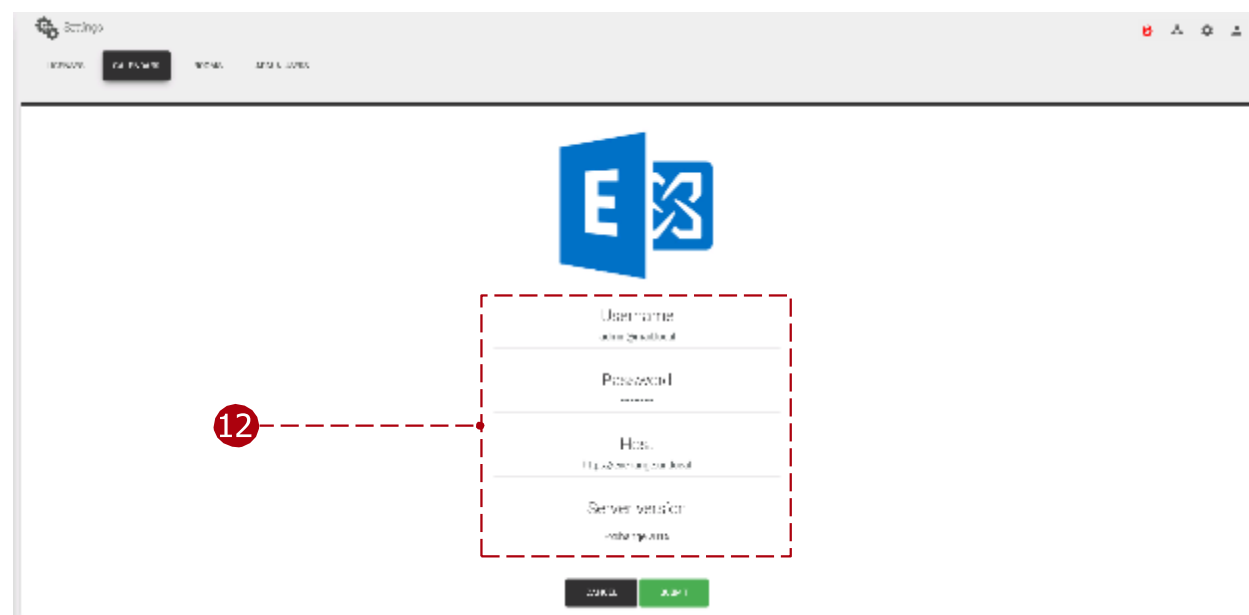
注: TigerMeeting は 2007 年から 2019 年の Microsoft Exchange サーバーに対応しており、ある程度 Exchange SE とも互換性があります(将来のスキーマ変更はテストできません)。

API スキーマが異なり、サーバーバージョンに依存しているため、実際に使用されている Exchange サーバーのバージョンを設定することが重要です。



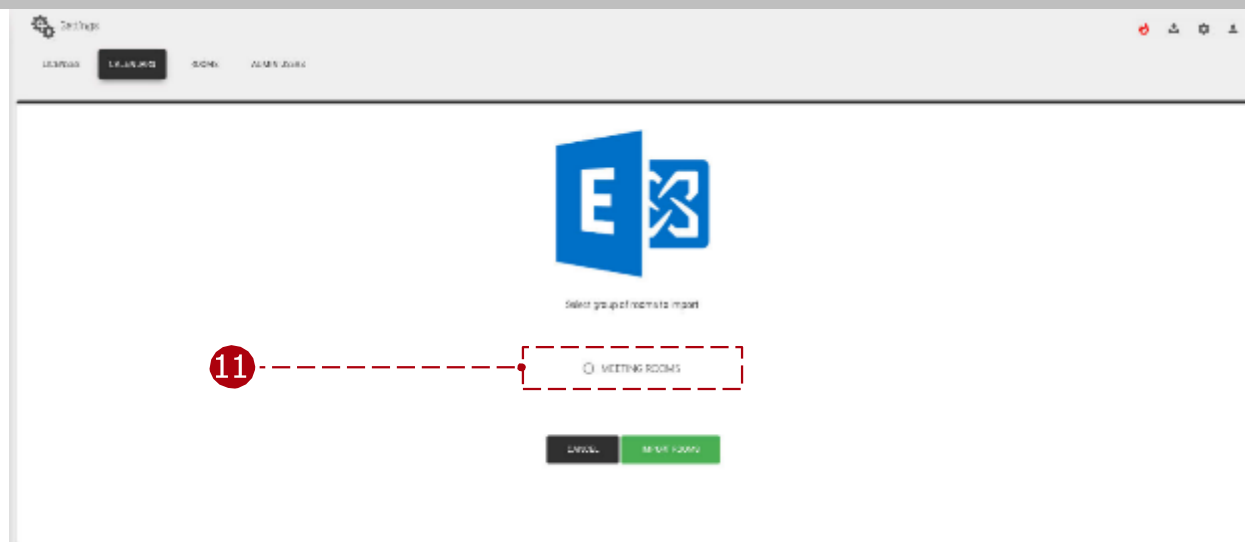
要件: Exchange サーバー は NTLM を有効にしている必要があります。

詳細については、Windows Server および Exchange Server のドキュメントを必ずご覧ください。



認証が成功すれば、設定済みの部屋リストが表示されます。

意図するオフィスや学校環境に適した教室資源を含む部屋リストを選択してください。



エクステンジカレンダーは現在添付されています。

ネットワークタブに記載されているデバイスにオンラインルームリソースを割り当て続けることができます。

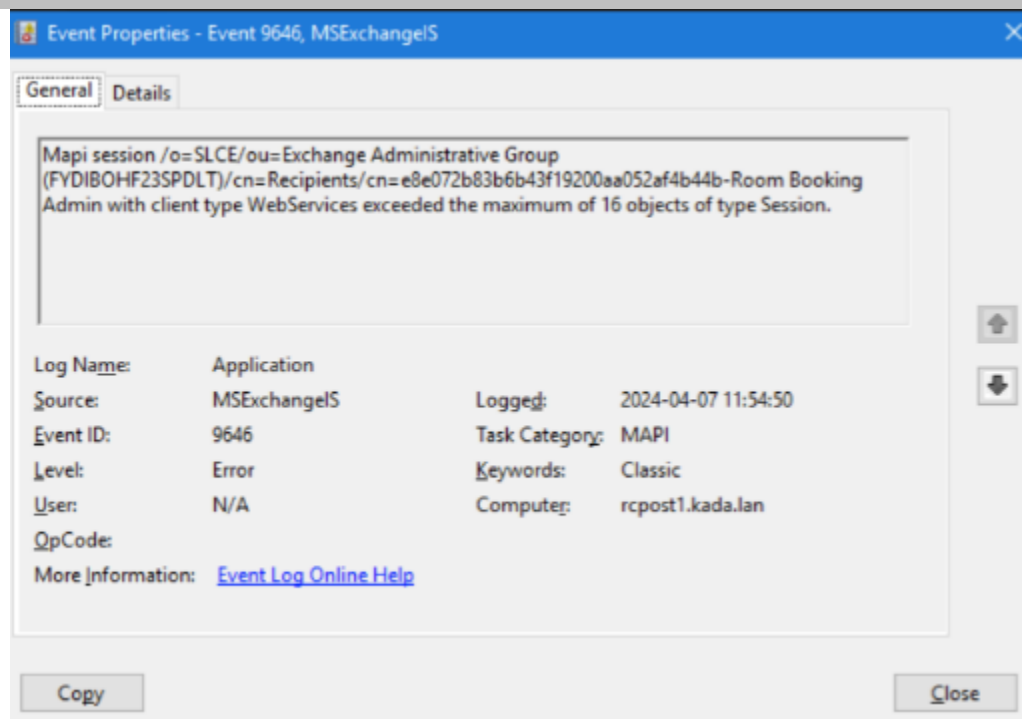
重要な注意事項

Tigermeeting Android アプリケーションを実行しているデバイスは通常の動作中に独自のセッションを維持する独立した存在であるため、大規模なインストールは Exchange Server のデフォルトのセッション制限の一部に達することがあります。

要件: 管理者ユーザーの Tigermeeting を実行するデバイスごとに 1 セッションを許可してください。

誤差は以下のように現れるかもしれません:

- Tigermeeting を運営している一部のスクリーンでは、部屋の予約が取得できない場合があります
- Tigermeeting のデバイスログには次のように表示されます:アクション :
[ACTION_GET_RESERVATION] : エラー : [リクエストが失敗しました。サーバーは現在このリクエストに対応していません。後でもう一度試してみてください。]
- Exchange Server イベントログ(MSExchangeIS)では、「クライアントタイプの WebServices が最大 16 個を超えた」タイプのオブジェクトが発生します。



解決策は Exchange サーバーの制限を引き上げることです

ユーザーごとの最大許可セッション数

Microsoft のドキュメント(<https://learn.microsoft.com/en-us/exchange/managed-store-limits-exchange-2013-help> など)に記載されているユーザーあたりの最大許可セッション数の制限

最大セッション数を増やすには、Exchange Server の Windows レジストリで以下の値を調整する必要があります。この例では、同時セッションの最大数が 128 セッション(80 の 16 進数)に増加しています:

[HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Services/MExchangeIS/ParametersSystem]

「ユーザーあたりの最大許容セッション数」=dword:00000080

その後、「Microsoft Exchange Information Store」サービスを再起動する必要があります。

NSPI セッション制限

NSPI のセッション制限で、デフォルトでユーザーとドメインコントローラーあたり最大 50 セッションまで可能です。

この制限を増やすには、各ドメインコントローラーの Windows レジストリで以下の値を設定する必要があります:

[HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Services/NTDS/パラメータ]
 「NSPI max session per user」 =dword:00000200
 その後、ドメインコントローラーを再起動してください。

詳細は <https://support.microsoft.com/en-us/topic/error-trying-to-connect-to-microsoft-exchange-server-results-in-mapi-e-logon-failed-7d322bd7-0dce-1fe9-b446-90f153000286> をご覧ください。

スロットリングポリシー

Exchange は、例えば「ユーザー『Sid~[あるユーザー]』の予算が[一定期間]までロックアウトされるなど」というメッセージで、カレンダー管理者ユーザーをしばらくロックアウトすることがあります。**最大バースト:480000、リチャージレート:1800000、カットオフ残高:-600000**

Exchange Server は、単一ユーザーやアプリケーションが消費できるサーバーリソースの量を制限します。

インストール内のすべての画面を担当するカレンダー管理者ユーザー向けに、より多くのリソースを許可してください。

詳細はこちらをご覧ください:

<https://learn.microsoft.com/en-us/exchange/client-developer/exchange-web-services/ews-throttling-in-exchange>

専門的な支援が必要な場合は、マイクロソフトサポートまでお問い合わせください。

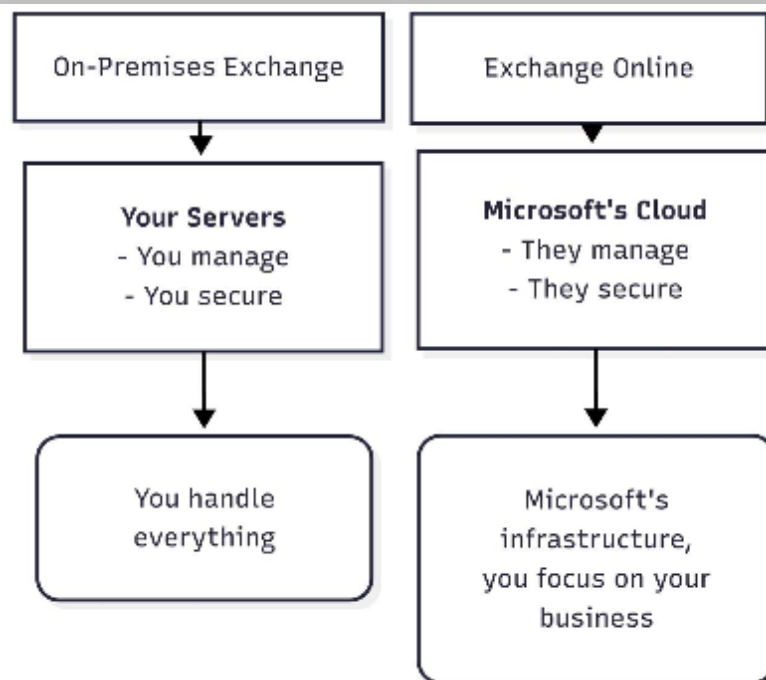
オンプレミス Exchange Server または Exchange Online

Microsoft Exchange Server(オンプレミス版 Exchange)と Microsoft Exchange Online は、名前や目的は非常に似ているものの異なる製品であり、基盤となる技術スタックは根本的に異なります。

Exchange Online は、Microsoft 365 スイートの一部である Microsoft のクラウドベースのメールおよびカレンダーサービスです。

また、Exchange Online は Graph API を使用しており、オンプレミスの Exchange Server とのハイブリッドアーキテクチャ構築が可能です。

以下のグラフィック比較をご覧ください:



重要:Tigermeeting の視点から見ると、最も重要な違いはカレンダー通信に使用される API プロトコルです。

- Exchange Server は EWS を使用しています。
- Exchange Online は Graph API を使用しています

したがって、Exchange Online のカレンダーを設定するには、Microsoft 365 のセットアップガイドをご利用ください。

Microsoft365 helper script

はじめに

Microsoft365、Exchange Online、Exchange Server は非常に高度なカレンダーで、さまざまな環境で利用できます。

巨大企業は多くの大陸に広がり、多くの都市にオフィスを持ち、多数の建物を持っていますが、すべては単一のカレンダーにまとめられています。

リソースを整理するために、Microsoft は「ルームリスト」という用語を使って、例えば 1 つのオフィスに属する部屋をグループ化します。

ルームリストの管理は管理者パネルや PowerShell コマンドで行うことができますが、Tigermeeting の顧客は自分で設定に苦労したため、開発者はルームリスト管理を支援するシンプルなメニューベースのツールを作成しました。

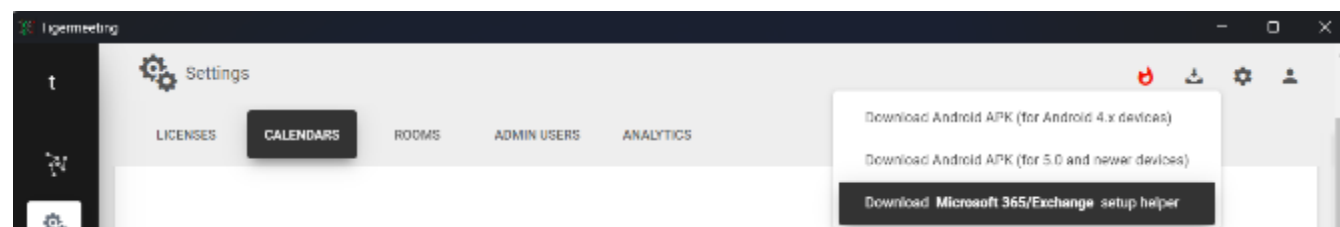
Tigermeeting Microsoft365/Exchange Online の設定ヘルパースクリプトは軽量な PowerShell スクリプトで、複雑なスクリプト技術を使わずに意図的に作成され、人間が読みやすいように作られています。

このヘルパースクリプトを使用する予定のすべての顧客管理者には、RoomList 関連のすべての操作を確認し、理解し、確認することを推奨します。

このスクリプトは顧客にとって役立つように書かれていますが、すべての操作は行ごとに実行するか、Microsoft365 管理セットアップコンソールや Exchange 管理シェルを通じて実行可能です。

ダウンロードとインストール

管理者アプリから Microsoft ヘルパースクリプトをダウンロードしてください



zip ファイルをディレクトリでアンパックします。

スクリプトは管理者 PowerShell または Exchange 管理シェルから実行する必要があります

異なるオペレーティングシステムでの PowerShell インストール

MacOS PowerShell インストール

Brew Cask Install Powershell

```
$pwsh
```

Ubuntu PowerShell インストール

Snap Install PowerShell ---classic

```
$powershell
```

OpenSuSE のインストール

フォローしてください <https://snapcraft.io/install/powershell/opensuse>

フェドラの設置

フォローしてください <https://snapcraft.io/install/powershell/fedora>

Windows PowerShell

Start->Windows PowerShell -> Administrator として実行

部屋の資源を準備しろ

注意:このスクリプトは RoomLists のみで動作します!

注意:ルームリソースの作成と削除は、スクリプトを実行する前に行うべき管理タスクで、Microsoft365 管理者または Exchange 管理センターを通じて行います。

Microsoft365 または Exchange Online でのルームリソース管理

- Microsoft365 アカウントにログインしてください。
- 左上のメニューアイコンをクリックしてください
- すべてのアプリを選択します。->管理->すべて表示。->リソース。->部屋と機器を選択します。
- ルームリソースの追加、削除、編集

Exchange Server でルームリソースを管理するために

- Exchange 管理センターにログインしてください
- 左メニュー:受取者 -資源>
- ルームリソースの追加、削除、編集

RoomList 関連の操作では、このスクリプトを実行するには Global Admin、Power User が必要です。

カレンダー操作に関しては、Office365 E1 のユーザー権限/ライセンスで十分です。カレンダー操作を割り当てて Tigermeeting 管理者アプリケーションから動作確認した後、グローバル管理者権限を解除することが推奨されます。

スクリプトの実行(例)

- 一. 管理者として PowerShell を開始する
- 二. スクリプトがあるディレクトリに変更する:
cd Tigermeeting-Microsoft-helper

スクリプトを実行する前に実行ポリシーを設定する必要があります:

Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy Unrestricted

```

Administrator: Windows PowerShell (x86)
PS C:\WINDOWS\system32> cd ../../Users/Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts\
PS C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts> Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy Unrestricted
Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Yes
PS C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts> .\tigermeeting_microsoft365.ps1
Tigermeeting Microsoft365/Exchange Online config helper

Setting the ExecutionPolicy - please answer YES to accept.

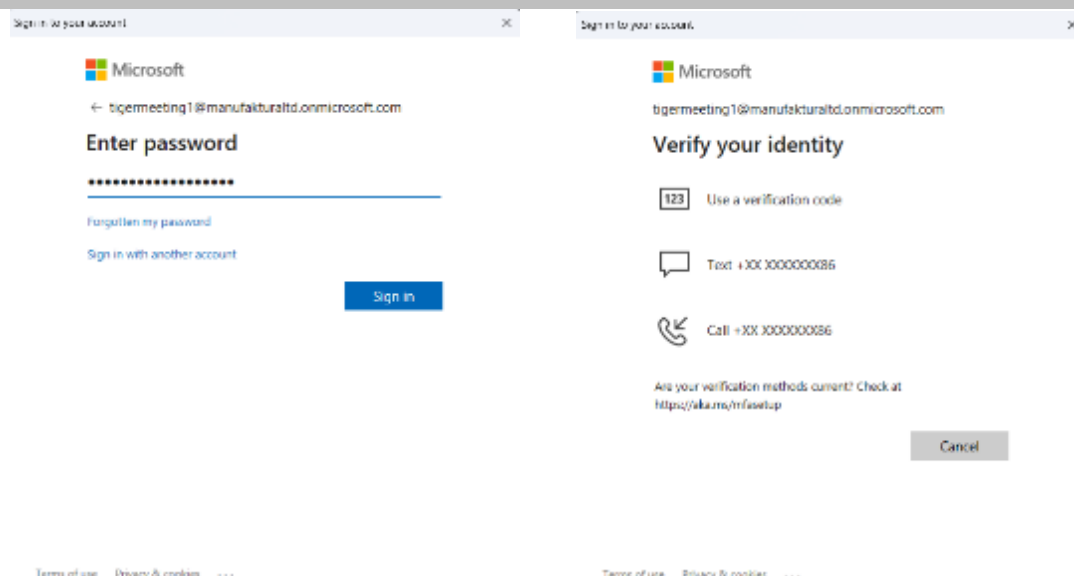
Set-ExecutionPolicy : Windows PowerShell updated your execution policy successfully, but the setting is overridden by
a policy defined at a more specific scope. Due to the override, your shell will retain its current effective
execution policy of Unrestricted. Type "Get-ExecutionPolicy -List" to view your execution policy settings. For more
information please see "Get-Help Set-ExecutionPolicy".
At C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts\tigermeeting_microsoft365.ps1:42 char:1
+ Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
+ ~~~~~
+ CategoryInfo          : PermissionDenied: (:) [Set-ExecutionPolicy], SecurityException
+ FullyQualifiedErrorId : ExecutionPolicyOverride,Microsoft.PowerShell.Commands.SetExecutionPolicyCommand

If the ExecutionPolicy is accepted - the errors above can be safely ignored.
...but please make sure that the ExecutionPolicy is Unrestricted below.

The current ExecutionPolicy is: Unrestricted
  
```

管理者の認証を。認証やカレンダー操作に使うルームリストが管理者ユーザーにとってアクセス可能になるようにするために、最善の方法は同じ管理者認証情報を使うことです。

注意:認証は MFA(多要素認証)にも対応しています。



認証に成功すると、以下のメニューが表示されます。

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

-----
This V3 EXO PowerShell module contains new REST API backed Exchange Online cmdlets which doesn't require WinRM for Client-Server communication. You can now run these cmdlets after turning off WinRM Basic Auth in your client machine thus making it more secure.

Unlike the EXO* prefixed cmdlets, the cmdlets in this module support full functional parity with the RPS (V1) cmdlets.

V3 cmdlets in the downloaded module are resilient to transient failures, handling retries and throttling errors inherently.

However, REST backed EOP and SCC cmdlets are not available yet. To use those, you will need to enable WinRM Basic Auth.

For more information check https://aka.ms/exov3-module

The latest EXO V3.7 module is released which includes significant memory improvements. You're currently using an older version and we recommend upgrading to V3.7 for enhanced performance.
-----

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
-----

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):
```

ROOMLIST の操作メニューは非常に直感的でわかりやすいです:

- 1 部屋付きの新しい RoomList を作成する
- 既存の RoomList に 2 つの ADD 部屋
- RoomList 内の 3 つのリストルーム
- 4 すべてのルームリスト一覧
- 5 すべての部屋をリスト
- 6 ルームリストを削除
- 7 既存の RoomList から部屋を削除する
- 8 出口

重要な使用注意事項

ご注意ください:

- このスクリプトはルームリストのみを扱っています:作成、リスト、削除。
- 1つの部屋やリソースは複数のルームリストに含めることができます。
- ルームリストを削除しても、ルームリソースは削除されません
- 部屋は RoomList 関連の操作の影響を受けません。

重要:変更は恒久的で、Azure/Exchange リポジトリで直接行われます。ロールバックオプションはありません

RoomList やルームアイデンティティは Microsoft365/Azure/Exchange のリポジトリ内のメールアドレスであり、ディスプレイ名は制限なく任意に設定できます。

このスクリプトは、RoomList の識別が一語で、メール識別に適した特別なユニコード文字を使わない場合にうまく動作します。そうでなければ、Microsoft はあなたのルームリスト名から一意でないメールを作成し、一意でなかったり識別が難しい場合があります。」

部屋および RoomList の識別については、PrimarySmtpAddress の「ユーザー」部分を使用してください

Name	PrimarySmtpAddress
----	-----
p_Stockholm	p_Stockholm@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_Berlin	p_Berlin@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_กรุงเทพฯ	p_Bangkok@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_上海	p_Shanghai@manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård	kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com

この例では、部屋識別子 p_กรุงเทพฯ または p_上海はルームリソースとして識別されません。

P_Bangkok と **p_Shanghai** を使う必要があります。

「SE-Conf-VHG Kylskåpet(4p 室)– ヴェーダーホルメンス・ゴード」または

kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com にも同様です。この部屋資源の正しい識別は **kylskap** です

一般的なユースケース

必要なルームリソースがすべて Microsoft365/Exchange 管理パネルで作成されているか確認してください

5 を押してください

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)
Enter your choice (1 to 8): 5
~~~~~
List all rooms
~~~~~

Name                                PrimarySmtpAddress                  ProhibitSendQuota
----                                -
tigermeeting2                      tigermeeting2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev1                          zoli-dev1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel2                          zoli-rel2@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel1                          zoli-rel1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev2                          zoli-dev2@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev3                          zoli-dev3@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
homedev2                          homedev2@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
homedev1                          homedev1@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1room2                tigermeeting1room2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1room1                tigermeeting1room1@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room2                tigermeeting1Room2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room3                tigermeeting1Room3@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room1                tigermeeting1Room1@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room4                tigermeeting1Room4@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel3                        zoli-rel3@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger                          zotigerlist@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger2                        zotigerlist2@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger3                        zotigerlist3@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger4                        zotigerlist4@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tiger1                          tiger1@manufakturaltd.onmicrosoft.com        49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
roomTest                        roomTest@manufakturaltd.onmicrosoft.com      49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
roomTest2                      roomTest2@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-prod1                      zoli-prod1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
```

リストに載せられた部屋は部屋リストにまとめることができます。
必要に応じて部屋名をコピー&ペーストできます。

現在定義されているルームリストをリストしてください:4 を押してください

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

Name                                PrimarySmtpAddress                  DisplayName
----                                -
roomroom                          roomroom@manufakturaltd.onmicrosoft.com    roomroom
zoli-testlab                      zoli-testlab@manufakturaltd.onmicrosoft.com zoli-testlab
homedev                          homedev@manufakturaltd.onmicrosoft.com     homedev
TigerMeeting1RoomList3            TigerMeeting1RoomList3@manufakturaltd.onmicrosoft.com TigerMeeting1RoomList3
DelgateGroupList20210924091817    delgategroupList@manufakturaltd.onmicrosoft.com DelgateGroupList
ZolTiger List 1                   ZolTigerList@manufakturaltd.onmicrosoft.com ZolTiger List 1
zoli-prodlab                      zoli-prodlab@manufakturaltd.onmicrosoft.com zoli-prodlab

~~~~~
The operation has completeted
~~~~~

ROOMLIST OPERATIONS MENU
~~~~~

1 Create a new RoomList with rooms
2 Add rooms to an existing RoomList
3 List rooms in a RoomList
4 List all RoomLists
5 List all rooms
6 Delete a RoomList
7 Delete a room from an existing RoomList

8 EXIT
Enter your choice (1 to 8):
```

同じように、新しいルームリストを作成したり、既存のルームリストに部屋を追加したり、ルームリストから部屋を削除したり、ルームリストの内容を確認したり、ルームリストを削除したりすること

も可能です。

最終結果を見るには、Microsoft365 や Exchange サーバーカレンダーを接続した際に Tigermeeting Admin アプリにインポートされるルームリストを、 3 を押してください

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

List rooms in a RoomList
~~~~~
Please, enter an existing RoomList identity. (example: myroomlist) : zoli-prodlab

DisplayName PrimarySmtpAddress OrganizationalUnitRoot
-----
zoli-prod1 zoli-prod1@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod2 zoli-prod2@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod3 zoli-prod3@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod4 zoli-prod4@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com

~~~~~
The operation has completeted

~~~~~
ROOMLIST OPERATIONS MENU
~~~~~

1 Create a new RoomList with rooms
2 Add rooms to an existing RoomList
3 List rooms in a RoomList
4 List all RoomLists
5 List all rooms
6 Delete a RoomList
7 Delete a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):
```

ルームリストから部屋を削除するには 7 を押してください

この場合、ルームリソースの完全なメールアドレス/PrimarySmtpAddress が必要です。例えば、
kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com(以下の例参照)

また、確認も必要です。[Y] はいか[A] すべて答えて、手術を確認してください

```
ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
~~~~~

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8): 7

~~~~~
Delete a room from an existing RoomList
~~~~~

Please enter the RoomList name where the room resides in: VaderholmensGard
Please, enter the EMAIL of the room you want to remove from the VaderholmensGard RoomList : kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com

Confirm
Are you sure you want to perform this action?
Removing distribution group member "EURP193A004.PROD.OUTLOOK.COM/Microsoft Exchange Hosted
Organizations/manufakturaltd.onmicrosoft.com/SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård" from distribution group
Identity:"EURP193A004.PROD.OUTLOOK.COM/Microsoft Exchange Hosted Organizations/manufakturaltd.onmicrosoft.com/VaderholmensGard".
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "Y"):
```

すべての RoomList が作成され、すべての RoomList に属するはずのすべてのリソースが含まれている場合、各 RoomList の内容を確認するために、オプション 4(すべての RoomList をリスト)および 3(RoomList 内の LIST rooms)で結果を確認してください

```

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
=====

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8): 3

=====
List rooms in a RoomList
=====

Please, enter an existing RoomList identity. (example: myroomlist) : VaderholmensGard

DisplayName                                     PrimarySmtAddress                               OrganizationalUnitRoot
-----
SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård  kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com        manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Björken (TeamsRoom 10p) - Väderholmens Gård  bjorken.hagvillan@manufakturaltd.onmicrosoft.com  manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Eken (TeamsRoom 8) - Väderholmens Gård  eken.hagvillan@manufakturaltd.onmicrosoft.com    manufakturaltd.onmicrosoft.com

=====

The operation has completeted

```

ヘルパースクリプトを EXIT するには**オプション 8**を使ってください。
スクリプトを終了することで認証済みセッションが切り離され、ユーザーは PowerShell または Exchange 管理シェルに移行します。

重要な注意事項

場合によっては、Microsoft365 のセットアップを同期するのに時間(時には数時間)かかることもあります。

スクリプト操作の結果は Microsoft365 や Exchange Online Admin コンソールで即座に確認できますが、Azure アプリ利用者とインターフェースするために使われる Azure アプリ(例えば Tigermeeting 管理者アプリ)は、アップデートをすぐには見逃します。

PowerShell による変更の反映が Azure アプリで遅れているのは、おそらく Azure サービス内のキャッシュメカニズムが原因です。PowerShell を通じて変更が行われた場合、同じインターフェースからクエリされた際に直接適用され、表示されます。しかし、Azure アプリは同期間隔やキャッシュのリフレッシュレートが異なる場合があります、これらの変更の反映に遅れが生じる可能性があります。

これは Microsoft 側で既知の問題であり、カレンダーを添付すると新しく作成された部屋リストの変更が管理者アプリに表示されるまでに時間がかかります。

症状は以下の通りです:

- 新たに作成されたルームリストは、認証に成功した後、Tigermeeting 管理者アプリに表示されません。
- 部屋リストに新たに追加された部屋は、認証や再ロードの操作後にリストに表示されません。

今のところ、唯一の回避策は、ルームリストを数時間後、あるいは 1 日後に Tigermeeting 管理アプリにインポートすることです。

ご注意ください:オンプレミスの Exchange サーバー(同じスクリプトを使ってルームリスト管理を行う)は、この「同期遅延」バグの影響を受けません。

PowerShell の問題のトラブルシューティング

よくある問題と解決策のリストは以下の通りです:

1. PSGallery が欠落しているか、信頼されていない

多くの Windows Server イメージ(特に古いもの)では PowerShell ギャラリーが削除または無効化されています。

2. Windows PowerShell 5.1 と古い PowerShellGet (1.0.0.1)

このバージョンは悪名高く壊れており、最新のモジュールをインストールできません。

3. TLS 1.2 は無効化されています

PowerShell Gallery には TLS 1.2 が必要です。これがなければ、モジュールの取り付けは静かに失敗します。

解決策:

以下は 99%の確率で問題を解決する手順です。

ステップ 1 — TLS 1.2 を有効にする

パワーシェ尔

```
[Net.ServicePointManager]::SecurityProtocol = [Net.SecurityProtocolType]::Tls12
```

ステップ 2 — PowerShell ギャラリーを再登録する

持っているものを確認してください:

パワーシェ尔

```
Get-PSRepository
```

PSGallery が欠落しているか信頼できない場合は、以下を実行します。

パワーシェ尔

```
Register-PSRepository -Default
```

```
Set-PSRepository -name "PSGallery" -InstallationPolicy Trusted
```

もしすでに存在しているが壊れている場合:

パワーシェ尔

```
Unregister-PSRepository -Name PSGallery
```

```
Register-PSRepository -Default
```

ステップ 3 — PowerShellGet を更新する(重要!)

あなたのシステムは以下のことを使っています:

```
PowerShellGet 1.0.0.1
```

このバージョンでは最新の Microsoft モジュールをインストールできません。

新しいバージョンをインストールする:

パワーシェ尔

```
Install-Module PowerShellGet -Force
```

その後 PowerShell を再起動してください。

Google Workspace の設定

Google-Workspace 対応のアカウントを使って会議を同期してください。

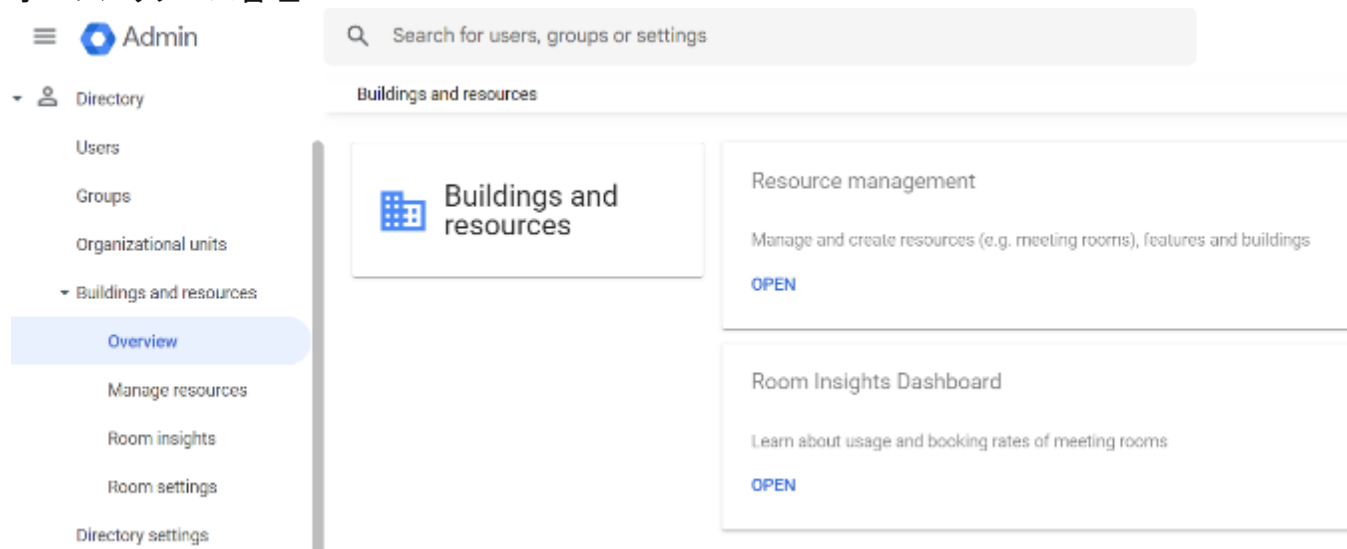
部屋の構成

部屋のリソースの作成や変更は、Google-Workspace の管理ページを通じてのみ可能です。

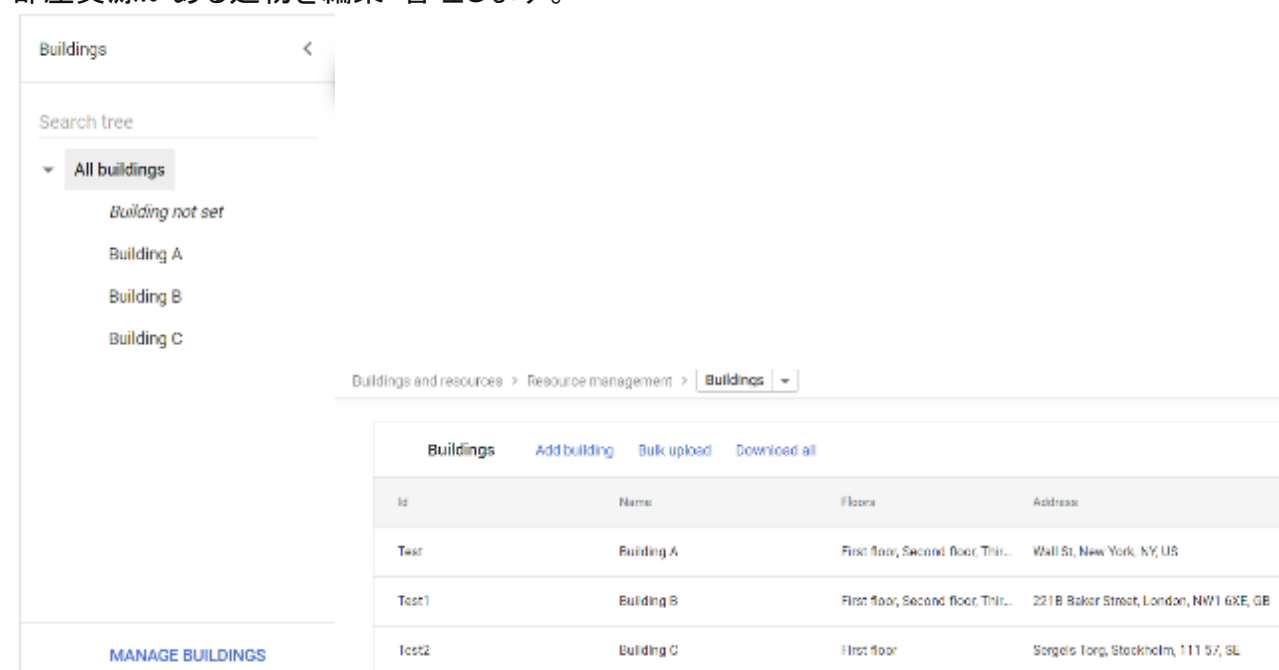
Tigermeeting はルームリソースを変更しないため、「ルーム情報」や「容量」は管理者アプリケーションで編集できません。

ブラウザを操作して <https://admin.google.com/u/2/ac/calendarresources/resources>

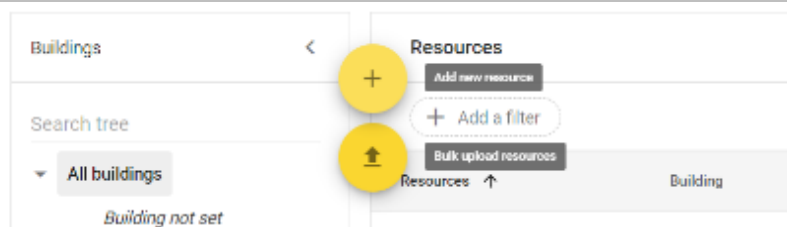
オープンリソース管理



部屋資源がある建物を編集・管理します。



新しい部屋リソースを追加



Add resource

Auto-generated resource name
Building C-First floor-Los Angeles (30)

Category * ⓘ
Meeting space (room, phone booth,...) ▼

Type
e.g. phone booth, mother's room, bike etc.

Building *
Building C ▼

Floor *
First floor ▼

Floor section

Resource name *
Los Angeles

Capacity *
30

Features

Search features

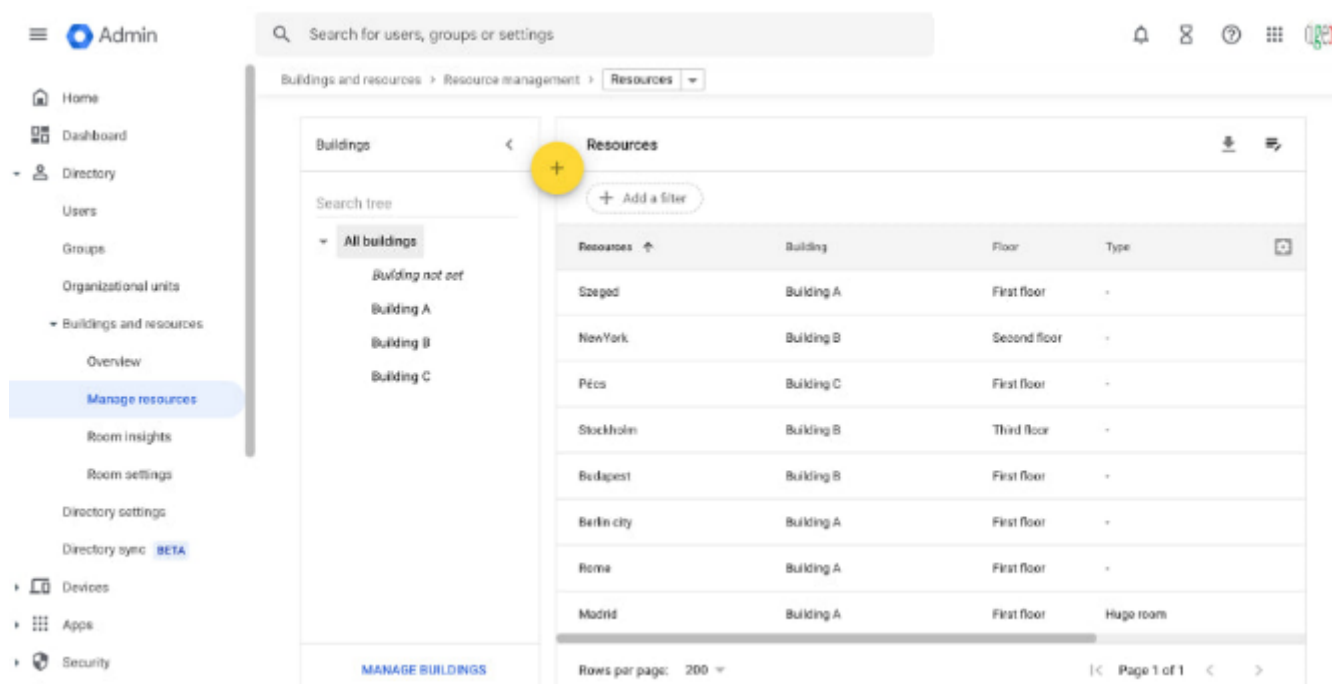
User visible description

[Add description \(internal\)](#)

* indicates a required field

CANCEL ADD RESOURCE

すべての部屋資源を追加した後、リストは埋められるはずです。



カレンダーが管理者アプリに紐づけられると、すべてのルームリソースが Tigermeeting システムにインポートされ、ライセンスされた画面デバイスへの接続が可能になります。

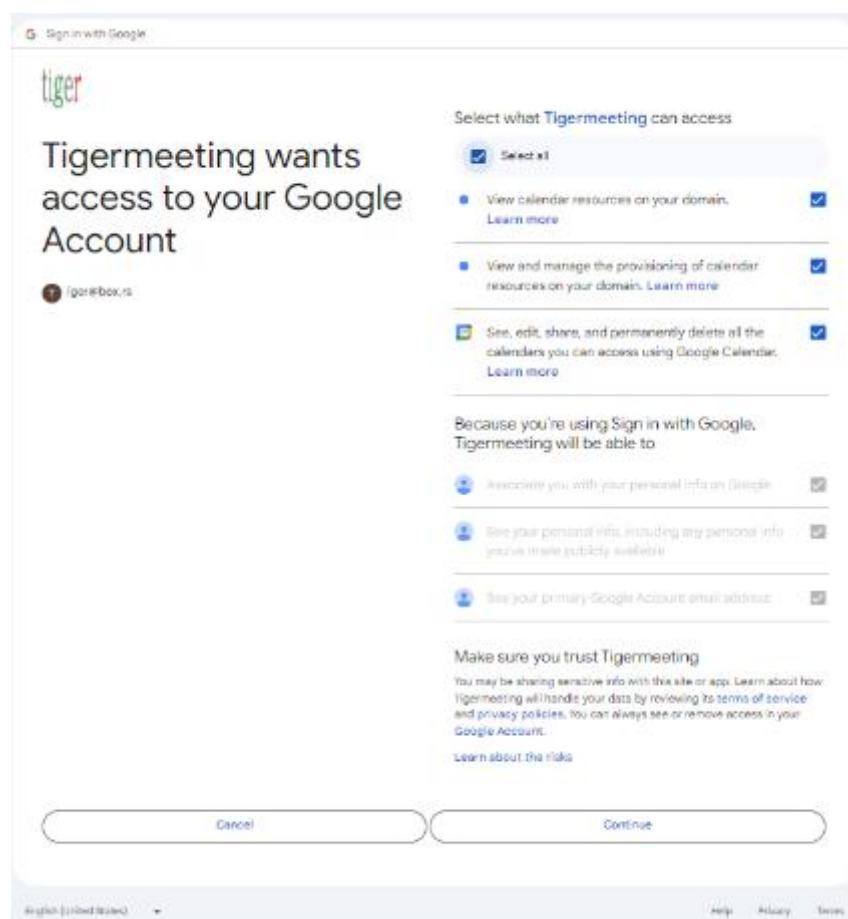
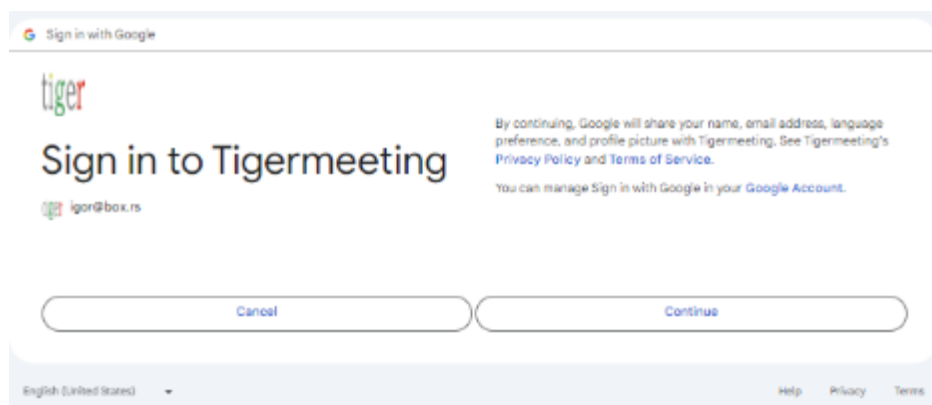
必要なら、会社の方針で Google 認定の Tigermeeting アプリをホワイトリストに登録してください。企業ア

カウントの Google Workspace 管理者は、ユーザーがアクセスできるアプリケーションを制御できます。

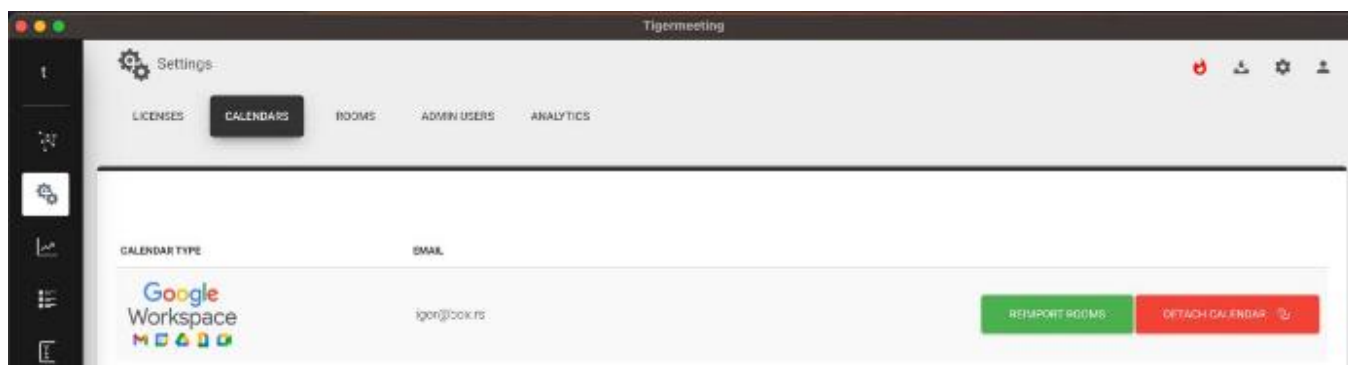
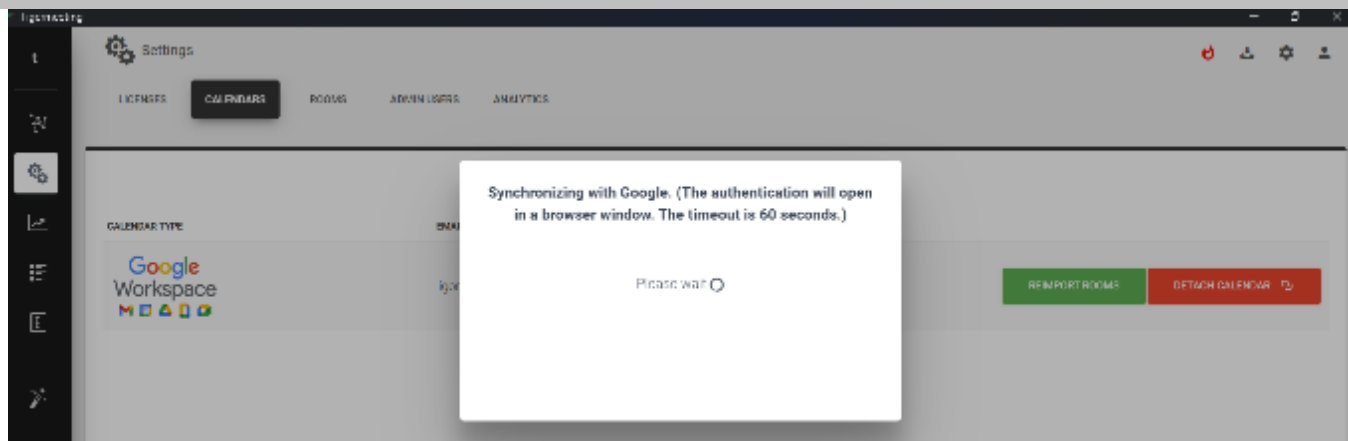
注意: 認証には、カレンダー対応の管理者アカウントを管理者権限付きで使用する必要があり、カレンダー関連の読み書き・削除操作を処理する必要があります

管理者アプリでカレンダーを添付する方法

認証:Tigermeeting アプリケーションを通常の運用に許可するために、**すべてのオプション**を選択し、承認してください。

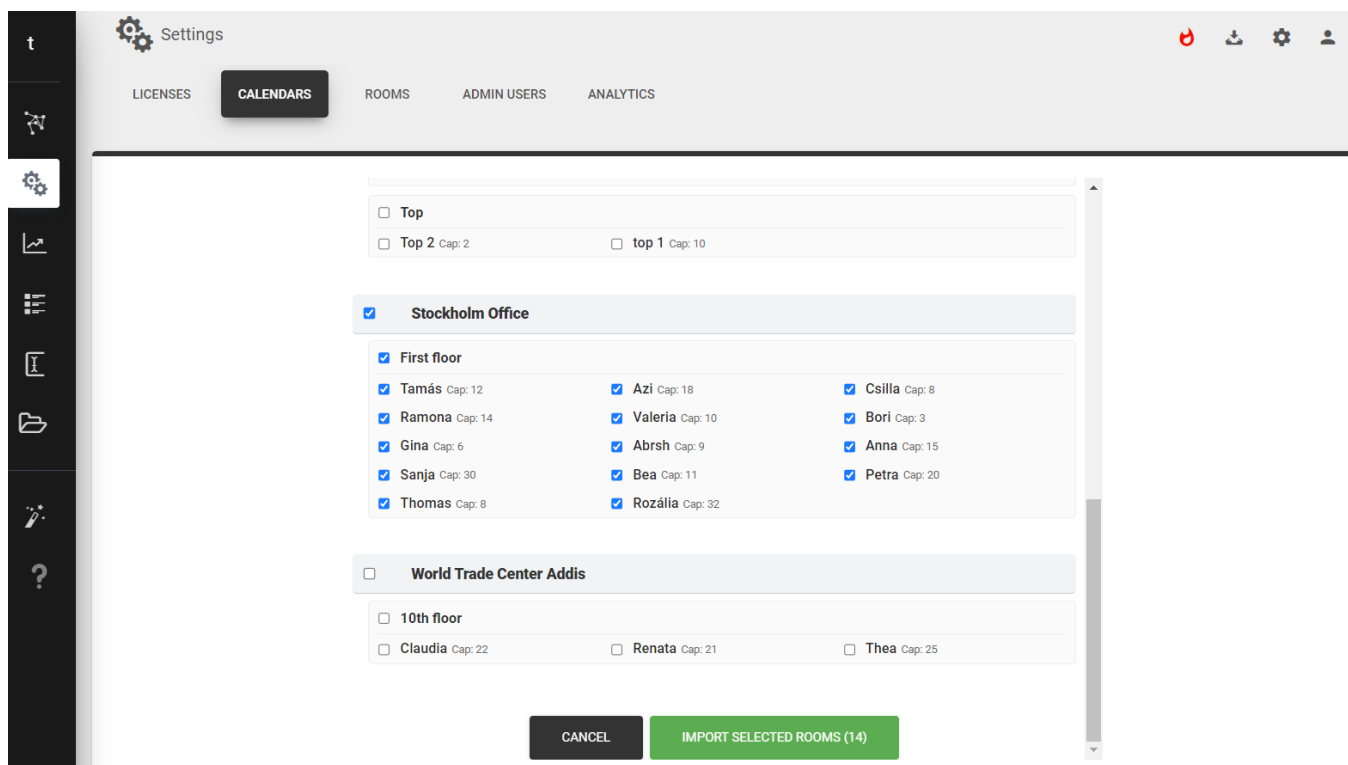


認証は 60 秒以内に行う必要があります。



部屋資源のインポート/再インポート

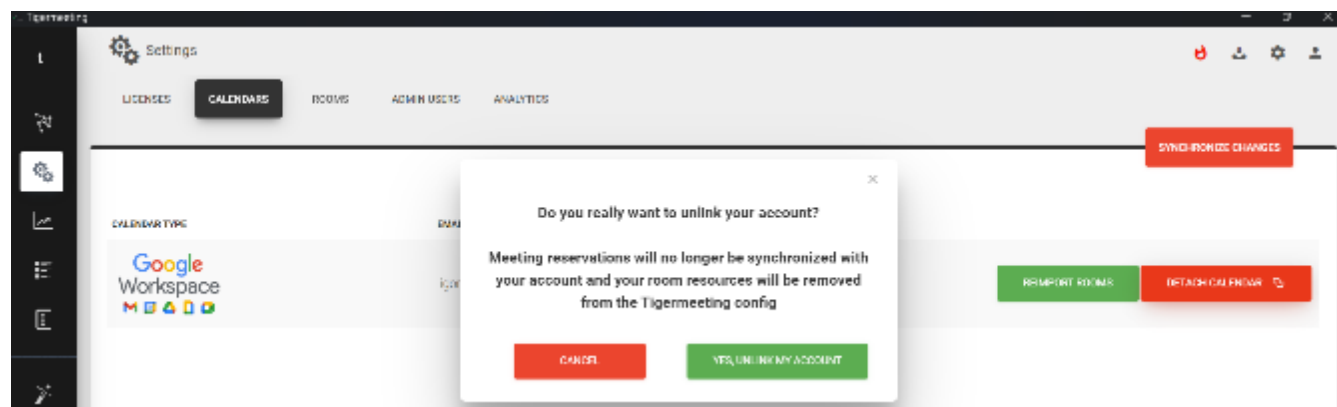
部屋のリソースは Google の管理コンソールで管理されています。Tigermeeting Admin App は、認証済み管理者ユーザーが権限を持つ部屋をインポートします。



すでにデバイスに紐づいているルームリソースの変更は許可されません。

カレンダーの切り離し

カレンダーを切り離すと、Tiger Admin アプリで設定されたすべてのルーム設定が失われますが、以前のバックアップを復元するとルーム設定は復元できます。



重要な注意事項

- 一. すべての権限は認証時に付与される必要があります。(次のページの Google カレンダーの図 -> 認証を参照)
- 二. 認証プロセスには 60 秒の猶予があり、その後認証プロセスは期限切れとなり、再実施が必要です。

指導ビデオ

<https://www.youtube.com/watch?v=j1cN9OaIDwU>

Google カレンダーの設定

Google アカウントを使って、通常の Google アカウントで会議を同期させるシステムを設定します。

Tigermeeting 管理アプリは部屋のリソースを管理します。Tigermeeting アプリケーションで作成された各部屋ごとに、同名の対応するカレンダーリソースが自動的に Google カレンダーに作成されます。

Google カレンダーのリソースは Google 管理ページを通じて管理可能です。会議、定期会議、i カレンダーのインポートなどを追加できますが、これらは会議室のリソースに割り当てられたデバイスを通じて透過的に行われます。

デバイスで予約した会議は、対応するリソースカレンダーに実際に予約されます。

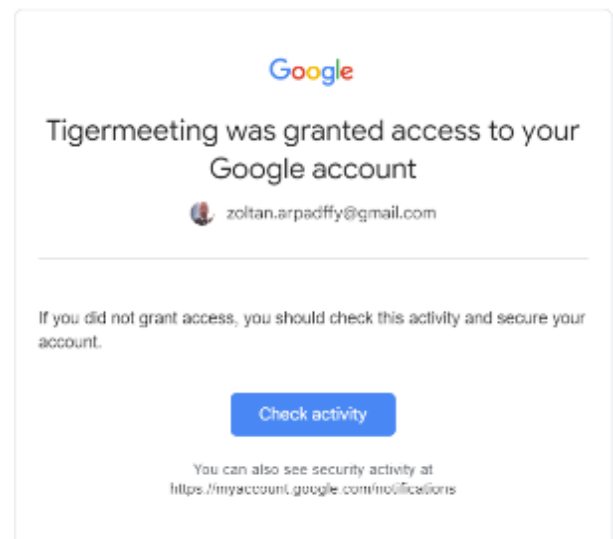
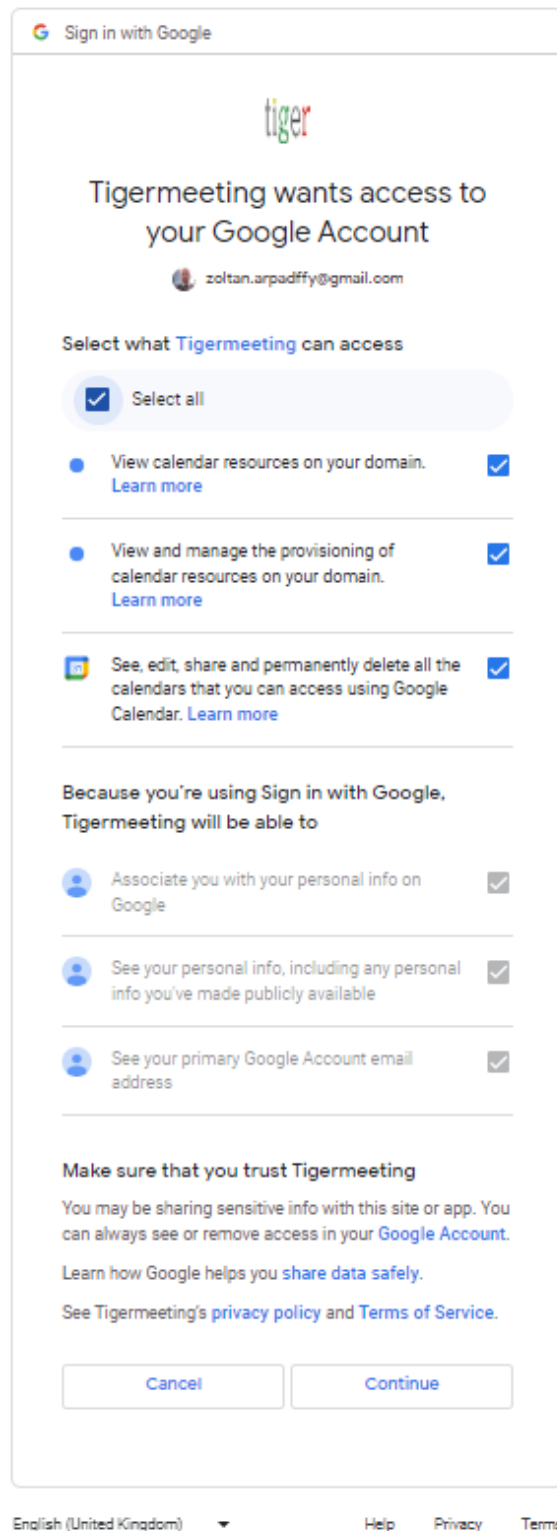
Google カレンダーが切り離されている場合、管理者は Tigermeeting 管理アプリで作成されたカレンダーリソースを保持するか削除するかを選択できます。

認証

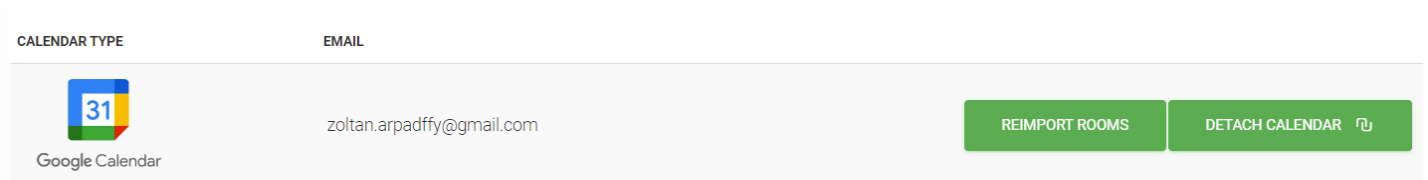
すべてを選択し、Google リソースへのアクセスを許可してください。これは通常の運用に必要です。

Tigermeeting Google 認証アプリ - 認証に使用され、カレンダー操作に必要な最低限の権限を使用します。Google 仕様に準拠した多要素認証をネイティブにサポートしています。

Tigermeeting の Google アプリケーションは Google の厳格な認証プロセスを通過しているため、すべての選択肢を選択し Tigermeeting を信頼することは安全な選択と考えられています。



Google カレンダーを接続すれば、部屋管理が可能になります。



既存の部屋を再インポート

TigerMeeting は、既存の Google カレンダーリソースを再インポートできます。



Google Calendar

Select calendars to import as room resources

☐ Select All
6 of 12 selected

☐ Week Numbers

☐ Phases of the Moon

☐ Családi kalendárium

☐ iCalendar testing

☐ MBS homework

☐ Holidays in Israel

☒ ALLNET

☒ AllSee

☒ ELC SMT101

☒ Philips 8

☒ TQ2

☒ GOGET2

CANCEL

IMPORT SELECTED (6)

インポートしたカレンダーは Tigermeeting 管理者にインポートされ、すぐにデバイスに割り当てられる状態です。

t







Network
ALL FREE DEVICES **CONNECTED** DISCONNECTED

SYNCHRONIZE CHANGES
ADD DEVICE

DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS	SOFTWARE VERSION	FIRMWARE VERSION	LICENSE	DEVICE UPTIME	ACTIONS
	Not assigned	IP: 192.168.88.29 ID: d025661c8cbbef23	CONNECTED	3.5.12-561	rk3368_64-user 7.1.2 NH	LICENSED	1d 3h 5m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.25 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	CONNECTED	3.5.12-561	10BDL_3368 release-keys	LICENSED	3d 20h 54m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID: 432048a710f3f019	CONNECTED	3.5.12-561	XB-RK3568DM- SWEDX-EN-05	LICENSED	1d 3h 5m	
	No roomlist	IP: 192.168.88.12 MAC: 18:65:71:7E:2E:E8	CONNECTED	3.5.12-561	FB04.04	LICENSED	3d 20h 54m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.45 ID: d05474e6a1740199	CONNECTED	3.5.12-561	XB- RK3566D23- V6.0-BZ-EN	LICENSED	1d 3h 5m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.17 ID: 458878b481344c70	CONNECTED	3.5.12-561	ceres_b4_neb- userdebug	LICENSED	1d 4h 24m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.21 ID: 287259dfa05012aa	CONNECTED	3.5.12-561	NQ- GL_V3.00.010_113009	LICENSED	1d 3h 5m	
7 total								

DEVICE PROPERTIES

NO ROOM ASSIGNED



GOGET GG ONE
IP: 192.168.88.29 | ID: D025661C8CBBEF23
LICENSED

CONNECTED
DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION
3.5.12

FIRMWARE VERSION
RK3368_64-USER 7.1.2 NHG47K
V01.09 RELEASE-KEYS

CREATE A NEW ROOM

PICK EXISTING:
☐ ALLNET
☐ AllSee
☐ ELC SMT101
☒ GOGET2
☐ Philips 8
☐ TQ2

Close
Attach room

注意: Google カレンダーで見えない部屋はインポート時に提供されません。

- AISpeech S10 
- AISpeech S20 
- ALLNET
- AllSee

- ここで AISpeech S10 はインポートから除外されます。

新しい部屋を作成する

デバイスのプロパティを編集するだけで新しい部屋を作成できます:

The image displays two screenshots of the Tigermeeting management interface. The left screenshot shows the 'DEVICE PROPERTIES' window for a device named 'The Blue room'. It indicates 'NO ROOM ASSIGNED' and provides options to 'CREATE A NEW ROOM' or 'ATTACH ROOM'. The right screenshot shows the 'DEVICE PROPERTIES' window with the 'The Blue room' selected. It displays device information (TPV 10BDL4551T, IP: 192.168.88.247, MAC: 18:65:71:F1:5B:06) and software/firmware versions. It also shows a 'CONNECTED' status and buttons for 'DETACH LICENSE' and 'DETACH ROOM'. Below this, there are tabs for 'BASIC', 'BOOKING', and 'ADVANCED'. The 'BASIC' tab is active, showing settings like 'CLOCK DISPLAY' (24h), 'DEVICE LANGUAGE' (Italian), 'CALENDAR SERVICE' (Google Calendar), 'CAPACITY' (Not set), 'ROOM INFO' (Not set), and 'DISPLAY NAME' (Not set). There is also a section for 'OPEN' times with checkboxes for 'WEEKDAYS', 'SATURDAY', and 'SUNDAY', each with a time range slider (00:00 to 23:59). At the bottom, there is a 'Settings distribution' button and 'Close' and 'Save settings' buttons.

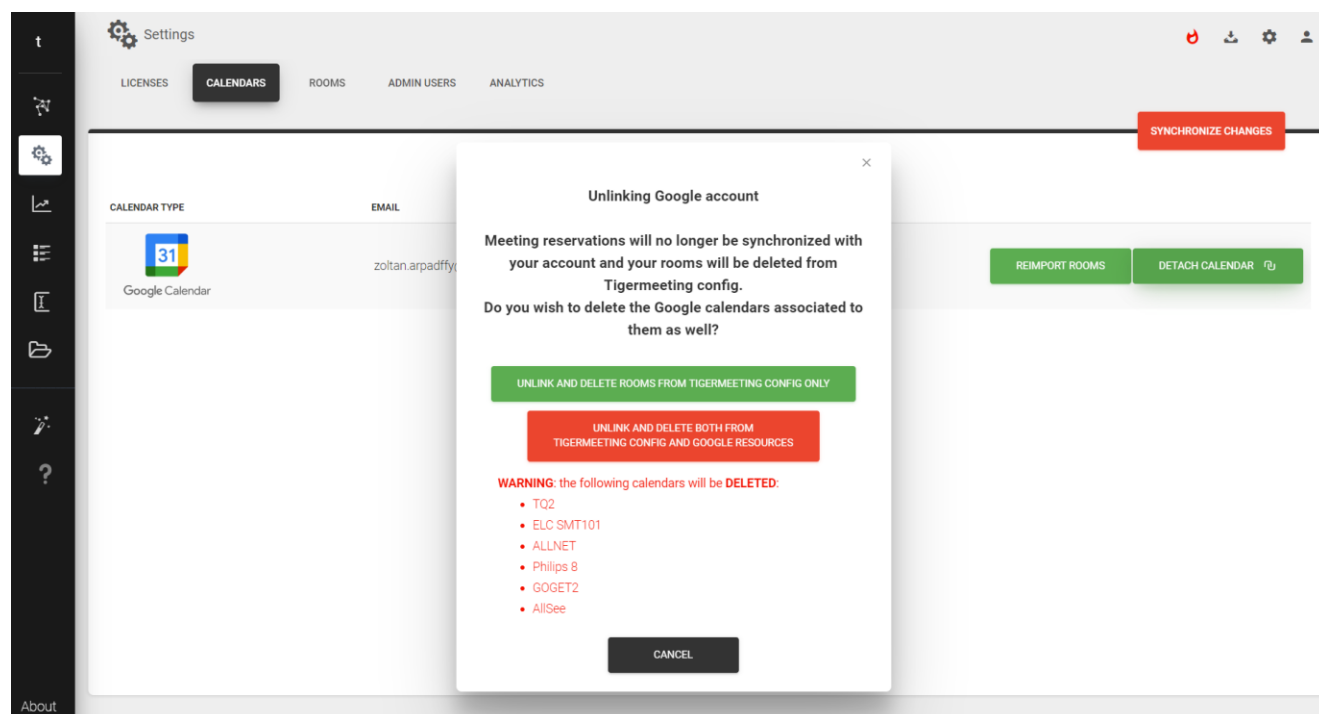
カレンダーはすぐに Google カレンダーで作成されます

The image shows a Google Calendar interface. On the left, there is a list of calendars: 'The Blue room' (checked), 'Other calendars' (with a plus and up arrow), 'Christian Holidays' (checked), 'Holidays in Sweden' (checked), 'Muslim Holidays' (checked), and 'Phases of the Moon' (checked). The main area shows a calendar grid with time slots from 11:00 to 14:00.

作成されたカレンダーコンテンツやイベント(例:「ブルールーム」)は、Google カレンダーのオンラインや予約デバイスから編集できます。概要画面は他のカレンダーと同様にステータスを表示します。

Google カレンダーを切り離した後、Tigermeeting 管理者は管理者アプリでインポートまたは作成され

たこれらのカレンダーリソースを削除するか、保持するかを選択できます。



選択肢は以下の通りです:

- Tigermeeting の設定(緑色)から**ルームのリンクを解除・削除**すると、ユーザーの Google カレンダーに変更は起こりません。管理者アプリケーションではカレンダーだけが切り離され、Tigermeeting の設定はデバイスから削除されます。
- もう一方の場合(赤色)では、管理者アプリがユーザーの Google カレンダーから「ルーム作成」プロセスで作成されたカレンダーや「再インポート」でインポートされたすべてのカレンダーをクリーンアップし削除します。他のカレンダーは手を加えずに残します。(この方法はカレンダー削除を伴うためより「暴力的」ですが、管理者アプリはユーザーのカレンダーを整理するために作成したカレンダーだけを削除するため安全操作です。これにより、重複した部屋名やその他の混乱を避けるためです。)また、インポートしたカレンダーも削除されます。

警告:この変更は永久的であり、取り消すことはできません。リストされているカレンダーリソースは永久に削除されます。

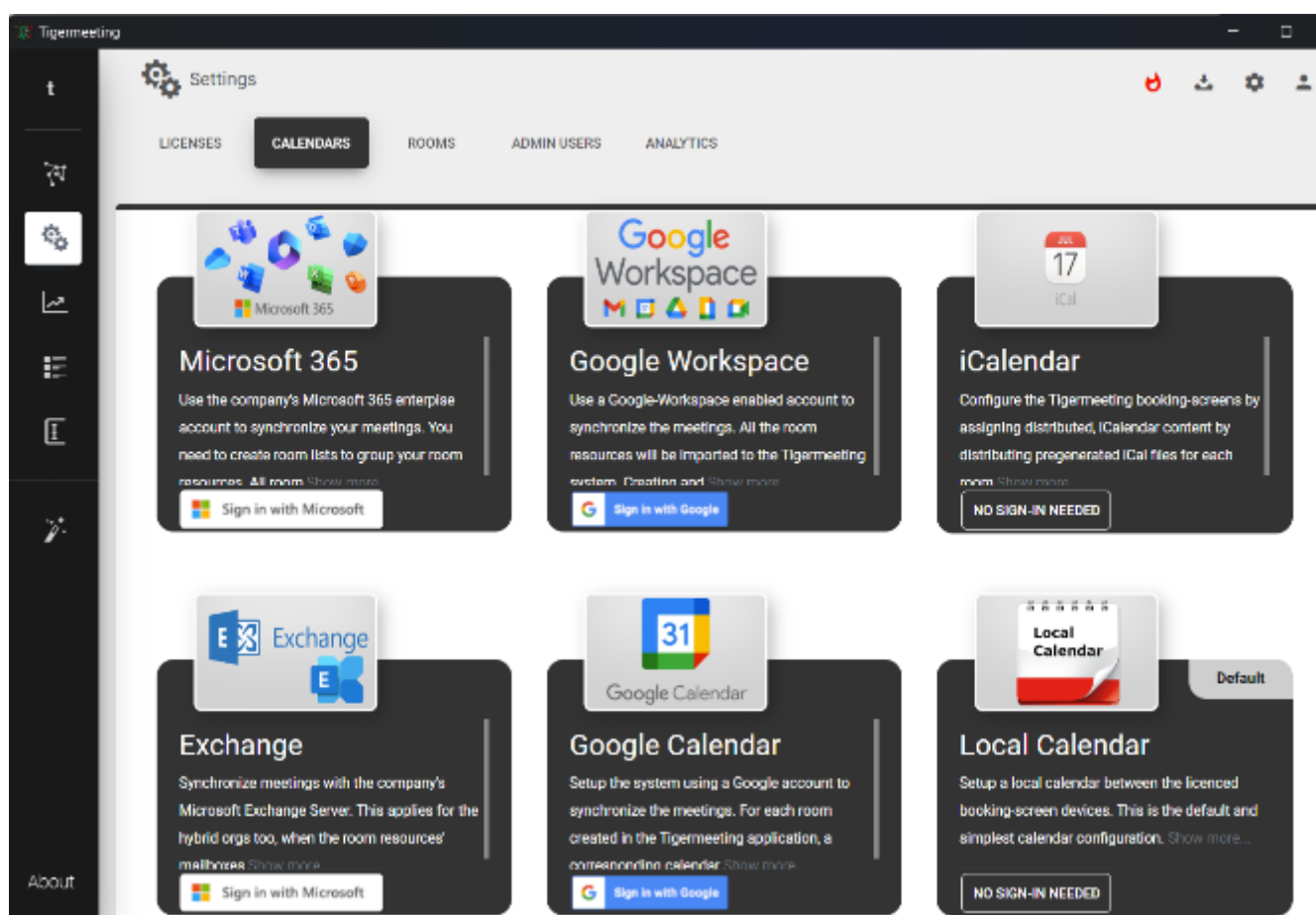
- キャンセル – 何もしないでカレンダーの切り離し作業をキャンセルする。

iCalendar カレンダーの設定

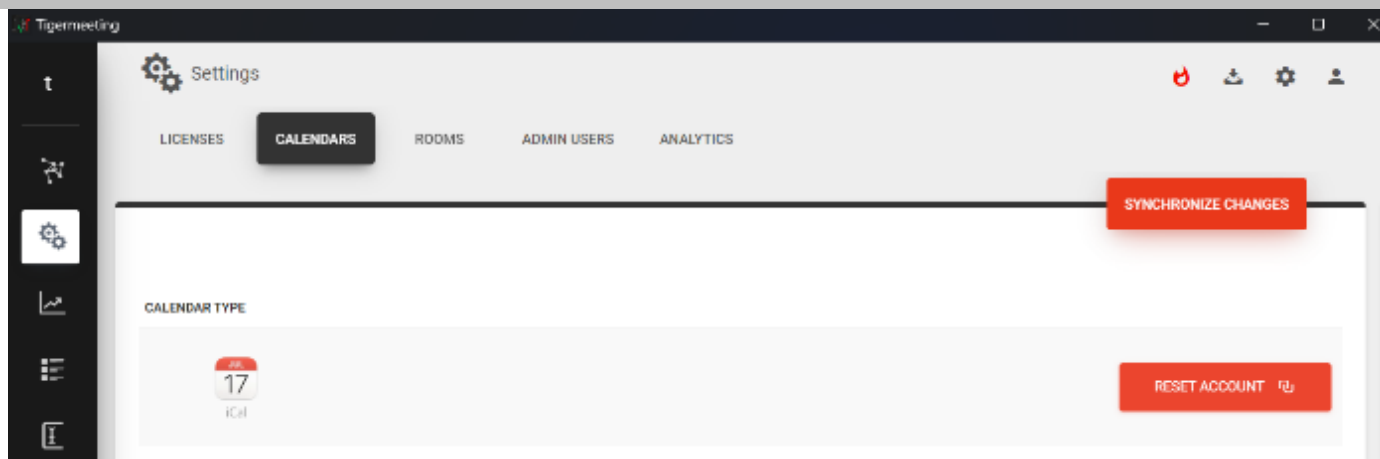
これは、通常のウェブサーバーを通じて RFC 5545 仕様に準拠した形式でプリ生成された iCal ファイルを公開するシンプルかつ便利な方法です。これは、学校や大学の運営ケースに適した、比較的静的な多数のカレンダーを効率的かつコスト効率よく配布する方法です。

iCalendar ファイルは、広く入手可能な iCalendar ジェネレータープログラムのいずれかによって作成されることが最も多いです。Tigermeeting の柔軟な設計により、iCal ファイルの置き換えや更新が可能です。ファイル指向の URL が変わらなければ、部屋の設定は更新する必要はありません。

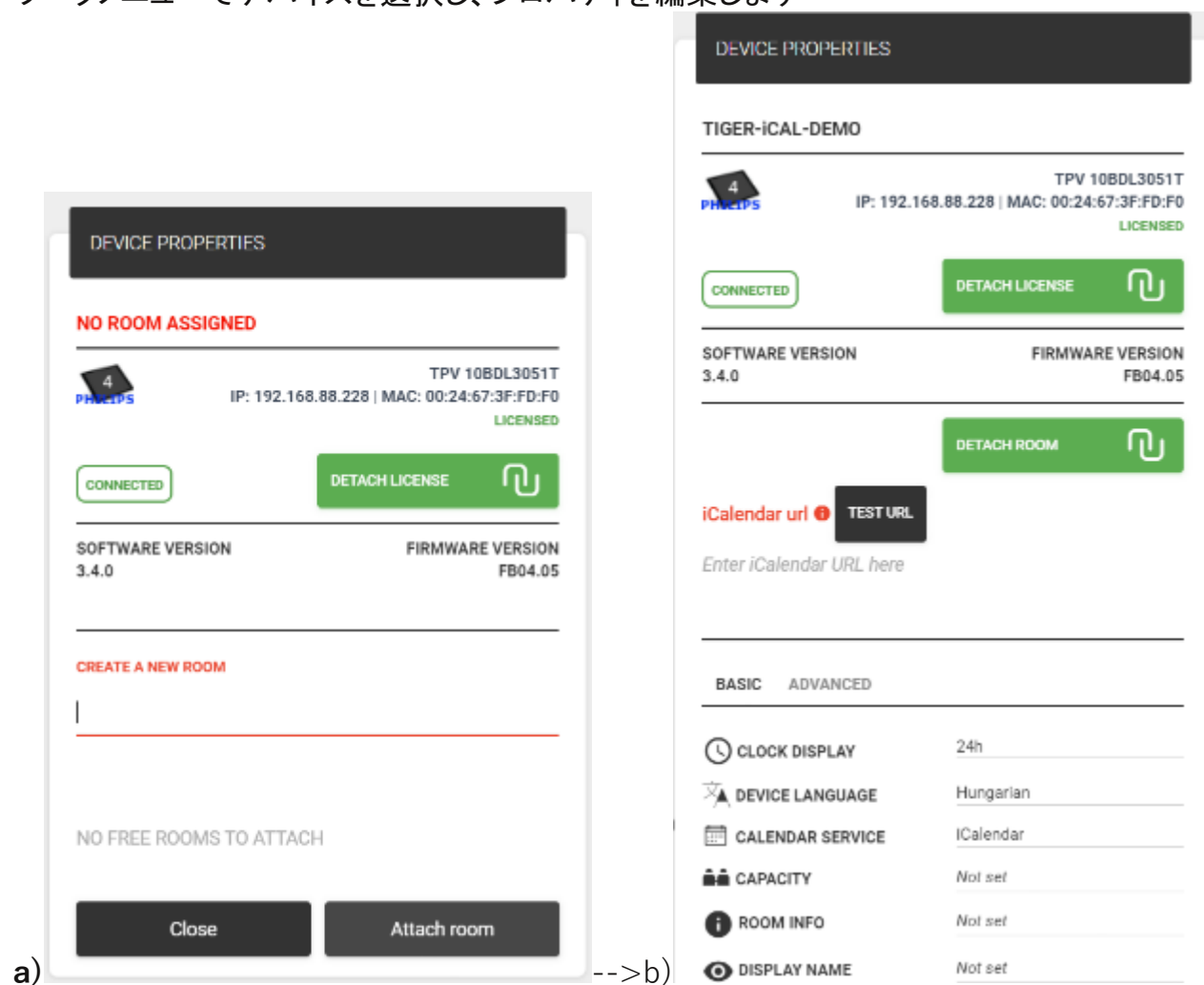
この機能は、Google や Microsoft のような商用オンラインカレンダーサービスを利用できない、あるいは高額な料金を支払う気のない顧客にとって、コスト効率の良い会議室管理の新時代を開きます



iCalendar を選択し、変更を同期してください。



ネットワークメニューでデバイスを選択し、プロパティを編集します



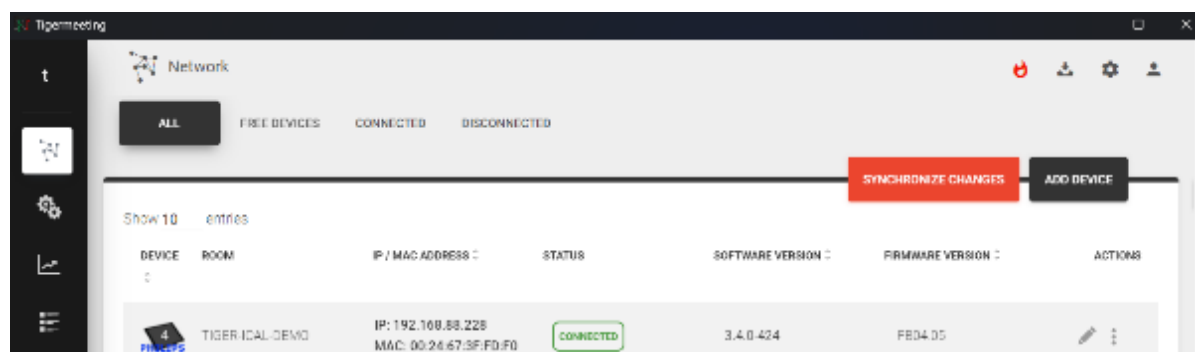
a) 部屋の名前を入力して新しい部屋を作成します。

b) この部屋のカレンダーイベントを提供する iCal ファイルへの URL を入力することも可能です。URL の有効性とアクセシビリティをテストするには、TEST URL ボタンを押してください。

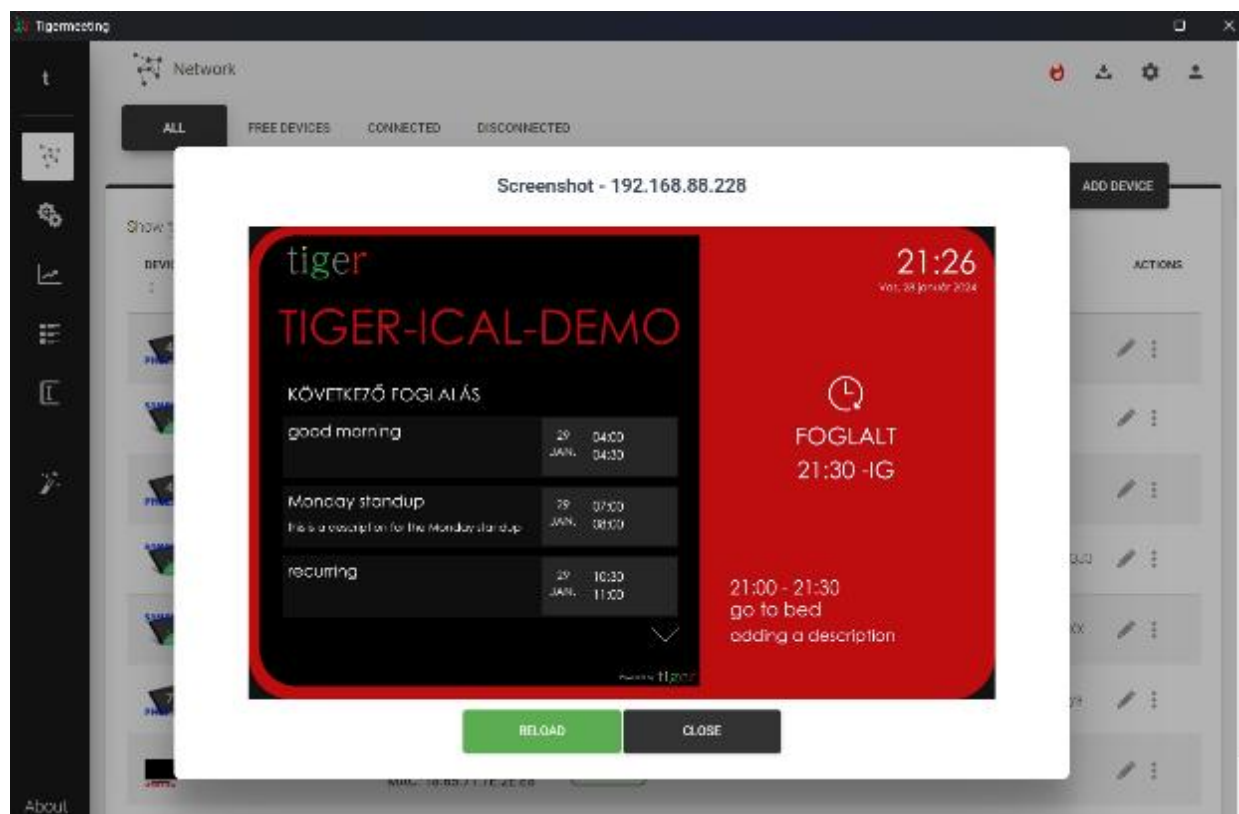
注意:iCal ファイルの最大サイズは 10Mb ですが、変更は可能です。Tigermeeting の予約や概要画面は、設定済みの URL がアクセス可能であれば新しいファイルの内容後に問題なく動作します。



変更を同期させて、デバイスに設定を展開します



デバイスのスクリーンショット(または近くにデバイス画面があれば)を変更して設定をテストしてください。



統合 – ICS を通じたスケジュールの公開

概要

TigerMeeting は、ICS(iCalendar)フィードを利用することで、ほぼすべてのカレンダーシステムから会議室のスケジュールを表示できます。

これは「プル」連携です。TigerMeeting はカレンダーシステムが提供する公開アクセス可能な(または秘密の)URL を定期的にチェックし、それに応じて部屋の表示を更新します。

この方法は以下の場合に理想的です:

- 複雑な API 連携は避けたいです。
- 直接 API アクセスが制限されているオンプレミスの Zimbra や IceWarp のようなセキュリティ強化環境を使っています。
- 企業のメールアドレスと一緒に、Skedda のような専用の予約ツールを使っています。

対応プラットフォームと構成

TigerMeeting は対応システムを 3 つのグループに分類しています:主要クラウドプロバイダー、エンタープライズコラボレーションプラットフォーム(オンプレミス/プライベートクラウド)、およびスタンドアロン予約システム。

主要なクラウドプロバイダー

組織が Microsoft 365 や Google Workspace を使用している場合、これらは通常、組織内で「真実の情報源」として脅かされます。

Microsoft Exchange / Office 365

- 機能:「リソースメールボックス」(ミーティングルーム)を設定し、カレンダーを一意的 URL で公開できます。
- 有効化方法:管理者は PowerShell または Exchange 管理センターを使って、そのリソースカレンダーに対して PublishEnable を \$true に設定する必要があります。
- 結果: .ics で終わる隠れた URL(多くの場合 reachcalendar.ics)。
- セキュリティ注意:この URL は技術的には公開ですが、「難解」です(推測が難しいです)。

Google Workspace と Google カレンダー

- 機能:Google は特定のリソースカレンダーを「シークレットアドレス」でアクセス可能にできます。
- 有効化方法:
 1. 特定の部屋リソースについては Google カレンダー設定に行ってください。

- 二. 「カレンダーの統合」セクションまでスクロールしてください。
- 三. 結果: 「iCal 形式のシークレットアドレス」をコピーしてください。
- 四. 注意: 「パブリックアドレス」は、カレンダーを世界中に明示的に公開している場合を除き、使用しないでください。

Public address in iCal format

<https://calendar.google.com/calendar/ical/f2fd55d03da5fe65bb700c3068e36b9f85f9a73db>

Use this address to access this calendar from other applications.

Warning: The address won't work unless this calendar is public.

Secret address in iCal format

.....



Use this address to access this calendar from other applications without making it public.

Warning: You should not give the secret address to other people. [Learn more](#)

You can reset this address and make the current one invalid.

エンタープライズコラボレーションプラットフォーム(Zimbra、Carbonio、IceWarp)

これらのプラットフォームは政府、ISP、そして厳しく規制された業界で一般的です。彼らは標準的なICS フィードを公開することに優れており、多くの場合、サードパーティのプラグインを必要としません。

ジンブラ・コラボレーション

Zimbra はユーザーが「ヒットリスト」URL を生成し、カレンダーなどのフォルダデータを様々な形式で公開できます。ICS も含まれます。

方法 1: UI の使い方(モダン UI)

- 一. Zimbra のウェブクライアントにログインしてください。
- 二. カレンダータブに行ってください。
- 三. 公開したい特定のルームカレンダーやユーザーカレンダーを右クリックしてください。
- 四. カレンダーの共有を選択してください。
- 五. 「公開(閲覧のみ)」を選択してください。
- 六. Zimbra は URL を表示します。ICS または iCal とラベル付けされたリンクを必ずコピーしてください。

方法 2: REST API 方式(直接構築)

管理者が共有メニューにアクセスできない場合、アカウントのメールアドレスとサーバーアドレスが分かっている場合は手動でリンクを作成できます: <https://mail.yourdomain.com/home/room-email@domain.com/Calendar?fmt=ics>

カレンダーがデフォルトのカレンダーでない場合は、特定のフォルダ名に置き換えてください。

ザクストラス・カルボニオ

Carbonio(および Carbonio CE)は Zimbra と似たアーキテクチャで構築されていますが、クリーンなリンクを生成する専用の「シェア」インターフェースを提供しています。

有効化方法:

- 一. カレンダータブに移動します。
- 二. 部屋の表示に使うにはカレンダーを右クリックしてください。
- 三. 共有フォルダを選択するか、共有>プロパティを編集してください。
- 四. 「公開」(閲覧のみ、パスワード不要)を選択してください。
- 五. システムは ICS の URL を生成します。このリンクをコピーしてください。
- 六. 注意:Carbonio の管理者がサービスクラス(COS)レベルで「公開共有」を無効にしていないか確認してください。

アイスワープ

IceWarp は標準的な WebDAV および ICS の公開をサポートしていますが、正しい URL を見つけるには特定の統合設定で確認する必要があります。

有効化方法:

- 一. ルームカレンダーの所有者アカウントとして IceWarp WebClient にログインしてください。
- 二. プロフィール写真(右上)をクリックし、設定(またはオプション)を選択してください。
- 三. 統合タブ(時には「カレンダー」>「シェアリング」の下にあることもあります)にアクセスしてください。
- 四. 「インターネットカレンダー」または「パブリックカレンダーリンク」とラベル付けされたセクションを探してください。
- 五. .ics で終わる URL をコピーしてください。

代替案として、デスクトップクライアントを使用している場合は、カレンダーフォルダ>共有>「インターネットで公開」を有効にするとリンクを生成できます。

スタンドアロン予約システム

これらのシステムは独自のデータベースを管理し、コワーキングスペースや共有施設に最適です。

スケッダ

仕組み:スケッダはこの分野で非常に有能です。「会場レベル」フィード(すべての予約)や「スペースレベル」フィード(特定の部屋)を生成できます。

機能:管理者は統合設定ページから直接読み取り専用の iCal リンクを取得できます。このリンクは、

任意の外部カレンダーや表示ソフトでスケジュールを表示するために使用できます。

最適な用途:コワーキングスペース、スポーツ施設、IT インフラに依存しない柔軟なシステムを必要とするオフィス。

有効化方法:

- 一. 設定>統合へ。
- 二. iCal / Webcal を選択してください。
- 三. 「会場レベル」フィード(すべての予約)や「スペースレベル」フィード(特定の部屋)を生成することができます。
- 四. 提供された HTTPS リンクをコピーしてください。

ヤルームズ

仕組み:Yarooms はカレンダーエクスポートの細かい管理を提供します。

特徴:個別の部屋やリソースごとに iCal フィードを提供します。サポートドキュメントには、Outlook や Mac カレンダーなどの外部アプリケーションからのフィード購読方法が明示されています。

最適な用途:デスクとルームの両方の予約が必要なハイブリッド職場で、簡単にエクスポートできる場合。

有効化方法:

Yarooms は個別の部屋向けに詳細な iCal フィードを提供しています。

ダッシュボードの特定のルーム設定に移動し、「エクスポート」または「統合」タブを探してサブスクリプションの URL を見つけてください。

SuperSaaS

仕組み:高度にカスタマイズ可能な汎用予約エンジン。

特徴:アクセシブルスケジュールの概念に基づいて構築されています。作成するすべてのスケジュールには「購読」オプションがあり、標準的な ICS や Webcal リンクを提供します。

最適な用途:データフィードを完全にコントロールしたい複雑なスケジューリングのニーズで、「光鮮」な企業インターフェースは必要ありません。

有効化方法:

- 一. 特定のスケジュールについては「設定」へ行ってください。
- 二. アクセスタブを選択してください。
- 三. 「Outlook、Google、または Apple カレンダーで購読」のセクションを探してください。
- 四. 提供された webcal/ICS リンクをコピーしてください。

セルフホスト/オープンソース

Linux/PHP スタック上で自社のインフラをホストしている組織向けです。

Nextcloud / OwnCloud

有効化方法:

- 一. カレンダーアプリを開きます。
- 二. カレンダー名の横にある 3 つの点(...)をクリックしてください。
- 三. 「プライベートリンクのコピー」(安全)または「リンクの共有」(公開)を選択してください。
- 四. この URL を Tigermeeting に貼り付けてください。
- 五. ヒント:URL が/html で終わる場合は、/export に変更するか、共有メニューで特定の「サブスクリプションリンク」を探して生の ICS データを確実に取得してください。

URL が暴露した ICS と Webcal リンクの混乱

Tigermeeting が Webcal リンクをサポートしているかどうか、混乱が生じることがあります。技術的にはデータにほとんど違いはありませんが、ソフトウェアがリンクを扱う方法には大きな違いがあります。

Tigermeeting のようなシステムでは、この区別が設定上非常に重要です。

HTTPS リンク(https://.../calendar.ics)

- それは何か:ファイルを指す標準的なウェブアドレスです。
- 挙動:これをブラウザに貼り付けると、.ics ファイルが「ダウンロード」フォルダにダウンロードされる可能性が高いです。
- ユースケース:これこそが Tigermeeting に必要なものです。ファイルを定期的に「取得」するために直接アドレスが必要です。

Webcal リンク(webcal:.../calendar.ics)

- それは何か:Apple が考案したが現在標準となっている非公式の URI 方式で、「トリガー」として機能します。
- 挙動:このリンクをクリックすると、パソコンはファイルをダウンロードできません。代わりに、Outlook、Apple カレンダー、Thunderbird などのデフォルトのカレンダーアプリをすぐに起動し

、そのカレンダーを購読するかどうかを尋ねます。

- ユースケース:人間の利便性。

統合の「コツ」

99%の場合、webcal:// と https:// は接頭辞を入れ替えば交換可能です。

もしプロバイダー(SuperSaaS や Apple iCloud のような)が webcal:// で始まるリンクを提供した場合、Tigermeeting はサーバー/アプリケーションであり、デスクトップカレンダーアプリではないため認識しません。

やるべきことは:URL を Tigermeeting 管理パネルに貼り付けるときに、webcal:// を https:// に置き換えるだけです。

例:

- 一. カレンダーには以下の webcal://www.mysite.com/schedule.ics
- 二. 管理者が Tigermeeting に貼り付け:https://www.mysite.com/schedule.ics

トラブルシューティングとベストプラクティス

- リフレッシュレート(キャッシュ):ICS はパッシブプロトコルです。Tigermeeting は数秒ごとにデータを「取得」します(デフォルトは通常 30 秒から 2 分です)。ICS カレンダー (Zimbra/Exchange)に変更が加えられても、会議室の画面に即座に表示されることはありません。
- 緩和策:即時更新が必要な場合は、プランでサポートされている場合は直接 API 統合への移行を検討してください。
- タイムゾーン:ICS ファイルは浮動タイムゾーンを可能にします。カレンダーサーバー(例:IceWarp)と Tigermeeting ディスプレイは必ず正しい現地タイムゾーンに設定されていることを確認してください。不一致すると、会議が 1~2 時間ずれているように見えることがあります。
- データプライバシー:生成された ICS リンクの多くは「公開されているが隠されている」(セキュリティによる難知性)です。URL を当てた人はスケジュールを見ることができます。
- ベストプラクティス:会議室の予約の「件名」や「説明」に、パスワード、患者名、財務情報などの機密情報を記載しないでください。部屋のカレンダーには「内部同期」や「クライアント会議」などの一般的なタイトルを使いましょう。

Lark と Feishu 飛書の設定

Feishu は中国本土で使われている優れたオフィスフレームワークで、サーバーやすべてのデータが中国に保管されています。ラーク、またはしばしばラークスイートと呼ばれるのは、世界で利用可能なフェイスウのバージョンで、データは中国国外、主にシンガポールや日本に保存されています。

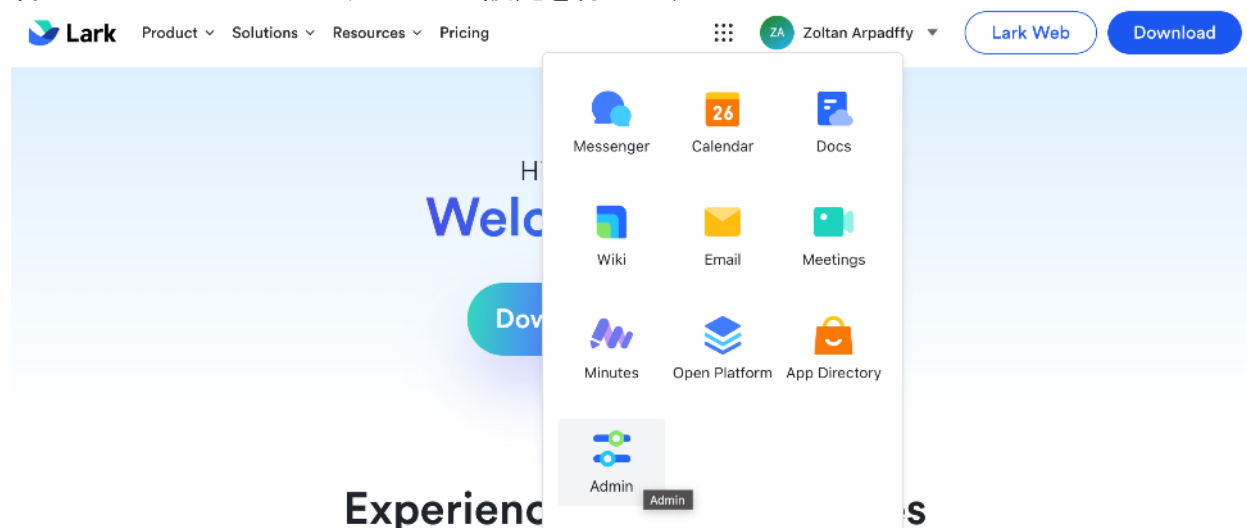
要件: Lark/Feishu カレンダーには最大 20 ユーザー向けの無料「スターター」プランがありますが、会議室管理の API 通話は通常、月間 10,000 回の API 通話制限を超えます(単一部屋でも)。したがって、会議室管理に TigerMeeting アプリを使用するには少なくとも「Pro」サブスクリプションが必要です。どうぞ、
https://www.larksuite.com/en_us/plans

ルームリソースの作成

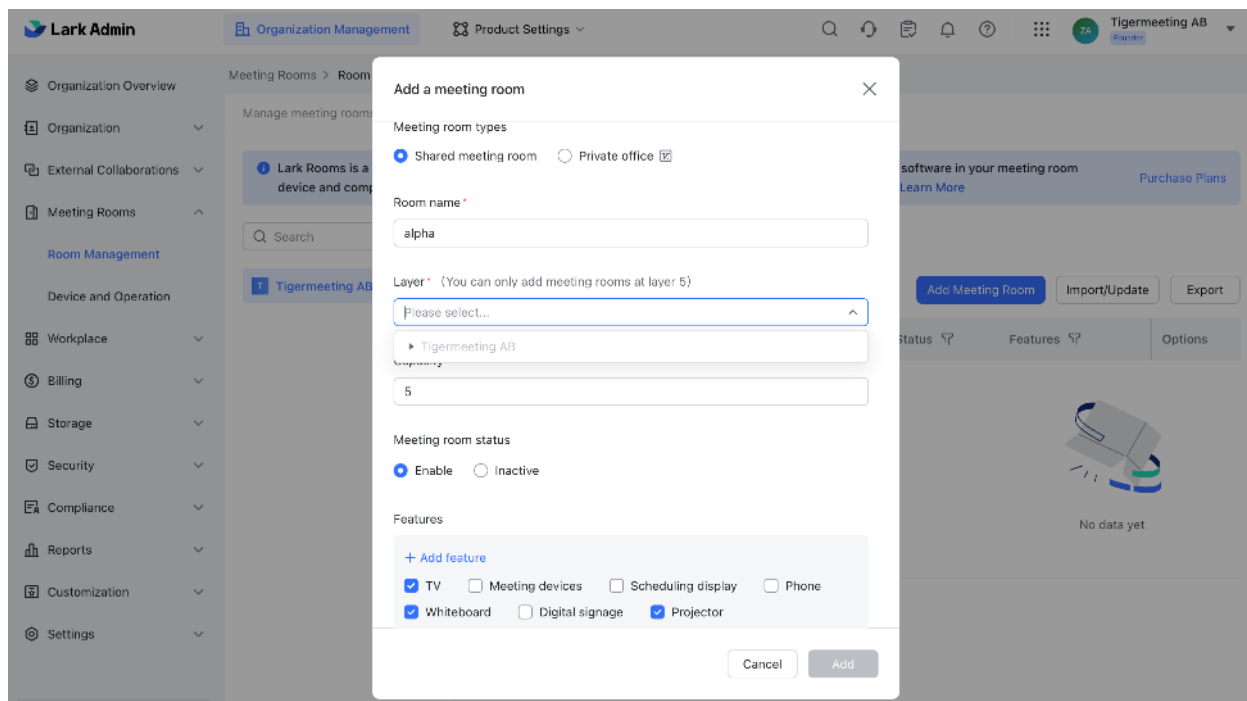
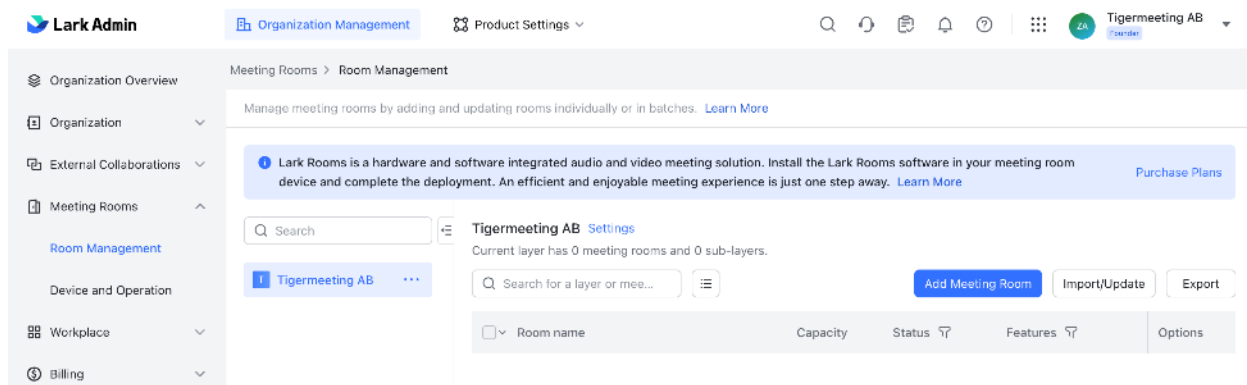
部屋資源の作成や変更は、ラーク/フェイスウの管理ページを通じてのみ可能です。Tigermeeting はルームリソースを変更しないため、「ルーム情報」や「容量」は管理者アプリケーションで編集できません。

Feishu を使う場合はブラウザを <https://open.feishu.cn/>、Lark を使う場合は <https://open.larksuite.com/> に切り替えてください。

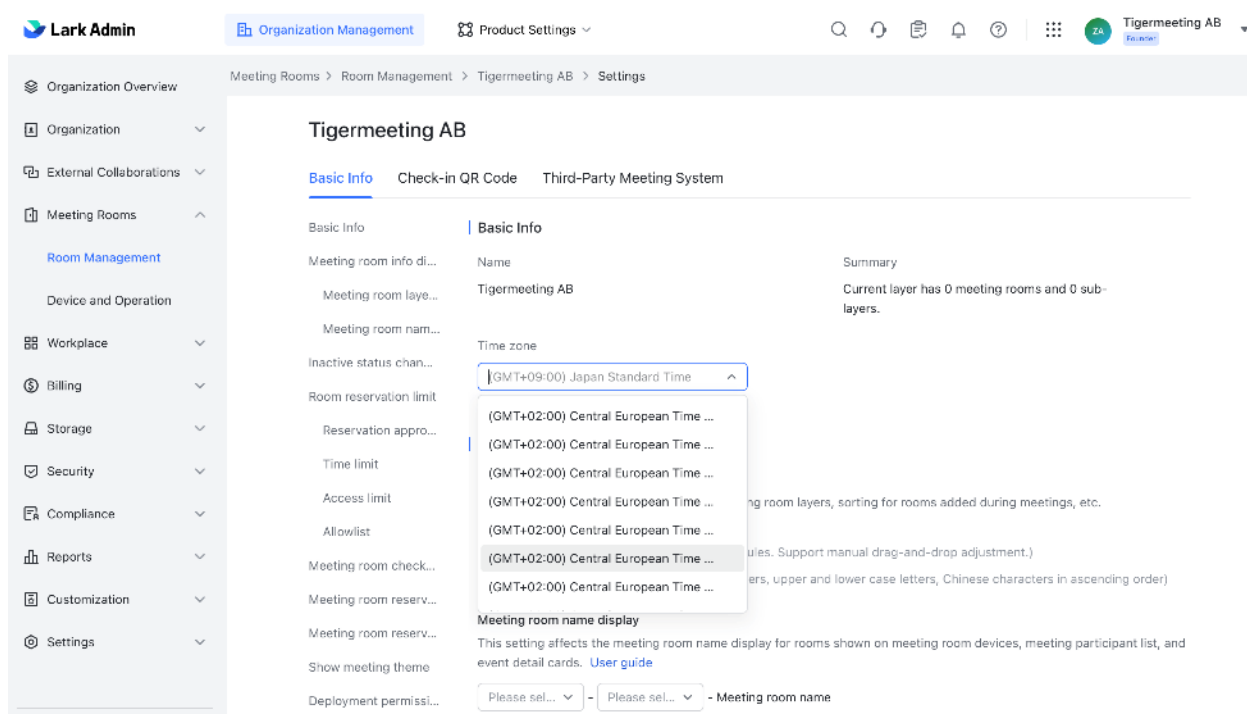
管理コンソールでルームリソースの設定を行います

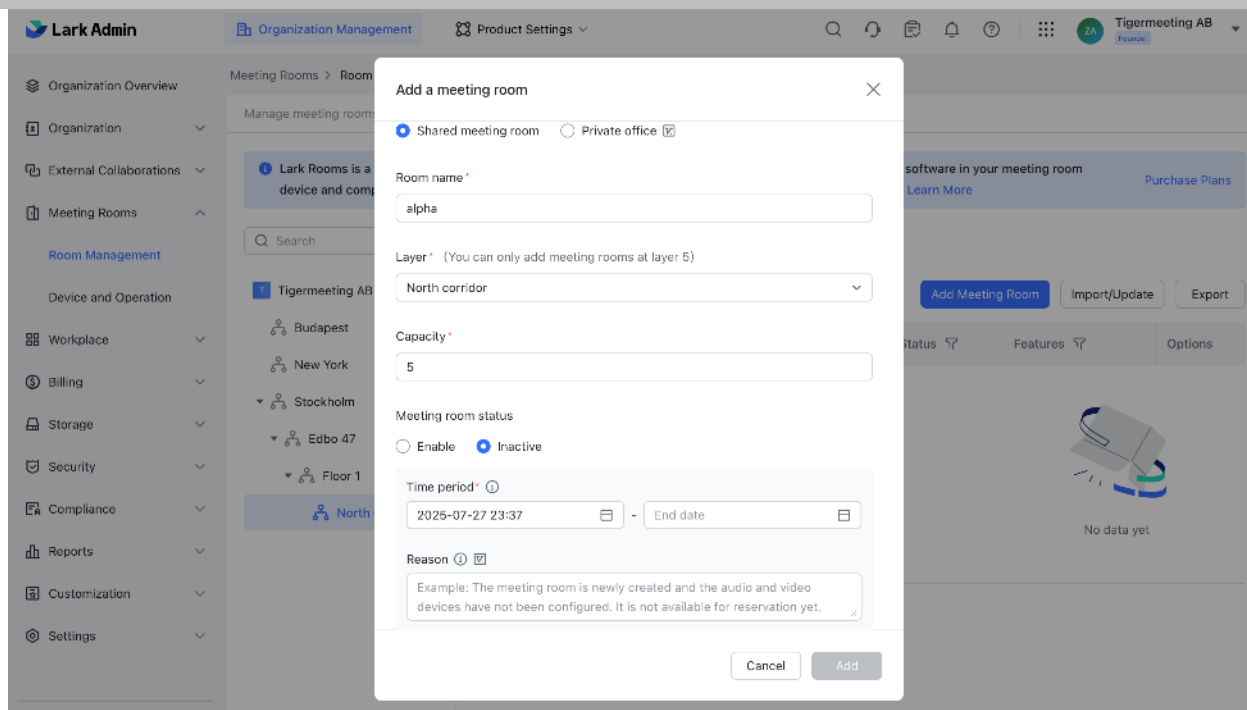


会議室>ルーム管理で部屋リソースを構成してください



会議室のタイムゾーンが正しいことを確認してください





Feishu/Lark のカレンダールームリソースはツリーディレクトリ構造の 5 レベル目にのみ許可されています。
したがって、典型的な部屋資源構造は次のようになります。
カントリー・シティ・オフィス・ビル・ルーム名 (...もちろん他のディレクトリ構造も許容されますが、最終条件である 5 階の部屋は満たされなければなりません)

Room name *

Layer * (You can only add meeting rooms at layer 5)

North corridor

Capacity *

Meeting room status

☒ Enable
☐ Inactive

Features

+ Add feature

☒ TV
☐ Meeting devices
☒ Scheduling display
☐ Phone

☒ Whiteboard
☒ Digital signage
☐ Projector

Cancel

Add

適切に追加された部屋は、与えられたオプションとパラメータとともにリストに表示されます。

The screenshot shows the Lark Admin interface. The left sidebar contains navigation items: Organization Overview, Organization, External Collaborations, Meeting Rooms (selected), Room Management (active), Device and Operation, Workplace, Billing, Storage, Security, Compliance, Reports, Customization, and Settings. The main content area is titled 'Meeting Rooms > Room Management'. It includes a search bar and a list of rooms under 'Tigermeeting AB': Budapest, New York, Stockholm (selected), Edbo 47, Floor 1, and North corridor. The 'alpha' room is selected, showing its details in the 'Basic Info' tab. The details include: Meeting room status, Profile photo, Room ID (LM442801760), Inactive status change, Name (alpha), Capacity (5), Features, Room reservation limit, Reservation approach, Layer (North corridor), Time limit, Time zone (GMT+02:00 Central European Time ...), Access limit, Meeting room picture, Meeting room check-in, Meeting room reservation, Meeting room reservation, Show meeting theme, and Deployment permission. A 'Purchase Plans' button is visible in the top right.

部屋構成の例

The screenshot shows the Lark Admin interface. The left sidebar is the same as the previous screenshot. The main content area is titled 'Meeting Rooms > Room Management'. It includes a search bar and a list of rooms under 'Tigermeeting AB': Addis Ababa, Budapest, New York, Stockholm (selected), Edbo 47, Floor 1, and North corridor (selected). The 'North corridor' room is selected, showing its details in the 'Settings' tab. The details include: Current layer has 6 meeting rooms and 0 sub-layers. A search bar for layers or meeting rooms is present. Below is a table of meeting rooms:

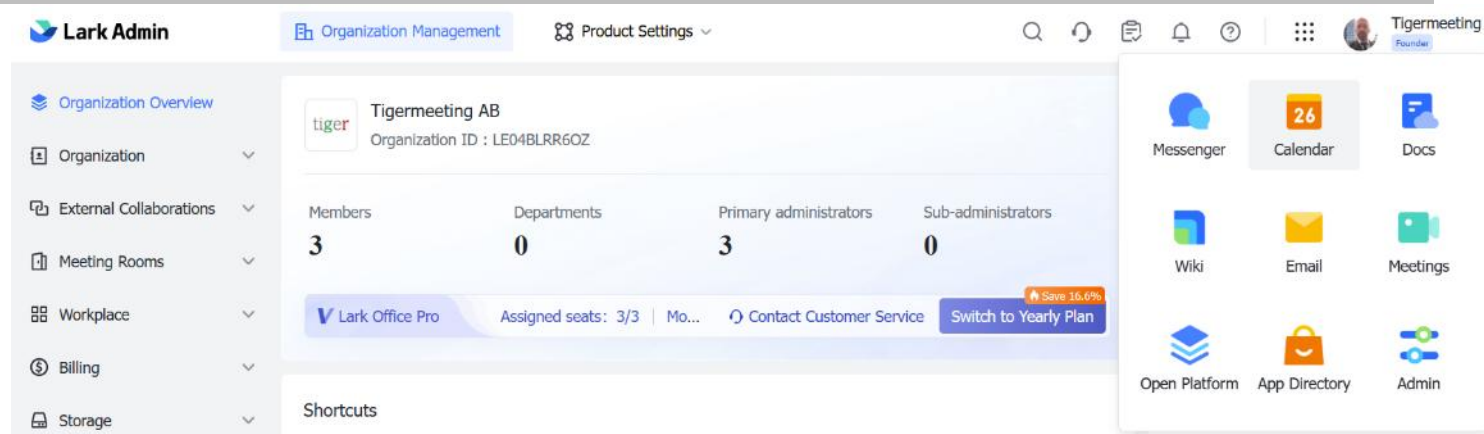
Room name	Capacity	Status	Features	Options
alpha Tigermeeting AB/Stockholm/Edbo 47/Floor ...	5	Active	TV/Scheduling display/Whiteboard/Di...	Edit ...
beta Tigermeeting AB/Stockholm/Edbo 47/Floor ...	6	Active	Scheduling display/Whiteboard	Edit ...
delta Tigermeeting AB/Stockholm/Edbo 47/Floor ...	20	Active	Whiteboard	Edit ...
epsilon Tigermeeting AB/Stockholm/Edbo 47/Floor ...	10	Active	Digital signage	Edit ...
gamma Tigermeeting AB/Stockholm/Edbo 47/Floor ...	10	Active	Whiteboard	Edit ...
zeta Tigermeeting AB/Stockholm/Edbo 47/Floor ...	12	Active	TV	Edit ...

Buttons for 'Add Meeting Room', 'Import/Update', and 'Export' are visible above the table. A 'Purchase Plans' button is also present in the top right.

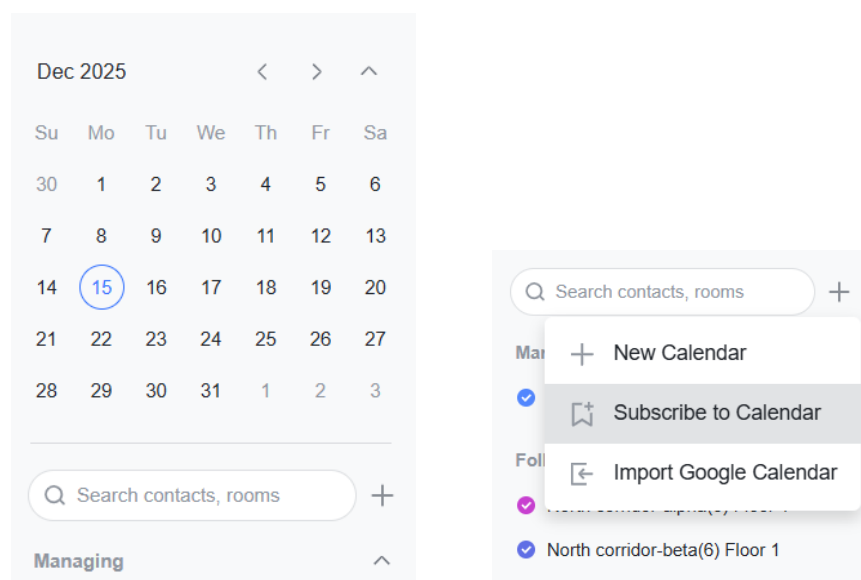
管理者ユーザーをルームリソースに購読してください

Lark/Feishu カレンダーを Tigermeeting スイートにアタッチし認証を行う管理者ユーザーは、会議室のサブスクリプションに登録して、ルームリソース管理に必要な権限を得る必要があります。

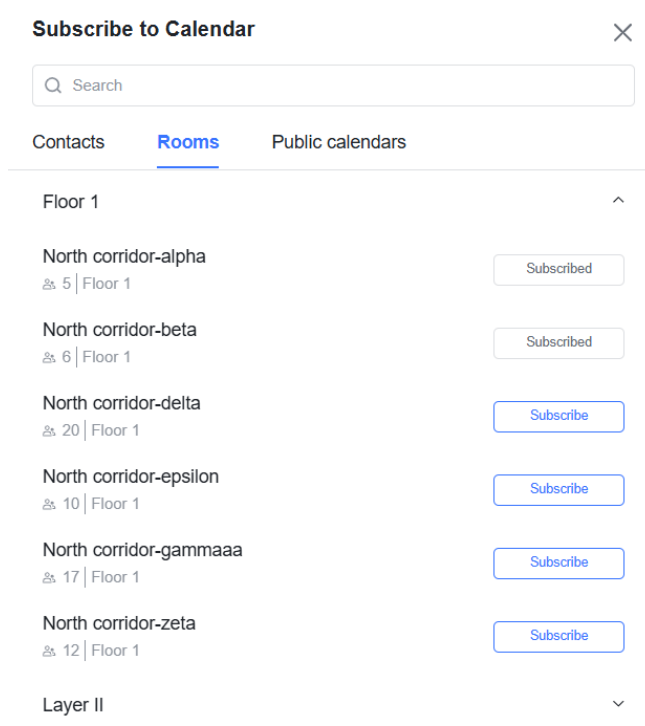
Lark の管理者を管理者としてログインし、「カレンダー」へ移動してください。



左側(連絡先、部屋の検索)で「+」ボタンを押して「カレンダーに購読」をしてください。

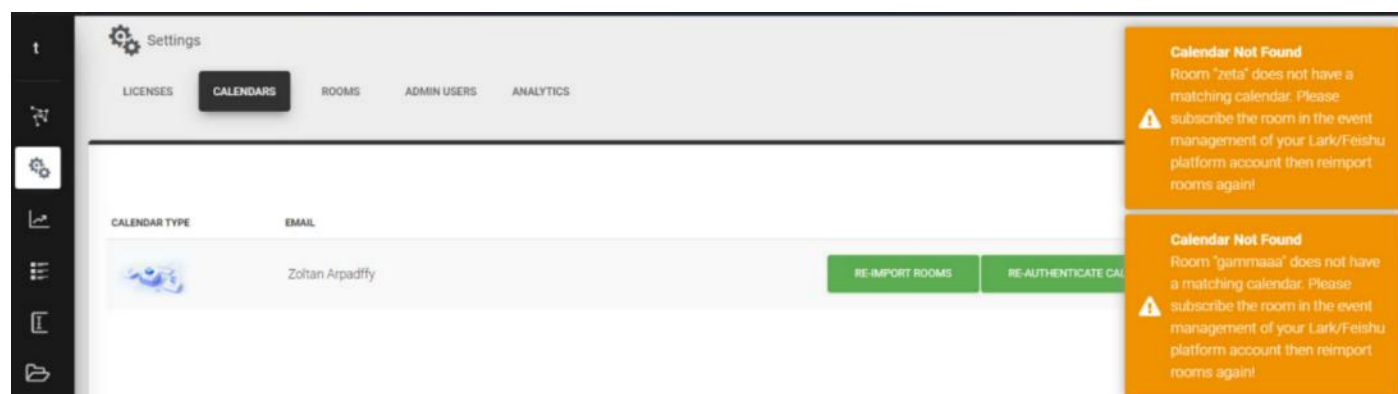


…そして、Tigermeeting room 管理で使用するすべてのカレンダーへの「購読」機能。



なお、TigerMeeting は管理者ユーザーがサブスクリプションしている部屋のみを利用できます。有効なサ

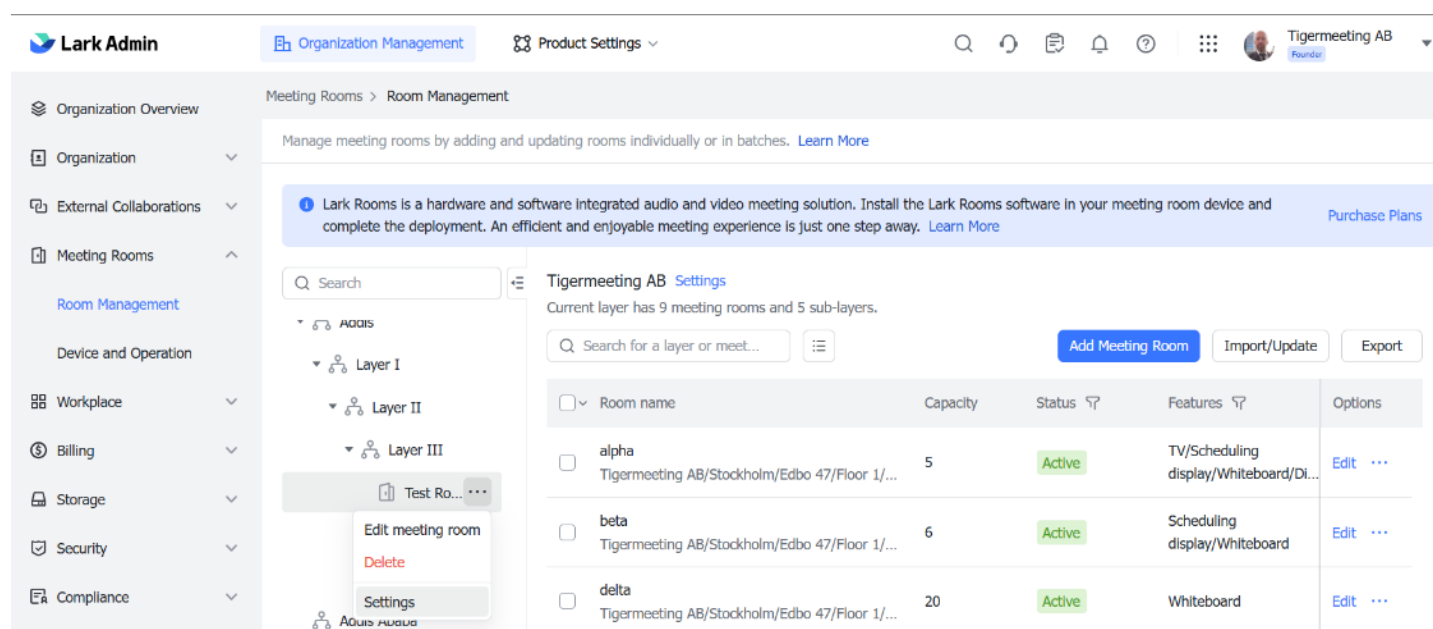
ブスクリプションがなければ、管理者アプリは選択した場合、その部屋に警告を表示します。



管理者ユーザー権限およびルーム管理者権限

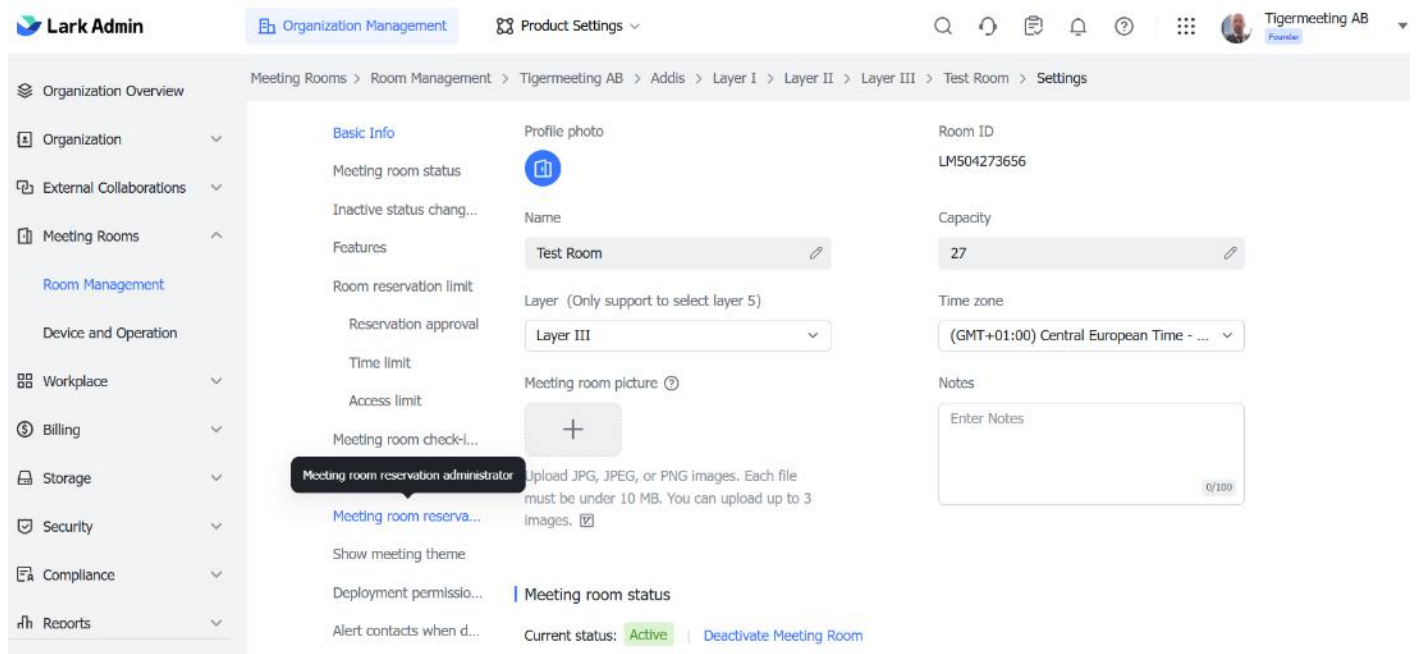
ラーク/フェイスは部屋の許可が非常に厳しいです。管理者ユーザーは、他の企業ユーザーが予約した会議を作成、短縮、延長、削除するためにルーム管理者権限を持つ必要があります。

Lark/Feishu 管理コンソールで会議室 - > ルーム管理に移動し、各部屋の設定を開きます

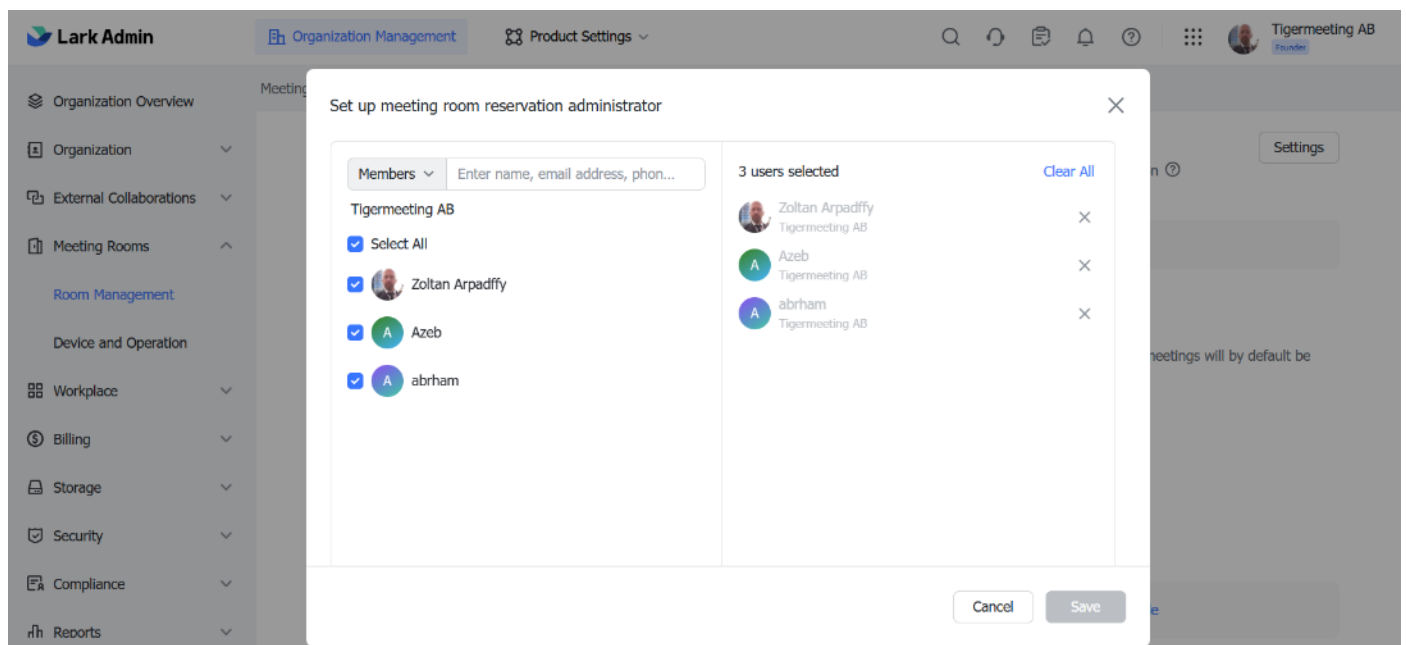


複数の会議室を設定するレイヤーを選択します

ページ左側のリストで、右側の部屋レイヤーをクリックして詳細を開き、レイヤー名の右側にある設定をクリックしてください。



基本情報の中から「会議室予約管理者」を選択し、「設定」をクリックします。すべての部屋に管理者ユーザーを追加してください。



詳細な説明については、公式のラーク/フェイス書文書を参照してください

<https://www.larksuite.com/hc/en-US/articles/360048488450-admin-assign-room-reservation-administrators-and-manage-rooms>

タイガーミーティング ラーク/フェイスアプリ

Tigermeeting は、それぞれ Lark Suite と Feishu によって認証された 2 つのグローバルアプリケーションを使用しています。

非常に似た方法で、管理者ユーザーに Tigermeeting アプリの権限を受け入れるよう求められ、

Tigermeeting デバイスと Lark/Feihu カレンダー間の会議室関連の予約通信を橋渡しし、有効化します。

要求されるスコープおよび権限の一覧は以下の通りです:

「contact:contact.base:readonly」

「連絡先:連絡先」

「カレンダー:部屋:閲覧のみ」

「カレンダー:カレンダー」

「カレンダー:カレンダー:読み取り専用」

「カレンダー:カレンダー:更新」

「カレンダー:カレンダー:作成」

「カレンダー:カレンダー:既読」

「VC:room」

「vc:room:readonly」

「カレンダー:カレンダー.イベント:作成」

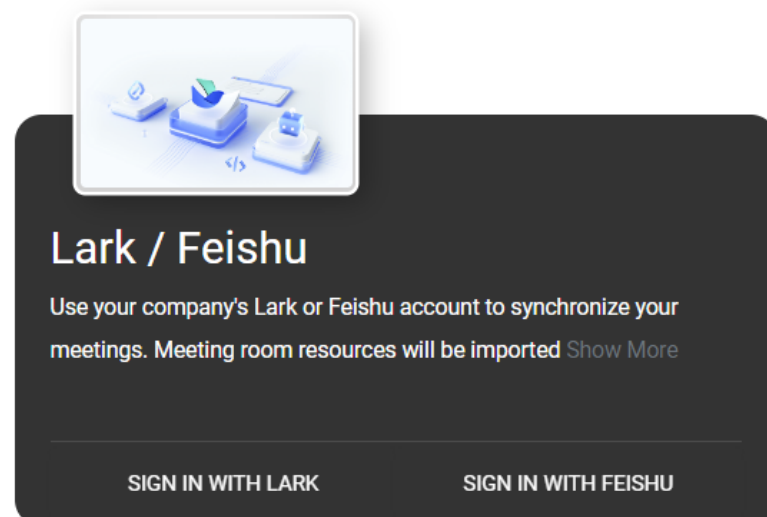
「カレンダー:カレンダー.イベント:削除」

「カレンダー:カレンダー.イベント:読まれた」

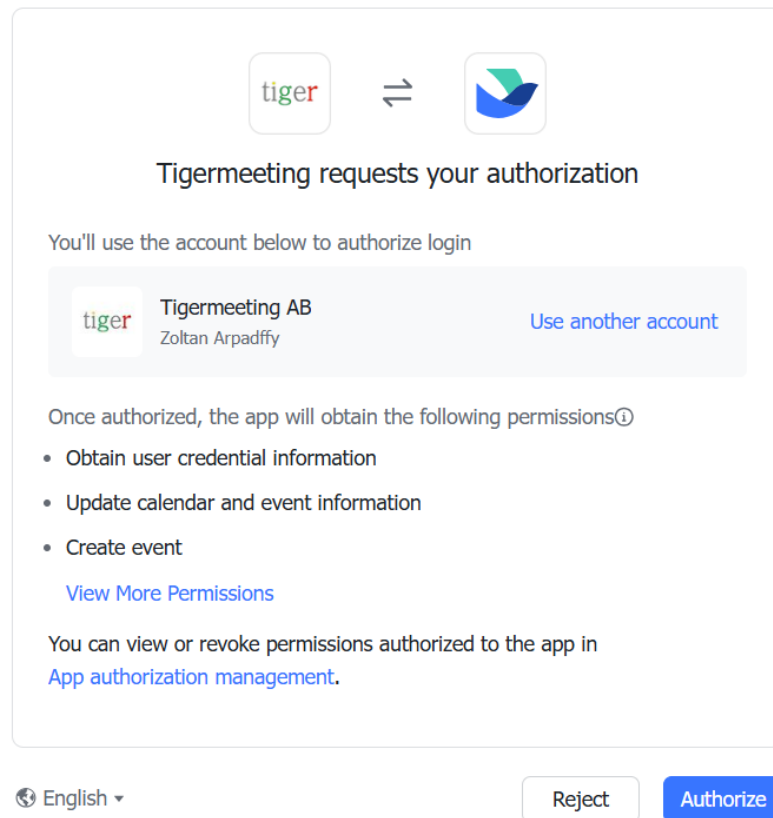
「カレンダー:カレンダー.イベント:更新」

管理者アプリでカレンダーを添付する方法

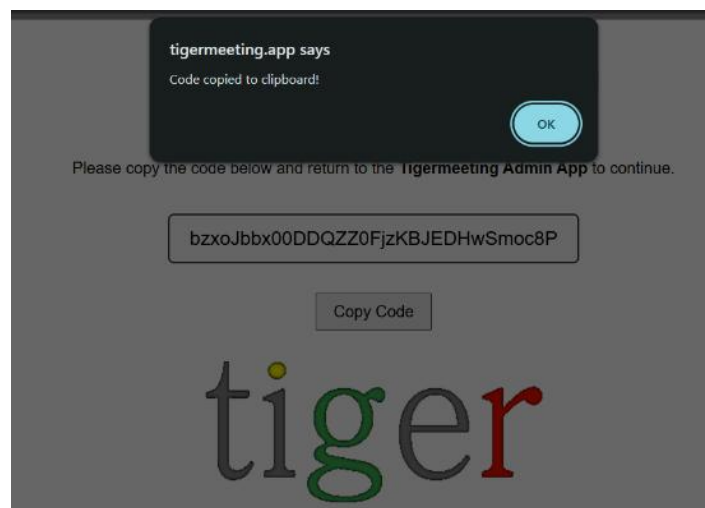
Lark と Feishu はまったく同じカレンダーですが、データのセキュリティと地域の違いが異なります。管理者のユーザー認証が使用するサーバーエンドポイントやカレンダーを決定します。



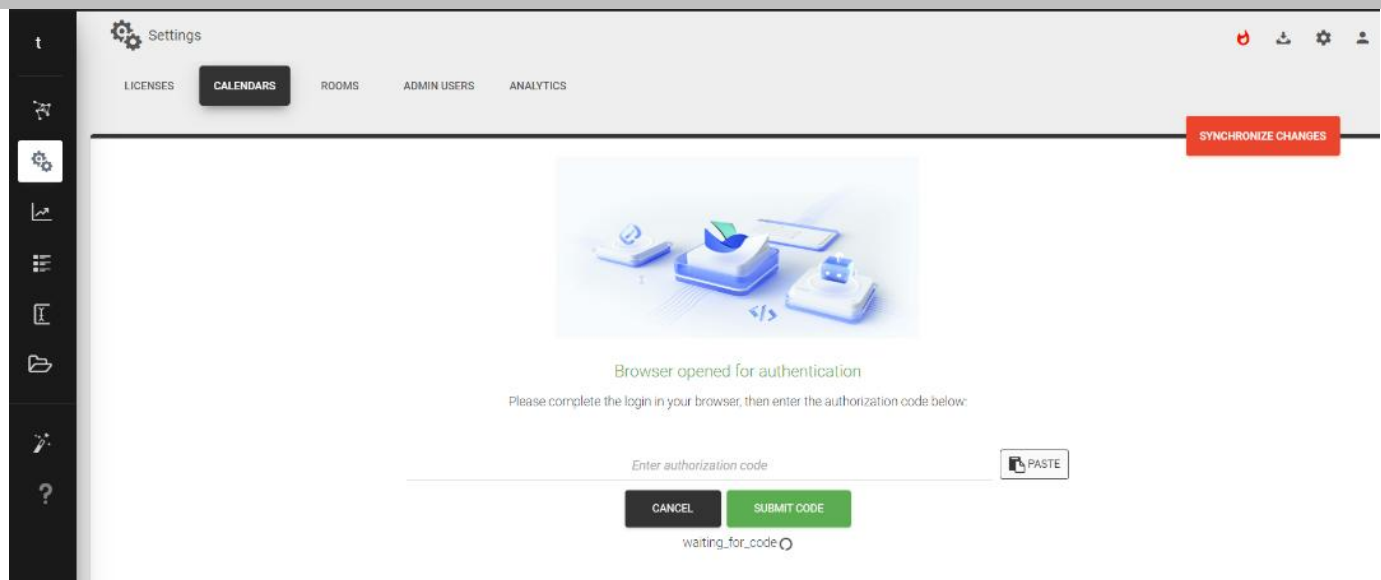
Lark または Feihu のサインインオプションを選択すると、管理者が Tigermeeting アプリの承認を提示されます



認証が成功すると、クリップボードにコピーされるトークンが提供されます。



認可トークンは管理者アプリに貼り付ける必要があります。



認証が成功すると、ラーク・フェイスの暦が添付されます。

会議室リソースの構造は非常に複雑ですが、Lark-Feishu は Microsoft365、Exchange Server、Exchange Online のような RoomList の原則をサポートしていません。Tigermeeting 管理アプリは、Tigermeeting インストールインスタンスで管理するルームリソースを選択するための高度なインターフェースを提供します。

原則は Microsoft365、Exchange Server、Exchange Online RoomLists と同じで、ローカルネットワークのインフラに関連する部屋を選んでください。



Select rooms to import

☐ Select All

☐ Tigermeeting AB > Stockholm > Edbo 47 > Floor 1 > North corridor

☐ alpha Capacity: 5

☐ beta Capacity: 6

☐ delta Capacity: 20

☐ epsilon Capacity: 10

☐ gammaaa Capacity: 17

☐ zeta Capacity: 12

☐ Tigermeeting AB > Addis > Layer I > Layer II > Layer III

☐ abraham office (unique) Capacity: 1

☐ Test Room Capacity: 27

☐ Test Room 2 Capacity: 33

CANCEL

IMPORT SELECTED ROOMS

部屋選択が完了したら、「選択した部屋をインポート」を押すと、カレンダーがタイガーミーティングスイ

ートに紐付けられます。



部屋の選択は「RE-IMPORT ROOMS」で変更可能です。

承認トークンが期限切れの場合は再認証が必要になる場合がありますのでご注意ください。

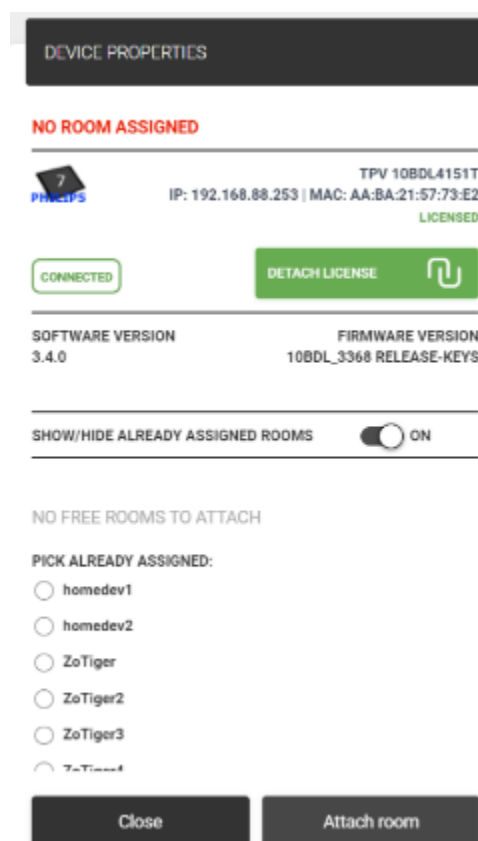
一般的な暦機能

タイガーミーティングは主要なすべてのカレンダーに対応しています。カレンダーには特定の機能がある場合もありますが、Tigermeeting は常にすべてのカレンダーでできるだけ共通の機能や機能を提供するよう努めています。

複数の入口を持つ部屋

部屋に複数の入口がある場合もあります。複数のデバイスで同じ部屋の状態を表示することが望まれます。TigerMeeting はすべてのカレンダーでこの機能をサポートしています。

まだ部屋が接続されていないデバイスでは「割り当てられた部屋を表示」を選択してください。その後、すでに割り当てられたデバイスがある部屋を選べます。これにより、必要なだけ多くのデバイスを1つの部屋(カレンダーリソース)に接続できます



複数のデバイスを同じカレンダーリソースに接続すると、すべてのデバイスが同じステータスや次の会議などを表示します。

注意:どちらのデバイスでもキャンセルまたは未確認の会議は、企業カレンダーを含むすべてのデバイスで会議をキャンセルまたは終了します。

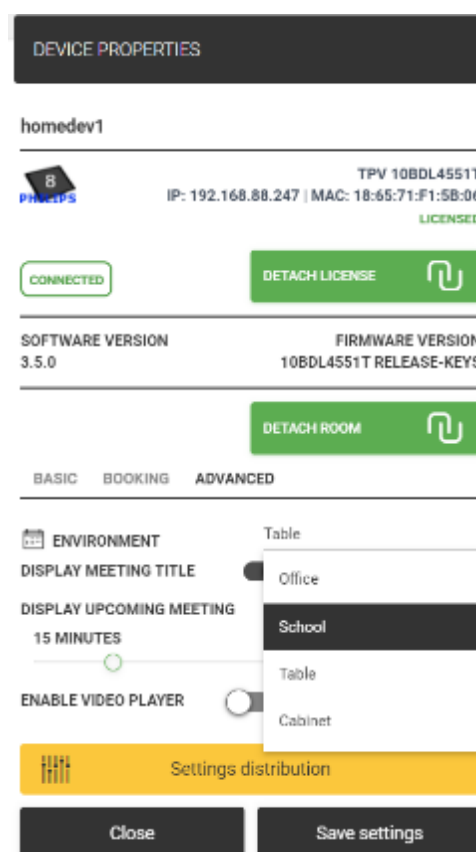
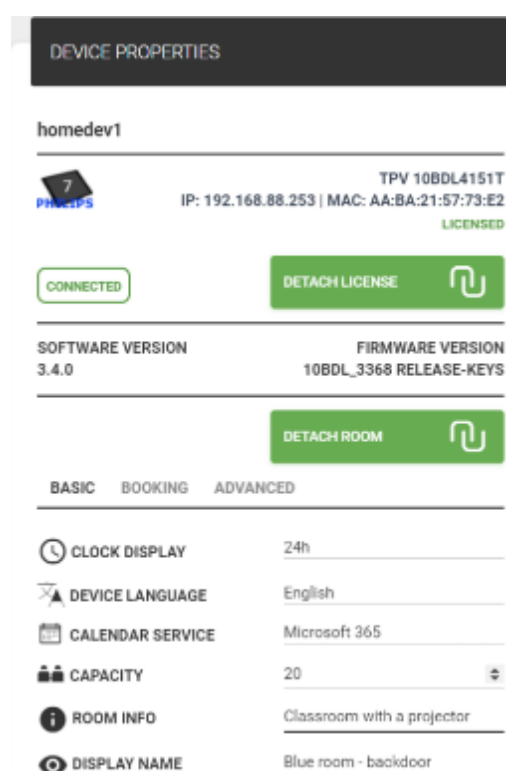
部屋の「表示名」

カレンダーリソース名は、組織の LDAP やディレクトリサービスの命名規則に従い、非常に難解で一般的な組織名を持つことがあります。

デフォルト名は部屋の別名や表示名を追加することで簡単に上書きできます。

編集可能で説明的な「部屋情報」

追加の部屋説明情報を加えることで、予約時に適切な部屋を特定したり選んだりするのに役立ちます。
部屋情報も概要画面に表示されます。



環境選択

異なる環境や混合環境で同じソリューションを使う。オフィスでは会議室を予約し、学校では教室の時間割を表示し、必要に応じてテーブルや机、キャビネットを予約します。環境や目的に最適な異なる画面サイズのデバイスを自由に組み合わせてください。

環境パラメータは、教師用の会議室、生徒用の教室、特別クラス用の予約可能な机など、混合環境を作る可能性のある装置に割り当てられます。

専用画面のサポート

市場には多くの専用スクリーン、会議室用のディスプレイがあります

Tigermeeting は、Philips TPV 10 インチシリーズ画面、ProDVX スクリーン、Aurora マルチメディアデバイス、IAdea、ALLNET、Qbic 技術画面など、いくつかのデバイスに対してネイティブサポートがあります。

対応機器はほとんどの操作をこなせますが、供給元やモデルによって異なる場合があります。

- スクリーンショット
- リブート
- LED サイドライトとバックライト(色の変化、LED のオン/オフ、LED の輝度調整)
- Tigermeeting ソフトウェア(APK)アップグレード
- ファームウェアのアップグレード

LED バックライトの色

LED のバックライトとテーマカラーが部屋の状態を把握するのに役立ちます。

緑信号は部屋が空いていることを意味します。

黄色:部屋が埋まろうとしています(管理アプリケーションで時間制限を設定可能)。

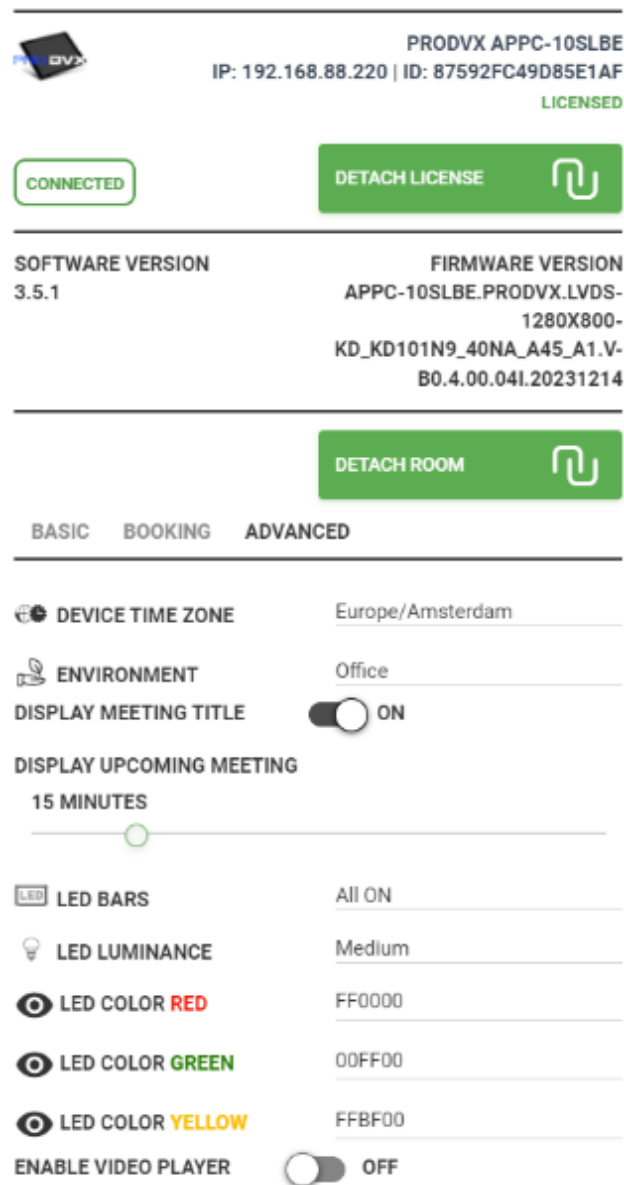
赤は会議室が混雑しており予約不可であることを示します。しかし、各予約画面で他の利用可能な部屋のリストを見つけたり、簡単にリモートで会議を予約したりできます。

使用されているデフォルトの LED バックライトカラーコードは以下の通りです:

- レッド:0xFF0000
- グリーン:0x00FF00
- 黄色:0xFFDF00

これらの色は、フル RGB レンジに対応しているデバイス向けに管理者アプリから変更可能です。

カラー入力の下にある赤いバーは、入力された値が正しい RGB 値かどうかを示しています。誤入力の場合はデフォルトの色が使われます。



PRODVX APPC-10SLBE
IP: 192.168.88.220 | ID: 87592FC49D85E1AF
LICENSED

CONNECTED DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION 3.5.1 FIRMWARE VERSION APPC-10SLBE.PRODVX.LVDS-1280X800-KD_KD101N9_40NA_A45_A1.V-B0.4.00.04I.20231214

DETACH ROOM

BASIC BOOKING ADVANCED

DEVICE TIME ZONE Europe/Amsterdam

ENVIRONMENT Office

DISPLAY MEETING TITLE ON

DISPLAY UPCOMING MEETING 15 MINUTES

LED BARS All ON

LED LUMINANCE Medium

LED COLOR RED FF0000

LED COLOR GREEN 00FF00

LED COLOR YELLOW FFBF00

ENABLE VIDEO PLAYER OFF

LED 輝度

LED バーの輝度は低、中、高の間に設定可能です。

LED ライトの位置

タイガーミーティングは以下の LED ライトのポジションをサポートしています：

- 全ての OFF です – すべての LED が消灯しています
- 全てオン – 利用可能な LED はすべて点灯します
- 画面の左右だけが点灯します
- 上部のみ – 画面上部の LED ストラップのみが使用されています
- 画面は前面のみ – 画面には前面の LED ストラップやボタンのみ (QBic や IAdea のように)
- 画面下部のみ – 画面下部の LED ストラップのみが使われています
- 画面の角だけが点灯します

これらすべての LED 状態を扱えるデバイスは非常に限られており、良い例として ProDVX APPC-10SLBE、S シリーズ、そして新しい ProDVX スクリーンがあります。

PRODVX APPC-10SLBE
IP: 192.168.88.220 | ID: 87592FC49D85E1AF
LICENSED

CONNECTED DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION 3.5.1 FIRMWARE VERSION APPC-10SLBE.PRODVX.LVDS-1280X800-KD_KD101N9_40NA_A45_A1.V-B0.4.00.04I.20231214

DETACH ROOM

BASIC BOOKING ADVANCED

🌐 DEVICE TIME ZONE Europe/Amsterdam

🏢 ENVIRONMENT Office

DISPLAY MEETING TITLE ☒ ON

DISPLAY UPCOMING MEETING 15 MINUTES

LED LED BARS All ON

💡 LED LUMINANCE

👁️ LED COLOR RED

👁️ LED COLOR GREEN

👁️ LED COLOR YELLOW

ENABLE VIDEO PLAYER ☐

Settings display

Close Save settings

重要な注意点: デバイスに要求されたすべての LED バーが揃っていなかったり、LED バーをリージョンに分割する機能がない場合、デバイスの LED バーが期待通りに動作しない可能性があります。その場合は、All ON を安全な保険としてご利用ください。

LEAD ON インターバル

LED が点灯している間隔を選べますが、この間隔外は LED ライトが消灯します。

オフィスが空いている夜中、LED ライトが点灯しておく必要はないかもしれません。

エネルギー節約のために、日中は光度を下げるか、使わない時間は電源を切ることを検討してください

。

 LED BARS	All ON
 LED LUMINANCE	High
 LED COLOR RED	FF0000
 LED COLOR GREEN	00FF00
 LED COLOR YELLOW	FFDF00
 LED ON INTERVAL	00:00-23:59

これはスケジューラーではなく、日々の間隔選択器です。
この時間帯外は LED ライトが消灯します。

注意:Tigermeeting Android アプリケーションで画面モデルが完全にサポートされていない場合、LED バーは機能しません。

LED ライトがデバイスでサポートされているかは、Tigermeeting カスタマーサポートにお問い合わせください。

画面オン間隔

画面 ON 間隔は通常の動作時間枠を指定します。
画面 ON の間隔を過ぎると画面は消えます。

 LED ON INTERVAL	07:00-21:00
SCREEN ON INTERVAL	05:00-20:00
SHOW PRODUCT BRANDING	 ON

注意:会議関連のイベントや画面へのタッチは短時間画面を起動させます。

この機能は LED と ON の間隔とは完全に独立しており、LED が点灯している、画面が消えているなどの重なり合いも可能にしています。

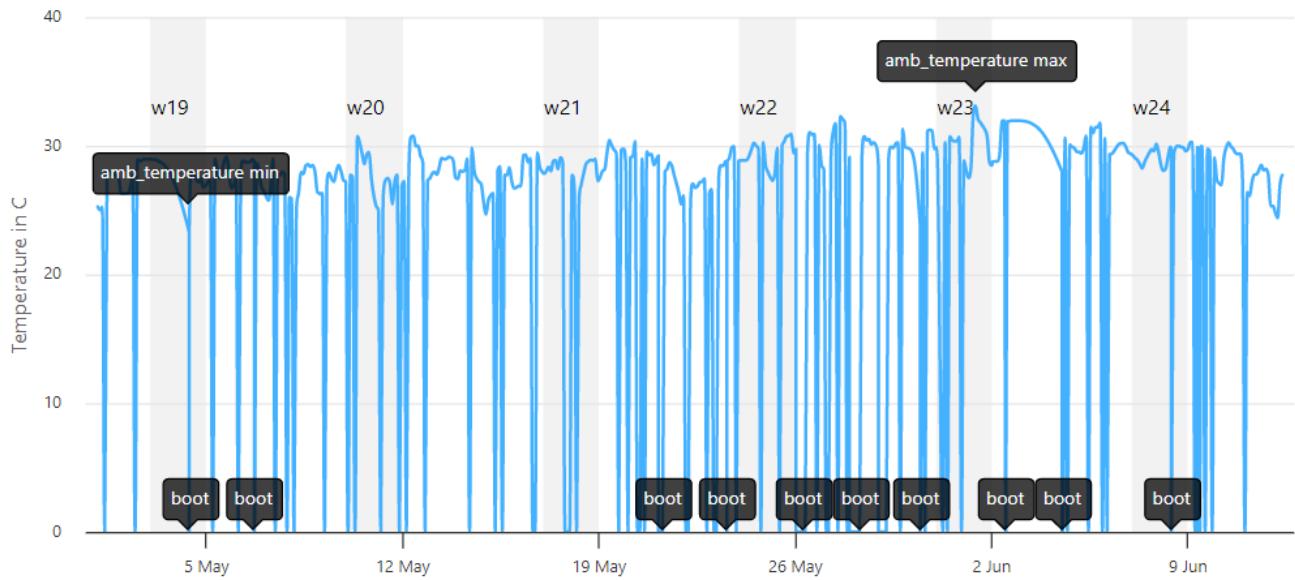
これはスケジューラ機能ではなく、毎日間隔を空けた ON/OFF サービスです。

周囲の温度と湿度

周囲温度、湿度、その他のセンサーをサポートするデバイス上で、Tiger アプリケーションはこれらのデータを読み取り、提示し、プレゼンテーションや分析目的で収集することが可能です。

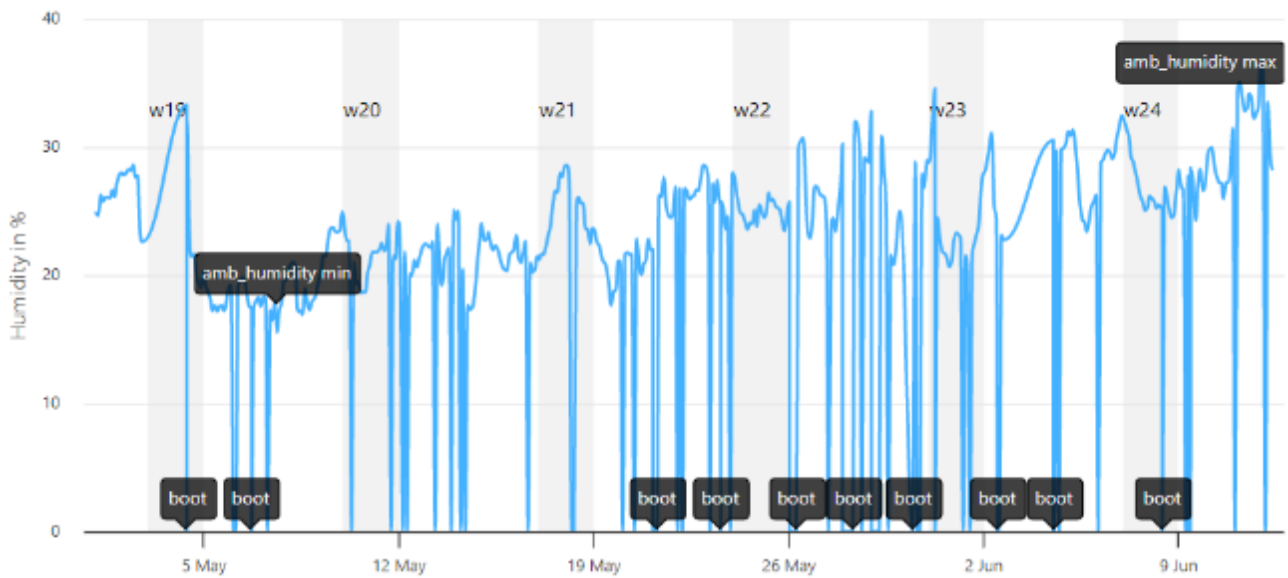
Ambient temperature

Click and drag in the plot area to zoom in



Ambient humidity

Click and drag in the plot area to zoom in



天候情報

周囲温度機能は周囲センサーを搭載したデバイスに限定されますが、天気情報はすべてのデバイスで利用可能です。

この機能は Tigermeeting クラウドへのアクセスを必要としますが、他の外部リソースは使用されません。

「天候値表示」オプションを有効にすることで、デバイス(または分布全体)の緯度と経度の設定が可能です

SHOW WEATHER VALUES



ON



LATITUDE [-90,90]

59.3327



LONGITUDE [-180,180]

18.0656

緯度と経度の座標は、数字を使って地球上の任意の場所を特定するのに役立ちます。
緯度とは、赤道(緯度 0 度)からどれだけ北または南にどれだけ離れているかを測ります。

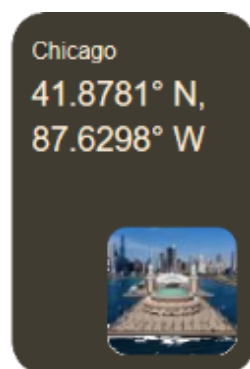
- 正の数値(例えば+45°)は北半球にすることを意味します。
- 負の数(例えば-30°)は南半球に位置します。

経度とは、本初子午線(経度 0 度)からどれだけ東または西に位置しているかを測るものです。

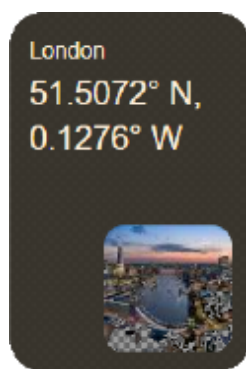
- 正の数値(例えば+120°)は東半球にすることを意味します。
- 負の数(例えば-75°)は西半球に位置します。

ですので、「北緯 45 度、西経 75 度」と書く代わりに、単に 45、-75 と書くだけです。

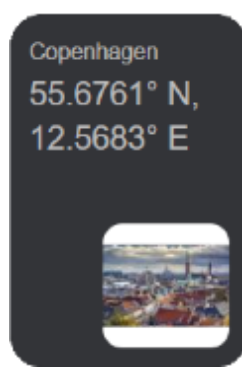
例:



緯度: 41.8781
ロン:-87.6298



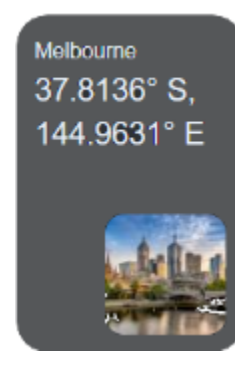
緯度: 51.5072
ロン:-0.1276



緯度: 55.6761
Lon:12.5683



緯度: -35.6037
ロン:-58.3821



緯度: -37.8136
距離:144.9631

温度(選択した温度単位)と相対湿度(パーセンテージ)は、テーマの使用に依存せずデバイス上で表示されます。

プレゼンテーションモードでは、主要な温度単位(基本設定)に対応しています:



画面には温度と湿度のアイコンが表示されます。すべてのテーマがサポートされています。



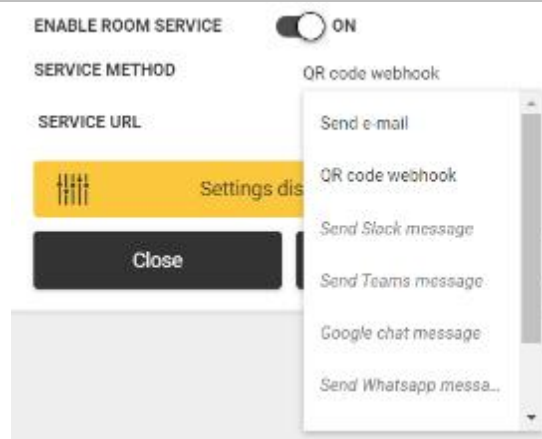
注意:気象サービスはインターネット接続が必要なキャッシュ型オンラインサービスです。キャッシュの有効期間は約 15 分なので、天候の値や温度単位の変化(例えば摂氏から華氏、ケルビンへの変換)は、画面上で更新されるまでに約その時間がかかります。

ルームサービスの構成

会議室、机、教室のメンテナンス、ルームサービス、その他の対応が必要な場合もあります。TigerMeeting ルームサービスは、適切な対応が可能な企業のコミュニケーションチャネルとの連携を可能にすることで、この要件を満たしています。

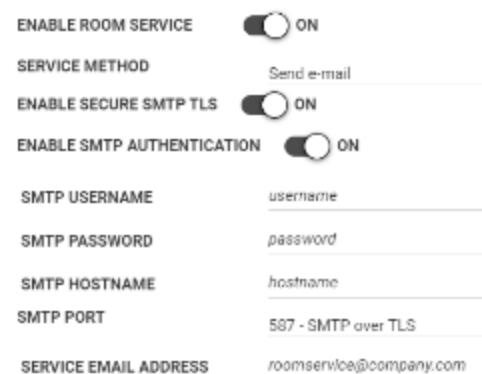
現在サポートされている通信チャネルは以下の通りです:

- メール送信
- スキャン QR コードを
- Slack メッセージ(まだ統合されていません)
- Teams メッセージ(まだ統合されていません)
- Google チャットメッセージ(まだ統合されていません)
- WhatsApp メッセージ(まだ統合されていません)
- Telegram メッセージ(まだ統合されていません)
- WeChat のメッセージ(まだ統合されていません)

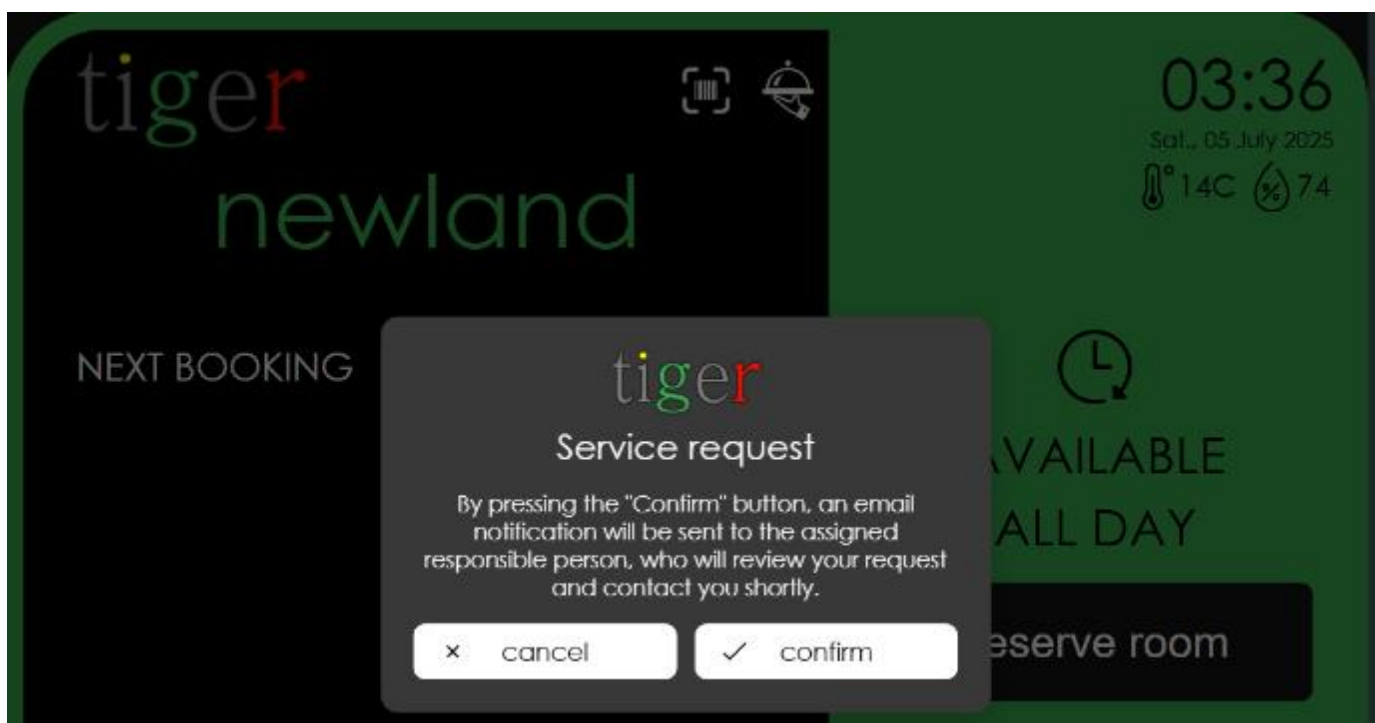


メール送信

カレンダーリソース(教室、教室、机)から設定済みのメールアドレスへメールを送信します。
このサービスには SMTP サーバーパラメータの設定が必要です。



画面に「ルームサービス」アイコンを押すとダイアログが表示されます。



ルームサービスの機能は、サービスの悪用を避けるために NFC-SERVICE-AUTH および NFC-SCANNER-AUTH の認証パラメータに紐づけることができます。

QR コードウェブフック

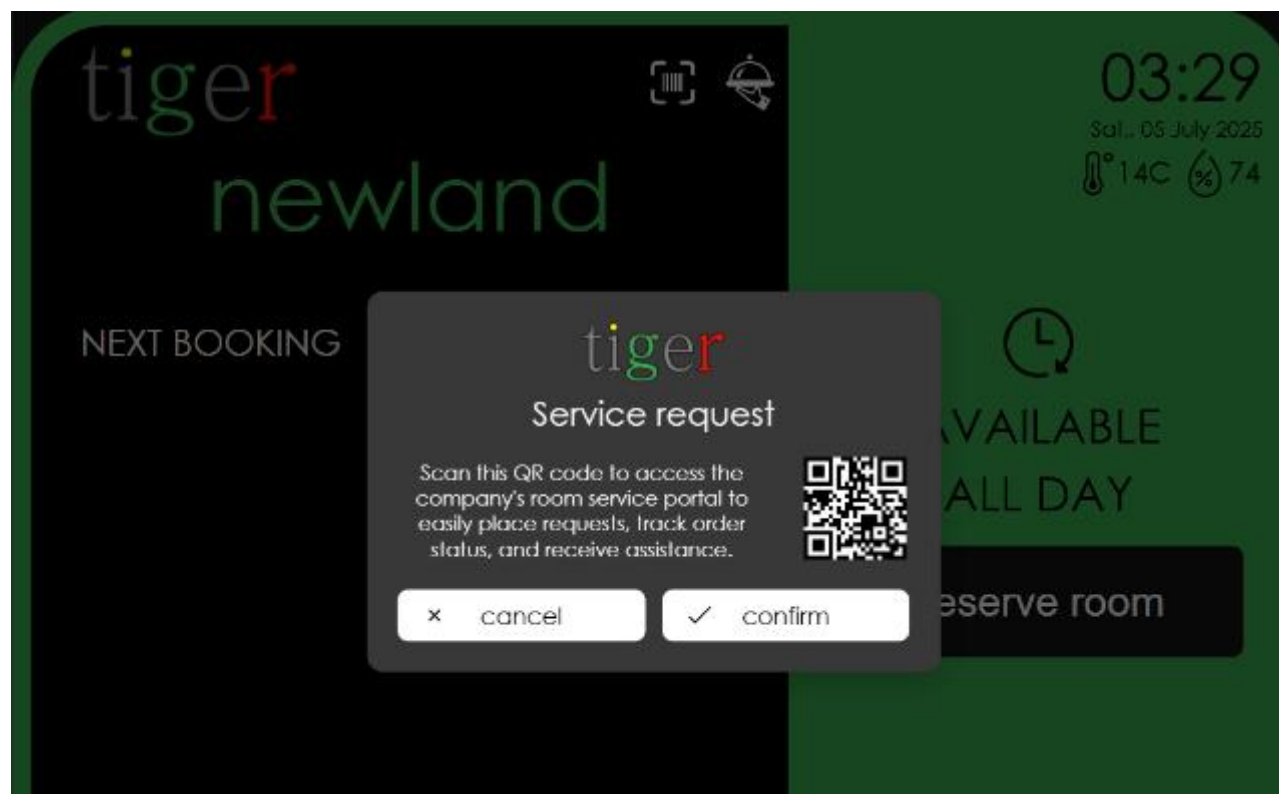
画面に QR コードが表示され、その URL は会社のウェブフックリソースを指し示します。これがルームサービス機能の好ましい理由であり、会社のポータルがユーザーの認証や各リソースに関連するサービス提供を適切に処理できるからです。



注:Tigermeeting は、会社固有のサービス URL にカレンダーリソース識別をパラメータとして追加します。

例:https://company.com/roomservice/?resource="STHLM-P-Jupiter"

画面上で「ルームサービス」アイコンを押すと、指示付きのダイアログが表示されます。



NFC

NFC(近距離無線通信)は、2つのデバイスが非常に近い距離(通常は4センチメートル以内)でデータを交換できる短距離無線技術です。

NFC 技術は広く使われており、以下のようなものがあります。

- 非接触決済(Apple Pay、Google Pay、Samsung Pay など)
- ヘッドホンやスピーカーとペアリングするためにスマホをタップする
- トランジットカードやアクセスバッジのスキャン
- ポスター、パッケージ、博物館展示のスマートタグを読む

NFC は電磁場を利用して、電源機器(例えば電話)と他の NFC 対応デバイスやパッシブタグ間の通信を可能にします。NFC は RFID と同じ技術に基づいていますが、より安全でインタラクティブです。

TigerMeeting による NFC 認証の実装

NFC リーダーを搭載したデバイスで、デバイス設定で NFC 機能がオン/許可されている場合、Tiger アプリケーションは以下の技術タグをフィルタリングし読み込みます。

- **Ndef**:これは NFC データ交換フォーマット(NDEF)メッセージの交換のための標準プロトコルです。市販のほとんどの NFC タグは NDEF タグとして事前フォーマットされており、多くの用途で非常に一般的です。
- **NfcA** (ISO/IEC 14443 タイプ A):多くの公共交通カード、アクセス制御バッジ、決済システムに搭載されている非接触通信の広く使われている技術です。ほとんどの MIFARE タグ(Mifare Classic や Mifare Ultralight など)はこの技術の上に構築されています。
- **IsoDex**(ISO/IEC 14443-4):カードエミュレーションや安全な取引でよく使われ、NfcA や NfcB の上に高レベルの通信プロトコルを提供します。これは安全な決済アプリケーションや多くの安全な身分証明書で一般的です。
- **MifareClassic** および **MifareUltralight**:これらは NXP の独自実装で、アクセス制御、ロイヤルティカード、公共交通機関に一般的に使用されています。通常は NfcA の傘下で動作しますが、メモリセグメンテーションやセキュリティ機能などの追加機能も備えています。
- **NfcF** (FeliCa):主に日本などの地域で使用されており、FeliCa ベースのシステムをサポートしています。特定の市場の交通や決済システムではよく見られます。
- **NfcB** (ISO/IEC 14443 タイプ B):多くの用途で NfcA ほど頻繁には見られませんが、NfcB は様々な非接触カードシステムで使用されており、この標準に準拠したタグを期待する場合に追加することも可能です。

NFC の使用

NFC はさまざまな方法で使えます。

以下のリストは最も一般的なユースケースです：

- 認証された人のために(会議室の)ドアを開けてください
- 会議主催者の認証
- ルームサービスの注文前に認証してください
- 記録の出席率
- 管理者のメンテナンスを許可する

NFC 認証は直感的ではなく、自動的に行われるわけではないことにご注意ください。この機能は顧客側の設定と Tigermeeting バックエンドサービスとのより緊密な統合を必要とします。

NFC 検証サービス

TigerMeeting はオンプレミスサービスであり、通常のカレンダー運用には外部アクセスを必要としませんが、NFC 認証はオンプレミスまたはクラウド上の認証サービスとの統合が必要です。

TigerMeeting は Tiger クラウド上でホストされたマルチテナント検証サービスを持ち、企業認証リソースと同期できます。

- アクティブディレクトリ
- LDAP サービス
- CSV ファイル
- 顧客独自の API REST 検証サービス

検証サービスが Tiger クラウド上でホストされている場合、初期設定を行う必要があります、デバイスが Tiger クラウドにアクセスできる必要があります。

場合によっては、顧客が自社ネットワーク上で Tigermeeting NFC 検証サービスをホスティングすることを選んだこともあります。その実現に制限はありません。検証サービスは軽量なサービスであり、安全なコンテナ内または任意のウェブサーバー上のサービスとして実行可能だからです。

注意:NFC タグ、値、カード ID は自然な順序と 16 進形式で読み取られます。

一部の画面では、NFC リーダーを 10 進形式で数字を表示したり、文字列の文字順を逆に表示したりすることができます。この場合、検証文字列はまさにその形式の文字列を含む必要があります。タグ検証は常に文字列比較操作です。

Active Directory/LDAP 統合の手順

組織の Active Directory / LDAP サービスと Tigermeeting 検証システム間の同期を有効にするに

は、以下の設定手順に従い、ご希望の情報をご提供ください。

このプロセスにより、Tigermeeting 検証サービスシステムは顧客のディレクトリからユーザー、タグ、権限データを安全に直接読み取ることができます。

ステップ 1:読み取り専用のサービスアカウントを作成する

セキュリティのため、AD/LDAP に読み取り専用のサービスアカウントが必要です。このアカウントは同期作業専用に使われます。書き込み権限は必要ありません。

ステップ 2:許可グループの定義

Tigermeeting システムは、AD/LDAP グループメンバーシップを利用して、NFC/RFID 操作のユーザー権限を管理しています。特定のセキュリティグループを、正確なフォーマットに従った名前で作成する必要があります。

グループ命名規則:各グループ名は以下の構造に従わなければなりません:

接頭辞 Context_Name ACTION_NAME

- プレフィックス:このサービスに関連するグループを識別するために選ぶ一意のプレフィックス(例:nfc-access-)。
- コンテキスト名:場所やデバイスの名前(例:Main_Entrance、Server_Room)。スペースの代わりにアンダースコア_を使いましょう。
- アクション名:付与される特定のアクション(例:UNLOCK_DOOR、LOG_ATTENDANCE)。

例:

permission_prefix	LDAP グループ名	解析されたコンテキ	解析されたアクション
NFC アクセス-	NFC-アクセス- Main_Entrance- UNLOCK_DOOR	「正面玄関」	「UNLOCK_DOOR」
NFC アクセス-	NFC-アクセス-Server_Room- UNLOCK_DOOR	「サーバールーム」	「UNLOCK_DOOR」
部屋パームー	部屋のパーム Meeting_A LOG_ATTENDANCE	「ミーティング A」	「LOG_ATTENDANCE」

ユーザーに権限を与えるには、ディレクトリ内の対応するグループにメンバーとして追加するだけです。

ステップ 3:構成情報の提供

以下の情報を収集し、Tigermeeting の技術チームに提出して同期接続の設定を依頼してください。

必須情報チェックリスト:

- 「ldap_host
- 「ldap_port
- 「bind_dn
- 「bind_password - 暗号化されたパスワード
- 「base_dn」
- 「tag_attribute」 - NFC/RFID タグ UID の LDAP 属性
- 'email_attribute'- ユーザーのメール用 LDAP 属性
- 'permission_attribute'- グループメンバーシップの LDAP 属性、例:memberOf
- 「permission_prefix」 - 権限グループの接頭辞、例:「nfc-access-」

Tigermeeting AD 同期サービスは、定期的に AD データを検証データベースと同期させます。

CSV ファイル統合の手順

同期は通常のファイル転送でも可能です。

期待される CSV ファイル形式は以下の通りです:(ヘッダー付き):

メール、tag_uid、コンテキスト、アクション

name@company.org,ABDD1234,「ミーティング A」UNLOCK_DOOR

Tigermeeting の CSV 同期サービスは定期的にファイルを取得し、検証データベースにデータをインポートしようとします。

API REST 統合の手順

組織は独自のウェブフックを設定でき、デバイスはそれに対して検証を試みます。

検証サービスの URL を定義します。

画面は POST API リクエストを通じて、以下の JSON ペイロードを定義された検証 URL に送信します。

```
{
  「tag_uid」 : 「ABCD1234」
  「organization_id」:123456、(タイガーミーティングによる割り当て)
  「email_address」 : 「user@company.org」 、
  「コンテキスト」:「会議 A」、
  「アクション」:「UNLOCK_DOOR」
}
```

期待されるレスポンスコードは http 200 で、ペイロードは以下の JSON 形式である必要があります。

```
{  
  「ステータス」:「付与」(または「失敗」)  
  「メッセージ」:「アクション拒否」(任意)  
}
```

この API は意図的に非常にシンプルに作られており、誰もが自社の認証サービスと簡単に連携できるようになっており、TigerMeeting の運営はオンプレミスに限定されています。

GPIO 制御

本章では、Android ベースのデバイスにおける汎用入出力(GPIO)を紹介します。GPIO は、ユーザーがシンプルな電子機器(LED、ボタン、リレー、センサー)を接続し、直接制御または読み取りを可能にし、追加のマイクロコントローラを必要としません。

GPIO とは何ですか？

GPIO ピンは、デバイスの回路基板上で設定可能なデジタルチャネルです。

出力モードでは、デバイスはピンを HIGH(電圧)または LOW(グラウンド)に駆動して外部部品のオン/オフを切り替えます。

入力モードでは、ピンは外部の論理信号(例えばボタン押しやセンサー出力)を読み取ります。

GPIO のユースケース

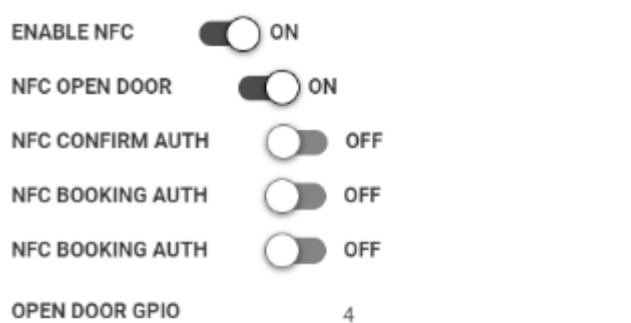
- 接続やアラートを表示するステータスインジケータ(LED)を追加してください
- カスタム操作のプッシュボタンを接続する
- 単純なセンサー(動き、光、温度)とのインターフェース
- 高電圧機器を制御するためのスイッチリレー
- 追加基板なしで新ハードウェア機能の試作
- アクセス管理 — ドアを開けるなど

GPIO ピン/ポート

ほとんどの Android Things やカスタム Android ボードでは、GPIO は基板の側面または下部にラベル付けされています。ピン割り当てについてはハードウェア図(例:「GPIO4」、「ピン 7」)を参照してください。

詳細な配線情報については、ハードウェアの販売業者にお問い合わせください。

Tiger アプリケーションはデフォルト **GPIO4** ですが、スキャンや NFC オープンドア機能の設定時に簡単に変更可能です。



ドアロックおよびアクセスコントロールシステム

GPIO 制御の最も一般的な用途の一つは、Tigermeeting を動作させるスクリーンによって駆動されるドアロックアクセス制御システムです。

GPIO 制御は NFC または QR コードスキャナー認証機能と組み合わせて使用可能に設定可能です。

異なるハードウェアサプライヤーからは多様なハードウェア構成が存在することがあります。

以下は Tigermeeting の顧客がよく使う例です:



门禁电源控制器 ACCESS POWER SUPPLY

5A 12V DC

大功率 小体积 双稳压



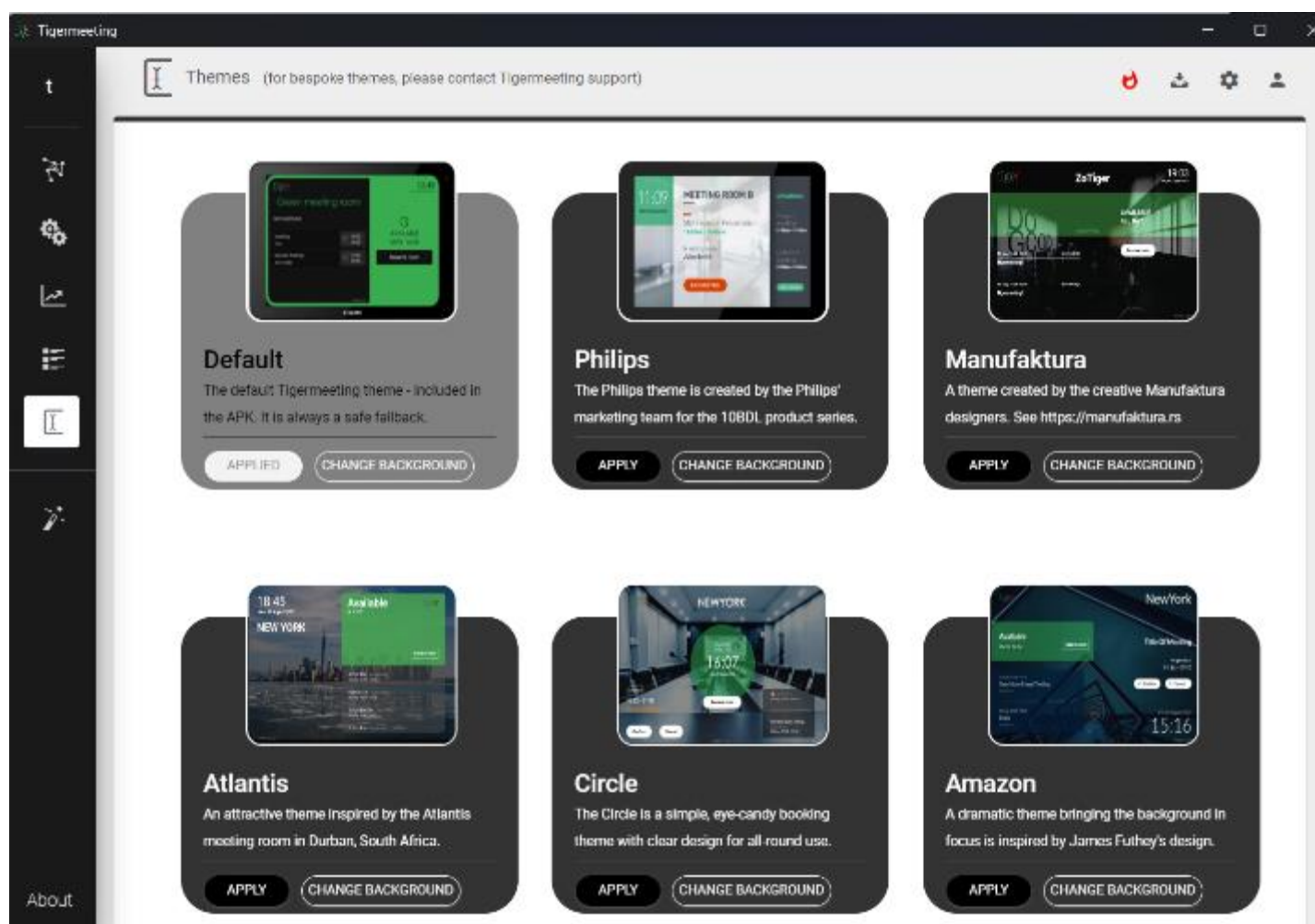
テーマ構成

TigerMeeting スイートは、予約画面のホーム画面レイアウトをテーマ、背景画像、会社のロゴを変更することで変更できるため、デバイスの外観をパーソナルでブランド化されたものにできます。

選べるテーマは多様で、デフォルトのものや、世界中の Tigermeeting の優れたデザイナーや顧客のアイデアに触発された多くのテーマがあります。

新しいテーマは、ソフトウェアのアップグレードを必要とせず、オンデマンドや新しいデザインアイデアが浮かぶ際に、継続的に動的に追加されます。テーマのテンプレートや顧客のカスタム背景は Tigermeeting クラウドに保存されているため、この操作にはファイアウォールを通じて <https://tigermeeting.app> URL へのアクセスが必要です。

リクエストに応じて、専用のテーマを作成して有効にすることも、すべての顧客に共通のテーマにすることも可能です。詳細については、Tigermeeting のサポートにお問い合わせください。



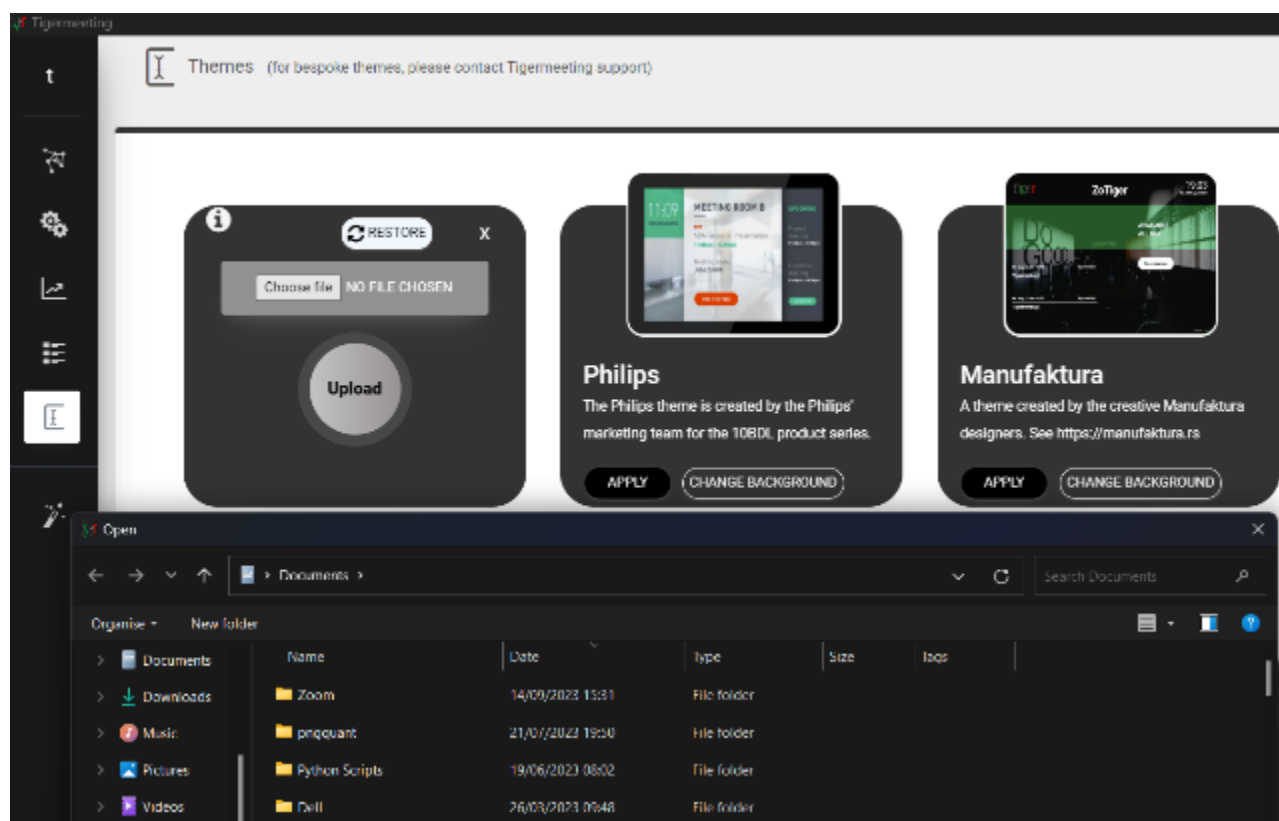
テーマ背景画像の構成

すべてのテーマは背景画像の変更に対応しています。
 管理者アプリのテーマメニューで希望の背景画像をアップロード>

画像ファイルの要件:

- PNG フォーマット
- 最大ファイルサイズ 4Mb。
- 使用される画面サイズに合った解像度と比率。

フィリップス、IAdea、Qbic のスクリーンには比率 16:9、サイズ 1280 x 800 ピクセルが推奨されます。他の Android デバイスについては、画面の説明書をご参照いただき、画面の比率と解像度に合った画像を選択してください。



各テーマはカスタムで顧客固有の背景を持つことができますが、新しい背景をテーマにアップロードすると、そのテーマの前の画像が上書きされます。

STORE ボタンを使って、テーマの元のデフォルト背景画像を復元してください。

すべてのデバイスでテーマの元の背景画像をリセットしてください。リセット ボタン

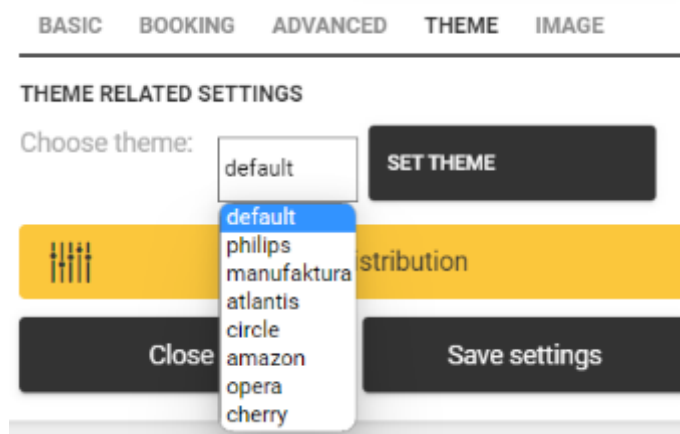
デバイスと同期して変更をコミットし、デバイス上でテーマ変更プロセスを開始します。デバイスはまずクラウドサーバーからテーマをダウンロードし、適用します。

注意: デバイスは <https://tigermeeting.app> クラウドサーバーにアクセスする必要があります。

各デバイスごとのテーマ設定

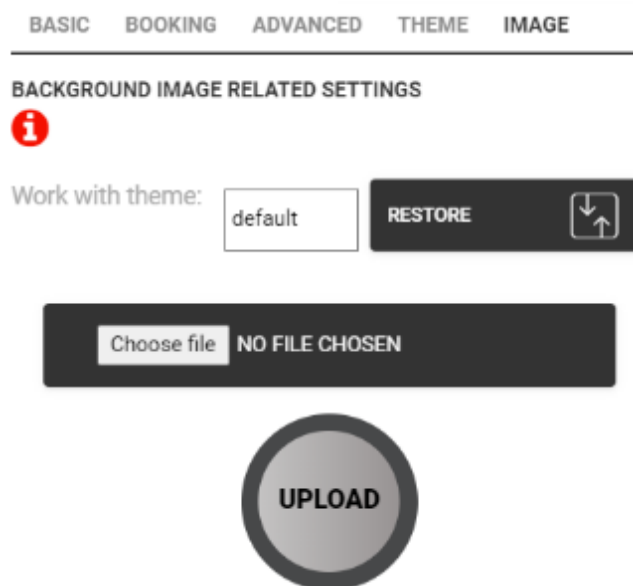
各デバイスは、他のデバイス関連パラメータを編集しながら、それぞれ独自のテーマや背景設定を設定できます。

テーマと画像のタブをチェックしてみてください



テーマを選んで「SET THEME」ボタンを押してください。

背景画像は IMAGE タブで変更されます。



テーマを選び、そのデバイス専用に適用される希望の背景画像をアップロードします。
このデバイスのテーマのデフォルト背景画像を STORE ボタンで復元してください。

変更後、デバイスとの同期を行う必要があります。

テーマの肖像と風景の方向性

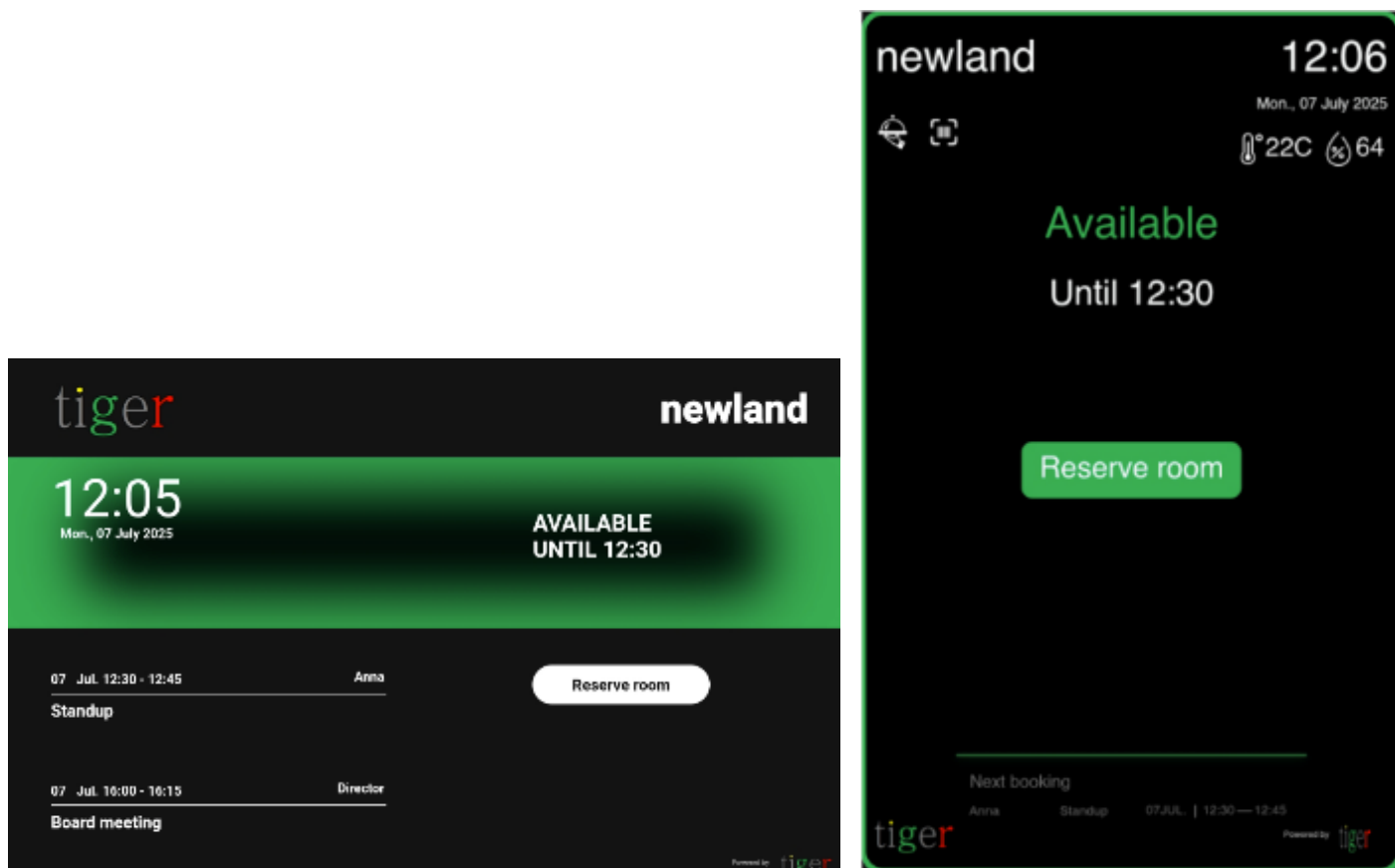
TigerMeeting はデバイスセンサーに基づく画面向きの選択をサポートしていません。

タイガーは 4 インチから 15 インチまでの多くのスクリーンに対応しており、フィリップス、IAdea、ProDVX、Aurora、Qbit、Samsung、Huawei、Xiaomi、Asus、Oppo など多くのメーカーが対応しています。

テーマ変更、会社のロゴ、オフィス・学校・デスクモードなど、タイガーの機能でこれら多様な画面サイズや解像度に対応するため、すべてのテーマで縦向きモードをサポートしないという戦略的な判断を

下さなければなりませんでした。

「_portrait」という接尾辞が付いたテーマがあり、ポートレートモードで動作するように設計されており、Tiger アプリケーションは選択したテーマに基づいて自動的に画面の向きを調整しますが、デバイスのセンサーには基づきません。



ネットワーク内の各デバイスの向きに応じてリバースモードオプションも利用可能です -> デバイス(ペン)選択 -> ADVANCED -> 画面の逆向き オン/オフ

タイガーは以下の Android 画面向きをサポートしています:

- 景観
- ポートレート
- REVERSE_LANDSCAPE
- REVERSE_PORTRAIT

特定の画面で横向きと縦向きの向きは、Android デバイスのファームウェアによって異なります。

ほとんどの汎用デバイスに対応していますが、一部の Android バージョンやメーカーのデバイスでファームウェアレベルの画面向き設定に問題がある可能性があります。

注意: Tiger が画面の向き変更を正しく行うには、センサーによる回転や Android 設定に基づく画面向きを無効にする必要があります。

トラブルシューティングのセクションで詳しくお読みください。

ファイルストアの機能

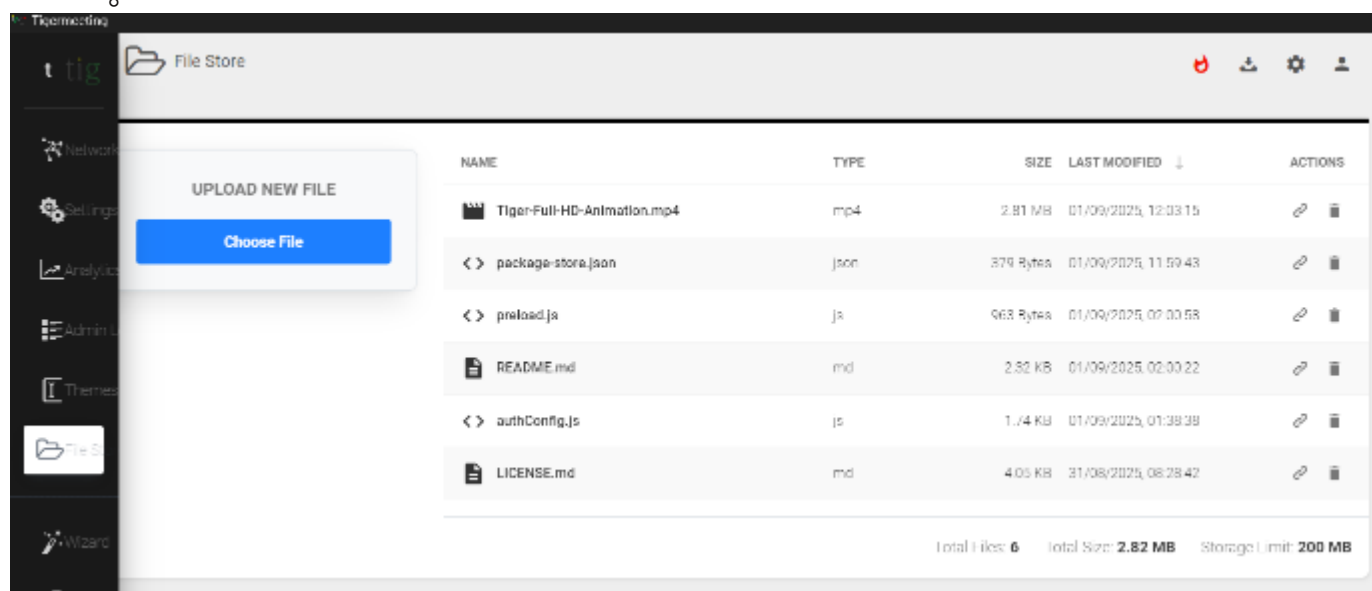
TigerMeeting の顧客は、これらのファイルをホストするためにウェブサーバーを必要とするビデオプレーヤーや iCalendar 機能を広く利用しています。

通常、URL でアクセス可能な社内スペースを見つけるのは問題ありません。多くの場合、組織のイントラネット上でホストされています。

顧客の要望に応じて、Tigermeeting はファイルストアのコンセプトを導入し、これらのファイルが Tiger インフラに安全に保存されます。

ファイルストアは基本的に Google ドライブや Microsoft の Share ポイント、類似のファイルストアサービスのようなクラウドストレージであり、大きく異なる点が 2 つあります。

- Tigermeeting File Store は非常に基本的なファイル管理機能しかありません。
- Tigermeeting ファイルストアのリソースは、クリーンでアンラップされた URL を通じてアクセス可能で、Android Media Player やその他の低レベルの利用に適したファイルを直接公開します。



ファイルストア操作:

- ファイルアップロード
- ファイル削除
- URL をコピーする - ビデオプレーヤーや iCalendar の設定に適した外部 URL をコピーします

ファイルストアの制約:

- ファイルは Tiger クラウドに安全に保存されていますが、Tiger Cloud へのインターネットアクセ

スが必要です。

- セキュリティ上の理由から、CGI スクリプトの実行は無効化されています
- ファイル形式に制限は意図的にありませんが、ストレージ容量には制限があります
- 個々のファイルサイズには 10MB の制限があります

デバイス変更 - 交換

一部またはすべての機器を交換する必要がある状況もあります。

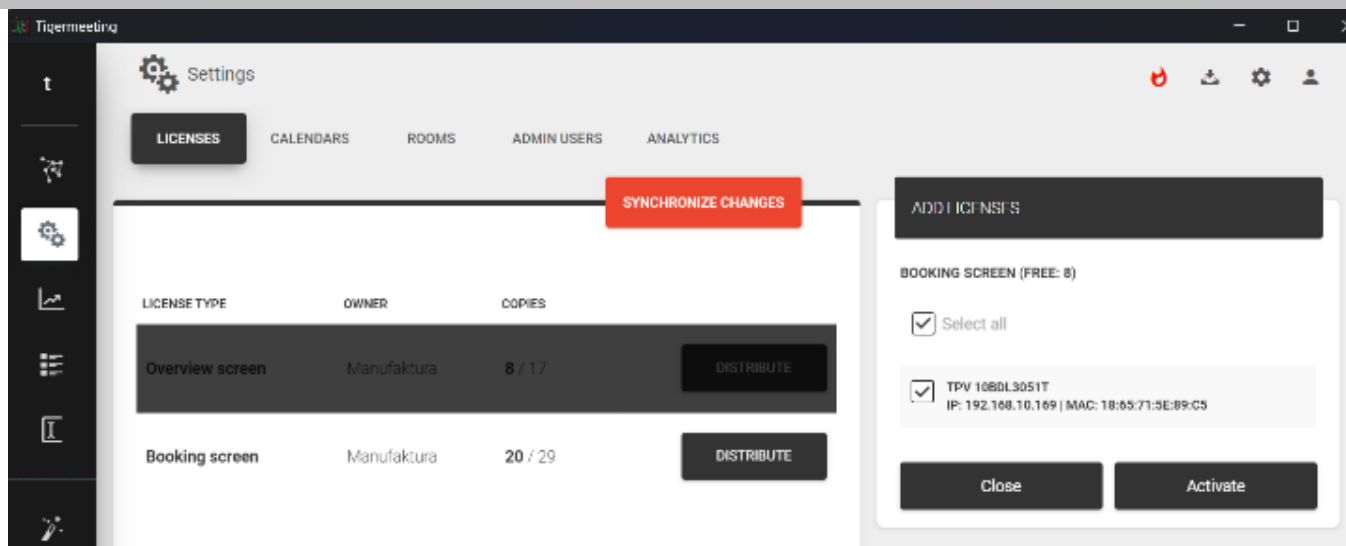
Tigermeeting のライセンスは永続的であり、組織内のデバイスの MAC アドレスや Android ID に紐づいています

組織がライセンスを所有しているため、組織が購入した範囲内であれば、設定済みデバイスからライセンスを切り離し、同じライセンスを他の新しいデバイスに付与することも可能です。

- 一. TigerMeeting の APK を新しいデバイスにインストールし、管理者アプリに表示させてください
- 二. ネットワークタブでデバイスプロパティを編集し、古いデバイスからライセンスを一つずつ切り離してください。



- 三. 設定>ライセンスタブで、解放されたばかりのライセンスを非ライセンス画面に割り当ててください



四. ネットワークタブの「非ライセンス」デバイスを削除してください

五. ライセンス済みデバイスを設定し、SYNCHRONIZE で変更をデプロイします。

ネットワークからデバイスを削除してください

場合によっては、デバイスをネットワークから削除する必要があります。

これらの事例には以下が含まれます:

- デバイス修理
- 装置の交換
- 永久的な削除
- デバイスの工場出荷時リセット
- デバイスを別の環境に移動させる

このような場合、TigerMeeting ネットワークから削除することが推奨されます。そうしないと、このデバイスは常に切断された状態が表示されます。

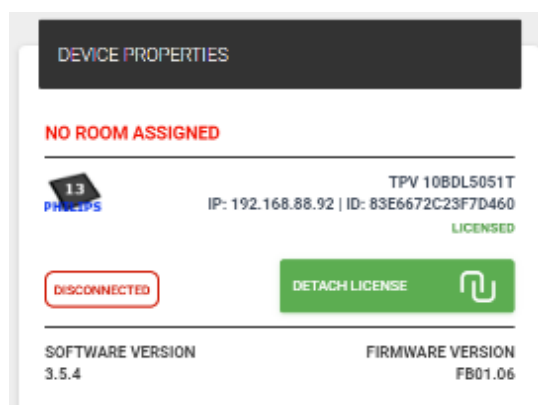
Tigermeeting ネットワークは、MAC アドレスまたは AndroidID でデバイスを識別します。

MAC アドレスは Android 8 までのデバイスで使用されており、永久的です。

Android 9 以降のデバイスでは、AndroidID は工場出荷時リセットのたびに再生成されるため、リセットされたインストール済みデバイスはネットワーク上でライセンスなしで新しいデバイスとして表示されます(場合によっては同じ IP アドレスで)。

TigerMeeting ネットワークからデバイスを削除する手順:

- 一. デバイスの電源を切るか、ネットワークインターフェースをオフにして「切断」にしてください。
- 二. デバイスが永久に削除された場合は、ライセンスを解除して他のデバイスで使えるようにしてください



三. デバイスをネットワークから削除してください



注意: 再起動後、削除されたデバイスは新しい未知デバイスとして再びネットワークに参加しようとします。

デバイスを別のネットワークセグメントに移動させる

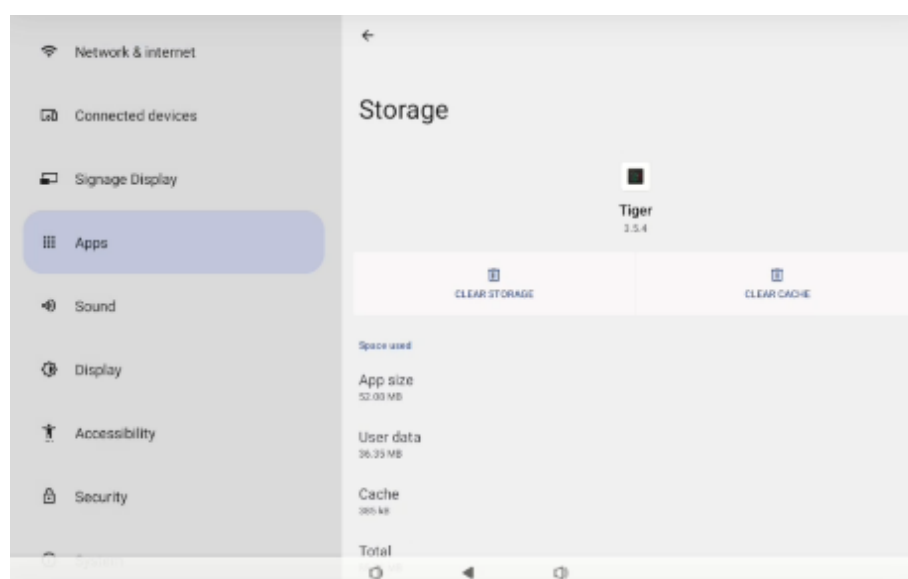
TigerMeeting はオンプレミスのカレンダーソリューションとして、VLAN やサブネットなどのネットワークセグメント上の通信に大きく依存しています。

Tigermeet で設定されたデバイスがあるネットワークセグメントや別の組織へ移動すると、設定に問題が生じる可能性があります。

Tigermeeting アプリケーションは新しいネットワーク構成を使用し始めますが、構成データベースが新しいセグメントの設定と一致しない可能性があります。特に、すでに別の Tigermeeting インストールがそこに設定されている場合はなおさらです。これによりデータベースの競合条件、つまり避けるべき(避けなければならない)状態が生まれます

解決策と推奨される方法は以下の通りです:

- 一. 上記の手順に従って、ネットワークからデバイスを削除してください
- 二. Android の設定メニューにアクセスするためにデバイスをメンテナンスモードに設定してください
- 三. ネットワーク(Wi-Fi とイーサネットの両方)をオフにしてください
- 四. アプリ(アプリケーション)メニューに移動します
- 五. インストール済みの Tiger アプリを探す
- 六. ストレージ&キャッシュへナビゲーション
- 七. ストレージとキャッシュクリア



- 八. デバイスを希望するネットワークセグメントに移動します
- 九. ネットワークを有効にして設定してください。

注意: 新しいネットワークセグメントに設定済みの Tigermeeting デバイスが含まれている場合、新しいデバイスは自動的に適応しネットワークの一部となります。管理アプリで設定してください。

異なるネットワークセグメントとの連携

管理者アプリはステートレスツールです。

ネットワーク上のデバイスのブロードキャストメッセージを受信します。デバイスから共有データベースを取得し、同じネットワークセグメント内のデバイスごとに設定を編集・変更できる親しみやすいユーザーインターフェースを提供します。

同じ Admin アプリを別のネットワークセグメントで別の顧客に使用することも可能であり、Admin アプリはこれらの機能を実行するよう設計されています。

しかし、一つ非常に重要な制約があります。それは管理者アプリの再起動です。

ログアウトしてネットワーク(WiFi やイーサネット)を変更するだけでは不十分です。管理者アプリ全体を閉じて起動する必要があります。

やってはいけないこと

- 管理者アプリが稼働している間にネットワークを変更すると、2 つの異なるネットワークセグメントを混在・統合できます
- 管理者アプリからログアウトしてネットワークを変更しただけで、2 つのネットワークセグメントをマージするリスクはありませんが、発見が期待通りに機能しないかもしれません

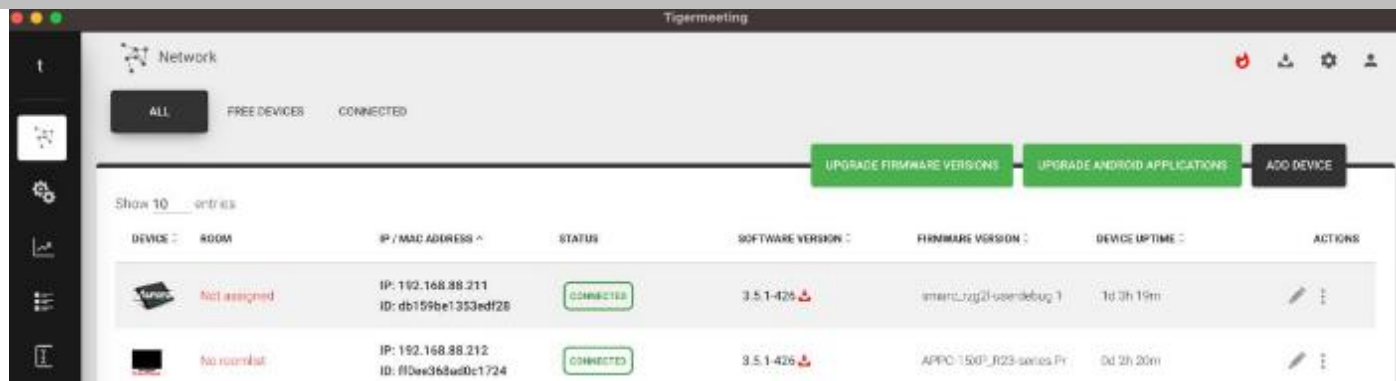
やって

管理者アプリからログアウトする -> 管理者アプリを閉じる -> ネットワークを変更する -> 管理者アプリを起動する -> 再度ログインする

ソフトウェアおよびファームウェアのアップグレード

ソフトウェアアップグレード

ソフトウェアアップグレードはほぼすべてのデバイスでサポートされており、Tigermeeting はすべてのお客様に無料のソフトウェアアップグレードを誇りを持って提供しています。



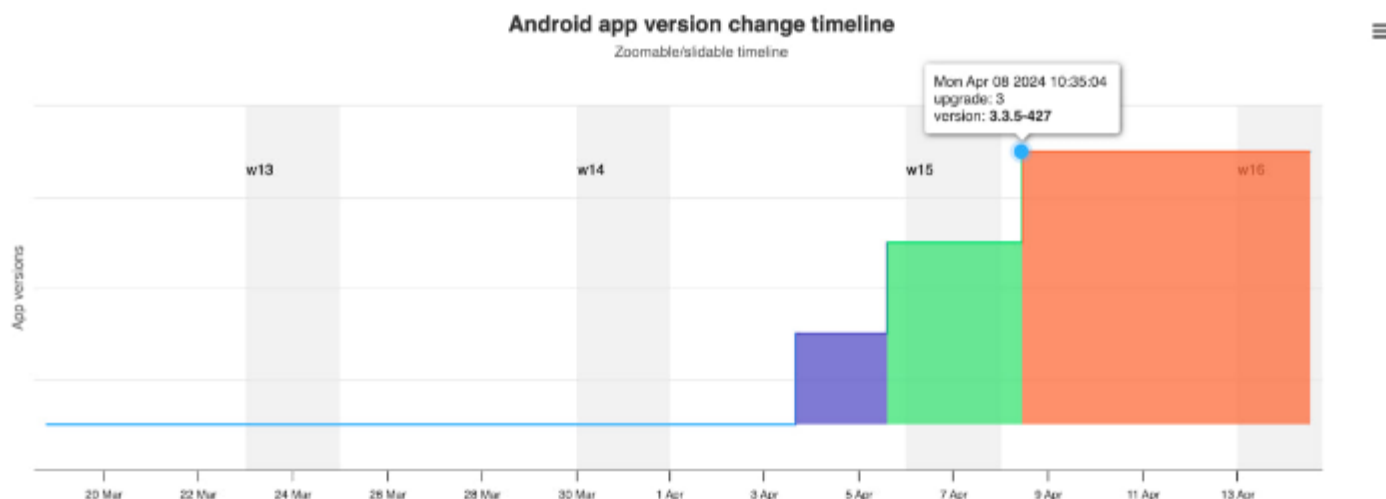
新しい Android ソフトウェアの利用可能情報は管理者アプリの>ネットワークリストに表示され、管理者ユーザーは画面の赤いアップグレードサインを押すことで 1 台のデバイスをアップグレードするか、すべてのデバイスをアップグレードする機会があります(「ANDROID APPLICATIONS をアップグレード」を押すことで)

注記:

- 一. 技術的には、スクリーンは新しいソフトウェアアップデートの可用性をポーリングします。つまり、Tigermeeting クラウドにアクセスできなければ、スクリーンは新しいソフトウェアアップデートを検出しません。ただし、新しいリリースノートが送信された後、画面が Tigermeeting クラウドにアクセスするのは最大 2 時間以内に制限されています。画面からアップデートをダウンロードでき、アップデート自体はインターネットから完全に切り離されたオンプレミスで実行できます。
- 二. Tiger アプリケーションはアップグレードをダウンロードするためにストレージアクセス権限を持っている必要があり、そうでなければダウンロードが失敗する可能性があります。
- 三. 画面のファームウェア、Android のバージョン、設定によっては、アップデート手順にユーザーの操作が必要になる場合があります。Tigermeeting の開発は完全なハードウェア統合を目指していますが、Google Play Protect やその他の Android セキュリティプロセスがアップグレードプロセスに干渉し、画面上の確認を求める場合があります。これは大規模なインフラや遠隔地では困難を伴うこともあります。したがって、ハードウェアを選ぶ際には画面の機能選択が非常に重要です。

ハードウェアを購入する前に、必ず Tigermeeting のハードウェア互換性マトリックスを参照してください。また、Tiger を自分の環境で自分の画面でテストすることを強くおすすめします。

ソフトウェアのバージョン変更は、Analytics -> デバイス ID セレクターで追跡されます。



ソフトウェアのリリースノートは管理者アプリケーションの「About」メニューで公開されています

重要: Tigermeeting Android APK は Tigermeeting 署名で署名されています。この署名はソフトウェアのアップグレード時に非常に重要です。管理者アプリによってオーケストレーションされるソフトウェアアップグレードは、署名が削除、再署名、または何らかの理由で変更された場合に失敗します。

ファームウェアのアップグレード

サポート機器専用のファームウェアアップグレードが利用可能です。フィリップスの Android ベースの画面もその一つです。

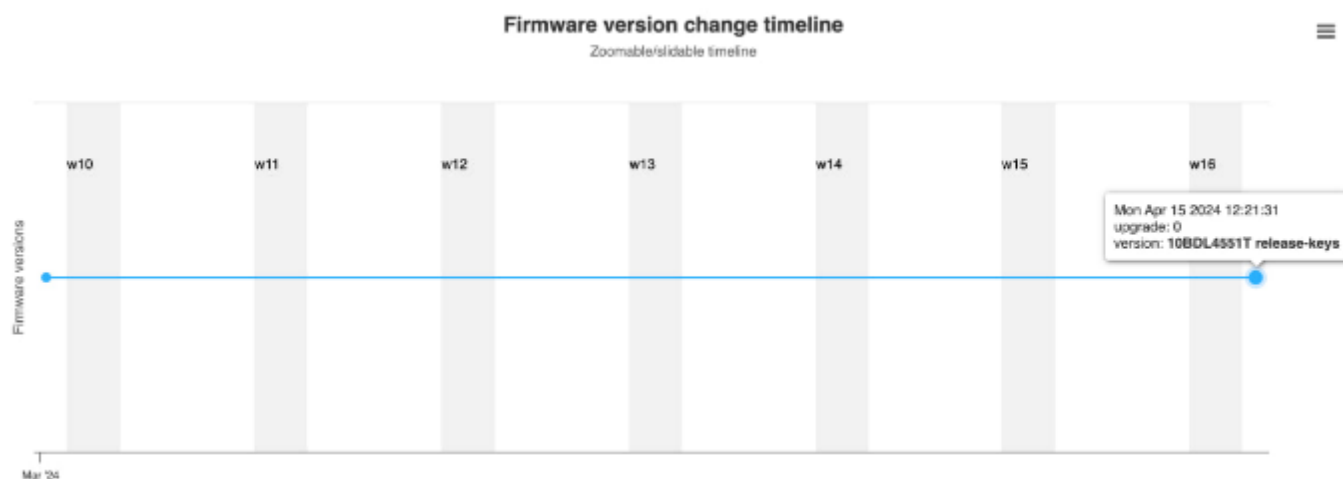
Tigermeeting はファームウェアがテストされ、Tigermeeting の品質保証の厳格なテストに合格した後にファームウェアアップデートをリリースします。

ファームウェアの利用可能性は管理者アプリの>ネットワークリストに表示され、管理者ユーザーは画面列の赤いアップグレードサインを押すことで 1 台のデバイスをアップグレードするか、すべてのデバイスをアップグレードする機会があります(「UPGRADE FIRMWARE VERSIONS」を押すことで)

The screenshot shows the "Tigermeeting" interface with a "Network" tab selected. It displays a list of devices with columns for Device, Room, IP/MAC Address, Status, Software Version, Firmware Version, Device Uptime, and Actions. Two devices are listed, both with a red upgrade icon next to their software version.

DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS	SOFTWARE VERSION	FIRMWARE VERSION	DEVICE UPTIME	ACTIONS
6	Not assigned	IP: 192.168.88.247 MAC: 18:65:71:F1:5B:D6	CONNECTED	3.5.1-427	10BDL4551T release-keys	0d 2h 50m	[Upgrade Icon]
7	Not assigned	IP: 192.168.88.253 MAC: AA:BA:21:57:73:82	CONNECTED	3.5.1-426	10BDL_3368 release-keys	3d 21h 50m	[Upgrade Icon]

ファームウェアのバージョン変更は、Analytics -> デバイス ID セレクターで追跡されます。



注意:Tigermeeting はファームウェアのアップグレードによる損害について一切責任を負いません。ファームウェア自体は、ハードウェアメーカーからのサイン済みパッケージで、変更されていません。利用規約の文書で詳細はこちらをご覧ください:<https://tigermeeting.app/terms-of-service>

タイガーミーティングの建築コンセプト

Tigermeeting 製品アーキテクチャ

Tigermeeting はサーバーレス、オンプレミス、モジュール式かつスケーラブルな会議室管理ソリューションです。

これらの特性により、Tigermeeting はクラウド志向の会議室管理市場において、競争において独自かつ際立っています。

- **サーバーレス:** TigerMeeting のインストールはカレンダー操作専用サーバーを必要としません。
- **オンプレミス:** Tigermeeting の基本的なカレンダー操作は、クラウドサービスやインターネット接続なしで完全に機能します。
- **モジュラー:** TigerMeeting のインフラストラクチャは、Tiger APK と Admin アプリを実行し、ネットワーク上で論理的に緩やかに結合されたデバイスで構成されています。
- **スケーラブル:**モジュールアーキテクチャの活用 – Tigermeeting はデバイスの追加・削除で簡単にスケーラブルで、TigerMeeting やネットワークパフォーマンスには影響しません。

TigerMeeting は、上記の機能を達成するために、最新のネットワーク設計のベストプラクティスと最高のセキュリティインフラ原則を活用しています。

最も重要な設計パターンはネットワークセグメントとブロードキャストメッセージングの利用です。

ネットワークセグメンテーション

ネットワークセグメントとは、コンピュータネットワークの他の部分から分離された部分のことです。この分離は、ネットワークの設計やセグメント間の接続に使用されるデバイスによって物理的または論理的なものとなります。

ネットワークセグメントに関する主なポイントは以下の通りです。

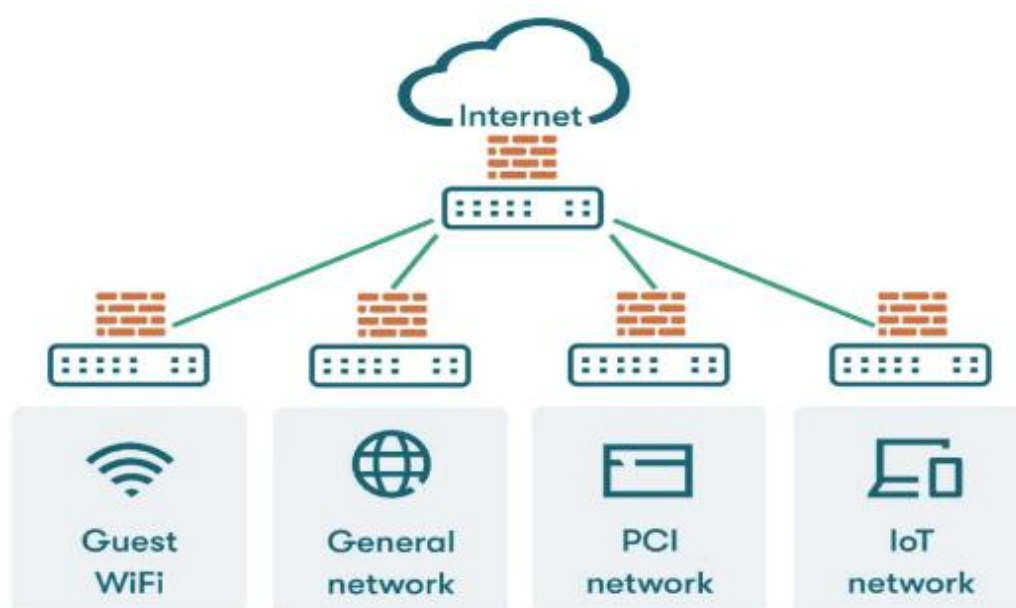
(詳細は https://en.wikipedia.org/wiki/Network_segmentation をご覧ください)

- 一. 定義:ネットワークセグメントとは、ネットワークトポロジーの特定の部分であり、しばしば 2 台のコンピュータやルーター、スイッチなどのネットワーク機器間の接続によって定義されます。
- 二. 目的:ネットワークセグメンテーションは、より大きなネットワークをより小さく管理しやすい部分に分割することで、ネットワークのパフォーマンスとセキュリティを向上させるために用いられます。これにより、混雑の緩和、サイバー攻撃の拡散を抑え、機密データの保護に寄与します。
- 三. 方法: セグメンテーションは、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)、ファイアウォール、ソフトウェア定義ネットワーク(SDN)技術など、さまざまな方法で実現できます。
- 四. 福利厚生:

- 混雑の軽減:各セグメントのデバイス数を制限することでネットワークトラフィックが減少し、パフォーマンスが向上します。
- セキュリティの向上:セグメンテーションはローカルセグメントへのブロードキャストを含み、攻撃対象を減らすことで、攻撃者がネットワーク内で横方向に移動しにくくなります。
- 強化された制御:ネットワークトラフィックやアクセスをより細かく制御でき、認可されたデバイスやユーザーのみが特定の部分にアクセスできるようにします。

例 1:企業環境では、管理者がネットワークを分割して財務部門の機密データを一般のオフィスネットワークから分離し、権限を持つ担当者のみが財務情報にアクセスできるようにしたい場合があります。

例 2:オフィススペースを異なる都市間や大きな建物間で分けるべき論理的な理由が非常に多いです。



放送通信

ネットワークセグメント上のブロードキャスト通信とは、そのセグメント内のすべてのデバイスに同時にデータパケットを送信することを指します。この方法により、ネットワークセグメント上のすべてのデバイスが同時に同じ情報を受け取ることが保証されます。

放送コミュニケーションに関する重要なポイントは以下の通りです。

(詳細は [https://en.wikipedia.org/wiki/Broadcasting_\(ネットワーキング\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Broadcasting_(ネットワーキング))をご覧ください)

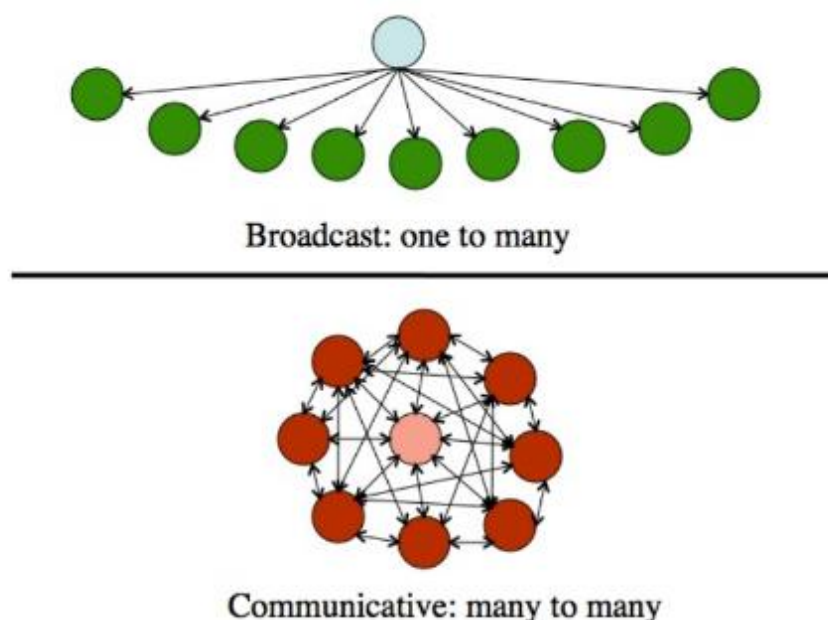
- 一. 定義: ブロードキャストとは、ネットワークセグメント内のすべての受信者にメッセージを送信する方法のことです。これはユニキャスト(1 対 1)やマルチキャスト(1 対多)通信方式とは異なります。
- 二. ブロードキャストアドレス: IPv4 ネットワークでは、ブロードキャストアドレスは通常、ネットワークの最高 IP アドレス(例えばネットワークの 192.168.1.0/24 の 255、例:192.168.1.255)で終わります。これはパケットがネットワーク上のすべてのホストに配信されるべきであることを示します。IPv6

では、ブロードキャスト通信はマルチキャストアドレッシングによって実現されます。

三. 用途: ブロードキャストパケットは、アドレス解決プロトコル(ARP)リクエスト、ネットワーク発見、ネットワーク全体のアラート送信など、さまざまなネットワークプロセスに使用されます。例えば、デバイスが IP アドレスに関連付けられた MAC アドレスを見つける必要がある場合、ARP リクエストをブロードキャストパケットとして送信します。

四. ブロードキャストドメイン: ブロードキャストの範囲はブロードキャストドメインに限定されており、通常はローカルネットワークセグメントの境界によって定義されます。同じブロードキャストドメイン内のデバイス同士がブロードキャストパケットを受信できます。

五. 効率と制約: ブロードキャストは特定のタスクでは効率的ですが、ネットワークセグメント上のすべてのデバイスがブロードキャストパケットを処理するため、過剰使用するとネットワークの混雑を引き起こすこともあります。



放送通信は特定のネットワーク運用に不可欠ですが、放送嵐のような潜在的な問題を避けるために適切に管理することが重要です。

ネットワークセグメントでのタイガーミーティング

タイガーミーティングの設置、すなわち**タイガーミーティングの島**は、あるネットワークセグメントに存在しています。

Tiger APK を実行しているデバイス同士はブロードキャストメッセージを使って通信します。ブロードキャストメッセージは通常ネットワークセグメントに限定されるか、そうでない場合も含めて複数のネットワークセグメントをブロードキャストに接続する意図的な決定があります

ネットワークセグメントのアーキテクチャ原則—利点と制限—に基づき、以下の重要な事実が適用されます。

- タイガーミーティング島の事象の地平線は、放送ネットワークの境界線です。
- 複数のタイガーミーティング島は、ネットワークセグメントによって分離された組織内で独立して共存することができます。
- 各タイガーミーティング島は個別に管理する必要があります。

Tigermeeting アプリケーションは分散型データベースアーキテクチャと独自のハイテンポル同期技術に基づいており、オンプレミスの中央データベースや外部クラウドデータベースなしで動作しますが、特定のネットワーク要件を設定するためにデバイス間のスムーズな通信を必要とします。

これらの要件の概要は最初の章で説明されています。多くの管理者はアーキテクチャの概念を深く掘り下げたがらないためです。しかし、複雑なネットワークピックを扱う際には、より深い理解が強く推奨されます。

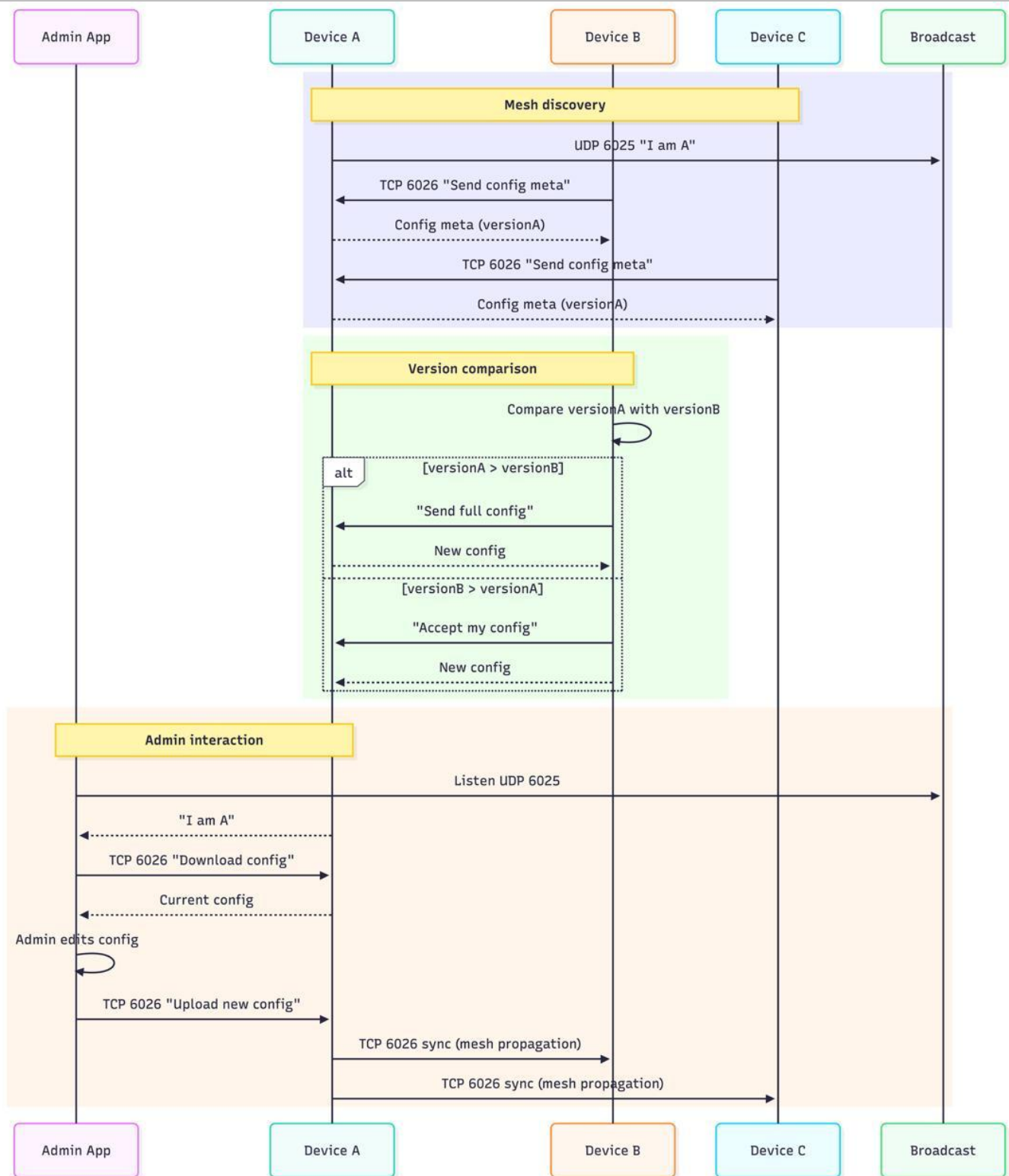
- **ブロードキャストリクエスト**はネットワークセグメント上で有効化する必要があります(ネットワークのアーキテクチャ境界に適合する必要がある場合、リモート管理が使われている場合は VPN 経由でも有効です)
- **UDP ポート:6024、6025、6030、6031** はネットワークセグメントで有効化する必要があります。
- admin->device、device->device-device、device->admin 通信では、**ネットワーク上のデバイス間で TCP ポート 6026 が有効化される必要があります。**
- Google Workspace や Microsoft365、または iCal ファイルの外部 URL などの外部オンラインカレンダーを使用する場合、それらのリソースへの通信はファイアウォール経由で許可される必要があります。

Tigermeeting のインフラ運用に必要な TCP および UDP ポートは文書化されています。

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_TCP_and_UDP_port_numbers を参照してください。

高水準シーケンス図

シーケンス図は、Tigermeeting の複雑でサーバーレスなメッシュアーキテクチャを簡略化した技術的可視化です。



タイガーミーティングクラウド

TigerMeeting は通常のカレンダー操作にネットワークアクセスを必要としません。しかし、限定的なクラウド機能を追加することで、カレンダーの使いやすさ、柔軟性、顧客の希望するユースケース、テーマのサポート、背景変更、分析、ハードウェアおよび会議室の指標、さらにはソフトウェアやデバイスハードウェアのアップグレードが大幅に向上します。

以下の機能のために、TCP ポート 443 を経由して Tigermeeting tigermeeting.app Cloud へのオープン通信が必要です。

- 管理者アプリ:管理者ログイン
- 管理者アプリ:パスワードリセットを忘れました
- 管理アプリ:分析を表示
- デバイスの定期的なライセンス検証
- デバイスのイベントログ(分析機能が有効の場合)
- 管理者とデバイスの両方:テーマ設定とバックグラウンドアップデート
- 管理者とデバイスの両方:新しいソフトウェアアップグレードチェック
- 管理者とデバイスの両方:新しいファームウェアアップグレードチェック
- 気象局
- テーマサービス(テーマ変更、背景画像変更)
- ユーザー認証(NFC、スキャナー)

Tiger クラウドとクローズドインターネット、オンプレミス運用については「クローズドオンプレミス環境における Tiger サービス」章を詳しくお読みください。

注: TigerMeeting はセキュリティ向上のために、TigerMeeting クラウド向けの専用サイトツーサイト VPN 接続を提供しています。この機能は営業担当者または Tigermeeting のカスタマーサポートにリクエストしてください。

Tigermeeting cloud(クラスター)は欧州連合内に位置しています。

TigerMeeting ネットワークの利用状況

Tigermeeting のネットワーク利用状況は、ネットワークセグメント内のデバイス数に依存します。

すべてのデバイスは 30 秒ごとにブロードキャストメッセージを送信します。ブロードキャストメッセージのサイズは 20 バイトから最大 1KB までです。

データベース同期は、デバイス間の同期がずれているか、管理者アプリが新しい設定をプッシュしたときに発生します。データベースの典型的なサイズ(暗号化ペイロード付き)は約 20kb で、データベース内のデバイス数によって若干変動します。

各デバイスは個別にカレンダーに連絡を取り、最大 7 日間の予約を取得します(スライディングウィンドウを使って)。このペイロードは組織のカレンダータイプや会議室の予約・使用状況によって異なります。

タイガーミーティング運営

Tigermeeting アプリケーションは分散型データベースアーキテクチャとハイウォーターマーク同期技術に基づいており、デバイス同士がデータベースの設定を共有し従います。

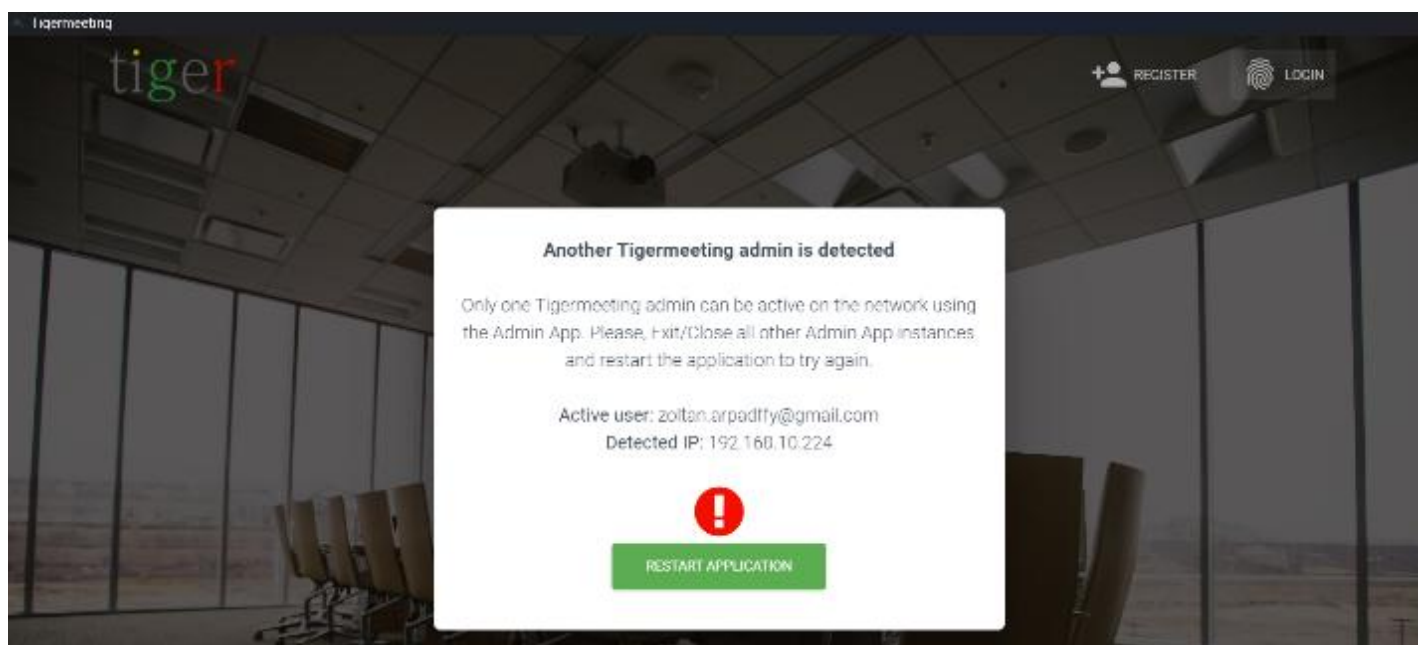
設定を変更する必要がある場合、管理者がそのセグメントで管理者アプリを起動します。管理者アプリ

ケーションはその特定の Tigermeeting 島の一部となり、デバイスが共有するデータベースを取得し、設定の編集を可能にします。

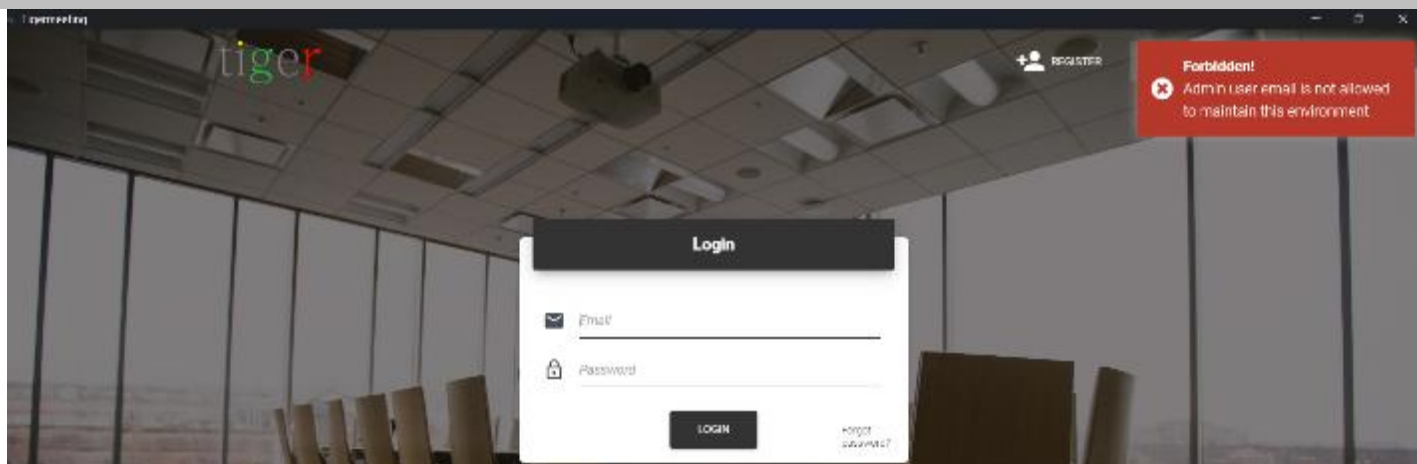
管理者ユーザーは「SYNC WITH DEVICES」操作で設定をプッシュします。デバイスは新しい設定を受け入れ、すぐに新しい設定の使い始めます。

制限事項:

- この章で提示されたネットワークおよびアーキテクチャの概念に基づくと、複数の管理者ユーザーが同時にネットワーク設定を変更できる場合、互いの変更を上書きし合うことが明らかです。これが Tigermeeting のインフラがネットワークセグメント上で複数の管理者アプリを実行させない理由です。



- Tigermeeting の管理者は自分の環境を管理することに制限があります。これは明らかな要件であり、特に珍しいことではありません。しかし、Tigermeeting は分散型かつ緩やかに結合されたアーキテクチャであるため、管理者アプリは管理者ログイン時にユーザーの認証を検証しますが、管理者は拒否される可能性があります。管理者アプリケーションは、設定や設定の保存がないため、ログイン後にどの Tigermeeting 島が管理されるかを事前に把握できないため、ログイン中の管理者ユーザーがその Tiger セグメントを管理する権限があるかどうかは、管理者アプリがデバイスからデータベースを取得したときにのみ判定されます。正しく認証された管理者ユーザーが、特定の Tigermeeting 島ライセンスを所有する組織に属していなければ、「禁止」メッセージとともに管理者はログアウトされます。



注意: このイベントは、観測可能性のため、また悪用を避けるために両組織の管理者ログに記録されています。

VPN 接続による管理

「デバイスを追加」機能は、ブロードキャストがファイアウォールやネットワークセグメント間で許可されず、ネットワーク検出失敗を引き起こす場合すべてに必要です。

リモート管理者の操作は、VPN 接続上でリモートで管理作業が行われ、標準的な VPN 設定ではデバイスの検出が失敗する典型的なケースの一つです。

解決策としては、既知のデバイスの IP アドレスを「デバイス追加」機能でネットワーク発見を助けることです。IP アドレスで 1 台のデバイスにアクセスすると、共有ネットワークデータベースにアクセスでき、すべてのデバイスを検出し、Tigermeeting インフラストラクチャの完全なリモート管理が可能になります。



重要: ネットワーク検出をブロックするセグメント間のブロードキャスト通信は許可されていませんが、管理者アプリは手動で「デバイスを追加」したり、そのデバイスから共有データベースを取得したり、すべてのデバイスを管理したり、「デバイスと同期」したりするために、デバイスに対して TCP/IP アクセス権を持つ必要があります。

バーチャルブランドとバーチャルネットワークの概念

Tigermeeting はバーチャルブランドとバーチャルネットワークの概念を導入し、異なる Tigermeeting とそのホワイトラベルブランドが同じネットワークセグメント上で共存できるようにしました。また、すべてのネットワークにバーチャルネットワークを割り当てることで、同じバーチャルブランドの異なるバーチャルネットワークが同じネットワークセグメント上で共存することも可能になりました。

バーチャルブランドとバーチャルネットワークの割り当ては自動的に行われ、管理者ユーザーのログイン時に生成されます。これによりライセンス保有組織が特定され、管理者ユーザーの特定のブランドおよび仮想ネットワークの範囲が制限されます。

これにより、特に複雑なネットワークインフラを持つ大規模な組織において、オンプレミスの構成能力が大幅に拡張されます。この概念により、以前の制限が解消され、以下が可能になります：

- 同じネットワークセグメントで異なるカレンダーを使う
- 同じネットワーク内で異なる TigerMeeting のホワイトラベルブランドを使う
- デバイスは顧客ごとにセグメント化し、同じネットワークインフラを共有します
- 複数の独立した組織が、同じネットワークインフラ上、例えば賃貸オフィススペース上で Tigermeeting の設置を管理できるようにしましょう

制限事項: メールアドレスで特定された Tigermeeting 管理者は、同じメールアドレスを持つ複数の組織に所属することはできません。

通常のユーザーはこの制限の影響を受けませんが、サービスインテグレーター、複数の顧客のインフラを管理するディストリビューター、Tigermeeting の設置は、異なる顧客に対して同じメールアドレスを使用することが許可されていません(Tigermeeting の設置)。

簡単な回避策としては、すべての顧客に専用のメールアドレスを作成することです。

TigerMeeting のカスタマーサポートは、管理者のメールアドレスに転送される仮想メールアドレスを作成できます。こうすることで、1 つの管理者が 1 つのメールアドレスを持つ複数のネットワークの管理者になり、仮想メールアドレスをユーザー名として使うことができ、完全なパスワード回復機能も備えています。

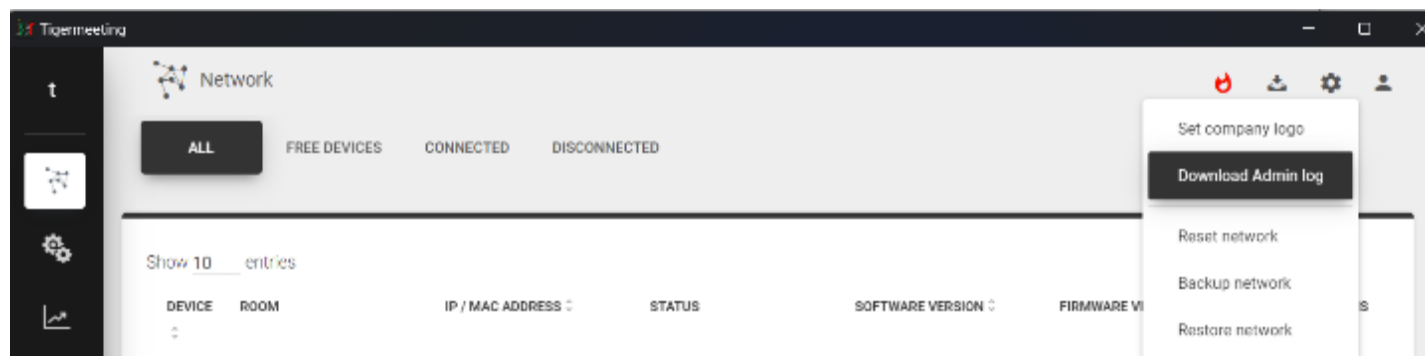
この挙動について質問がある場合は、Tigermeeting のカスタマーサポートまでお問い合わせください。

トラブルシューティング

管理者アプリも各デバイスもトラブルシューティングログが有効になっています。これらのログは、将来的な問題のトラブルシューティングに非常に役立ちます。

管理者ログをダウンロード

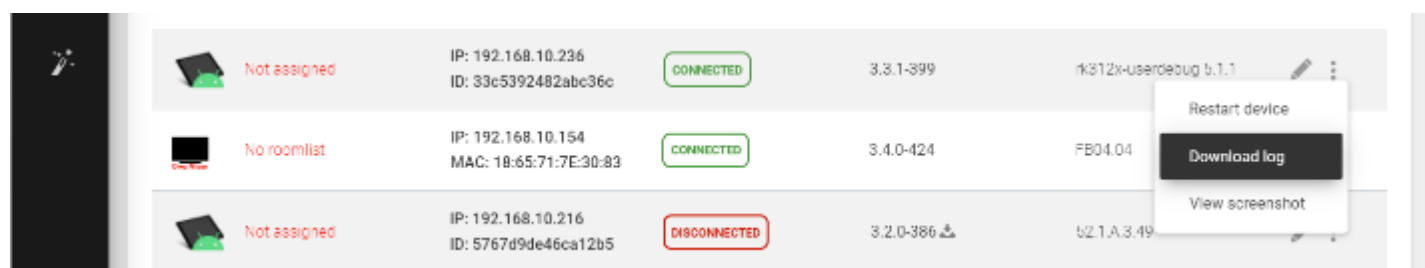
設定メニュー(右上の歯車のシンボル)から管理者アプリのログをダウンロードしてください。



ダウンロードされたログファイルには、Tigermeeting-AdminLog-29-02-2024-2343.log のような記述的なファイル名が付けられています。ファイルの内容を名前を変えたり編集したりしないでください。

デバイスログをダウンロード

ネットワークメニューからデバイスを選択し、行の末尾にある 3 つの点をクリックすると、デバイスログをダウンロードできます。
デバイスは「接続済み」状態である必要があることにご注意ください。



ダウンロードされたログファイルには、Tigermeeting-DeviceLog-(18-65-71-5E-89-C5)-29-02-2024-2345.log のような記述的なファイル名が付けられています。ファイルの内容を名前を変えたり編集したりしないでください。

ログは暗号化されたテキストファイルで、メールで送信しても安全です。リクエストがあれば、Tigermeeting のカスタマーサポートに送ってください。

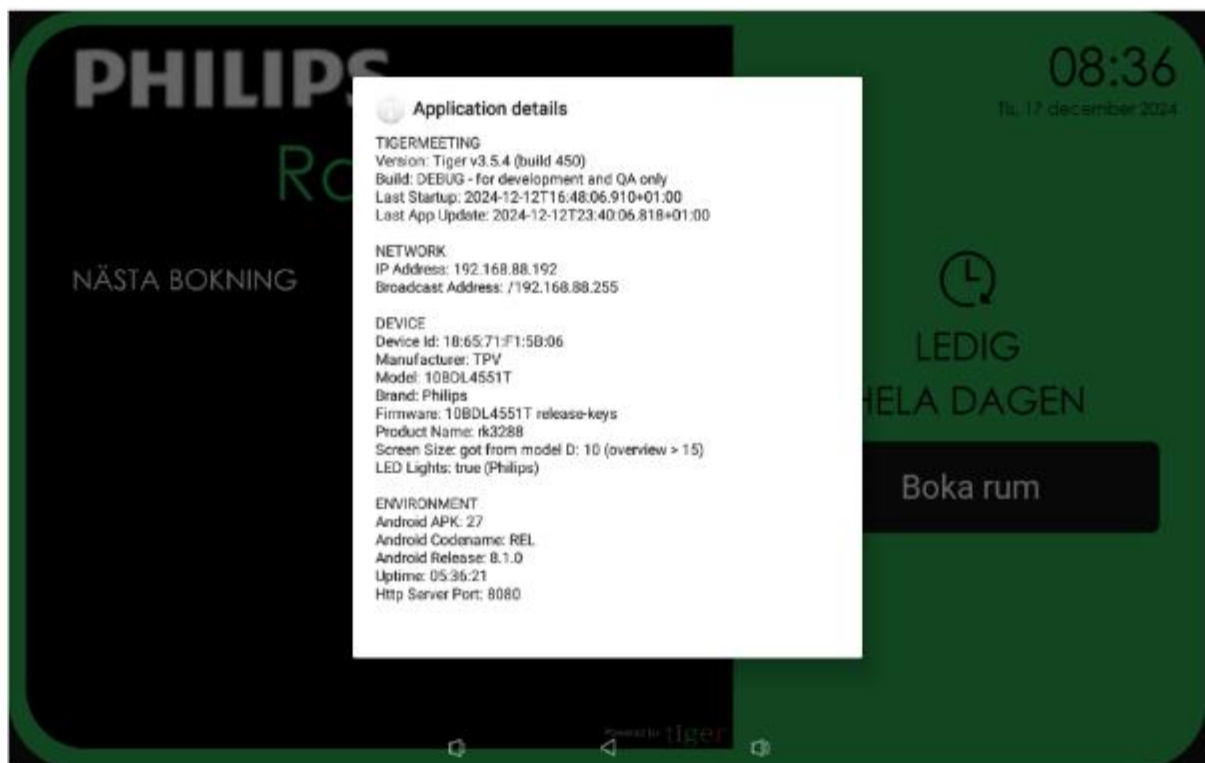
デバイス UID(ユニット識別)

管理者がデバイスを識別する必要がある場合、Device UID(ユニット識別)を用いて特定のデバイスを容易に識別できます。サーバーインフラ領域で一般的に使われる UID 技術は、サーバー前面のボタンを押すと、前後の LED ランプが点灯し、ラック内のサーバーの識別が容易になります。

	Not assigned	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.4-450	10BDL4551T release-keys	LICENSED	Up 4h 52m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.103 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	CONNECTED	3.5.4-450	10BDL_3568 release-keys	LICENSED	44d 0h 21m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.104 MAC: 18:65:71:7E:2E:E8	CONNECTED	3.5.4-450	FB04104	LICENSED	35d 17h 1m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.91 ID: 3a3be43c11a2ff30	DISCONNECTED	3.5.4-450	v3.12.3_020240910.20	LICENSED	1d 0h 32m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.240 ID: bfec3651d61b24dc	CONNECTED	3.5.4-450	MVR09M A500FLUXU103F1	LICENSED	2d 18h 16m	

- Restart device
- Download log
- View screenshot
- View device info
- Device UID
- Maintenance mode

デバイス UID リクエストを使用すると、デバイスは画面上にユニット識別ウィンドウを表示します。

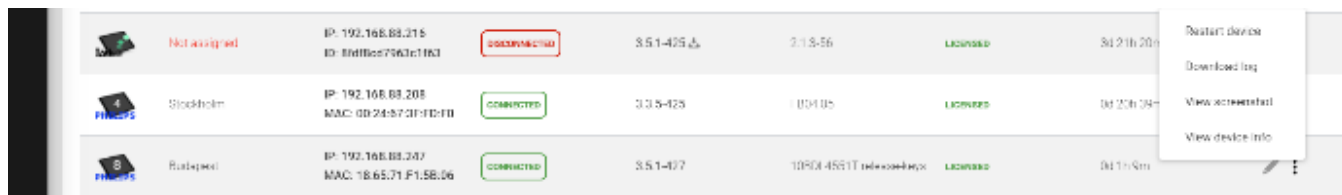


注意: ユニット識別ウィンドウは、次の再起動や画面タッチ(オンスクリーンタッチが有効の場合)まで画面を覆い続けます。

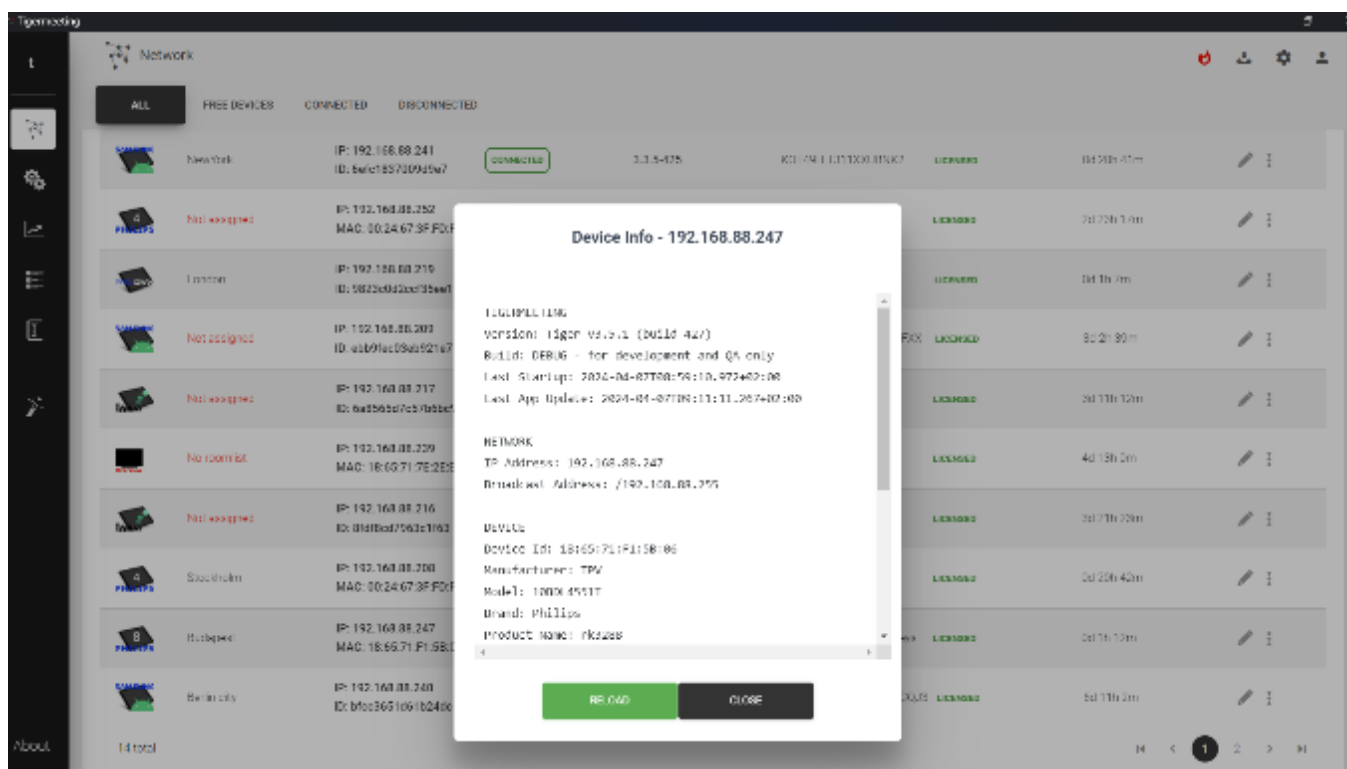
デバイス情報を見る

デバイスの詳細をもっと知ることが役立つ場合もあります。

関連するハードウェア、ソフトウェア、ベンダー固有の API 情報を収集する機能「デバイス情報表示」をご利用ください。



デバイスが「接続」状態の場合、情報はすぐにスクロール可能な形式で表示されます。



情報にはベンダー固有の API 情報が含まれており、トラブルシューティング時に有用となり得ます。リクエストがあれば、ぜひ Tigermeeting のサポートにこの情報を共有してください。

例:

```
ベンダーAPI getDeviceInfo = { "status": "OK", "deviceKey": "ProDVXapi",
"deviceManufacturer": "ZDMID", "deviceModel": "APPC-7XPL", "deviceProduct":
"rk3368", "deviceDisplay": "APPC-7XPL.AP6255.ProDVX.LVDS-1024x600.HW-
V1.1_1.11.10e.A23_04", "devicePlatform": "rk3368", "androidSdk": 27,
"androidVersion": "8.1.0", "serialNumber": "7XPL22900181", "ip4Address":
"192.168.88.219", "screenBrightnessInternal": 200, "screenBrightness": 78,
"showSystemBars": false, "touchScreenEnabled": true, "deviceInteractive": true,
"apiAppPackageName": "com.prodvx.api", "apiAppVersion": "1.0",
"apiAppVersionCode": 20, "apiAppSystemSigned": true, "apiAppSystemFlagged": true,
"apiAppSystemUser": true}
```

タイガーミーティンググループのパラメータ

Tigermeeting のインフラストラクチャでは、設定をデバイス間で共有(セット配布)することもでき、各デバイスが言語から LED やブッキングの動作パラメータまで独自の設定を持つことも可能です。

Analytics の DeviceID セレクター>には、部屋ごとの設定詳細が表示されます。

Tigermeeting room parameters

key	value
booking_mode	today
clock_type	24h
calendar_sync_interval	10000
check_app_state_interval	1000
check_new_booking_interval	10000
confirm_after_start_interval	600000
confirm_before_start_interval	900000
confirm_interval	900000
default_confirmation	0
default_duration	15
device_id	18:65:71:F1:5B:06
duration_step	5
enable_cancel	1
enable_disable_confirmation	1
enable_reservation	1
greeting_text	Conference rooms
language	en
roll_step	5
screen_saver_interval	3600000
screen_saver_enabled	0
show_title	1
timeline_duration	4
timezone	Europe/Belgrade

この情報はシステムのトラブルシューティングに非常に役立ちます。
もしこの情報を求められたら、ぜひ Tigermeeting のカスタマーサポートに共有してください。

メンテナンスモード

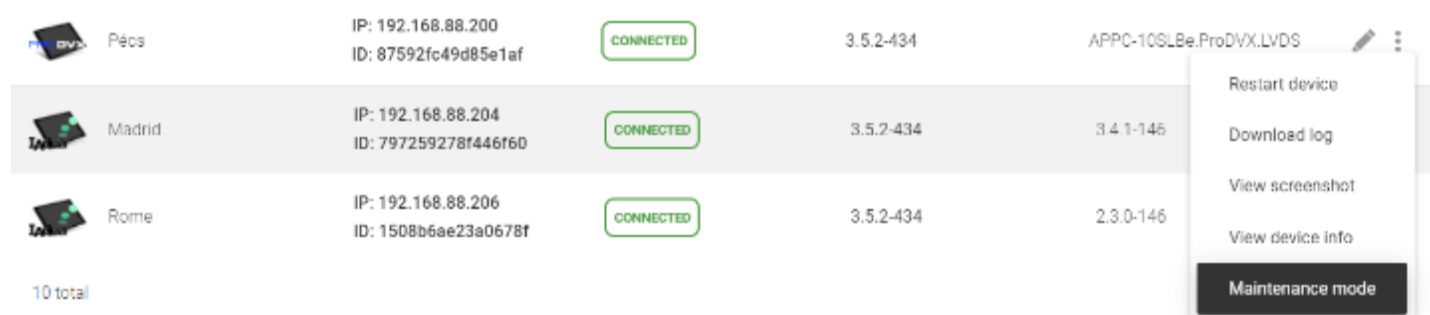
Tigermeeting のソリューションは主に公共の場で使われており、悪意ある攻撃や画面の悪用を防ぐためのセキュリティ対策が必要です。

そのため、Tigermeeting アプリは標準的な Android 技術を使って画面全体を占領し、アクセスを無効化します。例えば:

- SYSTEM_UI_FLAG_LOW_PROFILE:ステータスバーのアイコンが暗くなります。
- SYSTEM_UI_FLAG_HIDE_NAVIGATION:ナビゲーションバーが隠されています。
- SYSTEM_UI_FLAG_FULLSCREEN:ステータスバーが隠されています。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_STABLE:安定したレイアウトを維持するのに役立ちます。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_HIDE_NAVIGATION:ナビゲーションバーがアプリのコンテンツに重ねて表示されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_FULLSCREEN:ステータスバーがアプリのコンテンツに重ねて表示されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE:ユーザーはスワイプジェスチャーでシステムバーを表示できますが、自動的に再び隠されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE_STICKY:SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE と似ていますが、システムバーは一時的に表示されます。

同様に、デバイスサプライヤーが不要な画面アクセスをブロックするための API インターフェースを提供している場合も、それらも利用されます。

ユーザーは Tigermeeting がデバイス全体を占め、デバイスにアクセスできないと覚えることがあります。ほとんどの場合、これは事実ではありません。サプライヤーの機器マニュアルを研究することで、ボタンの組み合わせやパスワード保護されたダイアログが表示され、システムバーやボタンを呼び出してデバイスのメンテナンス作業を行うことが判明するかもしれません。サプライヤーAPI がメンテナンスをブロックし、画面を解除するために API 呼び出しが必要な場合もあります。(ProDVX や Allnet デバイスがその例です。)

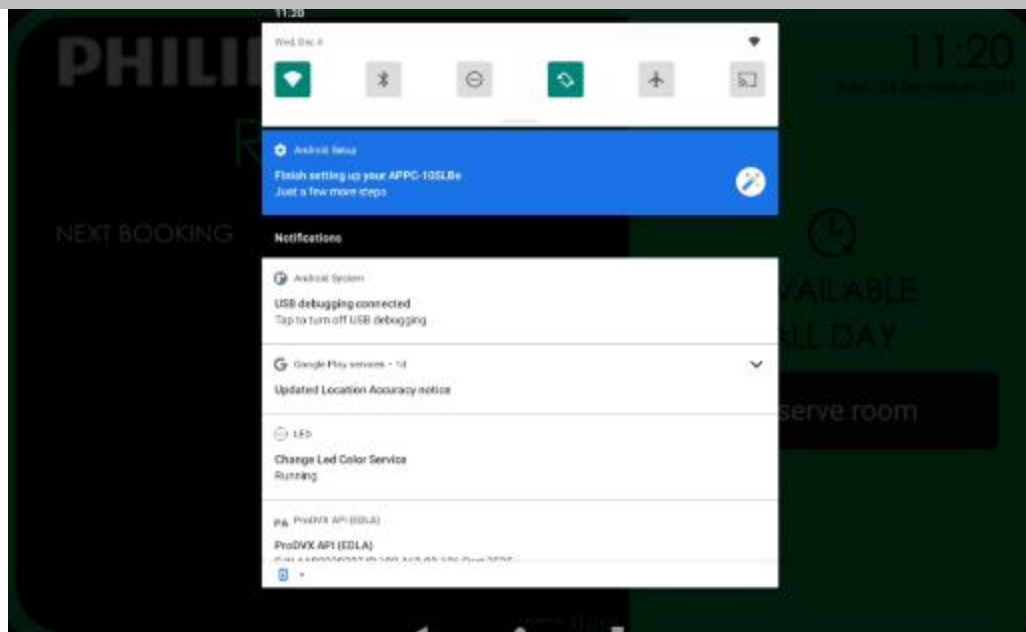


対応デバイスには「メンテナンスモード」が表示されます。

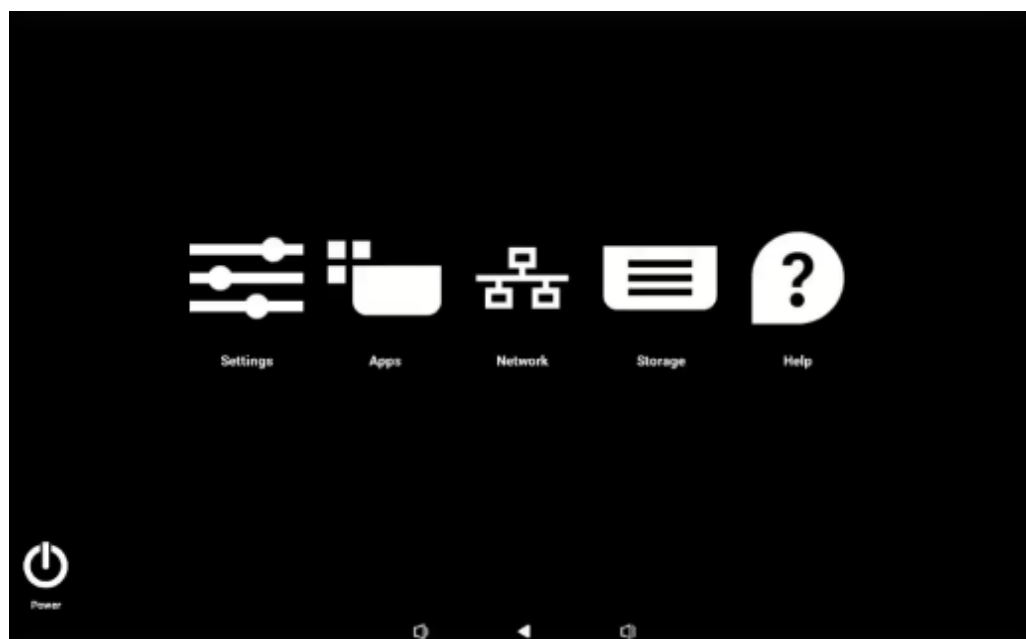
デバイスは手元に置いておくといくつかの理由があります。一部のデバイスではシステムバーが短時間だけ表示されたり、画面上部から下にスワイプしないとシステムバーが表示されません。サポートされているデバイスでは Android セットアッププログラムが開始されます。

注意: セキュリティ上の理由から、アクティブメンテナンスモードでは絶対にデバイスを無人にしないでください。

上から下にスワイプすると、ProDVX の画面にシステムメニューが表示されます:



Philips(および他の一部の Android 画面)はパスワード保護なしでセットアップアプリを呼び出します

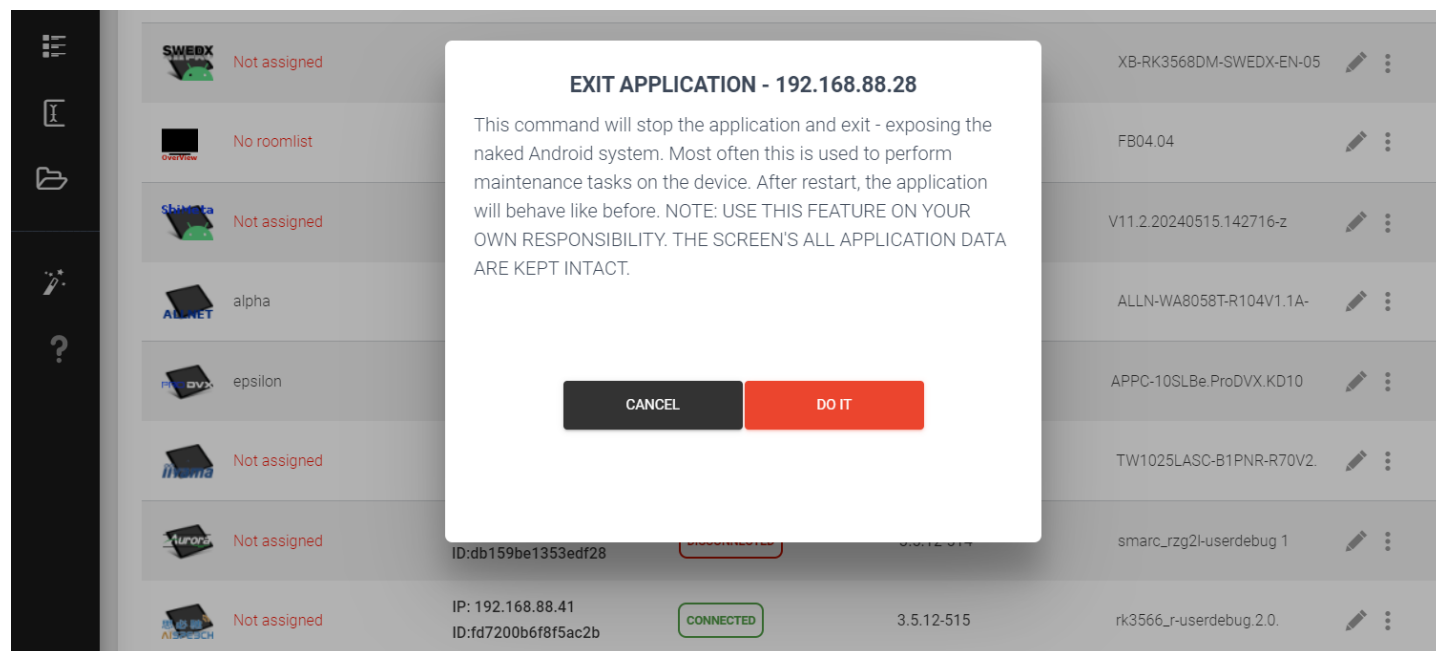


注意:メンテナンス後は、保護を回復するためにデバイスを再起動する必要があります。
特に、曝露された保護されていない機器の乱用リスクが高い公共の場所に設置する場合は重要です。

出口申請

「Exit application」機能も、裸の Android デスクトップに到達するための強力なツールの一つです。
Tiger アプリケーションが画面をロックする場合(公共空間での本番使用時にはそうあるべきですが)、
管理者は画面のメンテナンスや設定作業を行う必要があります。
Tigermeeting アプリケーションはシンプルで優雅に存在し、通常の Android ランチャーを管理者に公開します。

注意: セキュリティ上の理由から、アクティブメンテナンスモードでは絶対にデバイスを無人にしないでください。



ポスト指揮部

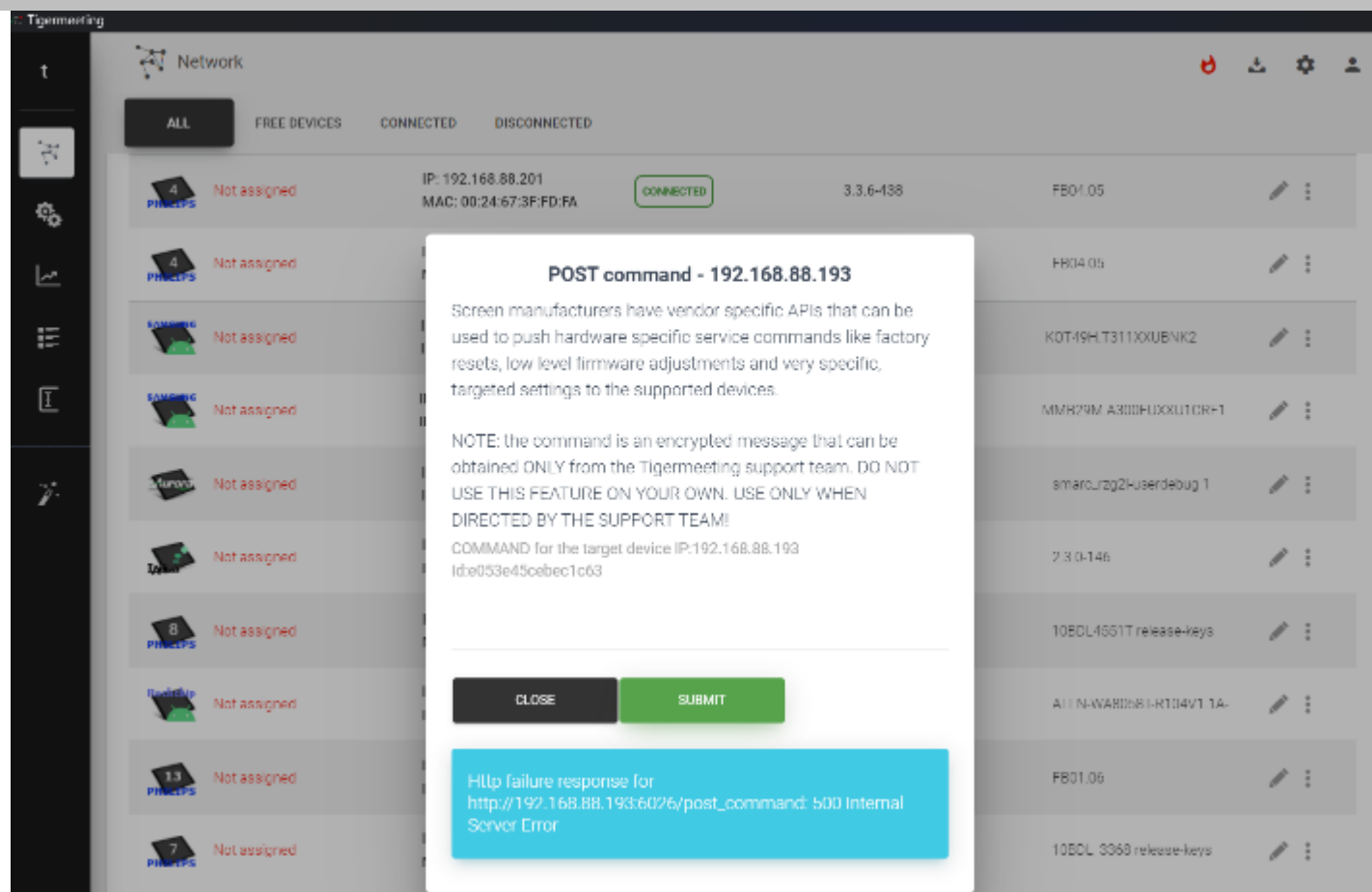
POST コマンドは、IAdea、Qbic、Aurora などの対応デバイス向けに利用可能であり、ベンダーAPIによりデバイスに対して非常に低レベルからさらにはセキュリティ調整関連の操作が可能です。メーカーのスクリーンベンダーAPI は公開されていませんが、Tigermeeting は特定の設定やセットアップタスクを実行するターゲットを絞った暗号化メッセージをプッシュし、デバイスと安全な通信手段を提供します。

クリア

	Not assigned	IP: 192.168.88.193 ID: e053e45cebec1c63	CONNECTED	3.5.4-445	2.3.0-146	
	Not assigned	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.4-447	10BDL4551T re	
	Not assigned	IP: 192.168.88.101 ID: a0c1cb2fd5c0aa55	DISCONNECTED	3.5.4-445	ALLN-WA8058	
	Not assigned	IP: 192.168.88.95 ID: ec3bdfd1962ab569	DISCONNECTED	3.5.4-444	FB01.06	

- Restart device
- Download log
- View screenshot
- View device info
- Post command

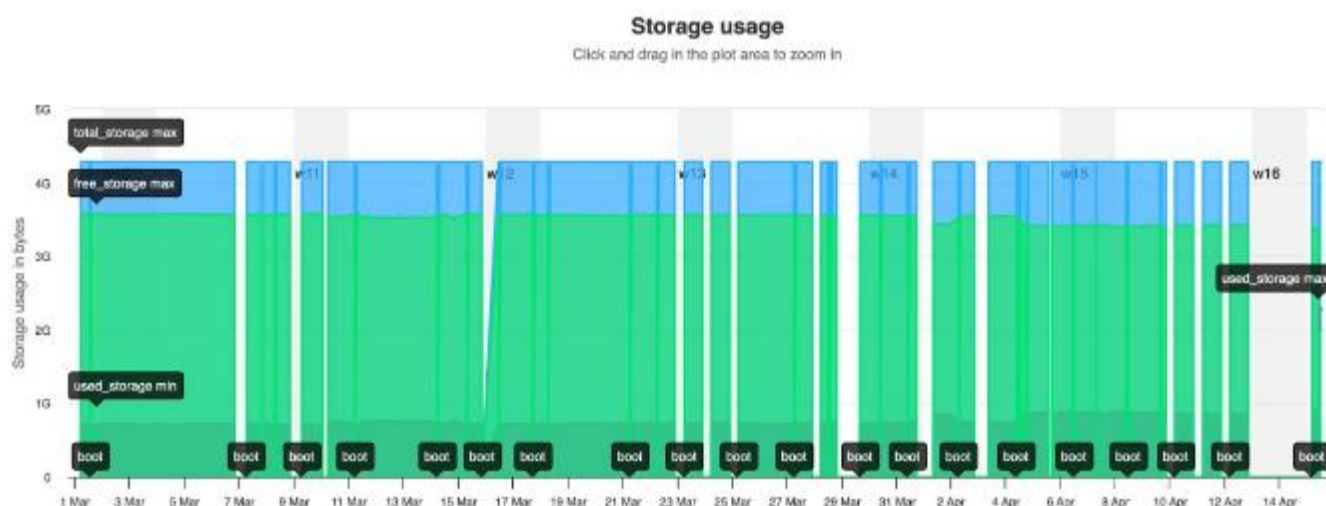
メッセージが Tigermeeting キーで暗号化されていないか、フォーマットが悪ければ、画面はエラーメッセージで応答します。

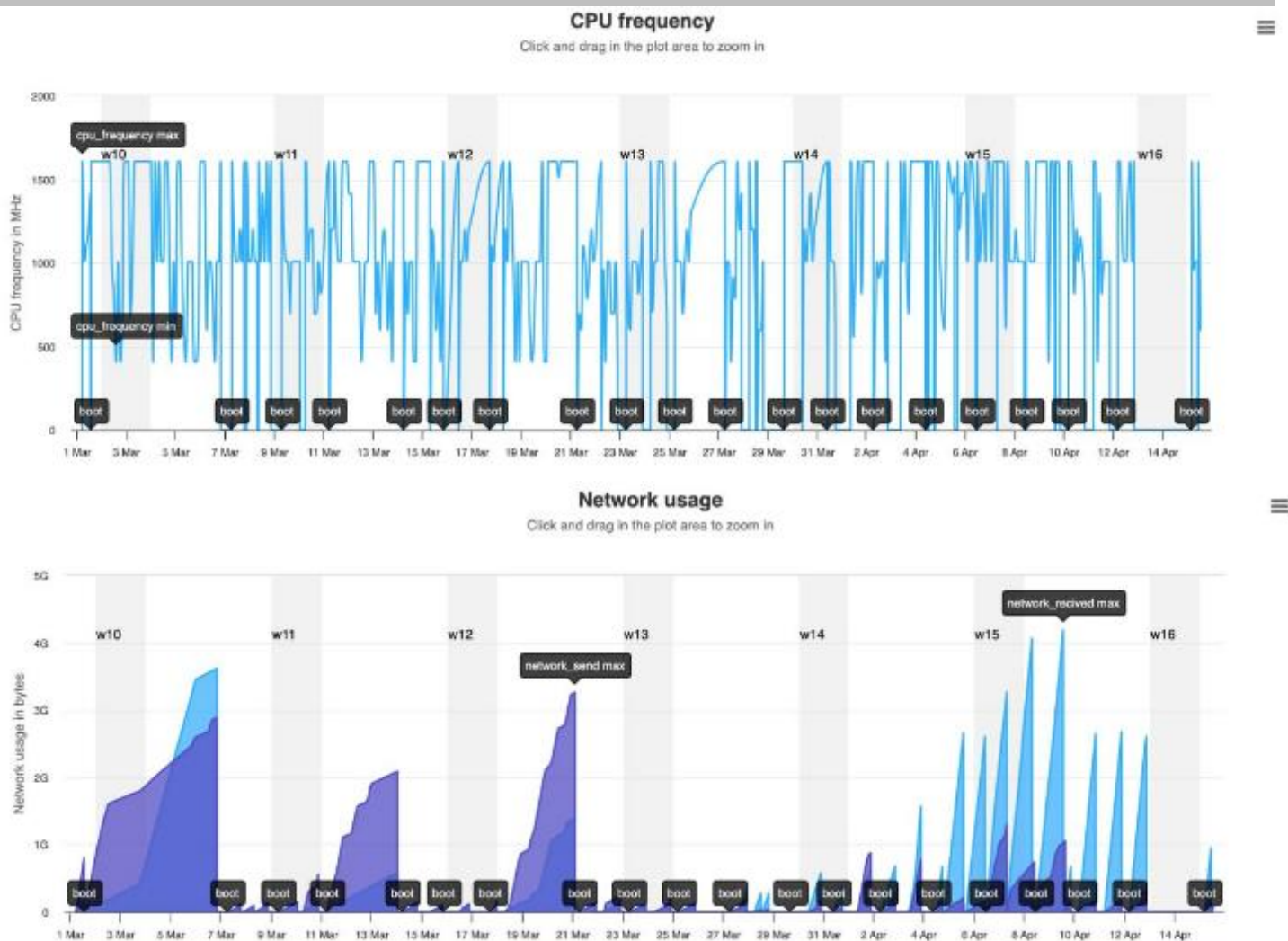


重要な注意:このコマンドは暗号化されたメッセージで、TigerMeeting のサポートチームからのみ入手可能です。この機能は自分で使わないでください。
サポートチームの指示があった場合にのみご利用ください!

ハードウェア指標

アナリティクス機能をオンにすると、トラブルシューティングのために貴重なハードウェア関連情報が利用可能になります。デバイスは約 2 時間ごとか、何かイベントが発生したときに測定値を送ります。この情報は純粋に MAC アドレスかデバイスの Android ID に紐づいています

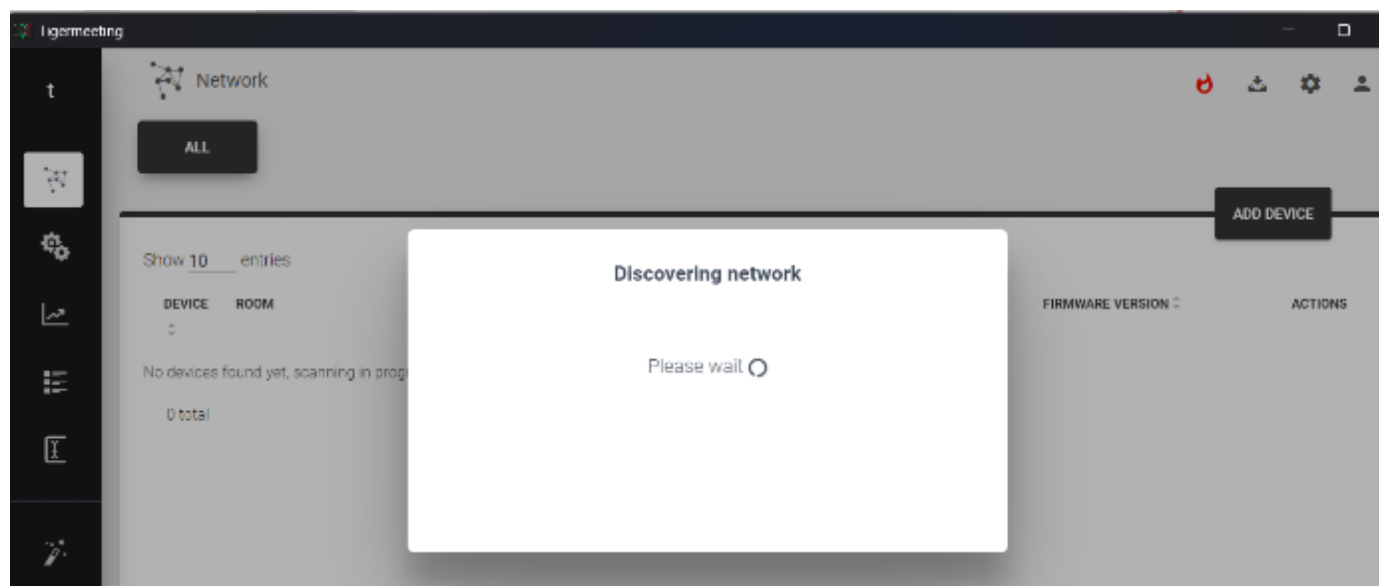




詳細については、プライバシーポリシーおよび GDPR コンプライアンスページをご覧ください
<https://tigermeeting.app/en/features/gdpr-compliance>

デバイス発見の問題

Admin アプリが Tigermeeting アプリを実行している画面やデバイスと同じネットワークセグメントで起動されている場合、デバイスは自動的に検出されます。



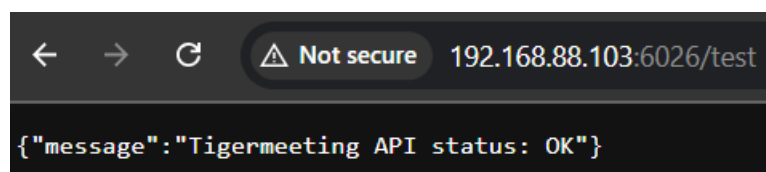
デバイスが検出されない場合は、以下のテストを実施してください:

- 一. ネットワークはネットワーク要件を満たしています(文書の冒頭参照)
- 二. 管理者アプリはネットワーク使用が許可されています(Windows はこの権限を求めて Windows ファイアウォールを通過させる場合があります)
- 三. デバイスがネットワークにアクセスできるか確認してください(例えば ping コマンドでテストするなど)。

VPN 接続やルーターは通常、ネットワークブロードキャストパッケージを転送しません。その場合、デバイスの IP アドレスを入力することで ADD DEVICE ボタンでデバイスを追加できます。

デバイスの IP が正しく、Tiger APK が正しく動作している場合、そして管理者アプリがデバイスと接続できない場合は、ブラウザを開き、以下の URL を入力してください

:http://device_IP_address:6026。期待される応答は、次のような JSON 形式で表されます。



応答が異なっていたりタイムアウトした場合、管理者アプリとデバイス上の Tiger APK 間で通信ができません。

管理ログを TigerMeeting サポートに送って分析してください。

注意: 初期の MacOS Sequoia(バージョン 15.x)では、デバイス検出時にすべてのデバイスがオフラインであることに問題がありました:

Show 10 entries

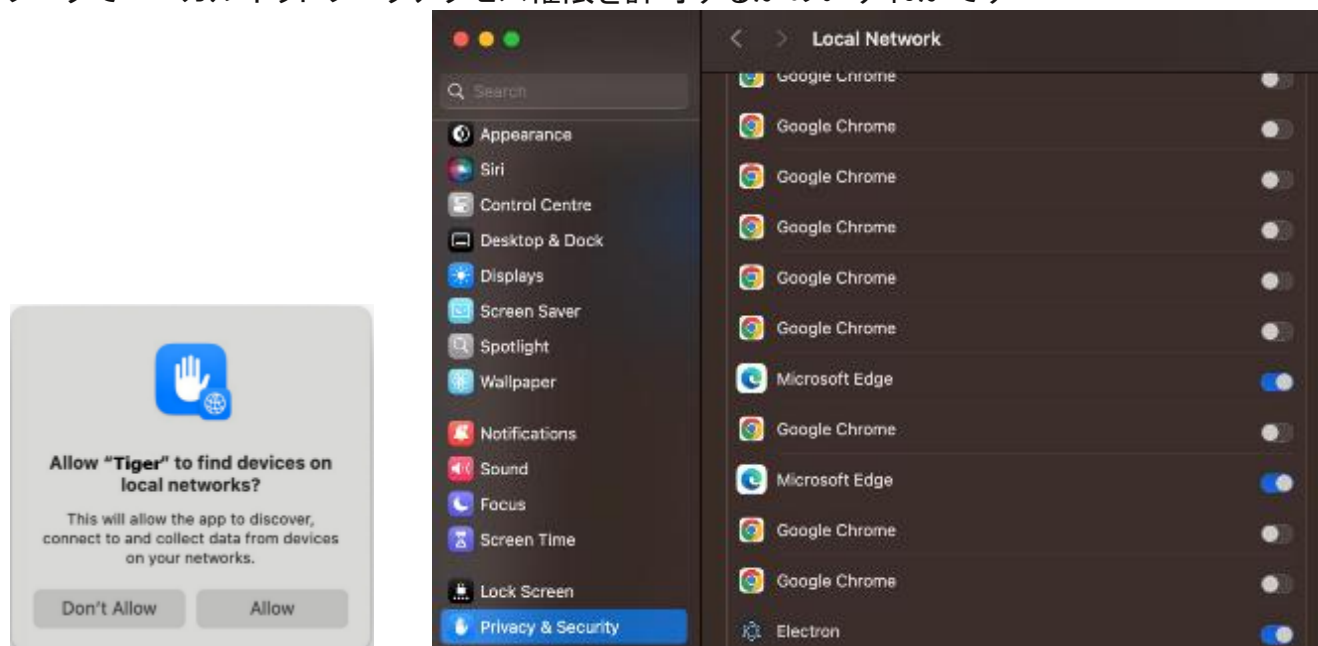
DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS
 4 PINEAPPLE	p_Budapest	IP: 192.168.88.201 MAC: 00:24:67:3F:FD:FA	DISCONNECTED
 4 PINEAPPLE	p_London	IP: 192.168.88.208 MAC: 00:24:67:3F:FD:F0	DISCONNECTED
 7 PINEAPPLE	p_NewYork	IP: 192.168.88.103 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	DISCONNECTED
 8 PINEAPPLE	p_Paris	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	DISCONNECTED
 10 PINEAPPLE	p_Rome	IP: 192.168.88.193 ID: 1508b6ae23a0678f	DISCONNECTED

この問題は 15.0 から 15.1.x までのバージョンで確認されています

MacOS バージョン 15.2 以降はこの問題は解消され、最新の OS アップデートで解決されたと考えられています。

なお、MacOS Sequoia からは、Tigermeeting 管理者アプリもローカルネットワークアクセスが必要な他のアプリケーションと同様に、ローカルネットワークアクセス 権限が必要です。

最初の起動時に許可するか、後でシステム設定->プライバシー&セキュリティ->ローカルネットワークでローカルネットワークアクセス権限を許可するかのいずれかです



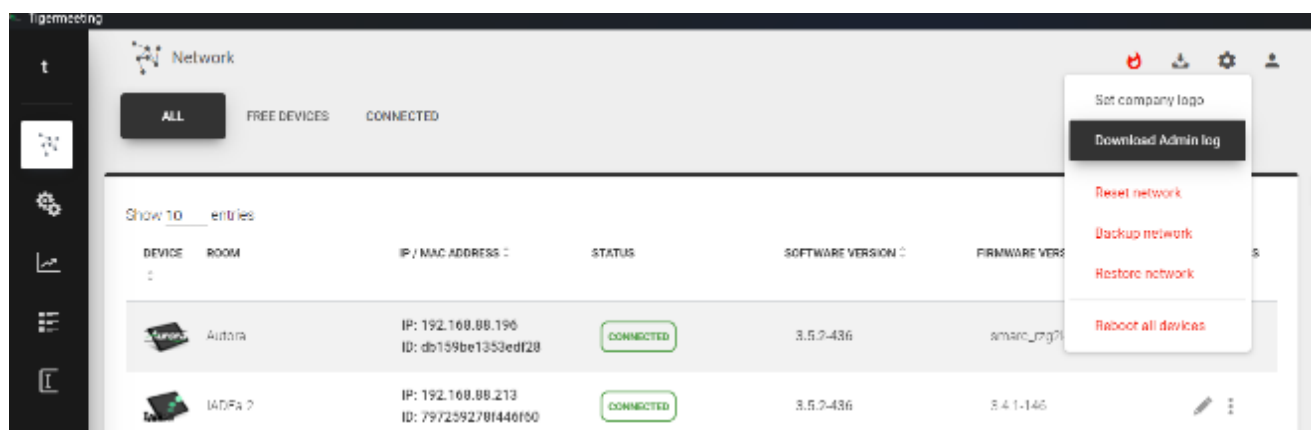
アプリケーション名は Tiger、TigerMeeting、Electron などさまざまです。

ネットワーク再起動

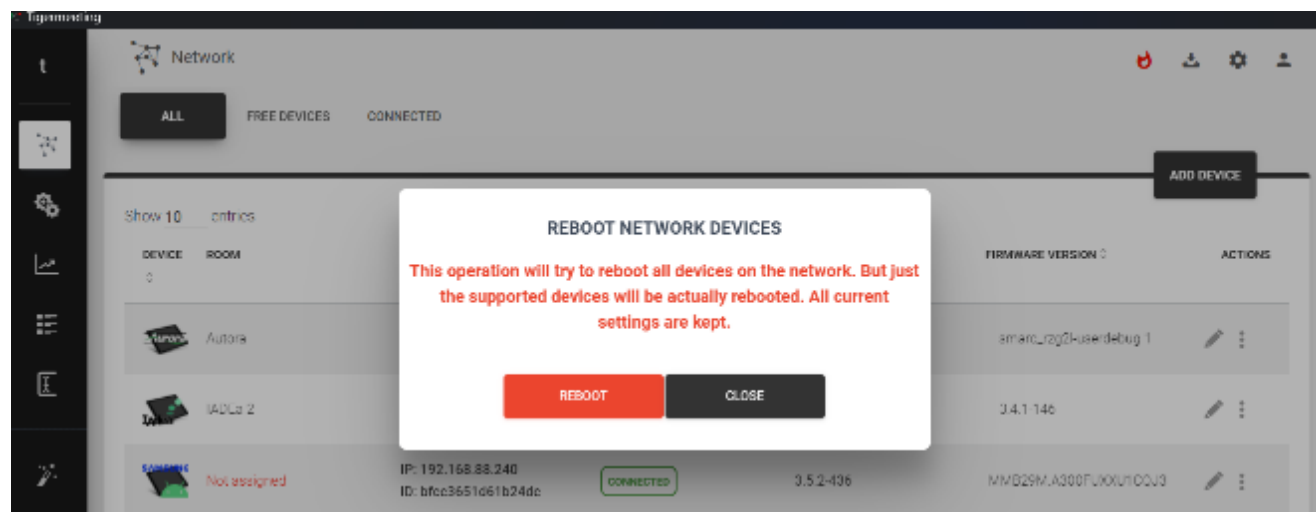
管理者がすべてのデバイスに対してネットワーク全体の操作を行いたい場合もあります。

これらの作戦には以下が含まれます：

- ネットワークをリセット する – すべてのデバイスの Tiger をデフォルトにリセットします。
- バックアップネットワーク - 現在の構成のバックアップを実行する
- ネットワークを復元 する – 以前のバックアップから設定を復元します。
- すべてのデバイスで即時再起動を行う。



リセット、バックアップ、復元操作は直感的ですが、再起動には説明が必要です。



顧客はコマンドですべての設定済みデバイスを再起動すると期待していますが、実際にはサポートされたデバイスだけが再起動を行うことになります。

Tiger Android アプリは root アプリケーションではありません。ユーザー空間で動作するため、ベンダーがインターフェースを提供していない場合、システム操作を行う権限を持ちません。

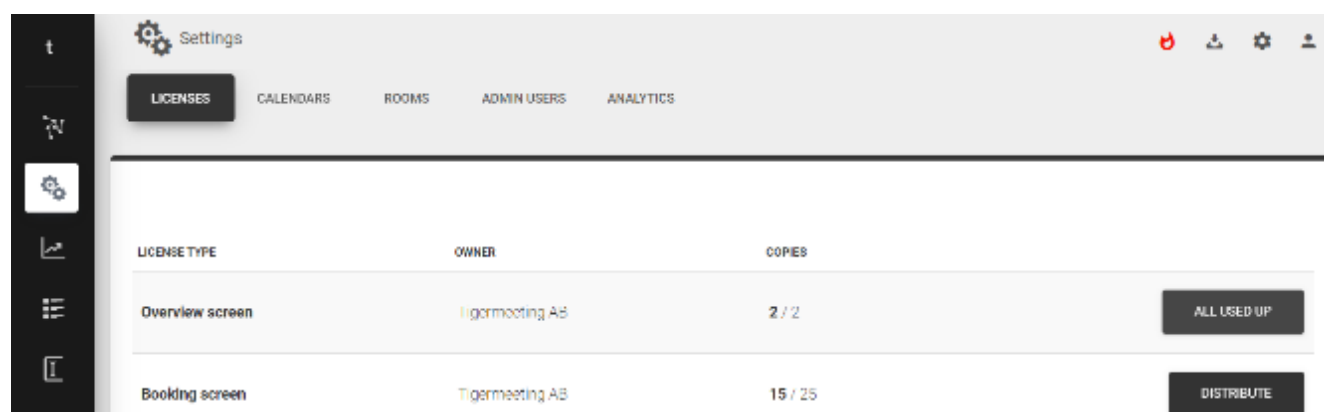
対応デバイスには Philips、ProDVX、IAdea、Qbic、Aurora の全てのスクリーンやその他多くのメーカーが含まれますが、すべてのスクリーンがサポートされているわけではありません。ハードウェア互換性マトリックスを確認してください。

免許証の欠落

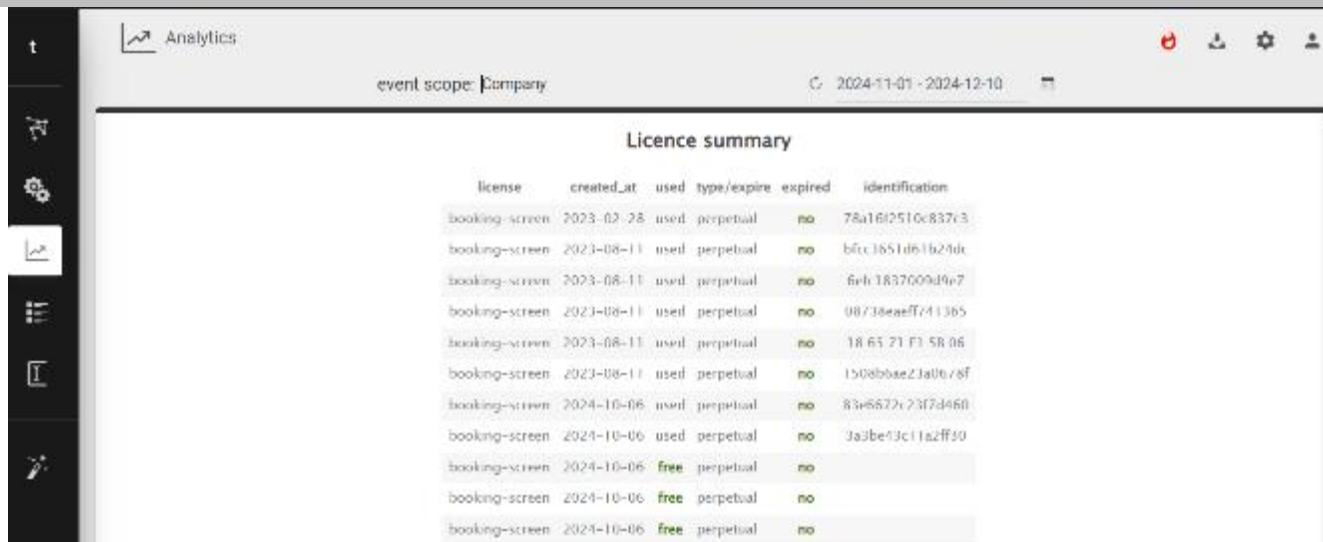
前の章からのリマインダー:

ライセンスは管理者アプリで管理されます。管理者ユーザーは以下の操作を行うことができます:

設定>ライセンスで表示・割り当て



Analytics->Company でライセンスの種類、有効期限、割り当てられたデバイス識別を表示



license	created_at	used	type/expire	expired	identification
booking-screen	2023-02-28	used	perpetual	no	78a16d2510c837c3
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	bfc13651d61b24dc
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	66h3837009d9e7
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	08738aeff741365
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	18 65 71 F1 5R 06
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	150abbae23a0e78f
booking-screen	2024-10-06	used	perpetual	no	83e6627c23f2d460
booking-screen	2024-10-06	used	perpetual	no	3a3be43c11a2ff50
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	

もしライセンス取得デバイスが事前にライセンスを切り離さずにネットワークから削除された場合、ライセンスは「使用済み」状態のまま、非終了デバイスに紐付けられたまま維持されることがあります。

これらの孤児ライセンスを取得するには、Tigermeeting カスタマーサポートに連絡し、デバイスの識別番号(MAC/AdID)を提供して取得を依頼してください。

同じデバイスが異なる識別で複数回

TigerMeeting はデバイスの MAC アドレスまたは Google Android ID を使って、TigerMeeting ネットワーク上のデバイスを識別します。

Android デバイスにおける MAC アドレスと Android ID は異なる目的を持ち、プライバシーや機能性に明確な影響を及ぼします:

MAC アドレス:

- 定義:MAC(メディアアクセス制御)アドレスは、物理ネットワークセグメント上の通信に割り当てられるネットワークインターフェースに割り当てられる一意の識別子です。MAC はデバイスのネットワークハードウェアのデジタル指紋です。
- 用途:LAN 内のネットワーク管理や通信に使用されます。ルーターは MAC アドレスを使ってデバイスを識別し、通信します。
- プライバシー:Android 10 から、Google はプライバシー強化のために MAC アドレスランダム化を導入しました。つまり、デバイスは接続する Wi-Fi ネットワークごとに異なる MAC アドレスを使用し、ネットワークがあなたの追跡を難しくします

Android ID:

- 定義:Settings.Secure.ANDROID_ID または SSAID とは、デバイスの初回セットアップ時に割り当てられる一意識別子のことです。一度だけ生成され、デバイスを工場出荷時リセットしない限り一定のままです。
- 利用法:この ANDROID_ID は、アプリ開発者がデバイスの識別、安全なアプリインストール

の実現、アプリやサービス間のユーザーアカウント管理に一般的に利用しています。広告 ID とは異なり、ANDROID_ID は通常パーソナライズ広告には使われません。

- プライバシー:ANDROID_ID はユーザーがリセットできるわけではありませんが、アプリの権限管理や機密デバイス識別子へのアクセス制限などでプライバシーを守ることができます。さらに、デバイスを工場出荷時リセットすると新しい ANDROID_ID が生成されます

ネットワークは常にデバイスの MAC アドレスを使用しているため、Android 10+デバイスではランダムな MAC 変更は Tiger APK で処理されているようです。

ファームウェアの工場出荷時リセットや意識的な Android ID リセットは、ネットワークが新しい Android ID のデバイスを検出してしまうことがあります。新たに発見されたデバイスにはライセンスがありません。

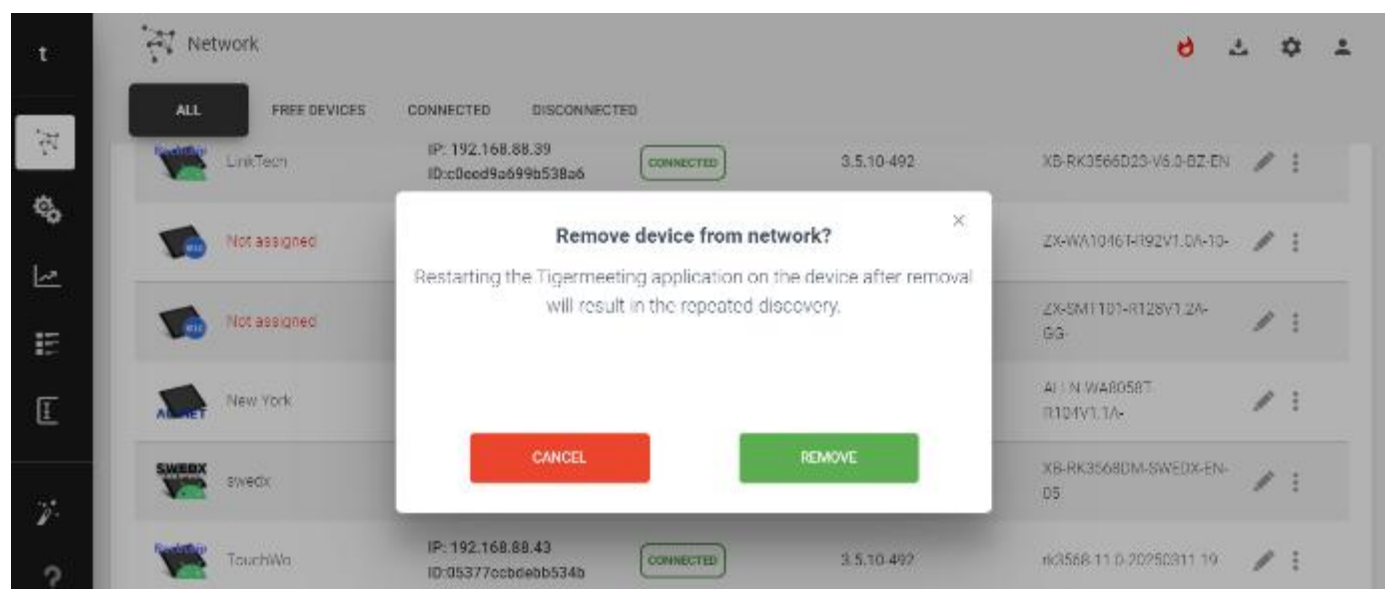
管理アプリ内での問題を解決する:

- 古い ID のデバイスからライセンスを切り離し、削除してください。
- 新たに発見したデバイスにライセンスを付与し、設定してください。

	levinko	IP: 192.168.88.11 ID:b9abf9677da2f519	DISCONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	 
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID:223fa8f6869d65b4	CONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	 

上記の例では、切断されたデバイスは安全にネットワークから外すことができます

	levinko	IP: 192.168.88.11 ID:b9abf9677da2f519	DISCONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	 
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID:223fa8f6869d65b4	CONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	 



…管理ログを見ると、削除されたデバイスのライセンスが切り離され、会社のライセンスプールに戻されていることが確認できます。

USER	EVENT	TIME	IP	ADMIN
zoli@tigermeeting.app (me)	License detached (b9abf9677da2f519)	2025-07-07 08:25:07	83.251.225.184	Windows (3.4.0)
zoli@tigermeeting.app (me)	Device removed (b9abf9677da2f519 OK)	2025-07-07 08:25:07	83.251.225.184	Windows (3.4.0)

新たに発見されたデバイスには標準手順に従ってライセンスを付与してください: **設定 -> ライセンス**

場合によっては、管理者がログアウトして再度ログインして、「紛失」ライセンスが利用可能なライセンスプールに表示される必要がある場合もありますのでご注意ください。

インテグレーターやディストリビューターの方へ: 画面をある組織から別の組織へ移行するにはどうすればよいですか？

- メーカーはしばしば Tiger アプリをインストールしたまま画面を出荷しますが、**結果として画面にライセンスが表示されません**
- (画面に Tiger アプリがプリインストールされていない場合は、Tigermeeting Android の設定マニュアルに従ってください。結果: 画面にライセンスが表示されません)
- 会社 A はスクリーンをテストし、ライセンスを割り当てます。結果: 会社 A のライセンスが画面に表示されます
- 会社 A はこれらの画面をエンドユーザー企業に売りたいと考えています。例えば会社 B です
- 会社 A は管理アプリの画面からライセンスを切り離す必要があります。これによりデバイスからライセンスが削除されます(ただし画面は会社 A の組織に紐づいたままです)。
- 画面ではネットワークを無効にし、Android 設定では **> Apps & Notifications -> Tiger -> キャッシュをクリア データをクリア** - これにより前の会社(会社 A)の添付ファイルが削除されます。結果: 画面にライセンスが表示されません
- 会社 A は Tigermeeting サポートに、会社 B のテストライセンス作成を依頼します(会社名と管理者のメールアドレスだけで十分)
- 会社 B の管理者にはライセンスと指示に関するメールが届きます。
- 会社 A は安全にスクリーンを会社 B に届けられます。スクリーンにはライセンスがかからず(製造元から直接発送されたかのように)
- 会社 B の管理者がスクリーンをテストし、そのスクリーンにライセンスを割り当てます。結果: B 社のライセンスが画面に表示されます

これは Tiger ライセンスのライフサイクル管理の段階的な説明です。

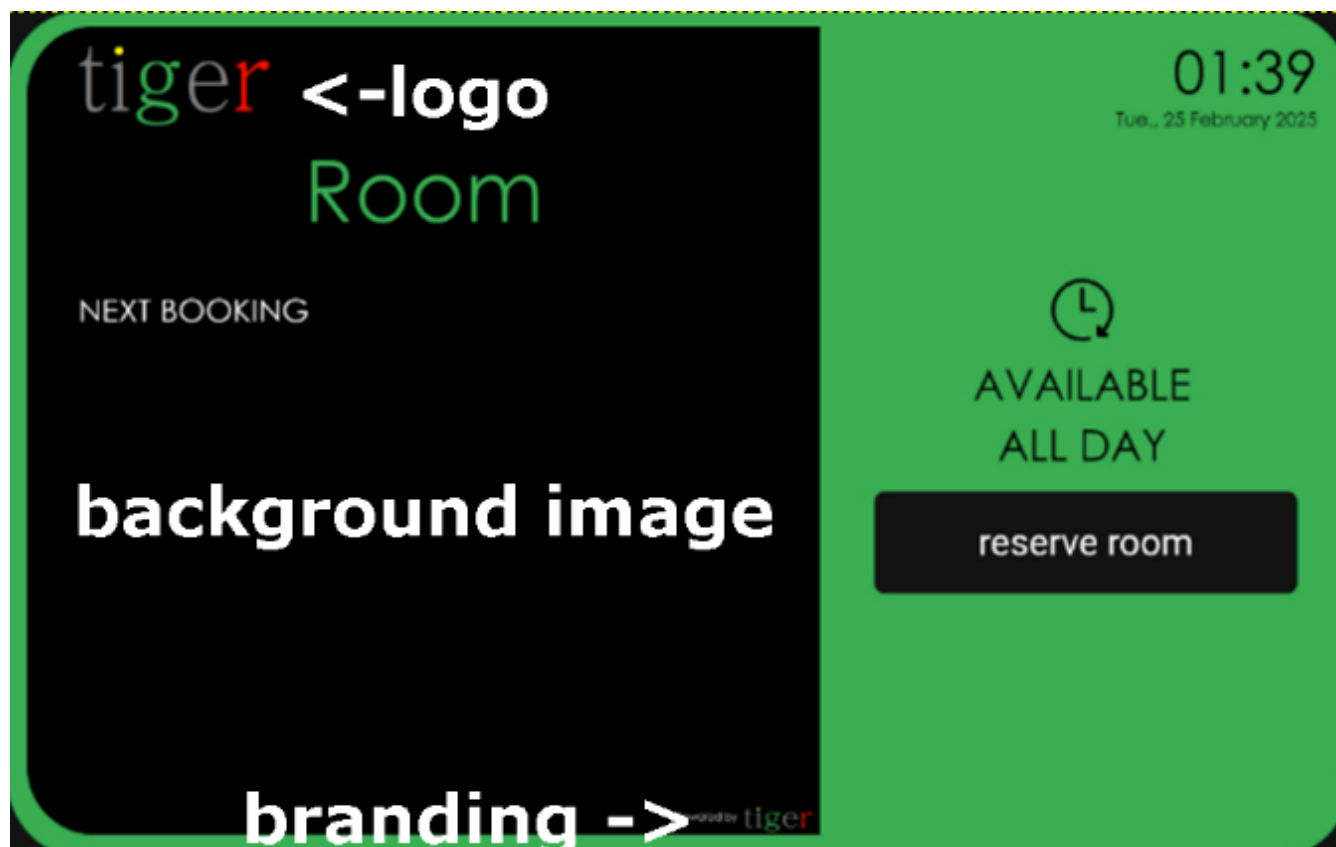
会社のロゴ、背景画像、ブランディング

すべてのブッキング画面のテーマには、変更や調整が可能なグラフィック要素があります。

- 会社のロゴ
- テーマ背景画像
- ブランディングメッセージ(タイガー提供)。

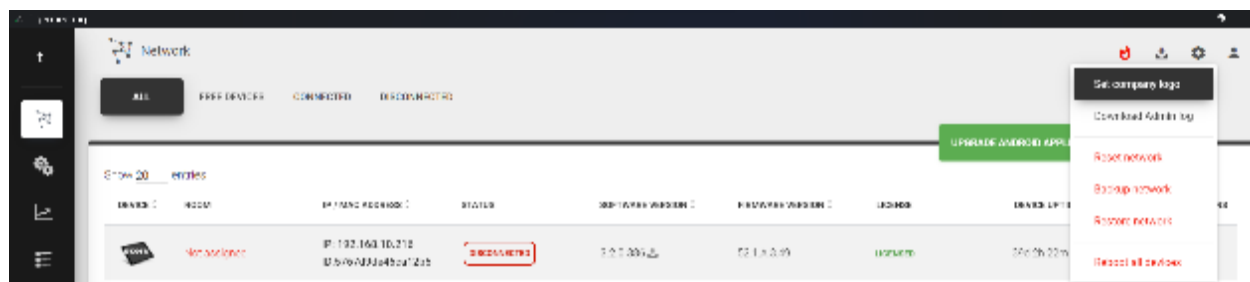
これらの要素を調整することは、予約画面を会社のオフィスや学校の環境に適合させるために不可欠です。

この章では、すでに各メニューポイントで詳細に説明されているこれらのグラフィカル要素関連オプションをまとめます。



会社のロゴ(ロゴマークまたはロゴタイプ)

- デフォルトの(タイガー)会社のロゴは、管理アプリの設定(右上の歯車)から変更できます



- 希望する会社のロゴマークを 300x130 ピクセルサイズの PNG 画像形式でアップロードします。さまざまなテーマに合うために透明な背景が推奨されます。会社のロゴはすべてのデバイスで同じになります。

注意: アップロードされた画像のサイズはシステムが 300x130px にリサイズされるため、画像の歪みを避けるために正しい比率を使用してください。

- 企業ロゴマークの外観は、管理者アプリから各デバイスごと(または配布全体)で有効または

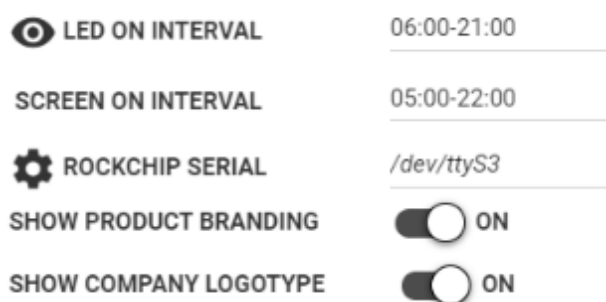
無効化も可能です:Network->device->advanced options「**show company logomark**」

背景画像

- 背景画像はテーマごとに変更可能ですが、背景画像が見える領域や画像の不透明度はテーマに依存し、テーマごとに変わります。
- 背景画像は PNG 形式で、最大画像サイズは 4Mb でなければなりません
- 背景画像は、部屋名、天気情報、次回会議など、テーマ固有の要素を考慮した特別なデザインを推奨します。
- 背景画像には予約スクリーンのサイズ、比率、解像度(通常は 16:9、サイズ 1280×800px)が推奨されます
- ほとんどのテーマでは、小さな背景画像がタイル張りになっています。
- 背景画像はテーマごとにグローバルに設定することも、必要に応じてデバイスごと設定可能です。詳細はテーマ設定章をご覧ください。

ブランディングメッセージ

- 「powered by Tiger」というブランドメッセージと Tiger ロゴは、管理者アプリのデバイス詳細オプションからデバイスごと(または配布全体)でオン・オフが可能です。
- 「商品ブランディングを表示する」のオン/オフパラメータは、「ルームサービス」などからブランド関連のタイガーロゴをすべて削除します。



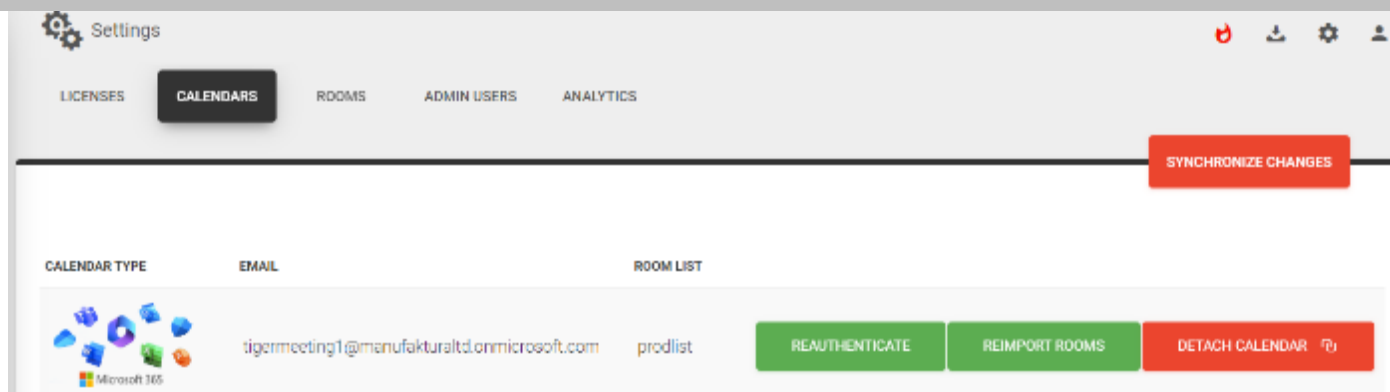
Microsoft / Google / Lark の認証トークンが期限切れ

カレンダー認証トークンには期限が切れます。

カレンダーや会社のセキュリティ設定によっては数ヶ月、数日や数時間程度の場合もあります。

画面上の TigerMeeting アプリケーションは、トークンの有効期限約 10 分前に新しいトークンを要求してトークンを維持しようとします。

残念ながら、更新直前に画面が一度もオンラインになっていなければ、古いトークンは期限切れとなり、今後は使えなくなります。再認証でこの問題は解決します。



...このような状況を避けるために、毎晩や週末はすべてのデバイスを電源を切ったり、ネットワークから切断したり、スリープモードにしたり、すべてのデバイスを一時停止したりしないでください。

オンラインになるデバイスは 1～2 台だけで十分で、トークン更新が行われ、再びオンラインになったら他のデバイスに配布されます。

デバイスの時間は正しいのでしょうか？

カレンダーの管理は時間がすべてです。

TigerMeeting 環境のデバイスや画面はすべて独立した存在であり、時間を使って互いに協力しています。

時間がコマンドと同期していなければ、更新が無視されることがあり、カレンダーが SSL ハンドシェイクを拒否して誤動作や誤解が生じることがあります。これは、ネットワーク内のデバイス間のデータベース交換や、管理者アプリがデバイスに送信する修正された設定が正しいタイムスタンプ(日付と時刻)に依存しているためです。

これらのエラーはエンドユーザー(オフィスの従業員、大学の学生、学校の生徒)には漏らされませんが、ログを分析することで Tigermeeting のインフラ管理者にはこれらの問題が明らかになります。

しかし、TigerMeeting 環境で潜在的な不整合を検出し問題を避ける最も簡単な方法は、以下の点を確認することです：

- 使用されているタイムゾーンは正しいです
- 時間は正しく設定されています
- 装置は正しい時刻を示しています

NTP やローカルネットワークの時間を使うか、明示的にタイムゾーンや時間を設定しても、TigerMeeting の観点からは、デバイスが常に正しく使っている日付と時間が正しい限り、違いはありません。

ビデオプレーヤーが起動しません

ビデオプレーヤーが起動しない場合、通常は満たされていない 2 つの基本的な要件のいずれかが確認されます。

ビデオファイルの URL

動画ファイルは URL を通じてアクセス可能である必要があります。この URL は YouTube リンク、Google ドライブ、SharePoint リンクなどではありえません。なぜなら、それらは mp4 ファイルを直接公開しないからです。動画はウェブサーバー経由で公開され、http または https プロトコルで直接アクセスできる必要があります。

社内の(例えばイントラネットサーバー)や外部のウェブサーバーでも構いませんが、URL は動画ファイルに直接向けられている必要があります(リダイレクトや JavaScript ラッパーは使わず)

一) **悪い例:**(有効な動画はあるが、Android メディアプレーヤーが「ラップされたファイル」を再生できない)

YouTube:<https://www.youtube.com/shorts/T4IKFKSZvL8>

Google ドライブ:https://drive.google.com/file/d/1qP91wWHD9SjFDBb3a_BIOrOYq6Ft_OY1

二) **良い例:**(URL は直接動画ファイルを指しています)

<https://examplefiles.org/files/video/mp4-example-video-download-hd-1280x720.mp4>

<https://onlinetestcase.com/wp-content/uploads/2023/06/4.06-MB.mp4>

Tiger クラウドに保存されているファイルストアが提供する URL を使用してください。

Android の権限

Android の MediaPlayer は、管理者アプリで設定された動画コンテンツを再生するために使われます。これは、しばらくの非アクティブ期間の後に行われます。

MediaPlayer はストレージ許可が必要です。Tiger アプリにすべてのストレージ権限があるか必ず確認してください。Android のバージョンによって用語や表現が異なり、許可権も異なりますが...Tiger アプリで起動された MediaPlayer はストレージにアクセスできる必要があります。

設定>アプリ(および通知)→>タイガー→>権限(またはストレージ権限)で、すべての権限(ファイルやメディア、動画や写真など)が許可されていることを確認してください。および類似の許可)。

アップグレード後(ファームウェアアップグレードと Tiger APK アップグレードの両方)後、権限が取り消される可能性があります。

これは Tiger アプリの単純なバグではなく、Android の権限処理の根本的な変更によるものです。

古いバージョンのアプリに付与された権限は、特に主要な Android バージョンの閾値を超えると、特に targetSdkVersion を大幅に上げるとアップグレード後に通常取り消されます。

通常、targetSdkVersion がすでに最新で、Tiger が単に機能アップデートを押し付けている場合、付与された権限は維持されます。この取り消しは、アプリが Android システムに対して新しくより安全な権限モデルをサポートしていると伝えたことによる一時的なイベントです。

ビデオプレーヤーが動作を続けるために、もう一度ストレージアクセス権限を設定してください。一部のデバイスでは、新しい権限設定を使うために再起動が必要です

横向きモードのポートレートテーマ

Tigermeeting アプリケーションは、選択したテーマに基づいて Android の内部呼び出しを使って画面の向きを管理します。

これはほとんどの場合非常にうまく機能しますが、画面の向きを OS レベルで制御できる画面では、それを上書きできるソフトウェアが存在しません。これにより、縦型テーマが選ばれ、Tiger アプリが正常に縦型に切り替えられたにもかかわらず、画面が横向きモードのままになることがあります。

これは Android 11(API 30)を搭載したデバイスでよく見られます。このオプションが導入され、後に改良されたため、Android 11 以上ではこの方向性がよく機能します。

また、Android 16(API 34)では、画面の向きが上書きできない場合にいくつかのセキュリティオプションが追加されました。

この場合、画面の向きは手動で調整が必要で、Tigermeeting の内蔵自動向き変更機能は使えません。

Android の設定オプション、特に画面向きに関する設定>表示のオプションを確認してください。画面の回転を 90 度変えることで、ほとんどの場合問題が解決します。ただし、画面の販売業者にアドバイスやハードウェアサポートを必ず確認してください。

デュアルスクリーンデバイス

Tigermeeting アプリケーションは、以下のようなデュアルスクリーンデバイスに対応しています：

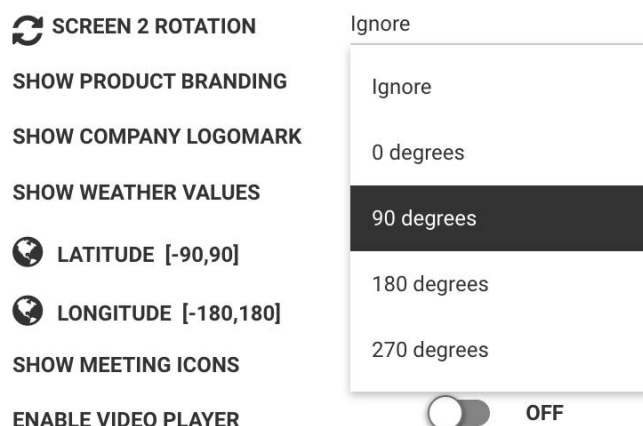
- 天井から吊るされた廊下の展示
- 壁に垂直に取り付けられています
- 会議室のテーブルに置かれた装置

これらのデバイスは両側(両画面)から同じコンテンツを表示します。

プライマリスクリーンの向きは通常、Tigermeeting アプリケーションでうまく処理されます(前章参照)が、サブスクリーンはメーカーが設定したデバイスファームウェアによってロックされることが多いです。

Tigermeeting はすべてのデバイスで画面回転に対応しているため、一部のデバイスのファームウェア設定がセカンダリ画面の回転(逆さまのコンテンツを避けるため)に課題をもたらします。選んだデバイスで希望の向きをテストしてください。

Rockchip 技術を搭載したデバイスでは、管理者アプリでセカンダリー画面回転オプションが可能で、正しい向きを設定できます。



ハードウェア固有の設定

TigerMeeting は可能な限り画面の「工場出荷時設定」を使っています。

しかし、ハードウェアモデルによって設定が変更されたり、ユーザーがセキュリティを向上させたりハードウェアの動作を微調整するために設定されたりします。

ProDVX トークン

ProDVX トークンは ProDVX API を使用するための認証層とセキュリティを提供します。トークンは静的(Qbic や IAdea API とは異なり)ですが、顧客ごとに設定可能で、ProMGR – ProDVX Remote Management ツールで設定されます。(リードは ProDVX のドキュメントで詳しく参照)

トークンがデフォルトでない場合、LED バーやその他の画面やメーカー固有の機能が期待通りに動作しません。

この場合、画面を工場出荷時リセットしてデフォルトの ProDVX トークンを使うか(トークンが不明の場合)、または管理者アプリで必要なトークンを設定してください。これはデバイスごとまたは配布全体に対してです。



ロックチップシリアルデバイス

モデルやシリーズによって、LED ライトやその他の画面機能を制御するシリアルデバイスが変わることがあります。デフォルトは `/dev/ttyS3` です。変わることは可能です



ShiMeta シリアルデバイス

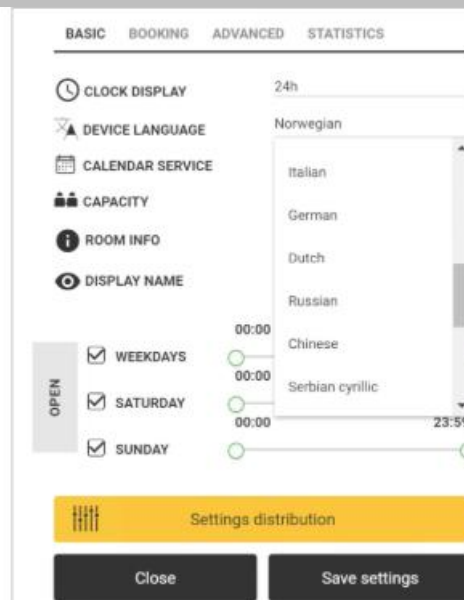
Rockchip シリアルデバイスを参照してください。

言語サポート

Tigermeeting ソリューションは 50 以上の言語をサポートしており、その中には以下のものがあります:

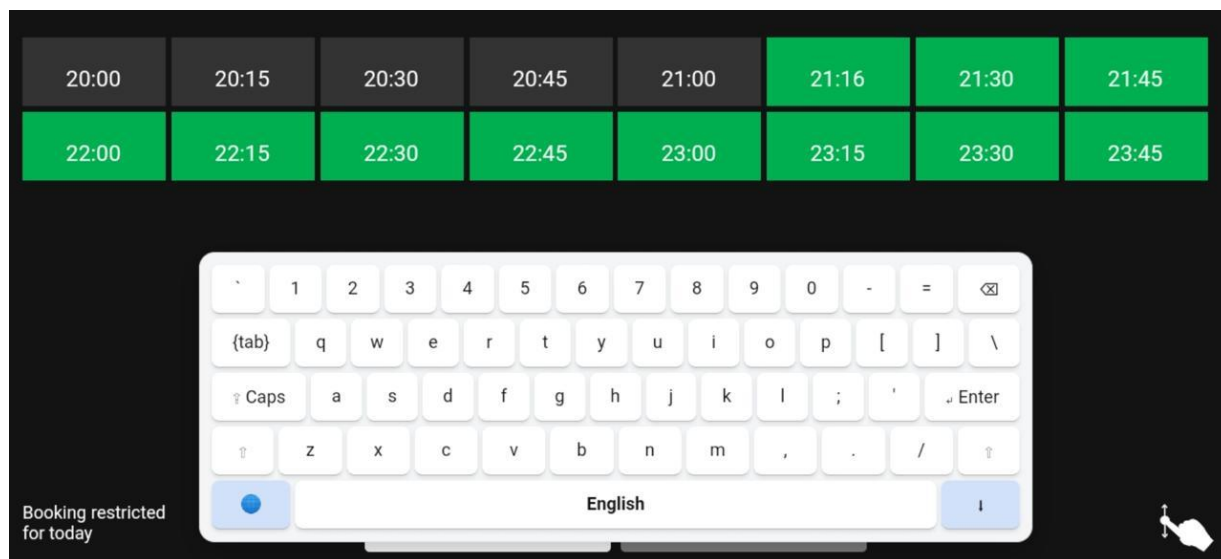
en(英語)、hu(ハンガリー語)、sr(セルビア語)、sv(スウェーデン語)、da(デンマーク語)、no(ノルウェー語)、bs(ボスニア語)、hr(クロアチア語)、es(スペイン語)、es(アイスランド語)、fi(フィンランド語)、fr(フランス語)、it(イタリア語)、de(ドイツ語)、nl(オランダ語)、ru(ロシア語)、zh(中国語)、zf(中国繁体)、ar(アラビア語)、sr-cyr(セルビア語、キリル文字)、pt(ポルトガル語)、et(エストニア語)、lv(ラトビア語)、lt(リトアニア語)、pl(ポーランド語)、cz(チェコ語)、ro(ルーマニア語)、el(ギリシャ語)、he(ヘブライ語)、ja(日本語)、mk(マケドニア語)、tr(トルコ語)、th(タイ語)、am(アムハラ語)、af(アフリカーンス語)、hi(ヒンディー語)、id。(インドネシア語) fa(ペルシア語) be (ベラルーシ語) uk (ウクライナ語) sl (スロベニア語) sk (スロバキア語) vi (ベトナム語) ms (マレー語) hy (アルメニア語) az (アゼルバイジャン語) ph (フィリピン語) sq (アルバニア語) mfe (モーリシャス・クレオール語) ko (韓国語)

TigerMeeting スイートは、高度で革新的かつ動的なローカリゼーション技術を採用しており、シンプルかつ簡単な変更が可能です。



デバイス言語はすべてのデバイスで簡単に設定できます。すべてのテキストメッセージとシステムメッセージは設定された言語で行われます。

オンスクリーンキーボードは RTL 言語を含むほとんどの言語をサポートしています。



画面上のキーボードは、サポートされている場合に限り、設定言語のキーボードレイアウトを使用します。「グローブ」ボタンを押すと言語のレイアウトが変わります。

アプリケーションクリアデータ

このコマンドは、**Settings->Applications->Tiger->Storage->Clear Data / Clear Cache**と同じです。

キャッシュとストレージからすべての Tiger アプリケーション関連データを削除します。

Tiger アプリケーションは初回インストール直後と同じように動作します。

注意:この機能はご自身の責任でご利用ください。

画面上のすべてのアプリケーションデータは消去されます。

管理者アプリがデバイスを復旧させ、デバイスのライセンスも保持します。

なお、この操作によって Tiger アプリの以前の権限が変更または取り消される場合がありますのでご注意ください。最低限の必要な権限(ファイルやメディアへのアクセス、他のアプリの上書きなど)を設定してください。

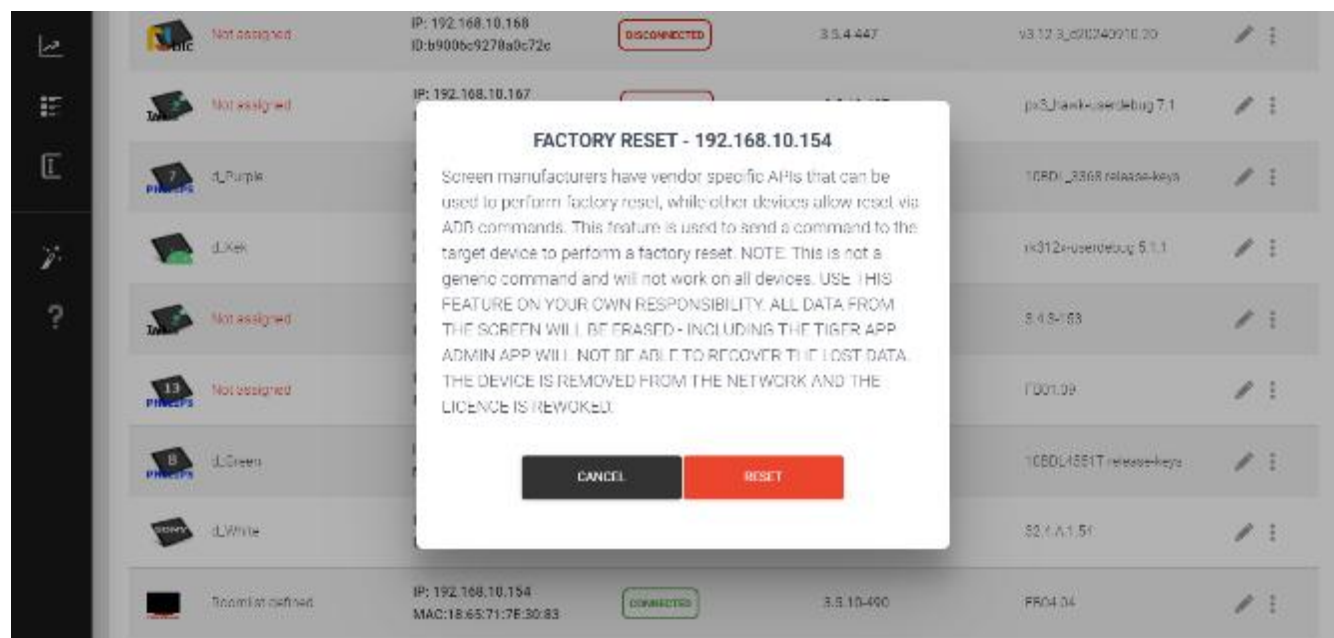
これらの操作の違いを理解するために、デバイス工場出荷時リセットもお読みください。

デバイスの工場出荷時リセット

スクリーンメーカーは工場出荷時リセットに使えるベンダー固有の API を持っていますが、他のデバイスは ADB コマンドでリセットが可能です。

この機能は、ターゲットデバイスに工場出荷時リセットを依頼するコマンドを送信するために使われます。注意:これは一般的なコマンドではなく、すべてのデバイスで動作するわけではありません。この機能はご自身の責任でご利用ください。画面上のすべてのデータは消去されます。タイガーアプリも含まれます。管理者アプリは失われたデータを復元できません。

工場出荷時リセットはデバイスの Android ID を変更する可能性が高いため、接続された Tigermeeting ライセンスは切り離され、デバイスはネットワークから削除されます



重要な注意点:工場出荷時リセットは不可逆的です。それでデバイスの工場出荷時設定が復元されます。この作業は、自分が何をしているのか確信が持てて、かつ完全に自分の責任で行う場合のみ行ってください。

閉鎖されたオンプレミス環境でのタイガーサービス

Tigermeeting の画面は、Tigermeeting クラウドで提供されるサービスにアクセスできない施設内で動作するように設計されていますが、多くの顧客はハイブリッドアーキテクチャの利点、ソフトウェアやファームウェアのアップグレード、言語の更新、テーマの変更などを享受したいと考えています。

簡単な解決策は、デバイスが Tiger Cloud に(限定期間)アクセスできるようにすることです:

<https://tigermeeting.app> (ホスト:tigermeeting.app ポート 443)。

タイガーソフトウェアのアップグレード

TigerMeeting は積極的に開発されているライブプロダクトです。多くのアップデートは Android アプリのアップグレードを必要としません。例えば、翻訳の修正、言語の更新、古いテーマの調整、新しいテーマなどです。

新機能、セキュリティ、バグ修正、改善を含む Android ソフトウェアのアップデートは、年に約 3~4 回、定期的にリリースされています。

新リリースやそのコンテンツは、すべての管理者ユーザーへのメールやソーシャルメディアで発表されます。変更内容はリリースノート(管理者アプリの>についてのメニューからアクセス可能)に掲載されます

Tiger Cloud にアクセスできるデバイスはクラウドサービスにクエリを行い、自動的にアップデートを取得し、アップグレードの利用可能性は管理者アプリ>ネットワークリストで通知されます。

閉鎖されたオンプレミス環境はアップデート通知を受け取れません。これは単にデバイスが Tiger クラウドをポーリングできず、利用可能なアップデートを取得できなかったからです。

解決策:

- 一. 新しい Tiger APK は管理者アプリからダウンロードしてください。USB メモリにコピーし、画面上で手動でデバイスを更新してください。(この手動作業は安全ですが、大規模な設置には推奨されません)
- 二. リリースノートメールを受け取った後、いつでも約 2 時間 Tiger クラウドアクセスを開くことで、デバイスは Tiger クラウドから最新のアップデートを取得するのに十分です。すべてのデバイスの管理者アプリでアップデートの可用性が表示されたら、ファイアウォール上で Tiger クラウドアクセスを再びオフにでき、標準的な方法で完全にオフラインでアップグレードを行うことができます。

注:

- すべての管理者の皆様にはリリースノートをよく読み、そのリリースにアップグレードするかどうかを判断することをお勧めします。
- TigerMeeting のリリースは累積的です。次回リリースには、これまでのすべての機能が収録されます。
- アップグレードは常に最新リリースのみで利用可能です。これまでのリリースはありません。

言語更新

新しい言語、言語アップデート、修正は、新しい Android Tiger ソフトウェアアップデートとともに提供されるか、Tiger クラウドへのアクセスが許可されている場合は、画面が定期的に Tiger クラウドに新しいアップデートがあるかどうかをポーリングします。
クローズドオンプレミス環境では言語の更新は受信されません。

解決策: ファイアウォールで Tiger クラウドアクセスを短時間(約 2 時間)開放すると、画面がクラウドから言語アップデートを投票・ダウンロードします。

テーマ変更

すべての予約画面のテーマ、デフォルトおよび顧客固有の背景画像は Tiger クラウドから保存・提供されています。

デバイスは定期的に Tiger クラウドにテーマの更新や調整を問い合わせます。ただし、テーマ変更は管理者アプリの明示的な命令でのみ行われます。画面が Tiger Cloud にアクセスできない(または有効なライセンスを持っていない場合)は、テーマ変更は起こりません。
しかし、テーマがすでにデバイスにダウンロードされている場合は、デバイスはそのテーマを使い続けます。

クローズドのオンプレミス環境では、テーマを動的に変更したり背景画像を設定したりすることはできません。

解決策: 管理者がテーマの設定とテーマがデバイスに定着するまでの間、ファイアウォール上で Tiger クラウドアクセスを短時間開放する(数分で完了)。完全なオンプレミスインストールでは、TigerMeeting インフラストラクチャのテーマ機能を利用できます。

気象サービス

画面上の気象サービスは、タイガークラウド気象サービスを用いて、地球上の特定の場所のリアルタイムの温度と湿度の値を提供します。

タイガー気象サービスは公共サービスの気象データを使用していますが、このプロキシはセキュリティを強化し、第三者からの曝露から顧客を守るために意図的に作成されています。

これは完全クラウドベースのサービスであり、Tiger クラウドへのアクセスがなければ利用できません。

NFC/スキャナー認証サービス

Tigermeeting のサービスは、NFC/RFID タグを読み取り、QR コードをスキャンしてユーザー認証や認証が必要な操作を行うことでユーザー認証を可能に設定できます。

認証サービスが Tiger クラウド上でホストされている場合、デバイスは Tiger クラウドサービスへのアクセスが必要です。

Tigermeeting は、顧客がオンプレミスでホストできるシンプルなコンテナやスクリプト+データベースを提供し、この要件を回避できます。

分析

Tigermeeting の分析は、ハードウェアの健康状態、機器の使用状況、会議室の状態などに関する貴重な洞察を提供します。

分析は、スクリーンが定期的に送信する匿名データに基づいています。この機能はオンまたはオフが可能です。

管理アプリケーションに公開されるアナリティクスデータは、現在 Tiger クラウド上で利用可能なデータからランタイムで生成されます。

この機能は Tiger Cloud へのアクセスを必要とし、回避する方法はありません。

注:TigerMeeting はセキュリティ向上のために、Tigermeeting クラウド向けに専用のサイトツーサイト VPN 接続を提供しています。以下の記述は VPN 接続でも有効です:Tiger Cloud はオンプレミスインフラへのインバウンド接続を試みず、必要ありません。

重要な声明

Tigermeeting のインフラストラクチャは、完全にモジュール化され、分散型かつ自己完結型のアーキテクチャに基づいて構築されています。

Tigermeeting のインフラストラクチャには以下のアクターが含まれます:

- 予約画面(複数回あり得ます)
- 概要画面(複数あり得ます)
- 管理者アプリケーション(マネージドネットワークごとに 1 つのみ許可)
- タイガークラウド(1 つのみ - オプション)
- 企業カレンダー(1 つだけ許可)

このインフラのすべてのアクターは、TigerMeeting インフラストラクチャの他のアクターおよび Tiger クラウド(利用可能な場合)のみと通信します

TigerMeeting のインフラのいかなる部分も、他の第三者や外部ネットワークサービスと通信しません。

Tigermeeting のインフラは自己完結型であり、すべての機能を提供するために必要なサービスはすでにこれらの製品に含まれています。

タイガークラウドはクラスタ化されたアーキテクチャですが、<https://tigermeeting.app> 唯一のアクセスポイントとして高度なセキュリティ対策と有効な証明書で保護されています。

Tiger クラウドサービスは常にクエリまたはプルされます。

インターネットや Tiger クラウドから顧客の展開済み TigerMeeting オンプレミスインフラにアクセスする方法はありません。

混合カレンダー環境におけるタイガーミーティング

Tigermeeting のインフラは環境ごとに 1 つのカレンダー接続に厳密に制限されているため、異なるドメインを持つ 2 社以上の企業を処理する唯一の方法は、Tigermeeting が認識する前にソースでカレンダーを統合することです。

基本的には「マスターテナント」または「シンクブリッジ」を作成し、会社 A のイベントが会社 B のルームカレンダーに表示されるようにする必要があります(その逆も同様)。

以下は、これを達成する最も効果的な方法です:

カレンダー相互運用(Google + Microsoft Mix に最適です)

一方が Google Workspace を利用し、もう一方が Microsoft 365 を使っている場合、カレンダー・インターオペレーションの設定が可能です。

どうやって機能するのですか？

2 つのドメイン間で信頼関係を設定しましょう。これにより、会社 A の利用者は会社 B の部屋の空き状況を確認でき、直接予約できます。

結果:

会社 A の「会議室 1」カレンダーには、会社 B の予約が自動的に反映されます。タイガーミーティングは A 社と連携しているので、両方表示されます。

リアルタイムカレンダー同期ツールの利用

SyncPenguin や CalendarBridge のようなサードパーティの「同期ブリッジ」を使いましょう。

どうやって機能するのですか？

これらのツールは両社の間に位置しています。B 社の誰かが「ルーム 1」を予約すると、ツールは即座に A 社の「ルーム 1」で対応する「話中」イベントを作成します。

結果

Tigermeeting は会社 A または同期ツールカレンダーに直接接続されますが、画面は両方のドメインのスケジュールを正確に反映します。

資源の共有と委任

両社が同じプラットフォーム上にある場合(例:Microsoft 365 を使っているがテナントは異なる場合)。部屋の郵便受けは入居者間で共有可能です。

仕組み:

すべてのスクリーンの「ホスト」として A 中隊を指定してください。

会社 B では、自動転送ルールを設定するか、Power Automate を使って部屋予約を会社 A の部屋カレンダーに「プッシュ」します。

iCal フィード

iCal フィードの活用:両社がルームカレンダーをプライベートな iCal URL として公開できるなら、カレンダーアグリゲーターを使ってそれらを 1 つの URL に統合し、Tigermeeting が読み取ることも可能です。

CalDAV や iCal URL でカレンダーを公開することで、これらの問題を解決できます。

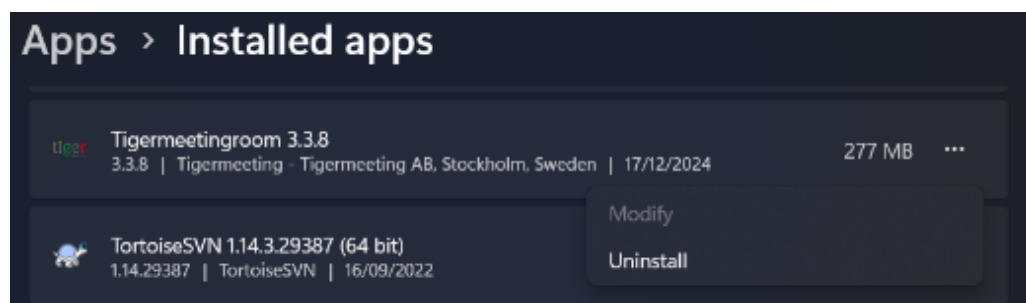
Tigermeeting 管理アプリのアンインストール

Tigermeeting 管理アプリのアンインストールが必要なユースケースもあります。

以下の手順に従ってください。 使用されているオペレーティングシステム:

Windows オペレーティングシステム

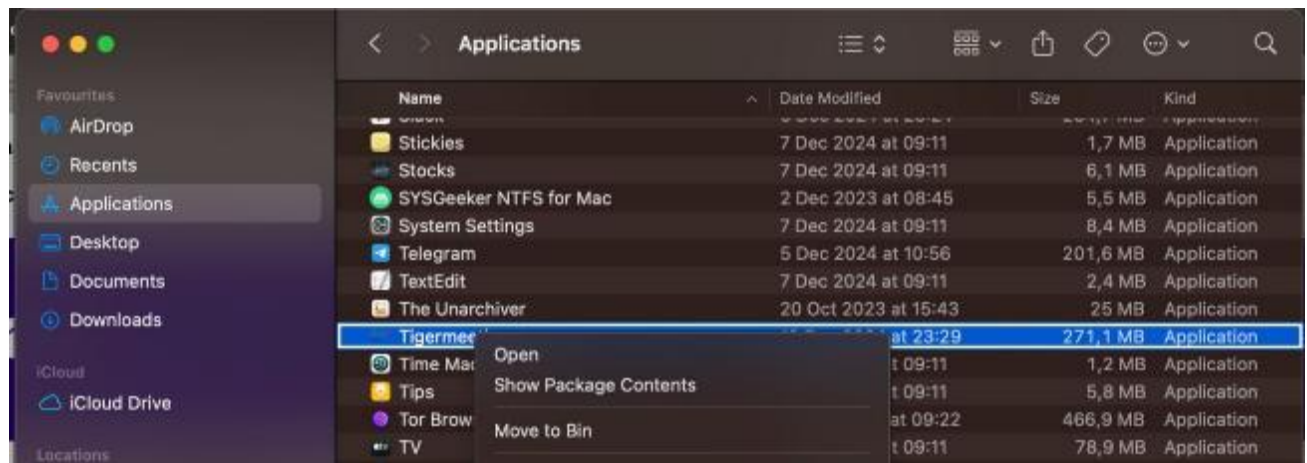
スタートからアプリ>インストール済みアプリへ移動し、TigerMeeting-admin または Tigermeetingroom(旧バージョン)の Tiger ロゴ付きアプリケーションを検索してください
ツリードット(...)を押すと選択肢が表示されます。アンインストールボタンを押す



macOS オペレーティングシステム

Finder -> Applications を開き、Tigermeeting-admin または Tigermeetingroom(旧バージョン)のロゴ付きアプリケーションを検索してください。

Tigermeeting-admin アプリケーションを左クリックするとオプションが表示されます。
プレス:ゴミ箱へ移動



Linux オペレーティングシステム

Tigermeeting Admin Application インストーラーは、Linux オペレーティングシステム向けに 3 つのフォーマットで提供されています。

- RPM パッケージ - RedHat パッケージマネージャー – RedHat、Fedora、SuSE など用です。
- DEB パッケージ – Debian ソフトウェアパッケージ – Debian、Ubuntu、Kali など向け
- AppImage ファイル - Linux 向けのポータブルソフトウェアパッケージで、アプリケーションと異なる Linux ディストリビューションで動作するために必要なすべての要素が含まれています。

RPM パッケージ

ターミナルを開き、スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo rpm -e Tigermeeting-admin
```

DEB パッケージ

ターミナルを開き、スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo dpkg -r Tigermeeting-admin
```

AppImage ファイル

ターミナルを開き、AppImage ファイルの場所をナビゲートします。

`rm ./Tigermeeting-admin*` で実行ファイルを削除してください。AppImage コマンド。

ヒントやコツ、ショートカット

簡単なスクリーンショット

ネットワークビューでデバイス画像をダブルクリックしてください

 delta	IP: 192.168.88.18 ID:513629fe0d4bf6f4	CONNECTED	3.5.12-598
---	--	-----------	------------

クイックデバイスモデルとブランド

ネットワークビューのデバイスイメージをフーバーで重ねてしまいます

 beta	IP: 192.168.88.36 ID:9a9eababb8379dbd	CONNECTED	3.5.12-598
 Not assigned	IP: 192.168.88.26 ID:c0eed9a699b538a6	CONNECTED	3.5.12-598

デバイスのフルファームウェアバージョン

ネットワークビューでデバイスのファームウェアバージョンにカーソルを合わせてください

 Not assigned	IP: 192.168.88.123 ID:645334747af0db78	CONNECTED	3.5.12-598	C06-V21.3-YC-8-HNH-31AL LICENSED	0d 9h 56m
--	---	-----------	------------	----------------------------------	-----------

利用可能なファームウェアおよびソフトウェアアップグレードバージョン

ネットワークビューの赤いアップグレード可能アイコンをホーバーで確認してください。

 Not assigned	IP: 192.168.88.45 ID:d05474e6a1740199	CONNECTED	3.5.12-598	XB-RK3566D23-V6.0-BZ-EN
 Not assigned	IP: 192.168.88.45 ID:d05474e6a1740199	CONNECTED	3.5.12-598	XB-RK3566D23-V6.0-BZ-EN
 Not assigned	IP: 192.168.88.20 ID:327062899a385a81	CONNECTED	3.5.12-599	TW1025LASC-B1PNR-R70V2.

デバイスをモデルやアプリケーションバージョンで並べ替えてください...

ネットワークビューでデバイスを並べ替える(または逆戻し)するには、上下矢印を押してください。

DEVICE ▾	ROOM	IP / MAC ADDRESS ▾	STATUS	SOFTWARE VERSION ▾	FIRMWARE VERSION ▾	LICENSE	DEVICE UPTIME ▾
 Device Not assigned		IP: 192.168.88.27 ID: e053e45cebec1c63	CONNECTED	3.5.12-599	2.3.2-153	LICENSED	0d 9h 56m

FAQ

FAQ はオンラインで <https://tigermeeting.app/faq> でご覧いただけます

Q: TigerMeeting スイートの設置を拡張するために、さらに多くのライセンスを購入するにはどうすればよいですか？

A: 一般的には、お近くの Tigermeeting の販売代理店にご連絡ください。
もしこの情報をご不明、またはお住まいの国に地元の代理店がない場合は、
<https://tigermeeting.app/en/contact> までお問い合わせください。

新しいライセンスの購入は、地元の Tigermeeting ディーラーを紹介する形で、または再販業者
がない場合は直接ライセンスを販売するお手伝いをいたします。

タイガーミーティングは世界中で発送可能です。

Q: デバイスをどうやって変更できますか？ライセンスは影響を受けますか？

A: 一部またはすべての機器を交換する必要がある状況があります。

Tigermeeting のライセンスは、組織内のデバイスの MAC アドレスや Android ID に紐づいています。

ライセンスは組織が所有しています。したがって、構成済みデバイスからライセンスを簡単に切り
離し、同じライセンスを他の新しいデバイスに紐付けることが可能です。ただし、総数または利用
可能なライセンス数が組織の購入範囲内であれば可能です。

ライセンス管理は Tigermeeting 管理アプリを通じて簡単かつ直感的に行えます。

Q: Tigermeeting 管理アプリの費用はいくらですか？ライセンスは必要ですか？

A: Tigermeeting 管理アプリは、Tigermeeting の予約画面や概要画面を設定・管理する中央管
理ツールで、無料製品であり、Tigermeeting ソリューションに含まれています。

<https://tigermeeting.app/en/downloads> ページからダウンロード可能です。

利用するには、少なくとも 1 つの予約画面または 1 つのオーバービュー画面ライセンスが必要で
す。

Tigermeeting Admin アプリは Windows、MacOS、Linux の各オペレーティングシステムで動
作し、Tigermeeting APK を搭載した Android デバイスのみに対応し、他の用途には使用できま
せん。

Q: TigerMeeting 管理アプリは常に動作する必要がありますか？

A: いいえ、Admin アプリは画面の変更や Tigermeeting のインフラ設定変更に使われています
。変更が決まったら、管理者アプリは安全に閉じることができます。

詳細は「[管理者アプリの目的とは何か？](#)」をご覧ください。そして [タイガーミーティング建築](#) 部門
。

Q: Tiger はポートレートモードに対応していますか？

A: Tiger は 2022 年にポートレートモードのサポートを終了しましたが、2025 年に再導入されました。

その理由は、Tiger が 4 インチから 15 インチまでの多くのスクリーンに対応しており、Philips、IAdea、ProDVX、Aurora、Qbic、Allnet、Samsung、Huawei、Xiaomi、Asus、Oppo など多くのメーカーから対応しているからです。

テーマ変更、会社のロゴ、オフィス/学校/デスクモードなど、タイガーの機能でこれらすべての異なる画面サイズや解像度に対応するため、Android センサーを基にポートレートモードをサポートしないという戦略的な決定を下さなければならませんでした。

私たちはこう言いました:市場からの需要があれば、製品部門は将来的に新たな開発を手配するかもしれません。しかし、幅広い画面の選択肢があり、顧客が画面サイズを選択できること、そして同じ環境内で異なるベンダーや画面モデルを混用できるため、これまでの問題はありませんでした。

顧客の需要があったため、2025 年にはテーマベースの縦向きおよび横向きモードを導入しました。センサーは無視されますが、ポートレートのテーマを選択すると画面はポートレートモードで動作します。管理アプリで利用可能なテーマもぜひご覧ください。

Q: オーダーメイドの特集は可能ですか？

A: Tigermeeting は、市場の需要、技術の進歩、顧客の希望リストによって形作られた明確な製品ロードマップに従っています。

要望された機能がこのロードマップに合致すると、追加費用なしで今後のリリースに追加されます。

オーダーメイドのテーマ、ホワイトラベルブランディング、非標準のカレンダー統合、顧客固有の独自機能実装など、ロードマップ外のリクエストは依然として提供可能ですが、以下のいずれかが必要です。

- 最小注文量(MOQ)、または
- 時間と物資の合意です。

例:

IBM Lotus Notes カレンダー統合の実装には、最低注文数(MOQ)が 300 ライセンスの要件が求められます。

対応する Android 画面はどこで入手できますか？

Tigermeeting は会議室ソリューションのグローバルなソフトウェアプロバイダーであるため、ソフトウェア、ライセンス、サポートは Tigermeeting 自身が担当していますが、Tigermeeting は複雑な現地規制やハードウェアのサポート・サービス義務のため、ハードウェアの販売や流通は一切行っていません。

一部の国では、Tigermeeting は現地のハードウェアディストリビューターと契約を結んでおり、ターンキーの Tigermeeting ソリューション(ハードウェア + Tigermeeting ライセンスバンドル)を提供できます。

世界の他の地域では、タイガーミーティングはハードウェアを販売していませんが、フィリップスや他のハードウェアの再販・販売代理店と協力しています。

<https://tigermeeting.app/contact> でご要望やご要望について詳しく教えてください。フィリップス、サムスン、レノボ、シャオミ、オポ、ファーウェイ、アマゾン、モトローラ、Asus、Aurora multimedia、Qbic、ALLNET、ProDVX、iiyama、AOpen、AllSee、または IAdea の販売代理店・再販・販売店をお探し、選んだハードウェアを入手いたします。

Tigermeeting は中国各地の OEM ハードウェアメーカーと協力しており、独自のハードウェア仕様とブランドで Tiger 互換 Android デバイスを製造できます。

世界中のすべての Android デバイスをサポートするのは単純に不可能ですが、異なる Android バージョンやほとんどの異なる画面サイズに対応しられる高度な技術を活用すれば、古い Android スマートフォンやタブレット、より安価なブランドを活用できる可能性が生まれ、Tigermeeting ソリューションはさらに手頃な価格で、世界最高の会議室管理製品の TCO(総使用コスト)を目指します。

Tigermeeting APK はオフィスにあるほぼすべての Android デバイスで動作することを忘れないでください。ただし、Tigermeeting QA チームによるすべてのテストはほぼ不可能です。

Tigermeeting ハードウェア互換性マトリックス

Tigermeeting は、バージョン 4.1 以降のすべての Android デバイス(x86、x86_64、armeabi-v7a、arm64-v8a)をサポートすることを目指しています。

デジタルサイネージや会議室管理向けに特別設計されたターゲット製品を用意しています。ハードウェアメーカーは、デバイスと通信し、それらのハードウェア固有の機能を活用するための独自の API や SDK を提供することが多いです。——LED ライトなどです。

TigerMeeting は主要なデジタルサイネージメーカーのデバイスと統合されています。この統合は主にベンダーAPI の機能に依存します。したがって、すべての機能がすべてのデバイスで利用可能というわけではありません。

注: ハードウェア関連以外の純粋な Tigermeeting アプリケーション機能はすべてのデバイスで利用可能です。カレンダー予約機能、テーマやバックグラウンドの変更、オンプレミス管理、分析、ログ、管理アプリの互換性などが含まれます(Tigermeeting の機能については管理ユーザーマニュアルをご覧ください)

1	フィリップス 	アイディア 	ProDVX 	Qbic 	オーロラ 	オールネット 	その他 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り/認証	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK のアップグレード	●	●	● *	●	● *	●	● *
FW アップグレード	●	● ^	● ^	●	● ^	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	●	●	●	●	●	● =	● =
メンテナンスモード	●	● +	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

2	オープン 	オールゼー —	ELC 	AlSpeech 	シメタ Shimeta 	SWEDX 	タッチウォー —
---	---	------------	--	---	---	--	-------------

							
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り /認証	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK の アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
FW アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	● =	● =	● =	● =	● =	● =	●
メンテナンスモード	●	●	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

3							
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り /認証	●	●	●	●	● %	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK の アップグレード	● *	● *	●	●	● *	●	● *
FW アップグレード	● ^	● ^	● ^	● ^	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	● =	● =	● =	● =	●	● =	● =
メンテナンスモード	●	●	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

4	ポートワールド 	レヴィンコ 	エロタッチ 	MIOLCD 	グローリースター 	方糖 	オールウィナー 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナー読み取り	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK のアップグレード	●	●	●	●	●	●	●
FW アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	●	● =	● =	● =	●	●	●
メンテナンス MOD です	●	●	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

5	ulnk 	シマウマ 	ハネウェル 	ウロヴォ 	ミモ 	データロジック 	ビューソニック 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナー読み取り	●	● %	● %	● %	●	● %	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK のアップグレード	●	●	●	●	●	●	●
FW アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	●	● =	● =	● =	● =	● =	●
メンテナンス MOD です	●	●	●	●	●	●	● +
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

例:

● **-OK** – 機能はサポートされています

● **-いいえ** – ベンダーAPI は機能を可能にしますが、Tiger によって実装されていません。

● **-該当しない** -該当しない – 操作を実行するための API や権限がありません。

* - SW/APK のアップグレードはトリガー可能ですが、画面上の承認が必要です

- - アプリストアを通じてシームレスなソフトウェア/APK アップグレードが利用可能です

^ - ハードウェアサプライヤーは Tigermeeting とは独立してアップグレードを配信しています。

+ - 再起動後に AppStart を使って再生操作を一時停止してください

~ - 代わりにフィリップスのより優れた CMND 技術を使うこと。詳細は <https://cmnd.io>

= - 画面ピンの使用（デバイスマニュアルを読んでください）

「J」- ポゴ周辺アクセサリ

%- 標準の USB スキャナーに加えて、内蔵の QR コードスキャナーもサポートしています

互換性マトリックスの注意事項:

- テーブル番号は 1、2、3...あくまで参考用であり、優先順位やグループ分け、特定の順序はありません。
- 「その他」欄は、その他すべての任意の Android デバイスを表しています。つまり、どんな Android タブレットや携帯電話でも、それらの機能が動作すると期待できるということです。これらは一般的なデバイスであり、会議室管理用に明確に設計・作られたものではありません(Sony、Asus、Xiaomi、Lenovo、Tecno、Oppo、Vivo、Itel など)。
- その他グループには、Tigermeeting がまだ完全なハードウェア統合を完了していない優れたデジタルサイネージメーカーのデバイス(Kramer、Black Box、Yealink、Crestron、Harman、Neat、Cisco など)も含まれます。
- **アプリストアのサポート** とは、Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store、Xiaomi GetApp / Mi App Mall、VIVO V-Appstore、OPPO Store、Transsion Palmstore、Aptoid、ONE Store などの Android アプリストアのデフォルトまたはオプションの利用可能を指します

注:

もし優れたハードウェアや、Tigermeeting がまだ対応していない魅力的な機能を備えた優れた画面を持っているなら、

ぜひご連絡ください。 私たちは喜んで統合し、TigerMeeting アプリにデバイスのアイコンを追加します

統合はおそらく簡単です。Tigermeeting Android APK は非常にモジュール化され、丁寧に構築・設計されており、優れたソフトウェアアーキテクチャパターンを採用しています。

さらに、以前のメーカーの統合で蓄積された経験と技術的知識も言うまでもありません。

例えば、Tiger APK は Rockchip や ShiMeta の幅広いチップセットをフルサポートし、zigbee_reset、シリアルポート、jnielc、Yuxian API、adwdev ソケット、sysfs、Iztech、Milesight などの最も一般的な LED コントローラーもサポートしています。そしてオン/オフ、3 色、7 色、フル RGB カラースキーマをサポートする多くの独自の API も含まれます。

正確な数値で、Tigermeeting アプリケーションは以下をサポートしています：

- 21 種類の異なる Android API(バージョン 16 から 37)
- 17 種類の異なるハードウェアベンダーAPI
- 14 種類の統合 SDK。
- 12 種類の LED コントローラー
- 10 NFC/RFID 技術
- 4 ハードウェアアーキテクチャ
- 9 種類の異なる GPIO API
- 8 種類の異なるチップセット
- 7 つの QR コード/バーコードスキャナーブランド

...そして数え続けている。

近岸、オフショア、極東ブランドおよび OEM メーカーとの戦略的提携により、グローバルな規模で品質、機敏さ、イノベーションを提供しています。

もっと多くの会議室、オフィス、学校の廊下を一緒に輝かせましょう。

GDPR 声明

Tigermeeting 製品は独自のハイウォーターマーク分散データベース技術を採用しているため、情報や構成自体はローカルネットワークインフラ内の画面デバイス間のみに分散されます。オンプレミス、中央、外部のデータストアは不要なので、存在しません。

予約および概要画面

- カレンダー操作 - 画面上の予約や予約・概要画面でのカレンダーイベント表示などは、オンラインカレンダーサプライヤー(Microsoft や Google など)間で表示目的のみを目的とした API ベースの要求・応答操作です。個人情報とはデバイスに保存されたり、他の場所に転送されたりしません。

管理アプリ

- Tigermeeting 管理者アプリ自体は、管理者がネットワークにログインした瞬間に分散データベースの一部となり、管理者のコンピュータには情報が保存されません。
- しかし、管理者ユーザーのログイン情報や顧客のライセンス情報は、Tigermeeting クラウド(ライセンスサーバーと呼びます)に、高セキュリティ暗号アルゴリズムを用いてハッシュ化された形式で保存されています。これは管理者認証に使われる情報です。
- もし顧客がそうした場合、Tigermeeting クラウドは顧客のネットワークバックアップ(インフラ設定のスナップショットを暗号化形式で保存し、ネットワーク復元機能に使う)を保存できます。

分析

- 顧客が希望する場合、Tigermeeting Cloud は会議室の分析ページの下に匿名で収集された会議室利用情報を保存するために使われます。これにより、会議室利用統計、予約傾向、企業の予約行動が会議室利用率向上に役立つ有用な情報やハードウェアの健康状態を可視化します。
- イベントは匿名で、ある意味でデバイスの MAC アドレスや Android ID に紐づいています。
- イベントは、分析/イベントログ機能がオンになり、デバイスがイベント中に稼働している間に Tigermeeting アプリケーションから送信されます。詳細については、管理者アプリのドキュメントと各アナリティクスページ下部の免責事項をご覧ください。

ウェブクッキー

- Tigermeeting は個人情報を含むクッキーを使用しません - 詳細は

<https://tigermeeting.app/cookie-policy> をご覧ください

明示的な要望に応じて、蓄積されたすべてのイベントログやその他の顧客データを提示・配信または永久削除を要求できます。

詳細については、GDPR、CCPA、PIPEDA、CDR、LGPD、POPI の規則に準拠した Tigermeeting プライバシーポリシー(<https://tigermeeting.app/privacy-policy>)をご覧ください。



TigerMeeting はオンプレミスアーキテクチャにより、以下のようなデータおよび情報システムの全国的な自律性要件を自然に満たします。

- 中国のサイバーセキュリティ法およびデータセキュリティ法は、国家の安全と自治を維持するために、特定の種類のデータを国内で保存・処理することを義務付けています
- インドのデジタル個人データ保護法案は、データのローカライゼーションに関する規定を含み、重要なデータが国内に留まることを確実にすることを目的としています。
- ロシアの個人データに関する連邦法(FZ-152)は、ロシア市民のすべての個人データを、まずロシア連邦内に物理的に所在するデータベースに収集・保存することを明示しています。
- ベトナムのサイバーセキュリティ法およびその施行令(例えば法令 53 号)は、特定分野(例:ソーシャルメディア、電子商取引、オンライン決済)における国内外企業に対し、一定期間特定のユーザーデータをベトナム国内に保管することを義務付けています。
- インドネシアの政府規制(GR71 など)では、「パブリックスコープ」電子システムの運用者はインドネシア国内にデータセンターと災害復旧センターを設置しなければならず、事実上ローカルデータ保存が義務付けられています。

DEMO ライセンスをお願いしましょう

DEMO ライセンスは、期間限定の有効期間を持つ完全な機能的な本番ライセンスです。

DEMO ライセンス申請中や DEMO ライセンスの期限切れ後、支払いや義務は一切ありません。

潜在的な顧客が自分の環境で TigerMeeting ソリューションの性能を自分の機器でテストできるようにする狙いです。

DEMO ライセンスの有効期限が切れた時。画面は単にオンラインカレンダーの使用をやめ、最初のデモモードに戻るだけで、顧客の環境に害や変化を与えません。

顧客は評価期間中または DEMO ライセンスの期限切れ後、いつでも永続ライセンスを注文し、Tigermeeting インフラストラクチャをフルパワーと機能で再び利用することができます。

購入前に、Tigermeeting 製品を自分の環境でテストできる無料のデモライセンスを

<https://tigermeeting.app/en/contact> で申請してください。

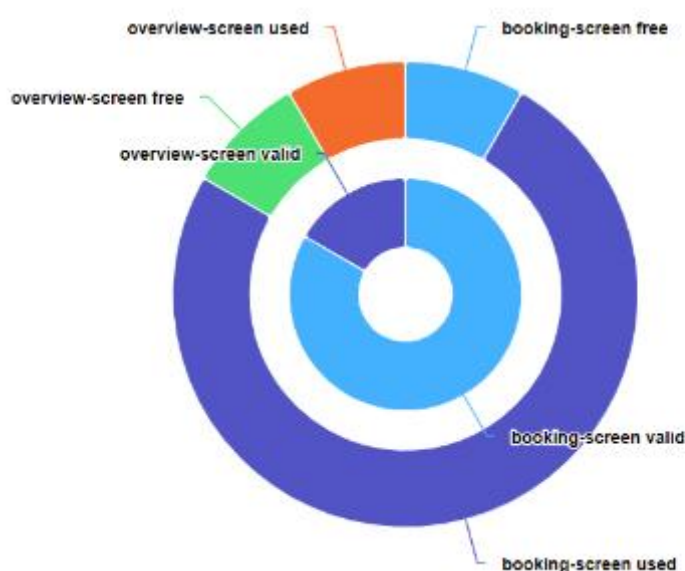
DEMO ライセンスは通常 30 日間有効ですが、これは厳密な制限ではありません。評価にもっと時間が必要な場合、DEMO ライセンスの有効期間は簡単に延長可能です。

ライセンスの有効性および配布は、**管理アプリ -> Analytics -> Company** で確認できます。分析レポート。

booking-screen licences: 10 total / 9 used / 1 free / 0 demo / 0 expired / 0 deleted
overview-screen licences: 2 total / 1 used / 1 free / 0 demo / 0 expired / 0 deleted

Licence summary

A graphical presentation of the table shown above



連絡先情報

メール: info@tigermeeting.app

ウェブ: <https://tigermeeting.app/en/contact>

カスタマーサポート: support@tigermeeting.app

詳細は管理アプリケーションの「About」メニューから入手できます。



ソーシャルメディア

製品ニュースや新発売のイベント更新を受け取りたい方は、ぜひソーシャルメディアでフォローしてください。

LinkedIn <https://www.linkedin.com/company/tigermeeting/>

Facebook <https://www.facebook.com/tigermeeting/>

Instagram <https://www.instagram.com/tigermeeting>

ブルースカイ <https://bsky.app/profile/tigermeeting.bsky.social>

GitHub <https://www.github.com/tigermeeting>

X(Twitter) <https://x.com/tigermeeting>

YouTube <https://youtube.com/@tigermeeting>

スレッド <https://www.threads.net/@tigermeeting>

TikTok <https://www.tiktok.com/@tigermeeting>

電報 <https://t.me/tigermeeting>

Reddit <https://www.reddit.com/u/tigermeetingroom/>

Pinterest <https://www.pinterest.com/tigermeetingroom/>

WhatsApp

<https://www.whatsapp.com/channel/0029VanwIDn6LwHgKMtMF90S>

魏心 / WeChat



Tigermeeting(c)は Tigermeeting AB の商標であり、その他のすべての商標はそれぞれの会社が所有しています。